取扱説明書

緊急情報伝達システム
おつたえ君
ARS-800
ARS-800F
〈本体編〉

このたびは、緊急情報伝達システム「おつたえ君」ARS-800/ARS-800F をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、アプリケーション Ver.4.＊＊の製品に対応しています。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

株式会社 タカコム

目 次

安全にお使いいただくために---- 3
はじめに ---- 5

第１章　商品概要---- 7
概　要---- 8
接続概要図----8
システム構成図 ----9
機能概要----10
各部の名前とはたらき ---- 20

第２章　ご使用の前に----23
ご使用の前に ---- 24
電源の入れかた ----24
電源通電から「メニュー」画面まで----24
システムの終了のしかた----25
停電復旧時の表示について ----26
メモリーカードについて----28
年月日、現在時刻の登録----29
時刻修正登録 ----32
ネットワーク登録----35
ＬＡＮポート登録----38
連結登録----41
連結初期化----43
シリアル通信登録 (ARS-800F のみ)----45
ＬＡＮ接続時の画面----48
シリアル接続時の画面（ARS-800F のみ） ----51
連結接続時の画面 ----52

第３章　メッセージの録音・再生 ----53
メッセージの録音・再生 ---- 54
録音の前に　＜あらかじめ知っていただきたいこと＞ ----54
メッセージの録音／消去----56
メッセージの再生 ----61
63
第４章　データの登録･保存･確認 ----63
データの登録 ---- 64
データ登録について----64
制御用パソコンによる登録 ----64
メモリーカードによる登録 ----65
ホストパソコンによる登録（ARS-800F のみ） ----66
データの保存 ---- 67
登録データの確認---- 69
初期設定の確認 ----69
通知先・内容の確認----74

第５章　通　知----79
通　知---- 80
ワンタッチ通知 ----80
マニュアル通知 ----89
リモコン通知 ----94

ワンタッチ録音して通知するには---101
外部ワンタッチ通知---102
外部ワンタッチ端子板通知---102
タイマー通知---103
テスト発信---106
情報別通知---106
通知先での操作 (電話での回答入力のしかた)---107
通知先での操作 (メールでの回答入力のしかた)---109
電話着信・メール受信のみで使用する場合---111
着信応答 (本体へ電話してメッセージを聞くには) ---113
通知先のメッセージを録音するには---114

第６章　通知結果の確認 --- 115
通知結果の確認--- 116
印　刷--- 118

第７章　設置工事--- 133
設置工事 --- 134
設置の前に---134
制御用パソコンとの接続のしかた---135
回線の接続のしかた---136
「通話録音装置 VR シリーズ」の接続のしかた---137
外部ブザーの接続のしかた---138
プリンタの接続のしかた---138
修正用時計の接続のしかた---145
アラーム出力端子への接続のしかた---145
アラーム入力端子への接続のしかた---146
外部ワンタッチスイッチボックスの接続のしかた---146
外部ワンタッチ端子板の接続のしかた---147
４回線ラインボードの増設のしかた---148
無停電電源装置の接続のしかた（装置 1 台のとき）---149
電源コードの接続のしかた---150
本体の連結接続のしかた---151

故障とお考えになる前に --- 156

エラーメッセージについて --- 157

主な仕様--- 158

保証とアフターサービス --- 裏表紙

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
STOPお願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本機の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。
ワンポイント	この表示は、本機を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠警告

ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本機を操作したりしないでください。 感電や故障の原因となります。
電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。 電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。 また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。なお、電源プラグを抜くときは、必ず電源の切りかたに従って本機の電源を切ってから抜いてください。 ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。
ＡＣ 100 Ｖ商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。 火災や感電・故障の原因となります。
雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。 落雷による感電の原因となります。
本機の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。 こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。 万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるなど異常がなくなることを確認した上で、販売店に点検を依頼してください。 異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
本機のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。 火災や感電の原因となります。 改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。
床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠警告

アースは、確実に取り付けてください。 故障や漏電があった場合、感電の原因となります。
アース線は、絶対にガス管や水道管、電話や避雷針のアース線にはつながないでください。 火災や感電の原因となります。
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災や感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
本機や電源コードを熱器具に近づけないでください。 本機のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。
長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因となります。
湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。 火災や感電の原因となります。
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重い物を置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください

STOPお願い

電源を切るときは、必ず、【システムの終了】の操作に従って電源を切ってください。 その操作をせずに電源を切ると、故障の原因となります。
ベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。 変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってからふいて、そのあと、乾いたやわらかい布でふきとってください。
落としたり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因となります。
テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、違法無線を受けるところには置かないでください。 誤動作の原因となります。
製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。 正常に動作しないことがあります。
温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本機の寿命が短くなるおそれがあります。

はじめに

- 「緊急情報伝達システム　おつたえ君　ＡＲＳ－８００／ＡＲＳ－８００Ｆ」の取扱説明書は、本書「本体編」と別冊「制御用パソコン編」の２分冊の構成になっています。
  ＡＲＳ－８００／ＡＲＳ－８００Ｆ本体の取扱いについては「本体編」を、制御用パソコンの取扱いについては「制御用パソコン編」をご覧ください。
- 本書の「安全にお使いいただくために」は、取扱説明書「制御用パソコン編」をご利用いただくときは、合わせて必ずお読みください。

■ セットの確認

次のものがそろっていることをお確かめください。
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。当社営業所につきましては、当社ホームページ（http://www.takacom.co.jp）の「営業拠点」をご覧ください。

品　　名	個数	単位	備　　考
1．本体	1	台	
2．電源コード	1	本	
3．マイク	1	個	スタンド付き
4．テープレコーダ接続コード	1	本	
5．回線接続コード	4	本	モジュラーコード
6．メモリーカード	1	個	コンパクトフラッシュ
7．フェライトコア	2	個	
8．バインダ	1	本	線処理用
9．ワンタッチラベル	1	枚	
10．制御用ソフト	1	個	ＣＤ
11．取扱説明書	2	冊	本書 (本体編 1 冊、制御用パソコン編 1 冊)

※ 製品に同梱された電源コードセットは、他の製品に使用しないでください。

■ ご使用にあたってのお願い

1．常に通電状態にある電源コンセント（AC100V）につないでご使用ください。

2．ご使用中は、絶対に電源コードを電源コンセントから抜いたりしないでください。

3．無停電電源装置（別売品）を接続してご使用のとき
停電してからバックアップ時間（※）内は、通知作業などでご使用になれます。
※ 本装置が 3 日以上継続して通電されたときの動作時間です。3 日以下の通電で停電になると、バックアップ時間以下で動作が停止しますのでご注意ください。

4．制御用パソコンを立ち上げるためには、ソフトウェアのインストールおよび各種設定が必要となります。 取扱説明書「制御用パソコン編」に従って準備してください。

5．取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。

6．この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ＶＣＣＩ－Ａ

7．本装置の仕様は、国内向けになっていますので、海外ではご利用できません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

8．本装置は、外国為替および外国貿易管理法が定める戦略物資に該当します。
本装置は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。
This product ,which is intended for use in Japan, is a strategic product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

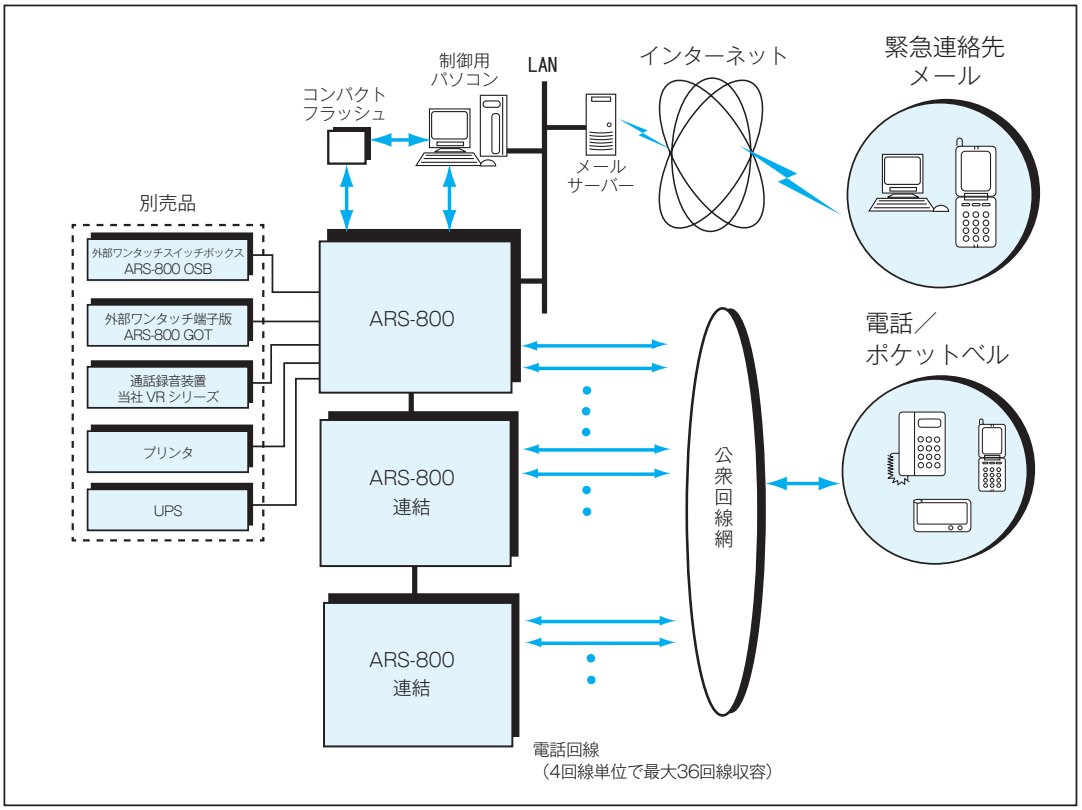
第1章

商品概要

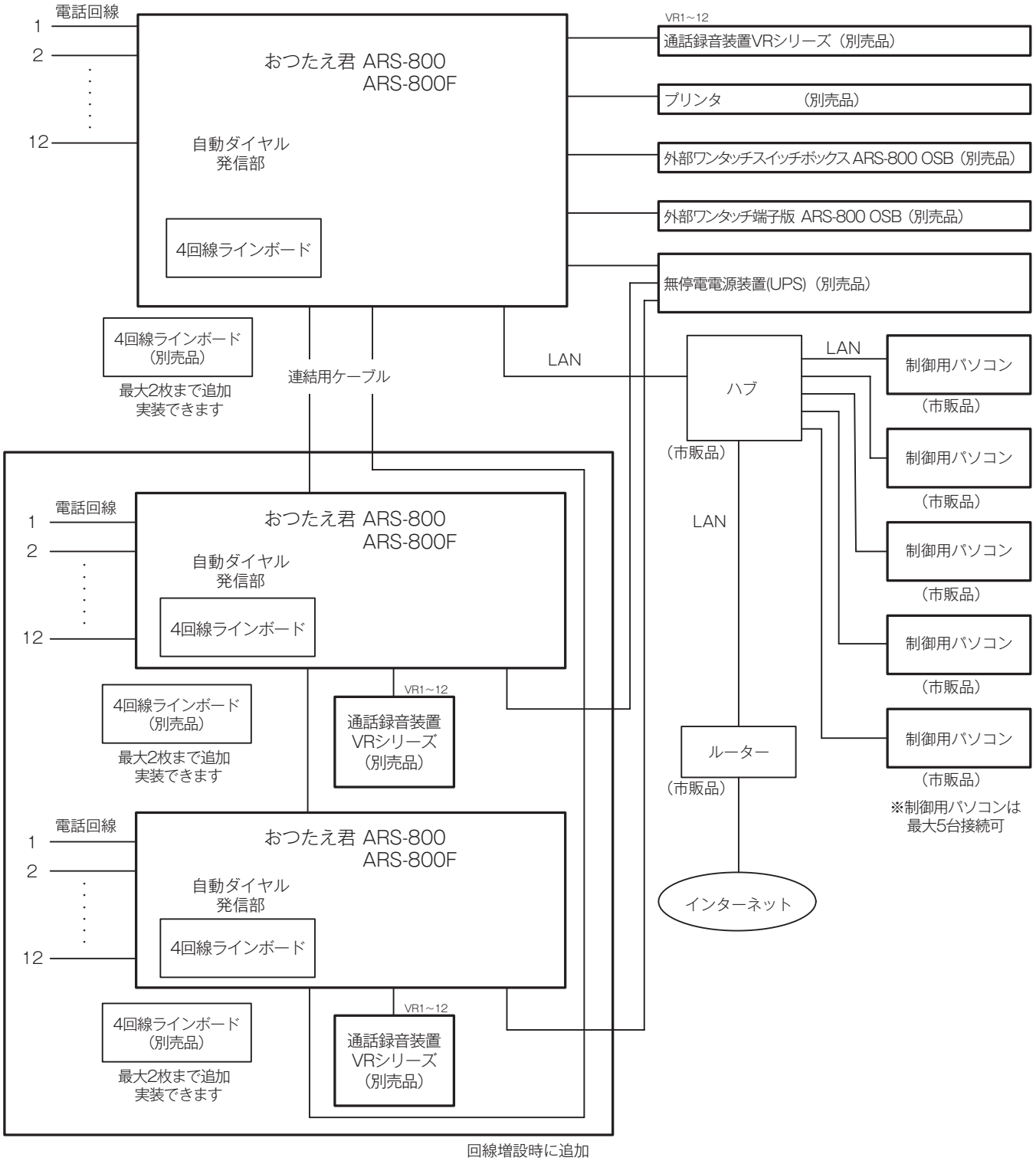
概　要

・本システムは、「ＡＲＳ－８００制御用ソフト」がインストールされたパソコン（以下制御用パソコンという）と、本体ＡＲＳ－８００／ＡＲＳ－８００Ｆ（以下本体という）とで構成され、あらかじめ通知データ（電話番号、メールアドレス、名前など）を制御用パソコンより登録し、通知したいメッセージの録音およびメール本文の文字登録をしておけば、非常時などに電話回線およびインターネットを使い、簡単操作で大勢の人に一斉に連絡が出来、通知先の反応（召集に対する可否など）の回答収集ができるシステムです。
・制御用パソコンと本体とのデータのやりとりは、ネットワーク（LAN）または、コンパクトフラッシュ（以下メモリーカードという）で行います。
・制御用パソコンは、LAN ネットワーク上で最大５台接続できます。
・年月日時分、時計修正、ネットワーク、LAN ポート、連結登録、連結初期化、シリアル通信 (ARS-800F) を除く全ての登録は、制御用パソコンで行います。
・通知起動は、本体、外部ワンタッチスイッチボックス（別売品）、外部ワンタッチ端子板（別売品）と LAN 接続時は制御用パソコンで制御できます。
・本体には電話回線が標準で４回線収容できます。４回線ラインボード（別売品）の追加で最大 12 回線まで増設できます。また、本体装置を連結することにより最大 36 回線（本体を追加で２台連結した場合）まで増設できます。
・通話録音装置ＶＲシリーズ（別売品）を接続すれば、通知先の用件（音声）を録音することができます。

■ 接続概要図



■ システム構成図


電話回線
1
2
12
おつたえ君 ARS-800
ARS-800F
自動ダイヤル
発信部
4回線ラインボード
4回線ラインボード
（別売品）
最大2枚まで追加
実装できます
連結用ケーブル
VR1～12
通話録音装置VRシリーズ（別売品）
プリンタ　（別売品）
外部ワンタッチスイッチボックス ARS-800 OSB（別売品）
外部ワンタッチ端子版 ARS-800 OSB（別売品）
無停電電源装置(UPS)（別売品）
LAN
ハブ
（市販品）
LAN
制御用パソコン
（市販品）
制御用パソコン
（市販品）
制御用パソコン
（市販品）
制御用パソコン
（市販品）
制御用パソコン
（市販品）
※制御用パソコンは
最大5台接続可
LAN
ルーター
（市販品）
インターネット
回線増設時に追加

■ 機能概要

1．登録

（1）通知先・システム機能などの登録データは、制御用パソコンで設定します。

（2）登録データは、本体の内部にある内蔵フラッシュメモリーへ保存します。

（3）登録データの保存方法には次の２つの方法があります。

a. 本体と同じネットワーク（LAN）上にある制御用パソコンから本体の内蔵フラッシュメモリへ保存します。

b. 制御用パソコンからメモリーカードに登録データを保存し、そのメモリーカードを本体に差込み本体の内蔵フラッシュメモリーへ保存します。

（4）本体に保存された登録データは、「ログイン」時に制御用パソコンに転送され、編集することができます。
（編集された内容は、本体へ転送されます。）
また、本体に保存された登録データは、メモリーカードへダウンロードし、制御用パソコンで編集することができます。

機能名	内容／仕様
個人情報登録	通知先を呼び出すための通知データを登録する機能で管理番号・名前・所属名・ランク・ＩＤ番号・電話番号・メールアドレス・ポケベル番号・住所などで構成します。 ○登録数　：最大 10,000 件（1 ～ 10000） ○グループ数　：最大 1,000 グループ（1 ～ 1000） ○データ構成 ・管理番号　：半角 1 ～ 9 桁（0 ～ 999999999）重複不可 ・名前　：全角 18 桁 ・所属名　：全角 9 桁 ・ランク　：なし，1 ～ 5 ・ＩＤ番号　：半角 1 ～ 9 桁（0 ～ 999999999）重複不可 ・電話番号　：最大 20 桁　最大 3 ヶ所 ・メールアドレス　：半角英数字で最大 128 桁　最大２つ ・ポケベル番号　：最大 20 桁 ・住所　：全角最大 64 桁 ・メモ　：全角最大 64 桁
ポケベルデータ登録	ディスプレイポケットベルを利用して通知する場合、ディスプレイに表示させる内容のデータを登録します。 ○データの種類　：最大 100 種類（1 ～ 100） ○データ名　：全角 9 桁 ○データ内容　：半角カナ英数字で半角最大 63 桁 ○ポーズ時間　：0 ～ 99 秒
メールデータ登録	メールを利用して通知する場合、メール内容のデータを登録します。 ○データの種類　：最大 100 種類（1 ～ 100） ○データ名　：全角 9 桁 ○ SUBJECT　：全角 9 桁 ○メール本文　：全角 255 桁

機能名	内容／仕様
ワンタッチデータ登録	簡単操作で通知を開始したい場合、ワンタッチボタンに通知したいグループを登録します。 ○登録数　：本体最大 10(外部ワンタッチボックス（別売品）接続時、制御用パソコンは最大 60) ○グループ割付　：最大 1,000 グループ
タイマー通知データ登録	曜日や開始、終了時刻を指定して、ワンタッチ番号を通知する場合、タイマーデータを登録します。 ○登録数　：最大 10(1 ～ 10) ○タイマー名　：全角 9 桁 ○タイマーデータ　：曜日、開始・終了時分 ○ワンタッチ設定　：最大 60
情報別データ登録	情報別ボタンを使用して通知を行う場合に、情報別ボタンに通知したいグループを登録します。 ○情報数　：最大 6(1 ～ 6) ○情報名　：全角かな・半角英数字で半角最大 18 桁 ○通知先　：全情報ボタンに最大 10 ○通知先グループ設定　：最大 50 グループ
初期設定データ登録	本システムの運用方法を決めるための機能の設定が、データ登録によりきめ細かく行えます。 ○主な設定項目 ・回線に関する設定 ・本人確認メッセージの要否 ・通知順序 ・人数制限 ・再通知の条件 ・特定通知先の通知停止／解除 ・回答入力 (出動要請などの可否) ・通知中の並行印字 ・通知先のメッセージ録音 ・メール設定 ・パスワード設定 ・テスト発信設定 ・リモコンＩＤ設定

2．登録データの確認

制御用パソコンで設定した通知データなどの登録内容を本体で確認することができます。

登録データの内容については、「取扱説明書　制御用パソコン編　概要　登録一覧表」(P.15) を参照してください。

3．メッセージ

本体および制御用パソコンから実施できます。

機能名	内容／仕様
録音	通知先が、電話に応答したとき、通知先へ伝えるためのメッセージを録音します。 ○録音時間　：約 25 分 ○チャンネル数　：93 チャンネル ・ガイダンスメッセージ 10 チャンネル ・本人確認メッセージ 5 チャンネル ・情報メッセージ 68 チャンネル （69 チャンネル　：共通メッセージ用として使用します。） （70 チャンネル　：ARS-800F でテレガイド用として使用します。） ・回答用メッセージ 6 チャンネル ・ワンタッチ録音用メッセージ 1 チャンネル ・テスト発信用メッセージ 1 チャンネル ○録音方法　： ・外部マイクから録音 ・テープレコーダから録音 ・外部マイクとテープレコーダのミキシング録音 ・制御用パソコンを利用して録音 ○種類　： ・ガイダンス用メッセージ ・本人確認用メッセージ ・情報用メッセージ ・回答用メッセージ ・ワンタッチ録音用メッセージ ・テスト発信用メッセージ ○録音媒体　：内蔵フラッシュメモリ
再生	録音したメッセージを、チャンネルごとに、スピーカで聞いて確認できます。
消去	録音したメッセージを、チャンネルごとに、消去できます。 「0」を入力することにより種類ごとに一括消去が可能です。(本体のみ) 但し、ワンタッチ録音用メッセージは手動で消去できません。
テレガイド録音 （ARS-800F のみ）	ホストパソコンから、RS-232C または LAN 経由で外部のテレガイド装置（サービスホン TS-400）に情報メッセージを録音することができます。

4．通知

（1）通知は、本体、制御用パソコン、外部ワンタッチスイッチボックス (別売品)、外部制御信号、リモコンおよびタイマーにより行うことができます。
（2）通知は、音声、ポケットベル、メールの 3 つの方法で伝達することができます。
（3）出動の可否などの回答を任意に 4 種類作成することができ、通知先の回答を収集することができます。
（4）出社時刻などの時刻情報を収集することができます。
（5）音声で通知した後に通知先からのメッセージを録音することができます。
（6）通知中に別の通知先を追加することができます。

機能名	内容／仕様
通知方法	《ワンタッチ通知》 （本体、制御用パソコンおよび外部ワンタッチスイッチボックスから） ○ ワンタッチ発信ボタン (本体 1 ～ 10、制御用パソコンおよび外部ワンタッチスイッチボックス 1 ～ 60) には、本人確認メッセージ (通知、着信ごと)、情報メッセージ (通知、着信ごと)、メールデータ番号、ポケベルデータ番号、人数制限、通知先グループを各々登録しておきます。 ○ 人数制限ありの場合は、あらかじめ人数制限の人数をグループごとに登録しておきます。また、通知単位で制限する場合は、通知開始の前に人数を入力します。(本体および制御用パソコン) ○ ワンタッチ発信ボタンを押して、続いて通知開始ボタンを押すことにより通知が開始します。 通知先が応答すると、本人確認メッセージが送出されます。(設定により送出しないようにできます。) 本人確認の ID 番号を入力し、本人と確認されると、情報メッセージが送出されます。設定により回答や出動時刻を入力することができます。また、設定により通知先のメッセージを録音することができます。 ○ ワンタッチ発信ボタンにメールアドレスが登録してあると、ワンタッチ発信ボタンを押すことによりメールによる通知が開始します。 設定により回答や出動時刻を入力することができます。
	《ワンタッチ録音通知》 （本体、制御用パソコンおよび外部ワンタッチスイッチボックスから） ワンタッチ録音ボタン（制御用パソコンの場合は、ワンタッチ録音・メールボタン）を押して、情報メッセージを録音し、続いて、ワンタッチ通知、マニュアル通知、情報別通知（制御用パソコンのみ）の操作を行うことにより、それぞれの通知が開始します。 以下の機能は、ワンタッチ通知と同じです。 (外部ワンタッチスイッチボックスからは、ワンタッチ通知のみ可能)
	《ワンタッチメール通知》（制御用パソコンからのみ） ワンタッチ録音・メールボタンをクリックして、メール本文を作成し、続いて、ワンタッチ通知、マニュアル通知、情報別通知の操作を行うことにより、それぞれの通知が開始します。 設定により回答や出動時刻をメールで返信することができます。
	《マニュアル通知》(本体および制御用パソコンから) ○ 通知の都度、通知したいグループ、通知したいメッセージやメールを指定し、通知開始ボタンを押すことにより、通知が開始します。 ○ 人数制限ありの場合は、あらかじめ人数制限の人数をグループごとに登録しておきます。また、通知単位で制限する場合は、通知開始の前に人数を入力しておきます。 以下の機能は、ワンタッチ通知と同じです。

機能名	内容／仕様
通知方法	《情報別通知》（制御用パソコンからのみ） ○ 情報別ボタンを最大６個設定できます。 ○ 各々の情報ボタンに通知先を最大 10 個設定できます。 ○ 通知グループは、各々の通知先ごとに最大 50 グループまで登録できます。 ○ 通知先には、本人確認メッセージ(通知･着信ごと)、情報メッセージ(通知･着信ごと)、メールデータ番号、ポケベルデータ番号、通知先グループを各々登録できます。 ○ 通知先に割り当てられたグループボタンをクリックすることにより、通知が開始します。 以下の機能は、ワンタッチ通知と同じです。
	《外部起動信号通知》（オプション） ○ 外部に接続したワンタッチ端子板（別売品）にセンサーなどからの起動信号が有ったときに通知が開始します。 ○ 人数制限ありの場合は、通知単位での人数制限はできません。あらかじめ人数制限の人数をグループごとに登録しておきます。
	《タイマー通知》（本体、制御用パソコンから）) ○ 制御用パソコンのタイマー通知登録で設定された曜日、時刻に指定されたワンタッチ番号を通知します。 以下の機能は、ワンタッチ通知と同じです。
	《リモコン通知》（本体に電話着信してのみ） ○ 電話回線を使用し、本体のリモコン指定回線に着信させ、リモコン ID 番号を入力し、ワンタッチ通知を開始することができます。 ○ ワンタッチ録音用チャンネルに、情報メッセージの録音ができます。 ○ 人数制限ありの場合は、人数制限の人数を設定できます。 ○ 通知の停止又は、通知中にワンタッチ番号の追加ができます。
	《ダイレクト通知》（ARS-800F のみ）) ○ 外部のパソコンから RS-232C または LAN 経由で電話番号を直接本体に送信して通知することができます。 詳細は、「ARS-800F　RS-232C インターフェース仕様書」または「ARS-800F LAN インターフェース仕様書」を参照してください。
	《テスト発信》 収容された回線ごとに、登録した曜日、時刻に指定した電話番号へ発信し、メッセージを送出します。 (着信、リモコン設定した回線では、テスト発信はできません。)
人数制限	通知開始の前に、出動に必要な人員数などを設定しておけば通知先の回答により、指定人数が確保できた時点で自動的に通知を停止します。 人数制限は、以下の２通りの方法が選択できます。 ・ 通知単位　　：通知起動時に制限人数を手動入力します。 ・ グループ単位　：あらかじめグループ毎に登録された制限人数が有効となります。

機能名	内容／仕様
通知の発信順序	《グループ単位》［登録順］ グループが複数ある場合、最初に指定したグループの先頭に登録してある通知先から順次通知を行い、そのグループの通知が終了すると、次に指定したグループの先頭に登録してある通知先から同様に通知する発信順序です。
	《グループ単位》［ランク順］ グループが複数ある場合、指定したグループ内で優先の一番高いランクの人から「グループの指定順にグループ単位で」同じランクの通知を行い、そのランクの人の通知がすべて終ると、次に優先ランクの高い人を「グループの指定順にグループ単位で」通知する発信順序です。
	《グループ均等》［登録順］ グループが複数ある場合、最初に指定したグループの先頭に登録してある通知先から通知を開始し、順次ほかのグループの先頭に登録してある通知先へ通知します。指定した全グループの先頭に登録してある通知先が終了すると、最初に指定したグループの２番目に登録してある通知先から同様に通知する発信順序です。
	《グループ均等》［ランク順］ グループが複数ある場合、指定したグループ内で優先の一番高いランクの人から「グループの指定順にグループ均等で」同じランクの通知を行い、そのランクの人の通知がすべて終ると、次に優先ランクの高い人を「グループの指定順にグループ均等で」通知する発信順序です。
タイムスタンプ	登録により、通知開始日時を情報メッセージの前に送出します。
追っかけ通知	個人情報に複数の電話番号を登録した場合の再通知方法であり、電話番号の優先１をまず通知し、再通知対象となった場合は、再通知ではなくその回の通知の中で、次の優先順位へ通知します。
再通知	通知結果のうち、話中・留守などで通知できなかった通知先に対して、全通知対象が一巡して再通知間隔経過後、再度通知します。
ワンタッチの複数通知	○ 複数のワンタッチ番号を指定して通知することができます。また、通知中にワンタッチ番号を追加して通知することができます。 ○ ワンタッチの通知方式には登録により、次の２つの方法があります。 ・追加式　：指定されたすべてのワンタッチ番号に対して、最初に指定したワンタッチ番号の情報内容が通知されます。また、通知動作中にワンタッチボタンを押すことにより、通知先のみ追加され、通知中の情報内容が通知されます。 ・ボタン別：指定されたワンタッチ番号ごとの情報内容が通知されます。また、通知動作中にワンタッチボタンを押すことにより、そのボタンに割り付けられた通知先・情報内容が通知されます。
着信応答	○ 収容回線の一部を着信回線に設定しておけば、通知先からの電話着信により自動応答し、メッセージを送出します。 ○ 通知起動中に着信を受け付けます。 ○ 通知終了後は、設定された着信待ち時間の間着信動作を行います。 ○ 本人確認メッセージ、情報メッセージは、通知と異なった設定ができます。
通知先のメッセージ録音	「通話録音装置ＶＲシリーズ」(別売品) を接続すると、情報メッセージが終ってから通知先のメッセージを録音することができます。

機能名	内容／仕様
通知結果	○ 通知結果 通知先の応答状態（応答、回答１～４、ポケベル、不明、留守、トーキ、話中、未通知、メール）の集計結果が確認できます。 最大 20 通知分または、最大通知件数約 10000 件まで保存しています。 ○ テスト発信結果 テスト発信の応答状態の結果が確認できます。
個人別通知停止	「個人情報登録」または「グループ登録の個人情報選択」で個人別通知停止を設定した対象者は、通知を行いません。 初期設定により下記の２種類の個人別通知停止ができます。 ○ 共通　　：設定した対象者を全てのグループにまたがって停止します。 ○ グループ単位：設定グループ内でのみ対象者の通知を停止します。
通知停止	通知中に停止ボタン（制御用パソコンの場合は、通知終了ボタン）を押し、メニューを選択することにより、２通りの通知動作の停止ができます。 ・ 新たな通知、着信を中止して、現在接続中の回線が全て終了するまで待って通知動作を終了します。 ・ 現在接続中の回線を強制的に切断して通知動作を終了します。
音声モニター選択	通知中に、発信用または着信用の回線１回線を選択し、音声をスピーカからモニターできます。（本体、制御用パソコンとも） ただし、LAN 接続されている場合は、本体およびログインしている制御用パソコンのうち１ヶ所のみモニターができます。
ＩＤ識別（本人確認）	通知先のダイヤル（プッシュ信号）でＩＤ番号を入力することにより、本人と確認します。 本人確認ができた場合のみ、情報メッセージを伝えることもできます。
回答入力	通知先のダイヤル（プッシュ信号）、電話着信、メール返信で、出動の可否などを回答できます。

5．その他

機能名	内容／仕様
表示	○ 本体ディスプレイにより、初期設定、通知先情報、グループ情報、ワンタッチ情報、通知結果などのデータを表示することができます。 ○ 本体と同じネットワーク（LAN）上にある制御用パソコンのモニターに初期設定、通知先情報、グループ情報、ワンタッチ情報、通知結果などのデータを表示することができます。 ○ 通知中に同じネットワーク（LAN）上にある制御用パソコンのモニターに LAN 経由で１通知ごとの結果を表示することができます。
印刷	○ 本体に接続されたプリンタにより、通知履歴、通知結果、テスト発信結果、本体初期登録内容を印刷することができます。 ○ 制御用パソコンに接続されたプリンタにより、初期設定内容、通知先設定、通知内容、通知履歴、通知結果、テスト発信結果を印刷することができます。 ○ 設定により通知中に本体に接続されたプリンタに、１通知ごとの通知結果を自動的に印刷することができます。（並行印字）

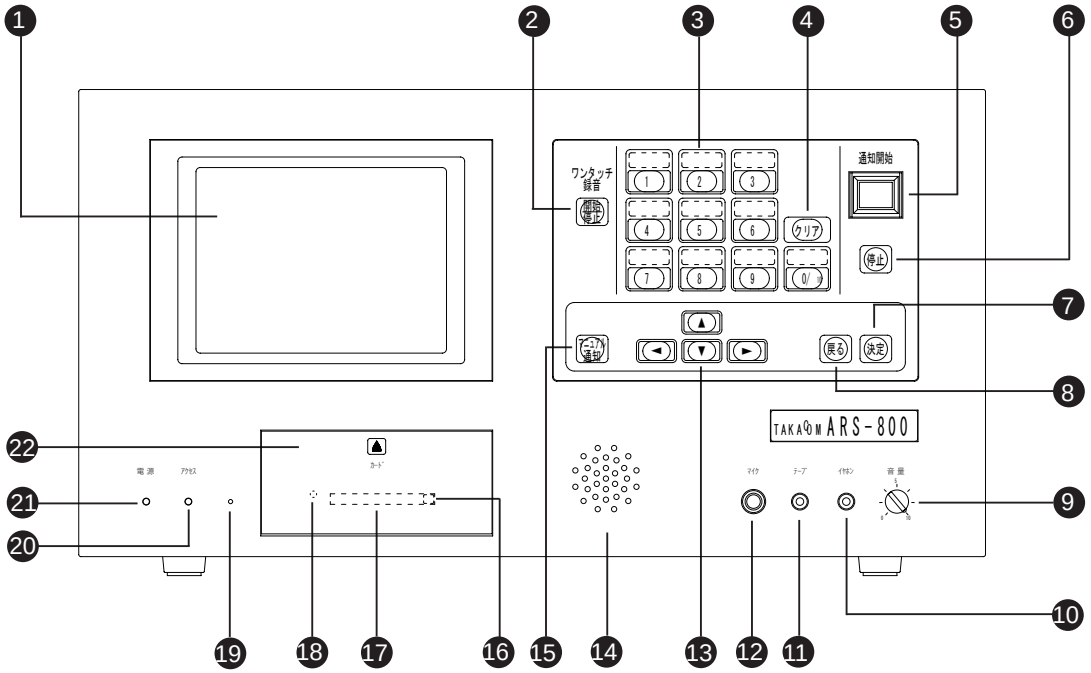
機能名	内容／仕様
メール機能 (LAN 接続時のみ)	○ メール送信機能 パソコン又は、携帯電話のメールに通知リストに従ってメールを送信します。 ○ メール受信機能 送信したメールを返信してもらうなどにより、対象者の受信または出動の可否などの回答が確認できます。 登録により次の２種類のメール返信方法が選択できます。 ① 送信したメールに４種類の「回答文字」を表示し、回答別にその中の１つの文字を本文に入力し、返信することで回答を収集し、集計を行います。 ② 送信したメールに４種類の「メールアドレス」を表示し、回答別にその中の１つを選択し、空メールを送信することで回答を収集し、集計を行います。 メール本文に入力した「コメント」内容は、個人別に管理・保存して一覧表示およびプリントアウトすることができます。
LAN 機能	○ 本体をネットワーク（LAN）上に接続し、制御用パソコンより初期設定や通知先データの管理や通知操作をすることができます。 ○ 本体をネットワーク（LAN）上に接続し、インターネットを利用してメールの送受信をすることができます。 ○ 通知動作中は、本体および制御用パソコンで、回線モニタ、ワンタッチ通知の追加、通知停止の操作ができます。
履歴	本体の履歴をファイルに保存し、必要に応じて制御用パソコンで確認することができます。 通知起動した年月日・時分および通知停止した年月日・時分、通知種別、通知内容、操作内容などが確認できます。
メモリーカード	○ メモリーカードからの読み込み メッセージ、初期設定内容、通知内容およびメール・ポケベル内容をメモリーカードから本体へ読み込むことができます。 ○ メモリーカードへの書き込み 通知結果、動作履歴、メッセージ、初期設定内容、通知登録内容およびメール・ポケベル内容を本体からメモリーカードへ書き込むことができます。
無停電電源装置 （オプション）	無停電電源装置（別売品）を接続することにより、停電中でも、バックアップ時間内で通知ができます。
アラーム出力	以下の条件でアラームが出力されます。 ○ 無停電電源装置からの電源停止 ○ 通知および着信時の回線異常 ○ 本体の電源コードが抜けるなど電源が供給されないとき ○ CPU の動作異常 ○ 連結接続時に通信障害などのエラー発生
アラーム入力	アラーム入力端子にアラーム信号が入力されると、アラーム出力端子にアラームを出力します。 通知中にアラーム入力端子にアラーム信号が入力されると通知を停止します。

機能名	内容／仕様
時刻修正入力	○ 本体内部時計の時刻を修正するための外部信号入力端子を有します。 ○ 信号は、無電圧のメーク接点信号（ワンショットパルス）で入力します。 ○ 修正方法として以下の 2 方式が選択できます。 ・ ± 10 秒：毎分 0 秒± 10 秒の間に信号があると、0 秒に修正します。 ・ ± 30 秒：毎分 0 ～ 30 秒の間に信号があると、0 秒に戻し、毎分 30 ～ 0 秒の間に信号があると 1 分先の 0 秒に進めます。
NTP 時刻校正	LAN 接続した場合、ネットワーク上の NTP サーバーにより本体の時刻を校正することができます。
ＲＳ－２３２Ｃ インターフェース (ARS-800F のみ)	RS-232C コネクタへパソコンを接続して、パソコンから次の操作ができます。 ○ パソコンで作成した次のデータを本体へ転送することができます。 「通知データ」・「ポケベル・データ」・「ワンタッチグループデータ」・ 「初期登録データ」・「通知停止データ」・「グループごとの人数制限データ」 ○ パソコンからメッセージの録音開始と停止および再生開始と停止ができます。 ○ パソコンから通知方法（マニュアル通知／ワンタッチ通知／ダイレクト通知）を指定して通知の起動および停止ができます。 ○ 通知結果を本体からパソコンへ転送できます。 ○ パソコンから初期登録の次の登録は、直接修正ができます。 「ID 種別設定」・「回答入力設定」・「再通知設定」・「通知方式設定」・ 「人数制限選　択設定」・「着信時の回答入力設定」・「着信時のメッセージ設定」 ○ パソコンから時刻の修正ができます。 詳細は、「ARS-800F　RS-232C インターフェース仕様書」を参照してください。

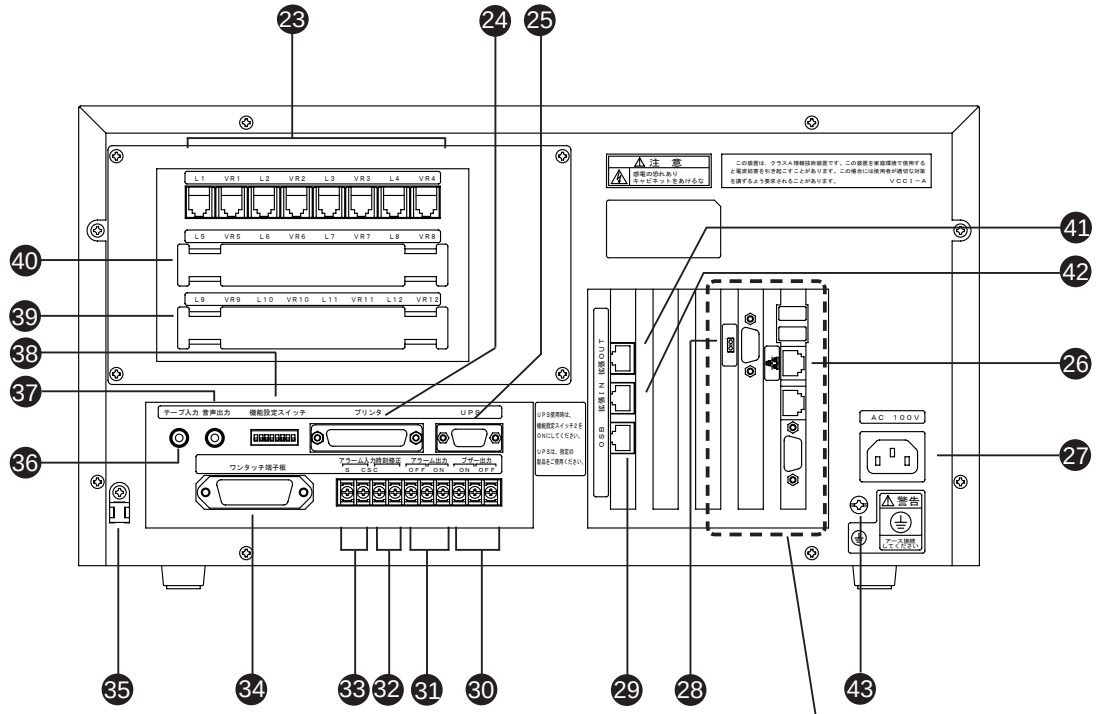
メ　モ

各部の名前とはたらき

■前 面



■後 面



※ 各端子の位置は、図と異なる場合があります。表示文字、記号などにより位置を確認してください。

	名前	はたらき
❶	ディスプレイ	操作メニュー、登録内容、通知動作中の状況などを表示します。
❷	ワンタッチ録音ボタン	ワンタッチ録音通知するときに押します。
❸	数字ボタン (ﾜﾝﾀｯﾁ発信ﾎﾞﾀﾝ)	登録中、数字入力するときに押します。また、ワンタッチ発信を行うときに押します。
❹	クリアボタン	入力した数字などを取り消すときに押します。
❺	通知開始ボタン、ランプ(赤)	通知の起動をかけるときに押します。 通知開始ランプを内蔵し、通知起動時に点灯します。
❻	停止ボタン	動作を停止するときやメニューに戻るときに押します。
❼	決定ボタン	入力を確定するときに押します。
❽	戻るボタン	一つ前の画面に戻るときに押します。
❾	音量調節つまみ	録音や再生中の音声をモニターするとき、音量を調節するつまみです。
❿	イヤホンジャック	録音・再生の音声をイヤホン(市販品)で聞くとき、イヤホンを差込みます。
⓫	テープジャック	通知メッセージをテープレコーダ(市販品)から録音するとき、テープレコーダ接続コードを接続します。
⓬	マイクジャック	通知メッセージを外部マイクから録音するとき、マイクを差込みます。
⓭	矢印ボタン	操作メニューや登録項目を選ぶときなどに押します。
⓮	スピーカ	録音内容や回線モニター音を拡声します。
⓯	マニュアル通知ボタン	マニュアル通知を行うときに押します。
⓰	イジェクトボタン	メモリーカードを取り出すときに押します。
⓱	コンパクトフラッシュカード挿入口	メモリーカードを本体にセットするときに挿入します。
⓲	コンパクトフラッシュカードアクセスランプ	メモリーカードにアクセスしているときに点灯します。
⓳	リセットボタン	保守用です。(通常は使用しません)
⓴	アクセスランプ	システムメモリーにアクセスしている時に点灯します。
㉑	電源ランプ	通電時に点灯します。
㉒	カードカバー	メモリーカードを保護するカバーです。
㉓	回線1～4/通話録音装置1～4接続用モジュラージャック	電話回線1～4および通知後の通知先メッセージを録音したいとき、通話録音装置VRシリーズ(別売品)1～4を接続するモジュラージャックです。
㉔	プリンタコネクタ	プリンタ(市販品)を使って登録内容や通知結果などを印字するとき、プリンタを接続するコネクタです。
㉕	UPS入力端子	無停電電源装置の信号線を接続する端子です。
㉖	LANコネクタ	LAN接続コードを接続するコネクタです。
㉗	AC電源コネクタ	添付の電源コードを接続するコネクタです。
㉘	シリアルポート1	パソコン(市販品)を使って通知データなどを登録するときにパソコンを接続するコネクタです。(ARS-800F用)
㉙	OSBジャック	外部ワンタッチスイッチボックスARS-800 OSB（別売品）を接続するコネクタです。
㉚	ブザー出力端子	外部ブザー(別売品)を接続する端子です。
㉛	アラーム出力端子	アラーム信号を外部に取り出すときに接続する端子です。
㉜	時刻修正端子	修正用時計を接続する端子です。
㉝	アラーム入力端子	アラーム出力を持ったVRシリーズ(別売品)を接続する端子です。
㉞	ワンタッチ端子板コネクタ	外部ワンタッチ端子板ARS-800 GOT(別売品)を接続するコネクタです。
㉟	配線結束具	回線接続用コードなどを結束するときに使用します。
㊱	テープ入力ジャック	テープジャックと同じ機能を有します。
㊲	音声出力ジャック	再生音の外部出力ジャックです。

名前		はたらき
㊳	機能設定スイッチ	本体を連結して使用する場合に装置番号を設定します。また、アフターサービス用のスイッチとなります。通常は設定の必要はありません。
㊴	回線 9 ～ 12/ 通話録音装置 9 ～ 12 接続用モジュラージャック	電話回線 9 ～ 12 および通知後の通知先メッセージを録音したいとき、通話録音装置 VR シリーズ (別売品)9 ～ 12 を接続するモジュラージャックです。
㊵	回線 5 ～ 8/ 通話録音装置 5 ～ 8 接続用モジュラージャック	電話回線 5 ～ 8 および通知後の通知先メッセージを録音したいとき、通話録音装置 VR シリーズ (別売品)5 ～ 8 を接続するモジュラージャックです。
㊶	拡張 OUT ジャック	電話回線を 13 回線以上増設する場合、連結する本体を接続する出力用の端子です。
㊷	拡張 IN ジャック	電話回線を 13 回線以上増設する場合、連結する本体を接続する入力用の端子です。
㊸	接地端子	本体を接地するときにアース線を接続します。

第 2 章

ご使用の前に

ご使用の前に

■ 電源の入れかた

● 本装置には、電源スイッチはありません。電源プラグを AC100V の電源コンセントへ差込んでご使用ください。
● 長時間本装置をご使用にならないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

■ 電源通電から「メニュー」画面まで

1 電源プラグを AC100V の電源コンセントへ差込みます。
・ 電源ランプが点灯し、「システム起動中」が点滅します。

＊TAKACOM＊
ARS－800
システム起動中

2 お買い上げ後、初めての通電時には、しばらくすると（電源を入れてから約 1 分）右記の画面になります。
［**決定**］ボタンを押します。
・ 「メニュー」画面になります。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ARS－800＊
初期設定データがありません
メモリーカードからデータを
読み込んでください
［決定］を押してください

● メモリーカードまたは制御パソコンからデータを読み込んでください。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ARS－800＊
06 年　4 月　13 日 木曜日 13:00

・ ﾒｯｾｰｼﾞ 録音・消去	・ ﾀｲﾏｰ 通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再 生	・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認	・ 初期設定確認
・ 印 刷	・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ 読み／書き	・ ｼｽﾃﾑ 終 了

［決定］を押してください

ワンポイント

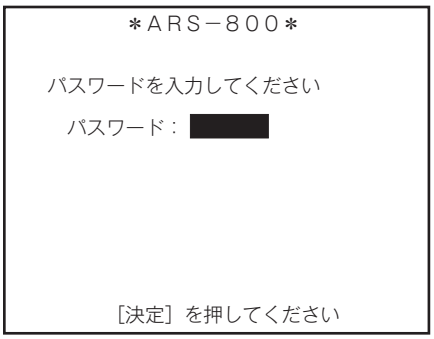
● 上記の画面では、「メモリーカード読み／書き」「本体初期登録」「システム終了」の操作以外はできません。
LAN 接続で制御パソコンから初期登録データなどの登録をする場合は、「本体初期登録」の「ネットワーク登録」（P.35）および「LAN ポート登録」（P.38) を行ってください。

■ システムの終了のしかた

1 操作途中から、［**停止**］ボタンを押して「メニュー」画面に戻ります。
［**矢印**］ボタンで「システム終了」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・ パスワードの画面になります。

2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
・ システム終了画面になります。

●パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。



3 システムを終了する場合は、［**矢印**］ボタンで「する」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

4 「システム終了中」を表示して約 15 秒後に電源ランプが消灯し、電源断となります。

ワンポイント

- 本装置を複数台連結でご利用の場合、システムの終了は装置 1 で行います。装置 2 および装置 3 は自動的に電源が切れます。
- 装置間で通信障害などが発生して、装置 1 がシステム終了しても装置 2 および装置 3 の電源が切れない場合は、各装置の［**停止**］ボタンを約 6 秒間押し続けると電源が切れます。拡張用ケーブルの接続状態などを確認してください。

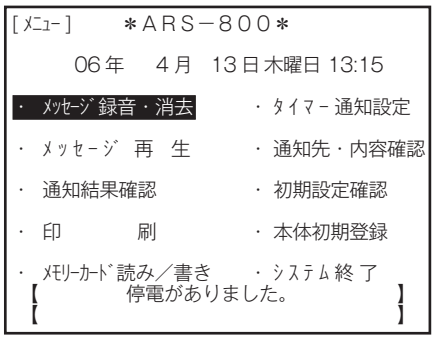
ワンポイント

- メニューの各種操作中、約 2 分間新たな操作をしないと「メニュー」画面に戻ります。
- 各種操作中、約 3 分間新たな操作をしないとディスプレイ画面は、省エネモードとなり、暗くなります。
  何かの操作をすることにより、明るくなります。但し、通知中は、常に明るくなっています。
- 各種操作途中に［**停止**］ボタンを押すことにより「メニュー」画面に戻ります。

■ 停電復旧時の表示について

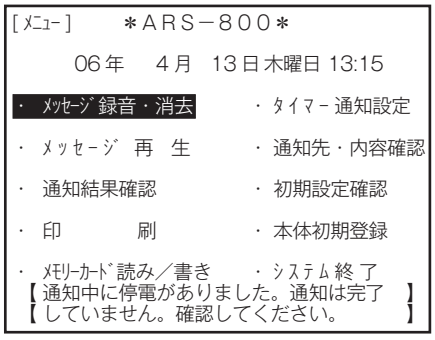
1. 無停電電源装置 (UPS) を使用しない場合

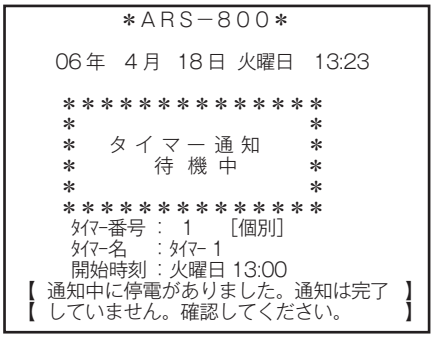
● 待機中および本体操作中 (タイマー待機中も含む) に停電が発生した場合
再通電し、待機状態に戻ったときに「メニュー」画面または、「タイマー通知待機中」画面に「停電がありました。」の警告を表示します。



※ 警告表示は、いずれかのボタンを押すか通知の起動 (外部・タイマーを含む) で消えます。

● 通知動作中 (タイマー通知を含む) に停電が発生したとき
再通電し、待機状態に戻ったときに「メニュー」画面または、「タイマー通知待機中」画面に「通知中に停電がありました。通知は完了していません。確認してください。」の警告を表示します。





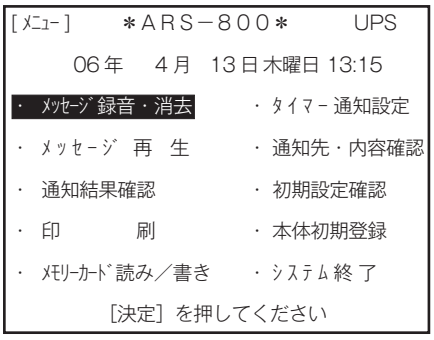
※ 警告表示は、いずれかのボタンを押すか通知の起動 (外部・タイマーを含む) で消えます。

ご注意

● 本装置の運用にあたっては、無停電電源装置（UPS）を使用してください。
無停電電源装置（UPS）を使用しない場合、停電が発生したときにタイミングによっては、上記のような動作にならず、装置が異常動作状態となることがあります。

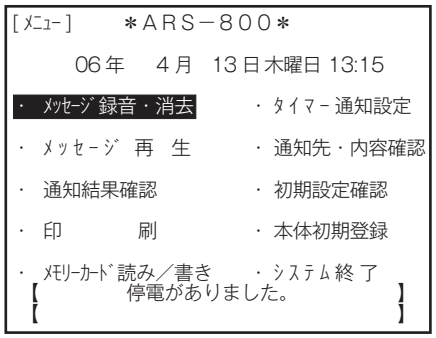
2. 無停電電源装置 (UPS) を使用する場合

停電発生後、無停電電源装置 (UPS) でシステム動作中は、各動作画面右上に「UPS」を点滅表示します。



● 待機中および本体操作中 (タイマー待機中を含む) に無停電電源装置 (UPS) の電圧低下信号でシステムが正常終了し、再通電してシステム起動した時

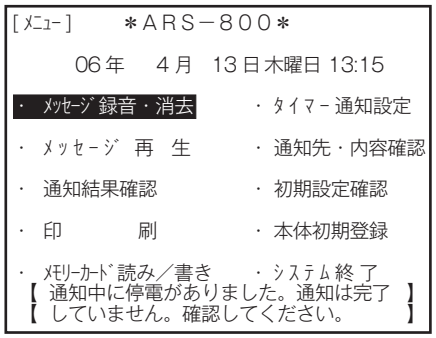
再通電し、待機状態に戻ったときに「メニュー」画面または、「タイマー通知待機中」画面に「停電がありました」の警告を表示します。

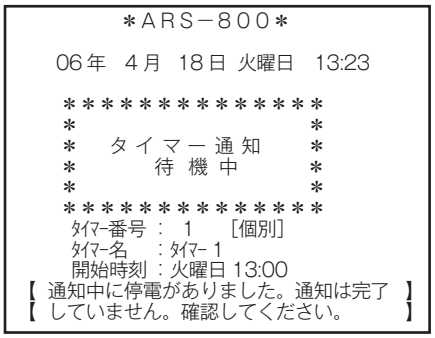


※ 警告表示は、いずれかのボタンを押すか通知の起動 (外部・タイマーを含む) で消えます。

● 通知動作中 (タイマー通知を含む) に無停電電源装置 (UPS) の電圧低下信号でシステムが正常終了し、再通電してシステム起動した時

再通電し、待機状態に戻ったときに「メニュー」画面または、「タイマー通知待機中」画面に「通知中に停電がありました。通知は完了していません。確認してください。」の警告を表示します。



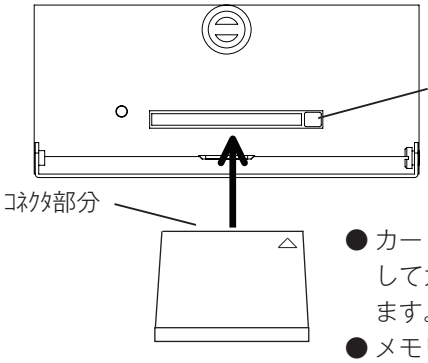
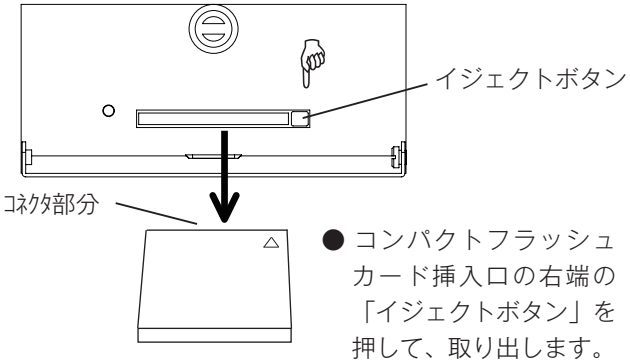


※ 警告表示は、いずれかのボタンを押すか通知の起動 (外部・タイマーを含む) で消えます。

■ メモリーカードについて

1. メモリーカードの入れかた／取り出しかた

● メモリーカードは、通知データ・初期設定の内容を保存したり、更新するためのものです。
● 操作に入る前に、カードカバーをあけ、コンパクトフラッシュカード挿入口へ添付のメモリーカードを入れてください。

入れるとき	取り出すとき
 ● カードカバーの上部を押してカードカバーを開きます。 ● メモリーカードの方向に注意して、コンパクトフラッシュカード挿入口に差し込み、奥までしっかり差込みます。「イジェクトボタン」が出てきます。	 ● コンパクトフラッシュカード挿入口の右端の「イジェクトボタン」を押して、取り出します。

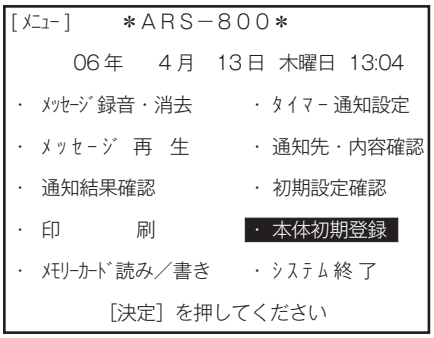
STOP お願い

● 使用できるメモリーカードの容量は、32 MBから 512 MBまでです。
● 読み込み / 書き出し中は、メモリーカードを取り出さないでください。内部のデータが壊れることがあります。
● 差込む方向を間違うと機器を破損することがあります。ご注意ください。
● メモリーカードに重いものをのせたり、強い力を加えないでください。

■ 年月日、現在時刻の登録

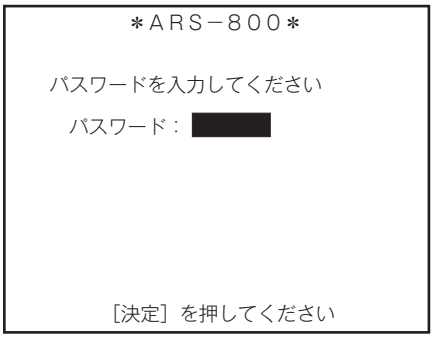
● 本日の年月日と現在の時刻を次の手順で登録してください。
● 年は西暦の下２桁、月と日は１桁または２桁、時刻は「時」「分」に分けて各２桁を 24 時間制で入力します。
（例）２００６年４月１３日、午後１時５分 (１３時０５分) に合わせる場合

1 「メニュー」画面において、［**矢印**］ボタンで「本体初期登録」を選び［**決定**］ボタンを押します。
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。



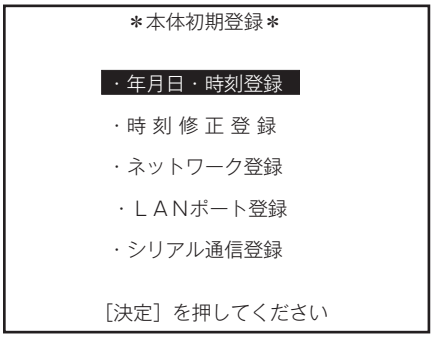
2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 「本体初期登録」画面になります。

● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

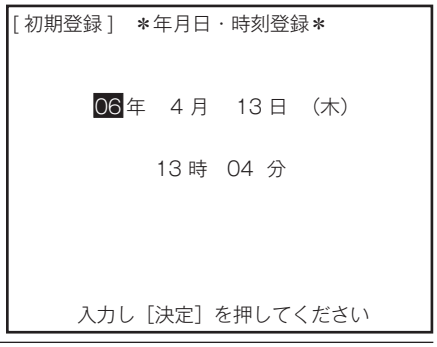


3 ［**矢印**］ボタンで、「年月日・時刻登録」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 年月日・時刻登録画面になります。

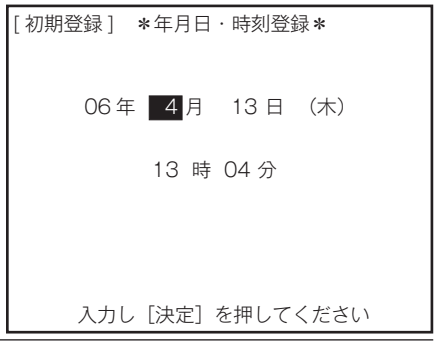
● 「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。



4 「年」の入力
［**数字**］ボタンで、「年」を入力し、［**決定**］ボタンを押します。
※ 例では、［**0→6→決定**］の順に押します。
・ 「月」の入力待ちの表示になります。



5 「月」の入力
［**数字**］ボタンで、「月」を入力し、［**決定**］ボタンを押します。
※ 例では、［**4 →決定**］の順に押します。
・ 「日」の入力待ちの表示になります。



6 「日」の入力

［**数字**］ボタンで、「日」を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

※ 例では、［**1→3→決定**］の順に押します。

・「時」の入力待ちの表示になります。

● 「曜日」は、内蔵カレンダーで自動登録されます。

［初期登録］ ＊年月日・時刻登録＊

06年 4月 13日 （木）

13時 04分

入力し［決定］を押してください

7 「時」の入力

［**数字**］ボタンで、「時」を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

※ 例では、［**1→3→決定**］の順に押します。

・「分」の入力待ちの表示になります。

［初期登録］ ＊年月日・時刻登録＊

06年 4月 13日 （木）

13時 04分

入力し［決定］を押してください

8 「分」の入力

［**数字**］ボタンで、「分」を入力します。

※ 例では、［**0→5**］の順に押します。

・入力した年月日、現在時刻がすべて表示されます。

［初期登録］ ＊年月日・時刻登録＊

06年 4月 13日 （木）

13時 04分

入力し［決定］を押してください

9 入力の確定

入力した内容が正しいことを確認し、１３時０５分ちょうど（０秒）になったとき、［**決定**］ボタンを押します。

・設定した時刻が登録され、「本体初期登録」画面に戻ります。

● 入力した年月日、現在時刻がすべて表示されます。

［初期登録］ ＊年月日・時刻登録＊

06年 4月 13日 （木）

13時 05分

入力し［決定］を押してください

10 登録を終わるとき

［**戻る**］ボタンまたは［**停止**］ボタンを押します。

・「メニュー」画面に戻ります。

＊本体初期登録＊

・年月日・時刻登録

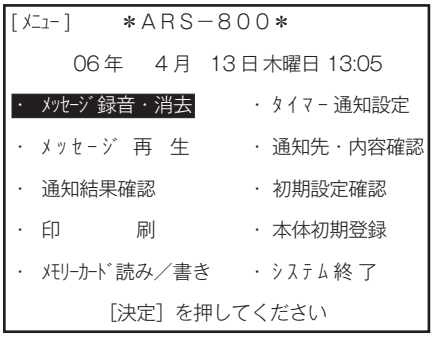
・時刻修正登録

・ネットワーク登録

・ＬＡＮポート登録

・シリアル通信登録

［決定］を押してください



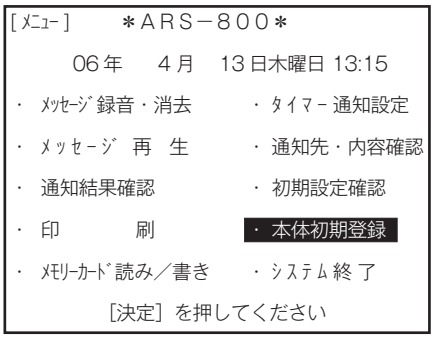
● 登録する内容を間違えたとき

［**クリア**］ボタンを押してから、再度入力してください。

■ 時刻修正登録

● 修正用時計と接続して時刻を修正する場合、次の手順で登録してください。

1 「メニュー」画面において、［**矢印**］ボタンで「本体初期登録」を選び［**決定**］ボタンを押します。
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。

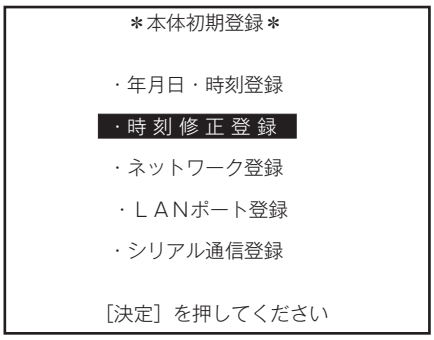


2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
・「本体初期登録」画面になります。

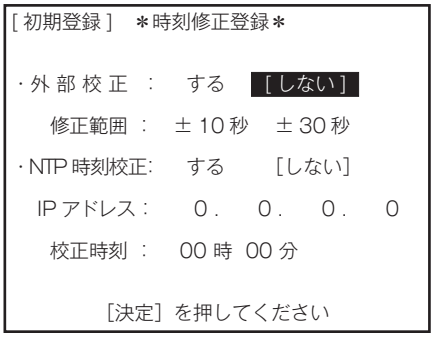
※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

3 ［**矢印**］ボタンで、「時刻修正登録」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・「時刻修正登録」画面になります。

● 「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。



4 「時刻修正登録」画面において、修正方法は、次の２種類があります。
■ 外部の親時計からの校正信号（接点信号）により修正する。
手順５へ進みます。
■ LAN 経由で NTP を使用して修正する。
手順６へ進みます。



5

［**矢印**］ボタンで、「外部校正：する」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

■修正方法は、次の２種類があります。

◆± 10 秒：50 秒から 10 秒以内で修正する。

下記以外のときは、修正されません。

・本装置の時計が０秒から 10 秒のときは、０秒に戻します。

・本装置の時計が 50 秒から 59 秒のときは、１分進めて０秒に戻します。

例：13 時 12 分８秒→ 13 時 12 分０秒

13 時 12 分 55 秒→ 13 時 13 分０秒

◆± 30 秒：± 30 秒で修正する。

・本装置の時計が０秒から 29 秒のときは、０秒に戻します。

・本装置の時計が 30 秒から 59 秒のときは、１分進めて０秒に戻します。

例：13 時 12 分 12 秒→ 13 時 12 分０秒

13 時 12 分 39 秒→ 13 時 13 分０秒

［初期登録］　＊時刻修正登録＊

・外部校正　：　［する］　しない

修正範囲　［± 10 秒］　± 30 秒

・NTP 時刻校正:　する　［しない］

IP アドレス：　０．　０．　０．　０

校正時刻　：　00 時　00 分

［決定］を押してください

5A

［**矢印**］ボタンで、修正範囲を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

●NTP 時刻校正の設定になります。

［初期登録］　＊時刻修正登録＊

・外部校正　：　［する］　しない

修正範囲　：［± 10 秒］　± 30 秒

・NTP 時刻校正:　する　［しない］

IP アドレス：　０．　０．　０．　０

校正時刻　：　00 時　00 分

［決定］を押してください

5B

［**決定**］ボタンを押します。

・「本体初期登録」画面に戻ります。

●「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。

＊本体初期登録＊

・年月日・時刻登録

・時刻修正登録

・ネットワーク登録

・ＬＡＮポート登録

・シリアル通信登録

［決定］を押してください

6

［**矢印**］ボタンで、「NTP 時刻校正：する」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

・IP アドレスの設定になります。

［初期登録］　＊時刻修正登録＊

・外部校正　：　する　［しない］

修正範囲　：　± 10 秒　±30 秒

・NTP 時刻校正:　［する］　しない

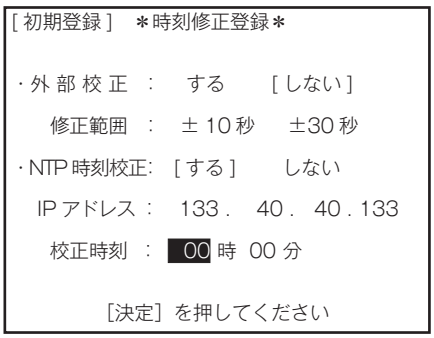
IP アドレス：　０．　０．　０．　０

校正時刻　：　00 時　00 分

［決定］を押してください

6A 接続するNTPサーバーのIPアドレスを入力して、［**決定**］ボタンを押します。

・校正時刻の設定になります。

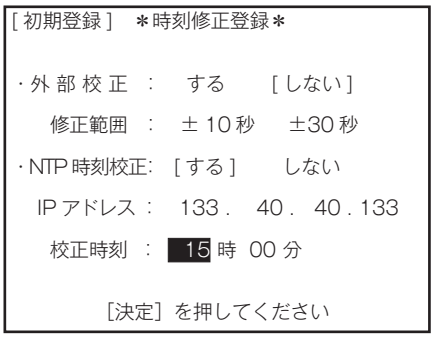


ワンポイント

●NTPサーバーのIPアドレスは、ご利用になるサーバーにより異なります。ネットワーク管理者にご確認のうえ設定してください。

6B 校正時刻を入力して、［**決定**］ボタンを押します。

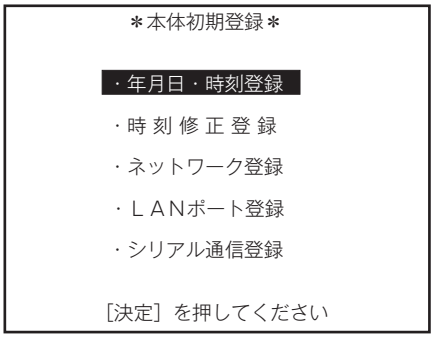
・「本体初期登録」画面に戻ります。

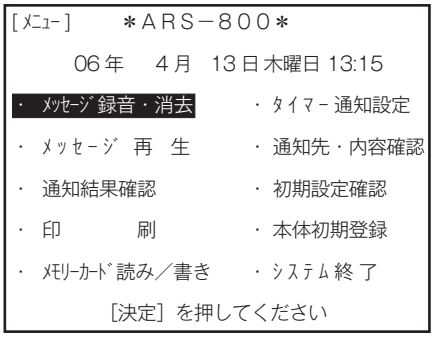


7 初期登録を終わるときは、［**戻る**］ボタン又は［**停止**］ボタンを押します。

・「メニュー」画面に戻ります。

●「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。



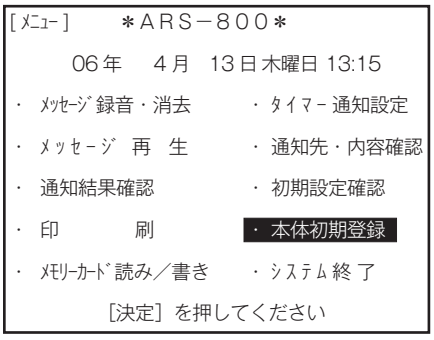


■ ネットワーク登録

● LAN 接続する場合、次の手順でネットワークの登録をしてください。

1 「メニュー」画面において、［**矢印**］ボタンで「本体初期登録」を選び［**決定**］ボタンを押します。

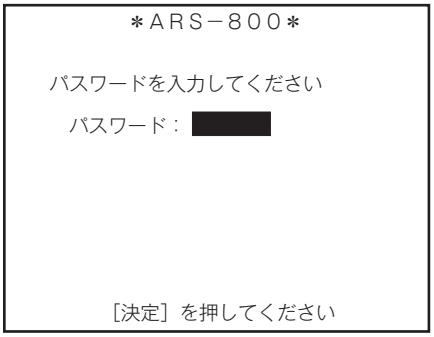
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。



2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。

・「本体初期登録」画面になります。

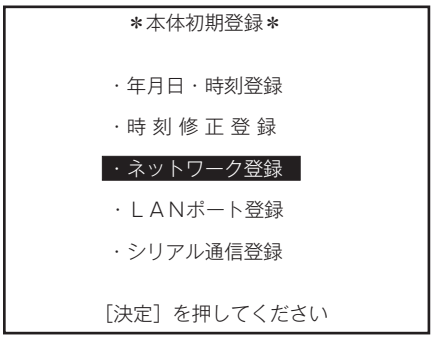
※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。



3 ［**矢印**］ボタンで、「ネットワーク登録」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

・「ネットワーク登録」画面になります。

● 「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。



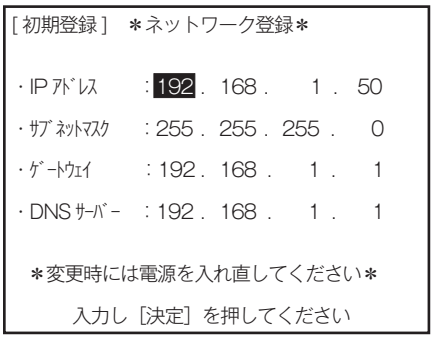
4 各項目の数値を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

［IP アドレス］
インターネットやイントラネットなどの IP ネットワークに接続されたコンピュータ 1 台 1 台に割り振られた識別番号でネットワーク管理者から、ARS-800/ARS-800F 用に提供された IP アドレスを設定します。

［サブネットマスク］
IP アドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のことでネットワーク管理者から提供されたサブネットマスクを設定します。
通常は、「255.255.255.0」を設定します。

［ゲートウェイ］
インターネットと相互に通信できるようにするためにネットワーク管理者から提供されたゲートウェイアドレスを設定します。
ゲートウェイを正常に設定することでインターネットと通信することができるようになります。
通常は、ゲートウェイを内蔵したルータまたは、コンピュータの IP アドレスを設定します。

［DNS サーバー］
DNS サーバーは、インターネット上のホスト名（メールアドレスなど）と、その IP アドレスを対応させる機能を持ったサーバーでネットワーク管理者または、プロバイダーから提供された DNS サーバーアドレスを設定します。



5 全て入力し終わったときは、［**戻る**］ボタンを押します。
・「本体初期登録」画面に戻ります。

［初期登録］ ＊ネットワーク登録＊

・IP ｱﾄﾞﾚｽ ：192 . 168 . 1 . 50
・ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ ：255 . 255 . 255 . 0
・ｹﾞｰﾄｳｪｲ ：192 . 168 . 1 . 10
・DNS ｻｰﾊﾞｰ ：192 . 168 . 1 . 20

＊変更時には電源を入れ直してください＊
入力し［決定］を押してください

6 初期登録を終わるときは、［**戻る**］ボタン又は［**停止**］ボタンを押します。
・「メニュー」画面に戻ります。

＊本体初期登録＊

・年月日・時刻登録
・時 刻 修 正 登 録
・ネットワーク登録
・ＬＡＮポート登録
・シリアル通信登録

［決定］を押してください

●「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。

［ﾒﾆｭｰ］ ＊ＡＲＳ－８００＊
06 年 4 月 13 日 木曜日 13:17

・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去 ・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再 生 ・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認 ・ 初期設定確認
・ 印 刷 ・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き ・ ｼｽﾃﾑ終 了

［決定］を押してください

■ 登録値を確定するときは、システムを終了し、再度電源を入れ直してください。

7 登録値を確定するためには、［**矢印**］ボタンで「システム終了」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。

［ﾒﾆｭｰ］ ＊ＡＲＳ－８００＊
06 年 4 月 13 日 木曜日 13:17

・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去 ・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再 生 ・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認 ・ 初期設定確認
・ 印 刷 ・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き ・ ｼｽﾃﾑ終 了

［決定］を押してください

8 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
・ システム終了画面になります。

※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

＊ＡＲＳ－８００＊

パスワードを入力してください

パスワード：

［決定］を押してください

9 システムを終了する場合は、［**矢印**］ボタンで「する」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・「システム終了中」を表示して約 15 秒後に電源ランプが消灯し、電源断となります。

＊ＴＡＫＡＣＯＭ＊

ＡＲＳ－８００

システム終了　する　しない

［決定］を押してください

＊ＴＡＫＡＣＯＭ＊

ＡＲＳ－８００

システム終了中

10 電源プラグを AC100V の電源コンセントから抜いて再度 AC100V の電源コンセントへ差込みます。
・ 電源ランプが点灯し、「システム起動中」が点滅します。
・ しばらくすると（電源を入れてから約１分）「メニュー」画面になります。

● 登録値が確定されます。

＊ＴＡＫＡＣＯＭ＊

ＡＲＳ－８００

システム起動中

［ﾒﾆｭｰ］　＊ＡＲＳ－８００＊

06 年　4 月　13 日 木曜日 13:20

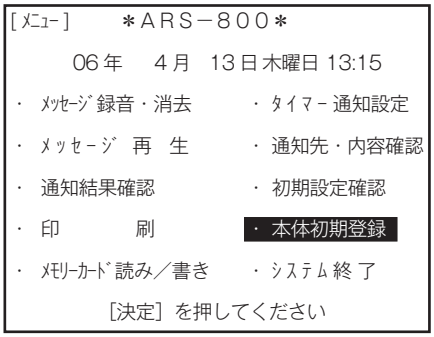
・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去	・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再　生	・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認	・ 初期設定確認
・ 印　　刷	・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き	・ ｼｽﾃﾑ 終 了

［決定］を押してください

■ ＬＡＮポート登録

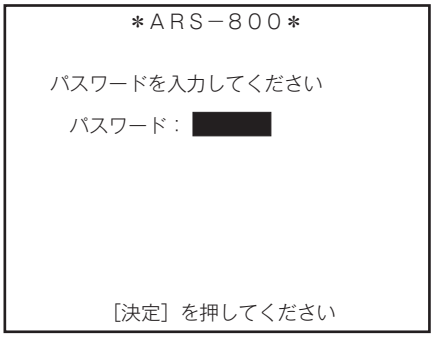
●LAN 接続する場合、次の手順でＬＡＮポートの登録をしてください。

1 「メニュー」画面において、［**矢印**］ボタンで「本体初期登録」を選び［**決定**］ボタンを押します。
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。



2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 「本体初期登録」画面になります。

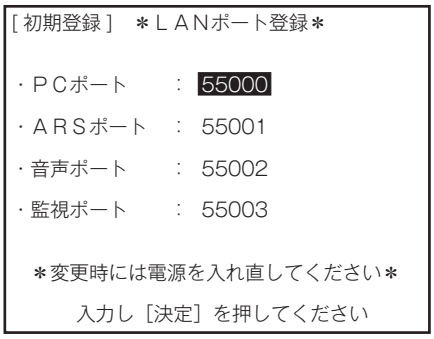
※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示されません。



3 ［**矢印**］ボタンで、「ＬＡＮポート登録」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 「ＬＡＮポート登録」画面になります。
・ 初期値が表示されます。

●「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。

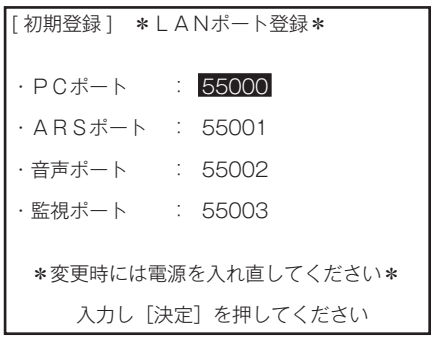
4 初期値から変更する場合は、各項目に数値を入力し、［**決定**］ボタンを押します。



ワンポイント

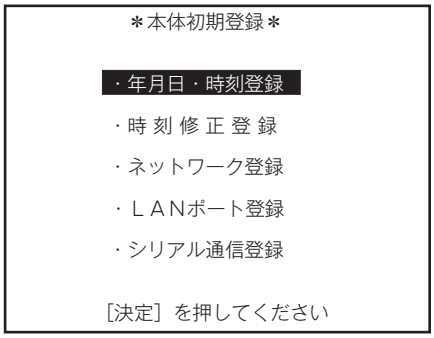
● 各ポートの値は、ネットワーク管理者から割り当てられたポート番号を設定します。また、この値は、制御用パソコンと同じ値を入力してください。

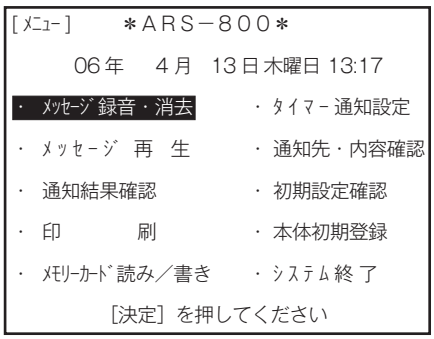
5 全て入力し終わったときは、［**戻る**］ボタンを押します。
・「本体初期登録」画面に戻ります。



6 初期登録を終わるときは、［**戻る**］ボタン又は［**停止**］ボタンを押します。
・「メニュー」画面に戻ります。

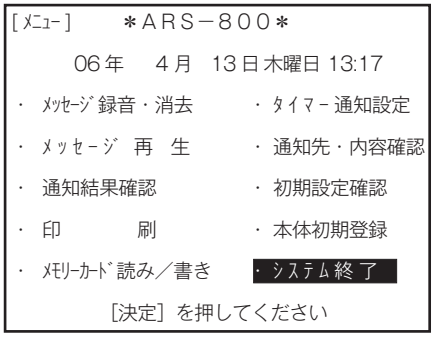
● 「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。





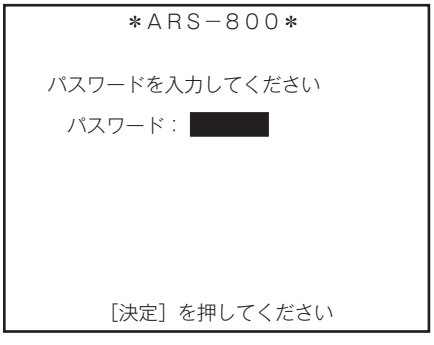
■ 登録値を確定するときは、システムを終了し、再度電源を入れ直してください。

7 登録値を確定するためには、［**矢印**］ボタンで「システム終了」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。



8 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
・ システム終了画面になります。

※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。



9 システムを終了する場合は、［**矢印**］ボタンで「する」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

・「システム終了中」を表示して約 15 秒後に電源ランプが消灯し、電源断となります。

＊TAKACOM＊
ARS－800
システム終了　する　しない
［決定］を押してください

＊TAKACOM＊
ARS－800
システム終了中

10 電源プラグを AC100V の電源コンセントから抜いて再度 AC100V の電源コンセントへ差込みます。

・電源ランプが点灯し、「システム起動中」が点滅します。
・しばらくすると（電源を入れてから約 1 分）「メニュー」画面になります。

＊TAKACOM＊
ARS－800
システム起動中

［ﾒﾆｭｰ］　＊ARS－800＊
06 年　4 月　13 日 木曜日 13:20
・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去　・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再 生　・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認　・ 初期設定確認
・ 印　刷　・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き　・ ｼｽﾃﾑ終 了
［決定］を押してください

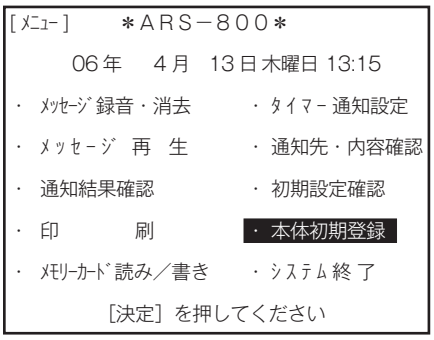
● 登録値が確定されます。

■ 連結登録

- 回線増設時に本体を連結して使用する場合、次の手順で装置の使用登録をしてください。
- 電源を入れる前に後面の機能設定スイッチで各装置番号を設定してください。装置番号の設定がないと「連結登録」の操作はできません。詳しくは「設置工事　本体の連結接続のしかた」（P.151）を参照してください。
- 連結登録は、装置番号 1 に設定した装置で「本体初期登録」から行ってください。

1 「メニュー」画面において、［**矢印**］ボタンで「本体初期登録」を選び［**決定**］ボタンを押します。

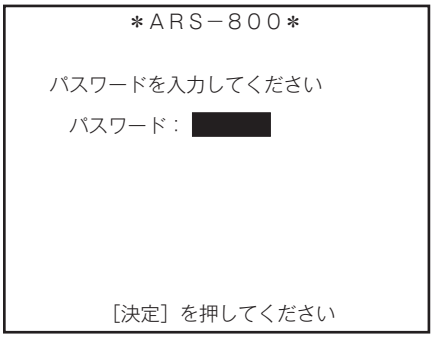
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。



2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。

・ 連結使用時の「本体初期登録」画面になります。

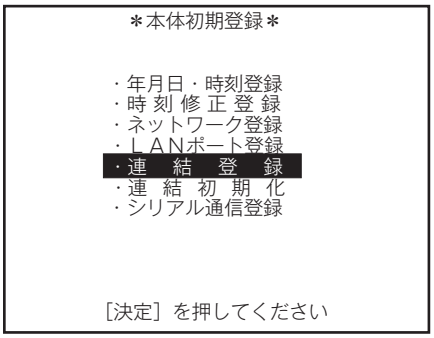
※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示されません。

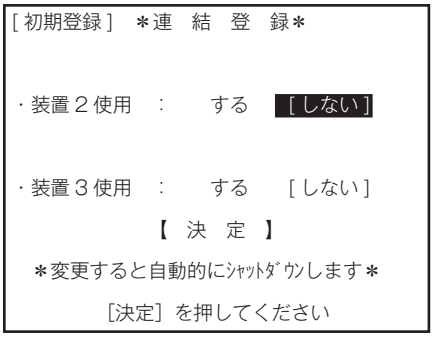


3 ［**矢印**］ボタンで、「連結登録」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

・「連結登録」画面になります。

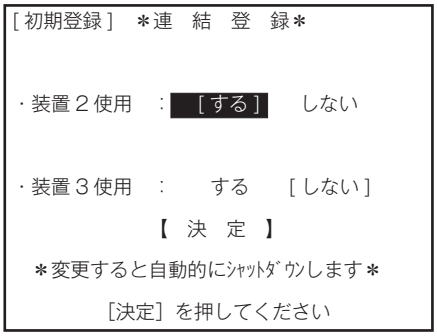
● 「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。





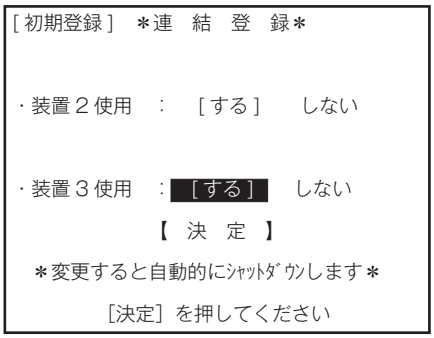
4 ［**矢印**］ボタンで、装置２使用「する」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

・ARS-800F でシリアル通信登録が設定されている場合は、連結登録の設定はできません。
決定ボタンを押すと、“RS-232C 制御時の連結設定はできません”を表示します。



5 続けて装置３使用「する／しない」を［**矢印**］ボタンで選択し、［**決定**］ボタンを押します。

・装置２使用「しない」の設定時は、装置３使用「する」は設定できません。

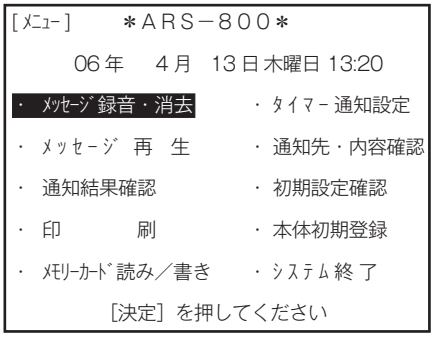


6 ［**矢印**］ボタンで「決定」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

・ 自動的に「システム終了中」を表示して約 15 秒後に電源ランプが消灯し、電源断となります。

7 電源プラグを AC100V の電源コンセントから抜いて再度 AC100V の電源コンセントへ差込みます。

・ 電源ランプが点灯し、「システム起動中」が点滅します。
・ しばらくすると（電源を入れてから約１分）「メニュー」画面になります。



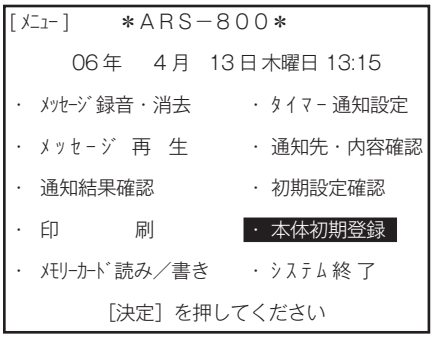
● 登録値が確定されます。

■ 連結初期化

- 本体を連結登録した場合は、次の手順で連結初期化をしてください。
- 連結初期化は、装置番号 1 に設定した装置で「本体初期登録」から行ってください。
- 連結初期化は、装置 2 および装置 3 を通電した状態で行ってください。

1 「メニュー」画面において、［**矢印**］ボタンで「本体初期登録」を選び［**決定**］ボタンを押します。

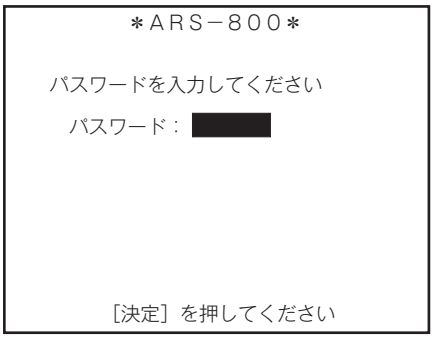
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。



2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。

・ 連結使用時の「本体初期登録」画面になります。

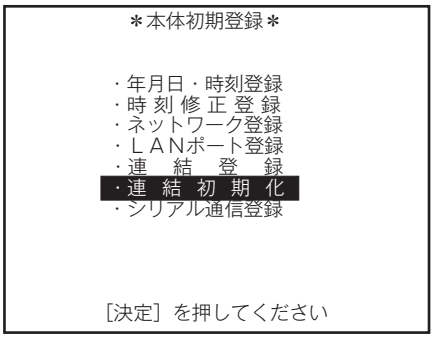
※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示されません。



3 ［**矢印**］ボタンで、「連結初期化」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

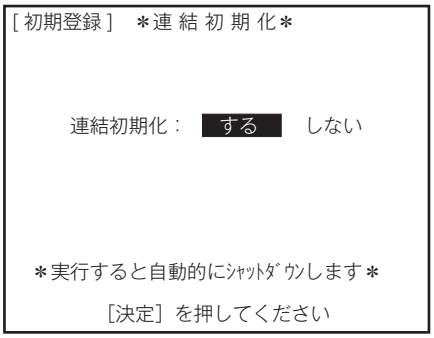
・ 「連結初期化」画面になります。

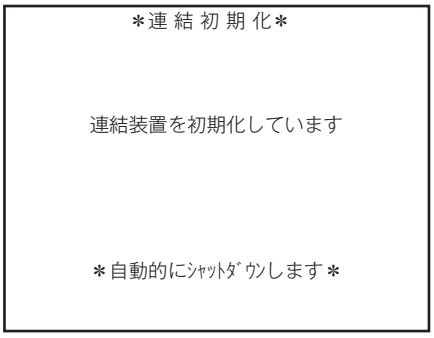
● 「シリアル通信登録」の項目は、ARS-800F のときに表示されます。



4 ［**矢印**］ボタンで連結初期化「する」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

・ 連結初期化中の画面が表示されます。





その後、自動的に「システム終了中」を表示して約 15 秒後に電源ランプが消灯し、電源断となります。

＊TAKACOM＊
ARS－800
システム終了中

● 連結された装置 2、装置 3 も自動的に電源断となります。

6 電源プラグを AC100V の電源コンセントから抜いて再度 AC100V の電源コンセントへ差込みます。
また連結された装置 2、装置 3 の電源も再度入れなおします。
- 電源ランプが点灯し、「システム起動中」が点滅します。
- しばらくすると（電源を入れてから約 1 分）「メニュー」画面になります。

＊TAKACOM＊
ARS－800
システム起動中
連結 - 装置 1

[ﾒﾆｭｰ] ＊ARS－800＊
06 年 4 月 13 日 木曜日 13:20
・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去 ・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再 生 ・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認 ・ 初期設定確認
・ 印 刷 ・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き ・ ｼｽﾃﾑ終 了
［決定］を押してください

● 登録値が確定されます。

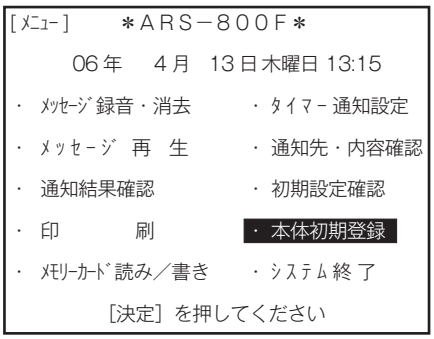
STOP お願い

● 本装置を複数台連結して使用する場合は、連結登録後に必ず連結初期化をしてください。
連結初期化を行わないと、各装置間でメッセージの不一致などのエラーが発生する場合があります。

■ シリアル通信登録 (ARS-800F のみ)

● シリアル通信の通信速度を登録します。

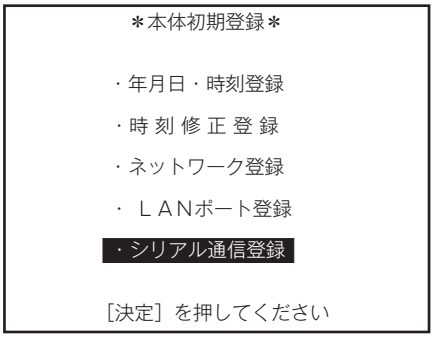
1 「メニュー」画面において、［**矢印**］ボタンで「本体初期登録」を選び［**決定**］ボタンを押します。
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。



2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 連結使用時の「本体初期登録」画面になります。

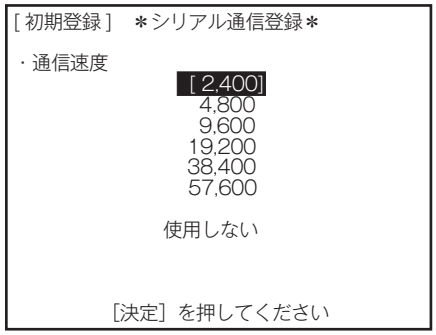
※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示されません。

3 ［**矢印**］ボタンで、「シリアル通信登録」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 「シリアル通信登録」画面になります。

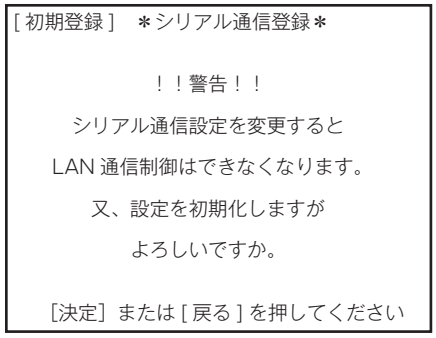


4 ［**矢印**］ボタンで、通信速度を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 決定ボタンを押すと、"連結設定時の RS-232C 制御はできません"を表示します。
・ シリアル通信登録の「警告」画面になります。

※ 連結登録が設定されている場合は、シリアル通信登録の設定はできません。



5 ［**決定**］ボタンを押します。
・ 「本体初期登録」画面になります。



6 初期登録を終わるときは、［**戻る**］ボタン又は［**停止**］ボタンを押します。

・ ピピピッと鳴って、以下のメッセージが表示されます。

・ 約２分間ボタン操作をしない場合も、以下のメッセージが表示されます。

【メッセージ】

“初期設定データがありません　メモリカードからデータを読み込んでください”

＊本体初期登録＊

・年月日・時刻登録

・時 刻 修 正 登 録

・ネットワーク登録

・ＬＡＮポート登録

・シリアル通信登録

［決定］を押してください

7 ［**決定**］ボタンを押します。

・「メニュー」画面に戻ります。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ＡＲＳ－８００Ｆ＊

初期設定データがありません

メモリーカードからデータを
読み込んでください

［決定］を押してください

● メモリーカードまたはホストパソコンからデータを読み込んでください。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ＡＲＳ－８００Ｆ＊

06 年　4 月　13 日 木曜日 13:15

・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去	・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再 生	・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認	・ 初期設定確認
・ 印　　刷	・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き	・ ｼｽﾃﾑ終 了

［決定］を押してください

STOP お願い

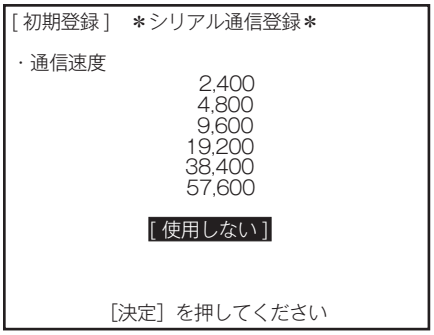
● シリアル通信の登録を「使用しない」から「通信速度」に設定すると、本体のデータはすべてクリアされます。
初期設定、通知先データなどの登録を行ってください。

● 通信速度を選択してシリアル通信制御で使用する場合は、LAN 経由での操作はできません。
また、本体を連結接続して使用することはできません。

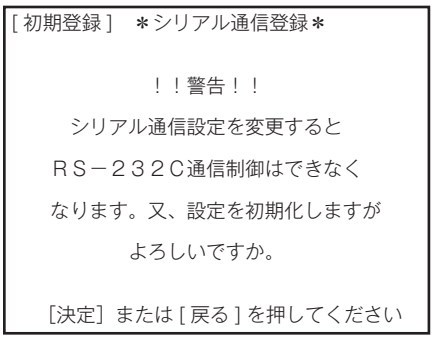
● シリアル通信制御から LAN 制御にする場合

1 シリアル通信登録 (ARS-800F のみ) の手順１～３を実施します。

2 ［**矢印**］ボタンで、「使用しない」を選択して［**決定**］ボタンを押します。
・ シリアル通信登録の「警告」画面になります。



3 ［**決定**］ボタンを押します。
・「本体初期登録」画面になります。



4 シリアル通信登録 (ARS-800F のみ) の手順６～７を実施します。

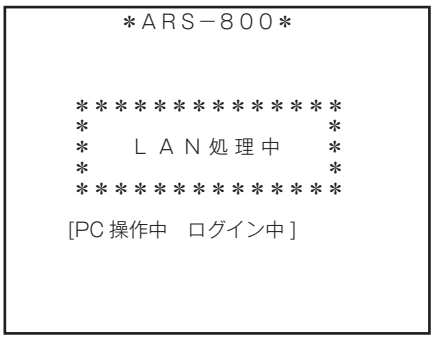
STOP お願い

● シリアル通信の登録を「通信速度」からに「使用しない」設定すると、本体のデータはすべてクリアされます。
初期設定、通知先データなどの登録を行ってください。
● ARS-800F はシリアル通信登録の工場出荷時設定が「2400」になっています。ARS-800F を LAN 制御で使用する場合は、設定を「使用しない」に変更してください。

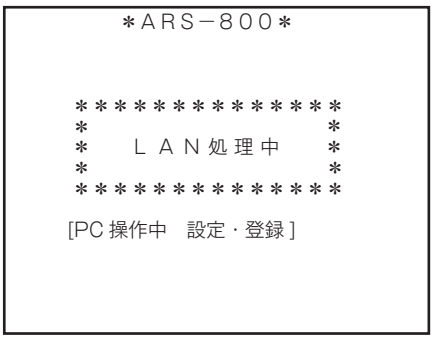
■ ＬＡＮ接続時の画面

ＬＡＮ接続時には、制御用パソコンからの操作によって下記の画面が表示されます。

● 制御用パソコンをログインした場合

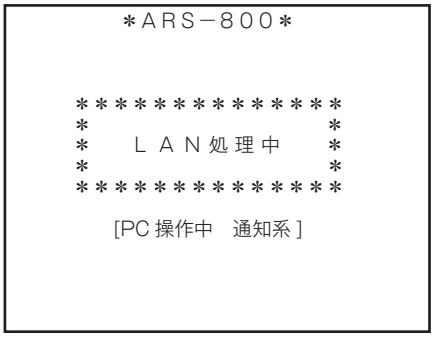


● 制御用パソコンの［**設定・登録**］ボタンをクリックした場合

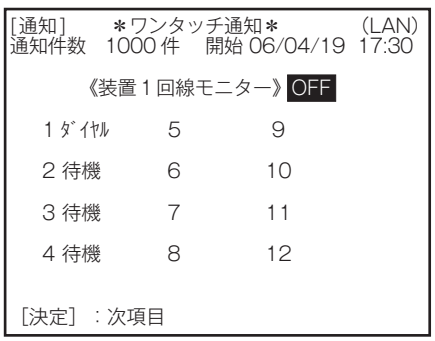


● 制御用パソコンの［**通知**］ボタンまたは［**ワンタッチ録音・メール**］ボタンをクリックした場合

・ 制御用パソコンの［**通知開始**］ボタンをクリックすると次の画面を表示します。

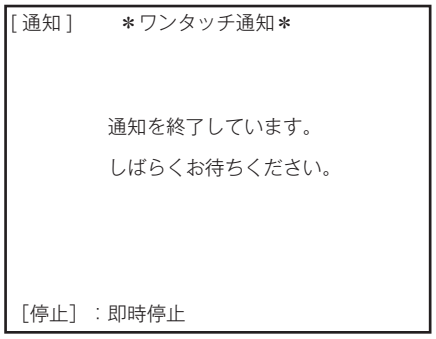


・ 制御用パソコンからの通知中は画面右上に（LAN）と表示します。



※ ワンタッチ通知の場合

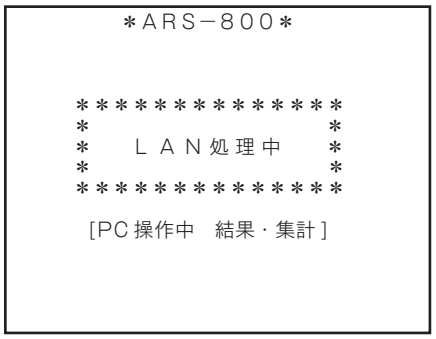
・制御用パソコンからの通知停止を行った場合
制御用パソコンの［**通知停止**］ボタンをクリックすると次の画面を表示します。



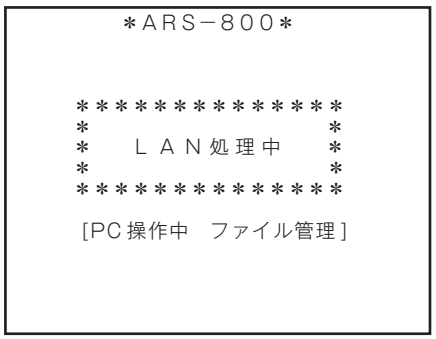
※ 左下の「［停止］：即時停止」は強制停止の時は表示されません。

● 本体の登録内容が更新されたときに制御用パソコンの内容を更新している場合

● ログインした状態で制御用パソコンの［**結果・集計**］ボタンをクリックした場合

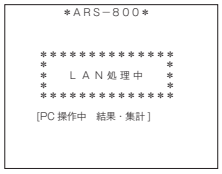


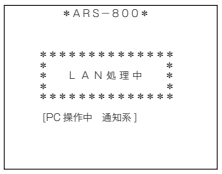
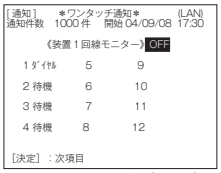
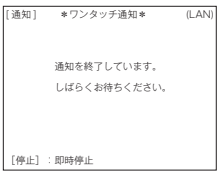
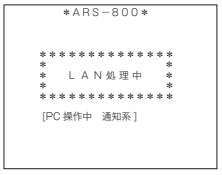
● ログインした状態で制御用パソコンの［**ファイル管理**］ボタンをクリックした場合



ワンポイント

● 制御用パソコンが本体より先に動作している場合の本体操作状況

本体の操作	制御用ﾊﾟｿｺﾝでｸﾘｯｸしたﾎﾞﾀﾝ			
	[設定・登録] ﾎﾞﾀﾝ	[結果・集計] ﾎﾞﾀﾝ	[ﾌｧｲﾙ管理] ﾎﾞﾀﾝ	ログイン
ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去 ﾒｯｾｰｼﾞ再生 通知結果確認 印刷 ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み / 書き ﾀｲﾏｰ通知設定 通知先・内容確認 初期設定確認 本体初期登録 ｼｽﾃﾑ終了 ﾘﾓｺﾝ操作 通知 (ﾜﾝﾀｯﾁ、ﾏﾆｭｱﾙ、ﾜﾝﾀｯﾁ録音・ﾒｰﾙ)	・制御用ﾊﾟｿｺﾝから本体にﾃﾞｰﾀ転送中 の画面が表示され、本体の操作はできません。 ・ﾃﾞｰﾀ転送が終了すると、「ﾒﾆｭｰ」画面に戻り、本体の操作ができます。	・結果・集計ﾃﾞｰﾀを本体から制御用ﾊﾟｿｺﾝに転送中  の画面が表示され、本体の操作はできません。 ・ﾃﾞｰﾀ転送が終了すると、「ﾒﾆｭｰ」画面に戻り、本体の操作ができます。	・[ﾌｧｲﾙ管理] でﾃﾞｰﾀを本体、制御用ﾊﾟｿｺﾝ間で読み込み、転送中 の画面が表示され、本体の操作はできません。 ・ﾃﾞｰﾀ転送が終了すると、「ﾒﾆｭｰ」画面に戻り、本体の操作ができます。	・本体から制御用ﾊﾟｿｺﾝにﾃﾞｰﾀ転送中 ・ﾃﾞｰﾀ転送が終了すると、「ﾒﾆｭｰ」画面に戻り、本体の操作ができます。

本体の操作	制御用ﾊﾟｿｺﾝでｸﾘｯｸしたﾎﾞﾀﾝ		
	[ﾜﾝﾀｯﾁ] または [通知] ﾎﾞﾀﾝ		[終了] ﾎﾞﾀﾝ
	通知前操作中	通知開始後	
ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去 ﾒｯｾｰｼﾞ再生 通知結果確認 印刷 ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み / 書き ﾀｲﾏｰ通知設定 通知先・内容確認 初期設定確認 本体初期登録 ｼｽﾃﾑ終了 ﾘﾓｺﾝ操作	 の画面が表示され、本体の操作はできません。	 ※ﾜﾝﾀｯﾁ通知の場合 ・画面右上に (LAN) と表示します。ただし、UPS など複合する場合は、点滅表示します。 ・[通知停止] ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸすると  の画面が表示され、本体の操作はできません。	本体の操作ができます。
通知 (ﾜﾝﾀｯﾁ、ﾏﾆｭｱﾙ、ﾜﾝﾀｯﾁ録音・ﾒｰﾙ)	 の画面が表示され、本体の操作はできません。	・ﾜﾝﾀｯﾁ通知での、ﾜﾝﾀｯﾁ番号の追加ができます。 ・通知画面の切り替えができます。	本体の操作ができます。

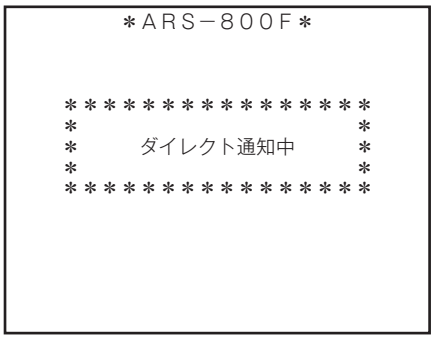
■ シリアル接続時の画面（ARS-800F のみ）

外部のホストパソコンを RS-232C 経由で接続して使用する場合には、ホストパソコンからの操作によって下記の画面が表示されます。

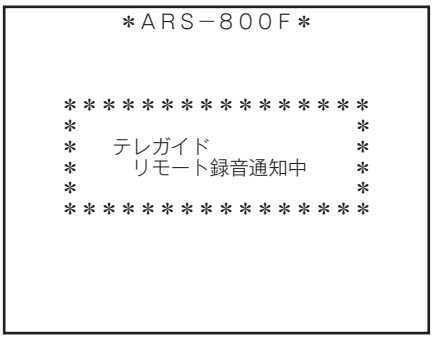
● ホストパソコンからワンタッチ通知起動時

● ホストパソコンからマニュアル通知起動時

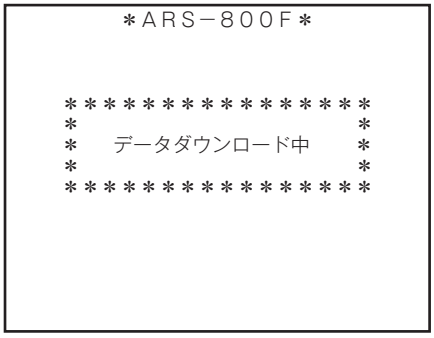
● ホストパソコンからダイレクト通知起動時



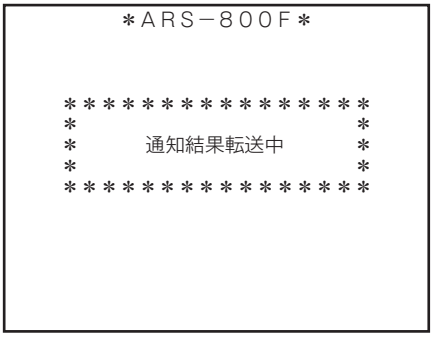
● ホストパソコンからテレガイド録音通知起動時



● ホストパソコンからデータダウンロード中



● ホストパソコンへの通知結果転送時



■ 連結接続時の画面

本体を連結接続して使用する場合には、通電時、待機時、本体初期登録時などの画面表示が下記の様に表示されます。
本文中の画面表示例を読み替えてください。

● 装置 1 通電時

＊ＴＡＫＡＣＯＭ＊

ＡＲＳ－８００

システム起動中
連結 - 装置 1

● 装置 1「本体初期登録」メニュー画面

・ARS-800 の場合

＊本体初期登録＊

・年月日・時刻登録

・時 刻 修 正 登 録

・ネットワーク登録

・ＬＡＮポート登録

・連　結　登　録

・連　結　初　期　化

［決定］を押してください

・ARS-800F の場合

＊本体初期登録＊

・年月日・時刻登録
・時 刻 修 正 登 録
・ネットワーク登録
・ＬＡＮポート登録
・連　結　登　録
・連　結　初　期　化
・シリアル通信登録

［決定］を押してください

● 装置 2、3 待機中およびシステム動作中画面

・連結装置 2

＊ＡＲＳ－８００＊

＊　　＊
＊　連結 - 装置2　＊
＊　　＊

・連結装置 3

＊ＡＲＳ－８００＊

＊　　＊
＊　連結 - 装置3　＊
＊　　＊

第 3 章

メッセージの録音・再生

メッセージの録音・再生

■ 録音の前に　＜あらかじめ知っていただきたいこと＞

通知用メッセージは、内蔵フラッシュメモリーへ録音して準備することができます。テープレコーダと同じ要領で、自由に録音・再生を繰り返すことができます。

録音時間／メッセージ数、種類／チャンネル番号について

● 録音時間は、最大約 25 分です。
● メッセージ数は、93 種類で、任意に録音／再生することができます。
● メッセージの種類は、下記のとおりです。

本人確認メッセージ	通知のとき、本人確認のための ID 番号入力を依頼する場合など情報メッセージより前に送出する通知メッセージです。 最大 5 種類まで録音できます。
情報メッセージ	通知の時、情報として伝えるためのメッセージです。最大 68 種類まで録音できます。
共通メッセージ	情報メッセージに続けて伝える 1 種類のメッセージです。
テレガイド用メッセージ	ARS-800F でテレガイド用として使用する 1 種類のメッセージです。
回答用メッセージ	回答入力の回答 1 から 4 で登録した番号をダイヤルした後に流れるメッセージです。 最大 6 種類まで録音できます。 固定は固定メッセージ (下表) の使用となります。
ガイダンス用メッセージ	あらかじめ録音された 10 種類の固定メッセージ (下表) です。 希望のガイダンスメッセージに変更録音することができます。 あらかじめ録音された固定メッセージに戻すときは、録音を消去します。
テスト発信用メッセージ	回線状態のチェック用に用いる 1 種類の通知メッセージです。
ワンタッチ録音用メッセージ	ワンタッチ録音して通知するときに使用するメッセージです。

番号	回答用固定メッセージ内容
1	回答 1 を受け付けました
2	回答 2 を受け付けました
3	回答 3 を受け付けました
4	回答 4 を受け付けました

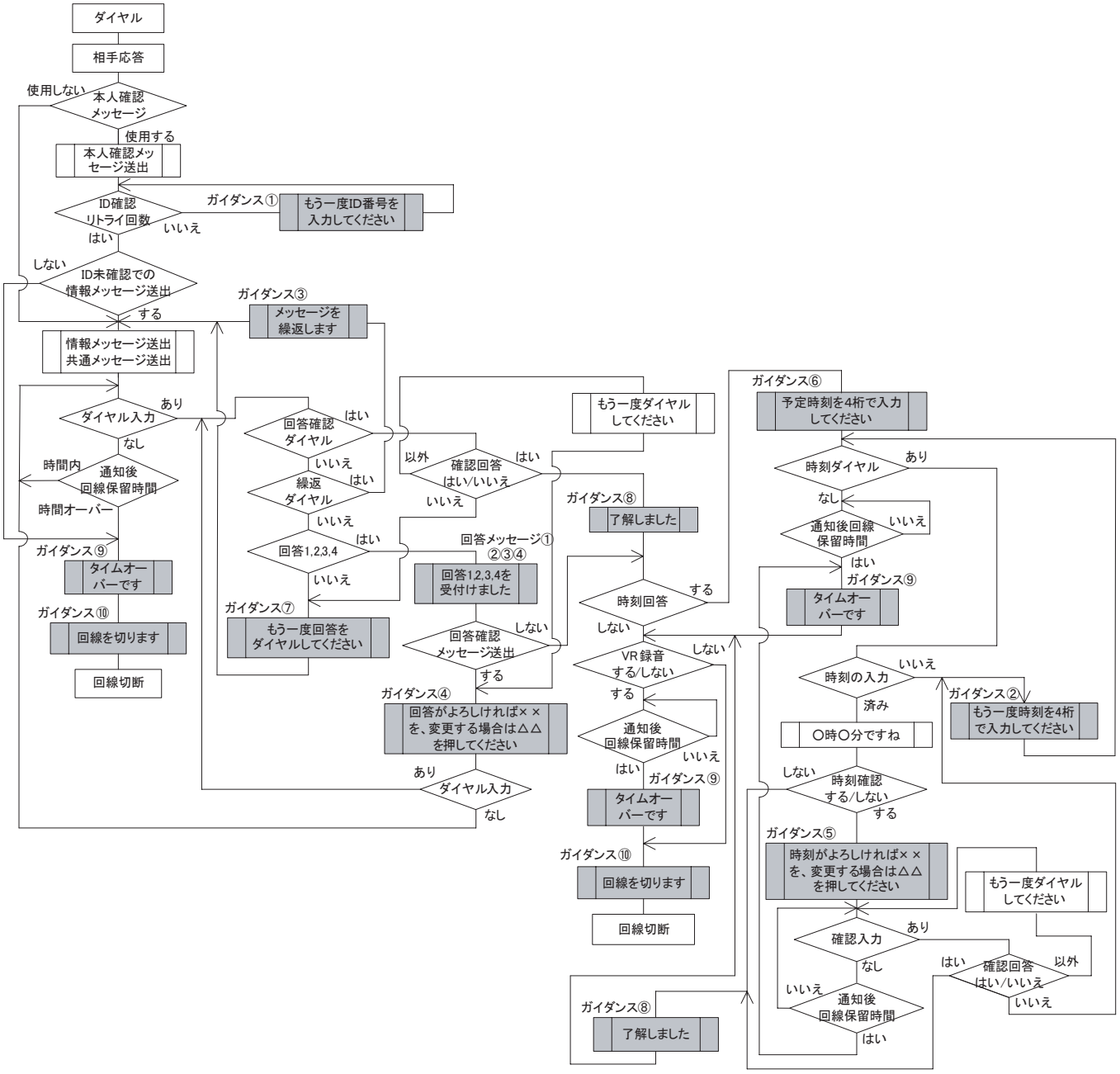
番号	ガイダンス用固定メッセージ内容
1	もう一度 ID 番号を入力してください
2	もう一度時刻を 4 桁で入力してください
3	メッセージを繰り返します
4	回答がよろしければ××を変更する場合は△△を押してください
5	時刻がよろしければ××を変更する場合は△△を押してください
6	予定時刻を 4 桁で入力してください
7	もう一度回答をダイヤルしてください
8	了解しました
9	タイムオーバーです
10	回線を切ります

● 個々のメッセージは、録音や再生をするときに該当するチャンネル (ch) 番号で指定します。

録音の残容量表示について	● 録音の操作中、ディスプレイに残容量 (残り時間 ×× 分△△秒) を表示します。

レベルメータについて	● マイクやテープレコーダの録音入力信号の大・小のレベルは、レベルメータで表示します。 適正レベル範囲で録音してください。

● 回答メッセージおよびガイダンスメッセージの送出タイミングフロー

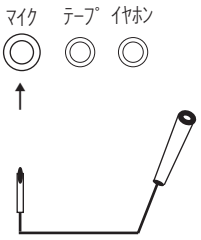


■ メッセージの録音／消去

● メッセージは、外部マイク・テープレコーダ・外部マイクとテープレコーダのミキシング・制御用パソコンによる録音の４通りの方法で録音できます。
なお、制御用パソコンによる録音については、取扱説明書「制御用パソコン編」を参照してください。

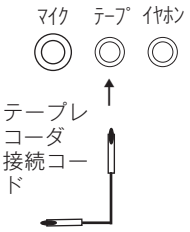
準備

外部マイクから録音するとき



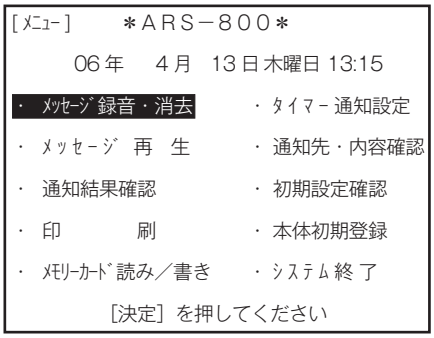
・マイクをマイクジャック (マイク) へ差込みます。

テープレコーダから録音するとき



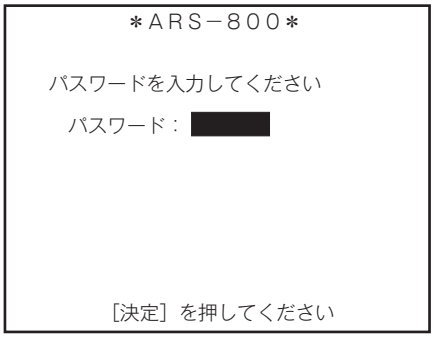
・テープレコーダ接続コードでテープレコーダの出力と本体のテープレコーダ入力ジャック (テープ) を接続します。

1 「メニュー」画面において、［**矢印**］ボタンで「ﾒｯｾｰｼﾞ録音･消去」を選び［**決定**］ボタンを押します。
・ パスワードが設定されている場合は、パスワードの画面になります。

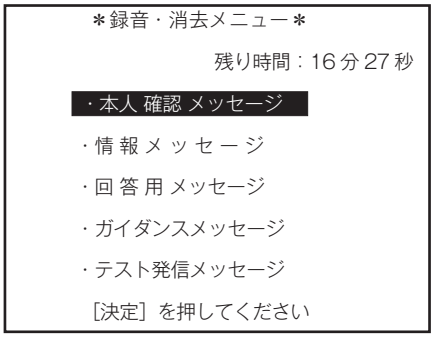


2 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 「録音・消去メニュー」画面になります。

※ パスワードを登録していないときは、この画面は表示されません。



3 ［**矢印**］ボタンで、録音／消去のメッセージ種別を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
・ 録音・消去チャンネルの入力待ちとなります。



4

［**矢印**］ボタンで、録音するときは「録音 ch」を、消去するときは「消去 ch」を選びます。

■ 録音するときは、手順５へ進みます。

■ 消去 (ﾁｬﾝﾈﾙごと) するときは、手順９へ進みます。

■ 消去 (種別ごとの全消去) するときは、手順 13 へ進みます。

● 各チャンネルの現在の状態と、残り時間（録音可能時間）を表示します。

● 録音時間が 1 秒以上を表示しているチャンネルは、現在すでに録音されていることを表します。

● メッセージ名は、制御用パソコンからしか登録できません。

● 7ch 以降の表示は、画面右下に「▼」を表示し［**矢印**］ボタンで画面をスクロールします。

［本人確認］　＊録　音・消　去＊

ch	録音時間	ﾒｯｾｰｼﾞ名
1：	6 秒	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ
2：	12 秒	本人確認２
3：	5 秒	
4：	6 秒	
5：	6 秒	

残り時間：16 分 27 秒

録音 ch：［ ］　消去 ch：［ ］

ch 番号を入力し決定を押してください

5

録音

録音チャンネルの指定

［**数字**］ボタンで、録音するチャンネル番号を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

● テープレコーダから録音するときは、ここでテープレコーダを再生状態にすると、本体のスピーカでモニターできます。

［本人確認］　＊録　音・消　去＊

ch	録音時間	ﾒｯｾｰｼﾞ名
1：	6 秒	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ
2：	12 秒	本人確認２
3：	5 秒	
4：	6 秒	
5：	6 秒	

残り時間：16 分 27 秒

録音 ch：［2］　消去 ch：［ ］

ch 番号を入力し決定を押してください

6

録音のスタート

録音を開始するとき、［**決定**］ボタンを押します。

■ テープレコーダから録音するときは、テープレコーダを再生状態にし、メッセージの冒頭に合わせて、［**決定**］ボタンを押します。

● 録音経過時間を順次表示します。

● レベルメータの表示が「0」付近の音量で録音してください。

［本人確認］　＊録　音＊

ﾒｯｾｰｼﾞ名　：本人確認 2

ﾒｯｾｰｼﾞ ch　：2

録音経過時間　0 秒

録音可能時間　16 分　39 秒

－　0　＋

［決定］を押すと録音します

7

録音の終了

録音を終了するときは、［**戻る**］ボタンを押します。

・手順４の画面に戻ります。

［本人確認］　＊録　音＊

ﾒｯｾｰｼﾞ名　：本人確認２

ﾒｯｾｰｼﾞ ch　：2

録音経過時間　6 秒

録音可能時間　16 分　33 秒

－　0　＋

終了は［戻る］を押してください

8

続いて、他のチャンネルを録音するときは、手順５～７を繰り返します。

また、続けて他のメッセージ種別を録音・消去するときは、［**戻る**］ボタンを繰り返し押し、手順３から行います。

録音操作を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

・［**停止**］ボタンを押したときは、メニュー画面になります。

［本人確認］　＊録　音・消　去＊

ch	録音時間	ﾒｯｾｰｼﾞ名
1：	6 秒	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ
2：	12 秒	本人確認２
3：	5 秒	
4：	6 秒	
5：	6 秒	

残り時間：16 分 27 秒

録音 ch：［ ］　消去 ch：［ ］

ch 番号を入力し決定を押してください

9 消去 (チャンネルごと)

消去チャンネルの入力

［**数字**］ボタンで、消去したいチャンネル番号を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

［本人確認］　＊録　音・消　去＊

ch	録音時間	ﾒｯｾｰｼﾞ名
1：	6 秒	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ
2：	12 秒	本人確認２
3：	5 秒	
4：	6 秒	
5：	6 秒	

残り時間：16 分 15 秒

録音 ch：［　］　消去 ch：［3］

消去しますか：［決定］

10

●「消去しますか：［決定］」の表示がでます。

11

メッセージの消去

消去するチャンネル番号を確認し、［**決定**］ボタンを押します。

●「ピー」と音がして、消去したチャンネルの録音時間が 0 秒になり、以後《未録音》の表示になります。ただし、メッセージ名の登録があればメッセージ名を表示します。
●「残り時間」が増加します。
●手順 4 の画面に戻ります。

［本人確認］　＊録　音・消　去＊

ch	録音時間	ﾒｯｾｰｼﾞ名
1：	6 秒	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ
2：	12 秒	本人確認２
3：	0 秒	《未録音》
4：	6 秒	
5：	6 秒	

残り時間：16 分 20 秒

録音 ch：［　］　消去 ch：［　］

ch 番号を入力し決定を押してください

12

続けて、ほかのチャンネルを消去するときは、手順 10 ～ 11 を繰り返します。

消去操作を終わるときは、［**停止**］ボタンを押します。

●「メニュー」画面になります。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ＡＲＳ－８００＊

06 年　4 月　13 日木曜日 13:25

・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去	・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再 生	・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認	・ 初期設定確認
・ 印　　刷	・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き	・ ｼｽﾃﾑ終 了

［決定］を押してください

13 消去 (種別ごとの全消去)

消去 ch に［**数字**］ボタンで、「0」を入力します。

［本人確認］　＊録　音・消　去＊

ch	録音時間	ﾒｯｾｰｼﾞ名
1：	6 秒	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ
2：	12 秒	本人確認２
3：	5 秒	
4：	6 秒	
5：	6 秒	

残り時間：16 分 15 秒

録音 ch：［　］　消去 ch：［0］

ch 番号を入力し決定を押してください

14 ［**決定**］ボタンを押します。
全消去することを確認します。

●「すべて消去しますか：［決定］」の表示がでます。

［本人確認］　＊録　音・消　去＊

ch	録音時間	ﾒｯｾｰｼﾞ名
1：	6 秒	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ
2：	12 秒	本人確認２
3：	5 秒	
4：	6 秒	
5：	6 秒	

残り時間：16 分 15 秒

録音 ch：［　］　消去 ch：［０］

すべて消去しますか：［決定］

15 ［**決定**］ボタンを押します。

●「ピー」と音がして、全てのチャンネルの録音時間が０秒になり、以後《未録音》の表示になります。ただし、メッセージ名の登録があればメッセージ名を表示します。
●「残り時間」が増加します。

［本人確認］　＊録　音・消　去＊

ch	録音時間	ﾒｯｾｰｼﾞ名
1：	０秒	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ
2：	０秒	本人確認２
3：	０秒	《未 録音》
4：	０秒	《未 録音》
5：	０秒	《未 録音》

残り時間：16 分 50 秒

録音 ch：［■］　消去 ch：［　］

ch 番号を入力し決定を押してください

16 続けて、ほかのメッセージ種別を全消去するときは、［**戻る**］ボタンを押して手順４に戻ってメッセージ種別を変更し、手順 13 ～ 15 を繰り返します。
消去操作を終わるときは、［**停止**］ボタンを押します。

●「メニュー」画面になります。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ＡＲＳ－８００＊

06 年　４月　13 日 木曜日 13:30

・ ﾒｯｾｰｼﾞ 録音・消去	・ ﾀｲﾏｰ 通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再　生	・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認	・ 初期設定確認
・ 印　　刷	・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き	・ ｼｽﾃﾑ 終 了

［決定］を押してください

● 録音チャンネルまたは消去チャンネルの入力を間違えたときは
→［**クリア**］ボタンを押し、入力をやり直します。
● 録音をやり直すときは
→手順 1 から操作します。

ワンポイント

● 共通メッセージについて
・ 電話での通知時に、通知先に伝える情報メッセージの後に共通のメッセージを追加することができます。
例えば、出動の可否を選択入力する数字などの定型的なメッセージを作成しておけば、情報メッセージに続けて自動的に送出することができます。
・ 共通メッセージは情報チャンネルの 69 チャンネルに録音します。手順６で「69」を選択してください。

● テレガイド用メッセージについて（ARS-800F のみ）
・ ARS-800F でホストパソコンからのテレガイド用メッセージは、情報メッセージの 70 チャンネルに録音されます。テレガイド装置（サービスホン TS-400）との連動で使用する場合は、通知メッセージチャンネルを 70 チャンネルに設定してください。

ワンポイント

● スピーカモニター
- 手順６のときのスピーカモニターは、テープレコーダから録音する場合のみできます。
  ミキシング録音やマイク録音の場合は、ハウリング防止のため、スピーカモニターはできません。

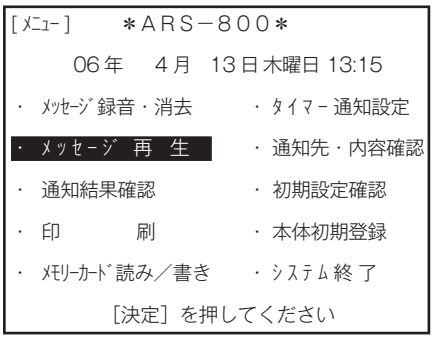
● テープレコーダについて
- 再生出力が小さいテープレコーダ (ヘッドホン式テープレコーダ等) では、メッセージが小さくしか録音できない場合があります。
- テープレコーダは、再生出力が「− 6dBm から＋ 4dBm」の規格のものをご使用ください。
- 本体前面の「テープジャック」と本体背面の「テープ入力ジャック」は、同じ条件でテープレコーダを接続できます。

● 録音時間／残り時間について
- 各チャンネルの録音時間は、メッセージの区切りを付けるため、実際の録音時間にプラスアルファ（約 0.5 ～ 1.5 秒）された時間が表示されます。
- 残り時間は、本装置の方式上、全録音時間（録音容量）から各チャンネルの録音済み時間の合計を差し引いた時間と、若干の誤差が生じます。

■ メッセージの再生

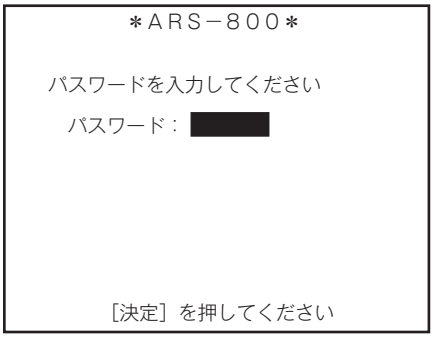
録音したメッセージは、チャンネルごとに再生し、スピーカで聞くことができます。

1 「メニュー」画面。



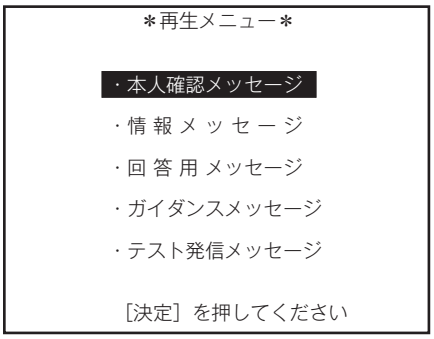
2 ［**矢印**］ボタンで「ﾒｯｾｰｼﾞ再生」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります。

● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。



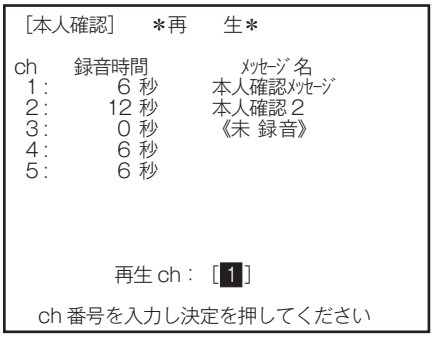
3 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
「再生メニュー」画面になります。

● 再生のメッセージ種類の選択待ちになります。



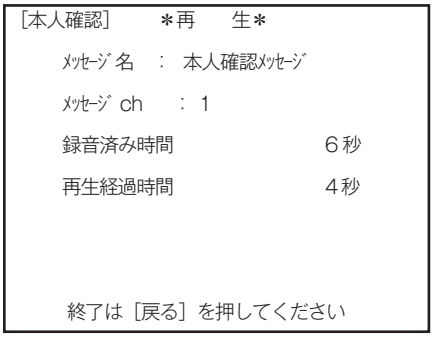
4 ［**矢印**］ボタンで再生のメッセージ種別を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

● 再生チャンネルの入力待ちとなります。
● 各チャンネルの現在の状態を表示します。
● 録音時間が 1 秒以上を表示しているチャンネルは、現在すでに録音されていることを表します。
● 7ch 以降の表示は、画面右下に「▼」を表示し［矢印］ボタンで画面をスクロールします。



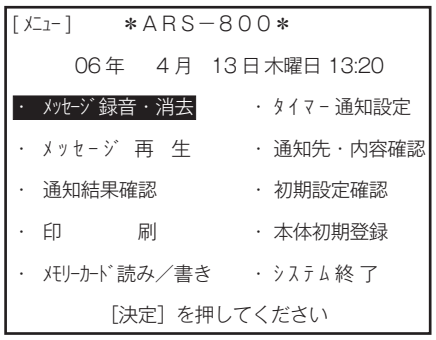
5 再生したいチャンネル番号を、［**数字**］ボタンで入力し、［**決定**］ボタンを押します。

● スピーカから録音内容が聞こえます。
● ［**音量つまみ**］を回し、適当な音量で再生してください。
● 再生経過時間が表示されます。
● メッセージ再生が終了すると、自動的に再生を停止し、手順 4 の画面になります。



6 続いて、ほかのチャンネルを再生するときは、手順５を繰り返します。
再生動作を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。



ワンポイント

- 再生チャンネルの入力を間違えたときは
  →［**クリア**］ボタンを押し、手順４からやり直します。
- 再生を途中で止めるときは
  →［**戻る**］ボタンを押します。手順４の画面になります。
  →もう一度、［**戻る**］ボタンを押すと、「再生メニュー」画面に戻ります。
  →もう一度、［**戻る**］ボタンを押すと、「メニュー」画面に戻ります。
- 本体装置を連結接続で使用しているときは、各々の装置からメッセージが再生されます。装置ごとにボリュームを調整して確認します。

第４章

データの登録･保存･確認

データの登録

■ データ登録について

● 登録方法には、次の方法があります。

A　制御用パソコンによる登録	本体と「ログイン」状態にある制御用パソコンの操作により、データを登録する方法です。 データは、制御用パソコンと同じネットワーク（LAN）上にある本体の内蔵フラッシュメモリに書き込まれます。

B　メモリーカードによる登録	制御用パソコンにより登録されたデータをメモリーカードに保存し、そのメモリーカードを本体に差込み、本体の内蔵フラッシュメモリーに保存する方法です。

C　ホストパソコンによる登録 (ARS-800F のみ)	ホストパソコンで作成したデータを、本体の「シリアルポート 1」を介して、読み込む方法です。

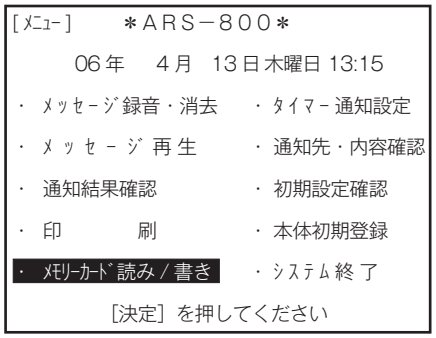
■ 制御用パソコンによる登録

取扱説明書「制御用パソコン編　登録・設定」をご覧ください。

■ メモリーカードによる登録

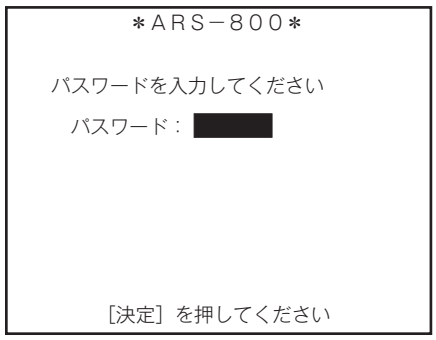
メモリーカードに保存してある通知データ、ポケットベルデータ、メールデータ、初期登録データなどを本体へ登録することができます。

1 「メニュー」画面。
メモリーカードをコンパクトフラッシュカード挿入口に挿入します。



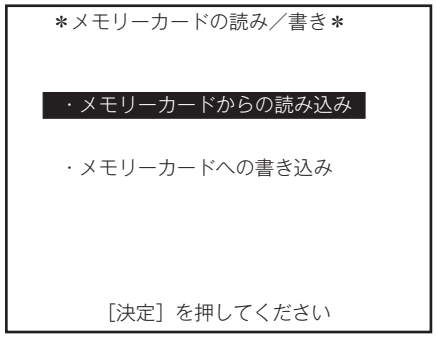
2 ［**矢印**］ボタンで「ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります。

● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。



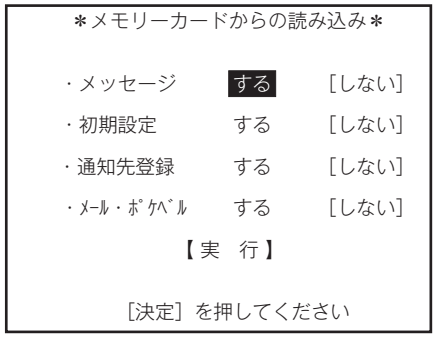
3 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
「メモリカードの読み／書き」画面になります。

● 読み込み／書き込みの選択待ちになります。

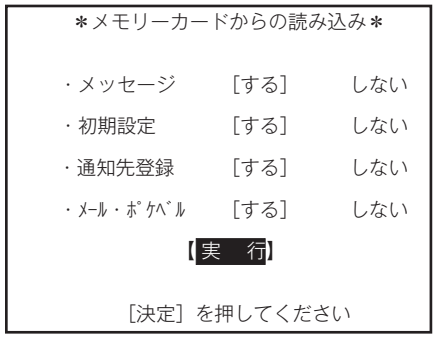


4 ［**矢印**］ボタンで「メモリーカードからの読み込み」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

● 読み込みする登録データの選択待ちになります。



5 ［**矢印**］ボタンで読み込む登録データを選択し、読み込みを「する／しない」を選択します。
［**決定**］ボタンを押します。



6 メモリーカードからの読み込み

［**矢印**］ボタンで「実行」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

● 各項目のメモリーカードからの読み込みが実行されます。

＊メモリーカードからの読み込み＊

カードを読み込んでいます
カードに触れないでください

現在読み込み中
［初期設定］

しばらくお待ちください

7 読み込みの終了

● 読み込みが終了すると、手順３の画面に戻ります。

＊メモリーカードの読み／書き＊

・メモリーカードからの読み込み

・メモリーカードへの書き込み

［決定］を押してください

8 メモリーカードからの読み込みを終了するときは、［**戻る**］ボタンまたは［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ＡＲＳ－８００＊

06 年　4 月　13 日 木曜日 13:20

・ ﾒｯｾｰｼﾞ 録音・消去	・ ﾀｲﾏｰ 通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再　生	・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認	・ 初期設定確認
・ 印　　刷	・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ 読み／書き	・ ｼｽﾃﾑ 終 了

［決定］を押してください

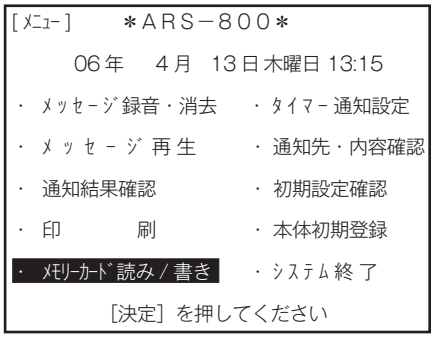
■ ホストパソコンによる登録（ARS-800F のみ）

シリアルポート (RS-232C) で接続された外部のパソコンで作成したデータを本体へ登録する方法です。
この場合、外部パソコンに制御のための別ソフトが必要となります。
シリアル通信の仕様については、「ARS-800F RS-232C インターフェース仕様書」を参照してください。

データの保存

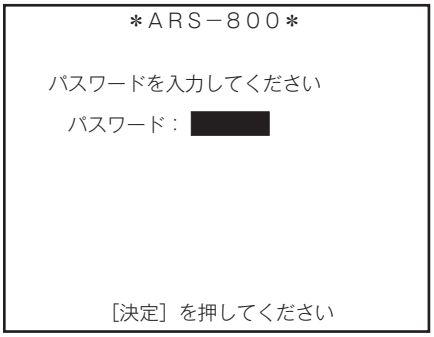
本体に登録されている通知データ、ポケットベルデータ、メールデータ、初期設定データなどをメモリーカードに保存することができます。

1 「メニュー」画面。
メモリーカードをコンパクトフラッシュカード挿入口に挿入します。



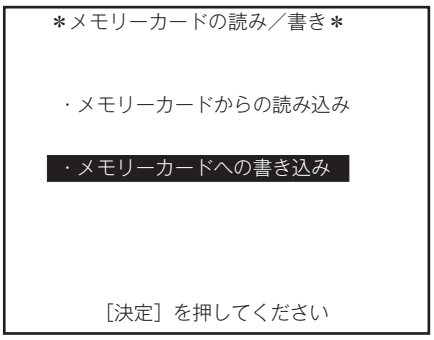
2 ［**矢印**］ボタンで「ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み / 書き」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります。

● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。



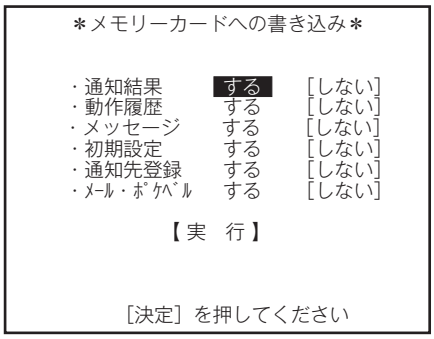
3 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
「メモリカードの読み／書き」画面になります。

● 読み込み／書き込みの選択待ちになります。

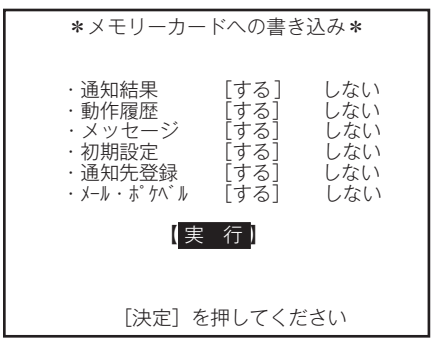


4 ［**矢印**］ボタンで「メモリーカードへの書き込み」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

● 書き込みする登録データの選択待ちになります。



5 ［**矢印**］ボタンで書き込む登録データを選択し、書き込みを「する／しない」を選択します。
［**決定**］ボタンを押します。



6 メモリーカードへの書き込み

［**矢印**］ボタンで「実行」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

● 各項目のメモリーカードへの書き込みが実行されます。

＊メモリーカードへの書き込み＊

カードに書き込んでいます
カードに触れないでください

現在書き込み中
［初期設定］

しばらくお待ちください

7 書き込みの終了

● 書き込みが終了すると、手順３の画面に戻ります。

＊メモリーカードの読み／書き＊

・メモリーカードからの読み込み

・メモリーカードへの書き込み

［決定］を押してください

8

メモリーカードへの書き込みを終了するときは、［**戻る**］ボタンまたは［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ＡＲＳ－８００＊

06年　4月　13日木曜日 13:20

・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去	・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再 生	・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認	・ 初期設定確認
・ 印 刷	・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き	・ ｼｽﾃﾑ終 了

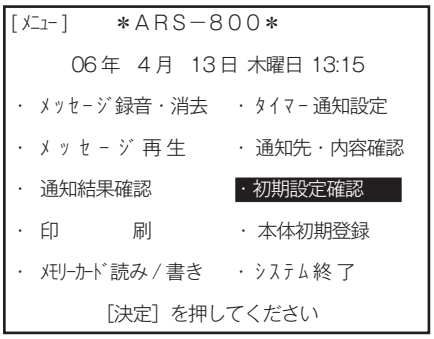
［決定］を押してください

登録データの確認

■ 初期設定の確認

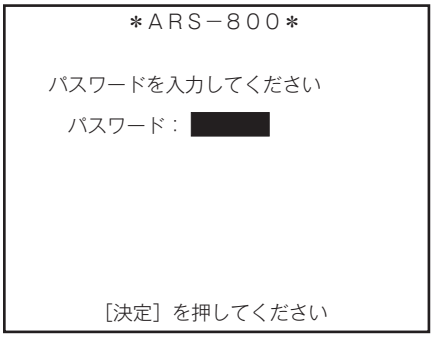
● 制御用パソコンで登録され、本体の内蔵フラッシュメモリーに保存された初期設定の登録データを本体で確認することができます。
登録データの内容については、「取扱説明書　制御用パソコン編　概要　登録一覧表 (P.15)」を参照してください。

1 「メニュー」画面。



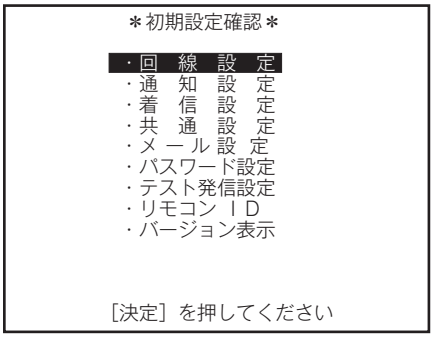
2 ［**矢印**］ボタンで「初期設定確認」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります。

● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。



3 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
「初期設定確認」画面になります。

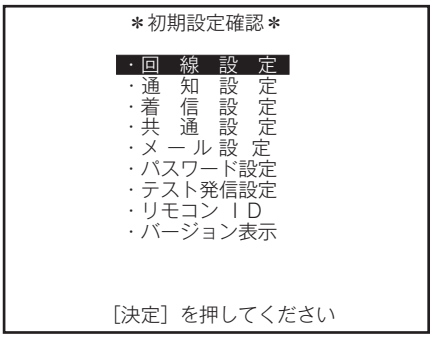
● 確認する項目の選択待ちとなります。



4

［**矢印**］ボタンで
- 回線設定の確認 ･･･「回線設定」
- 通知設定の確認 ･･･「通知設定」
- 着信設定の確認 ･･･「着信設定」
- 共通設定の確認 ･･･「共通設定」
- メール設定の確認 ･･･「メール設定」
- パスワード設定の確認 ･･･「パスワード設定」
- テスト発信設定の確認 ･･･「テスト発信設定」
- リモコンＩＤ設定の確認 ･･･「リモコンＩＤ設定」
- バージョンの確認 ･･･「バージョン表示」

を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

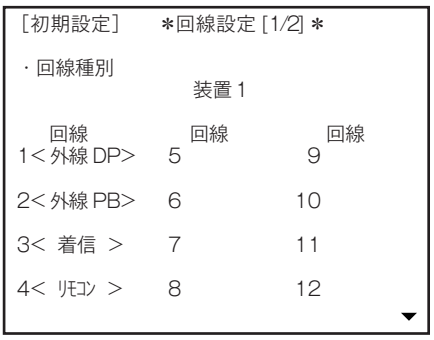


■ 回線設定の確認は手順５へ進みます。
■ 通知設定の確認は手順８へ進みます。
■ 着信設定の確認は手順 10 へ進みます。
■ 共通設定の確認は手順 11 へ進みます。
■ メール設定の確認は手順 13 へ進みます。
■ パスワード設定の確認は手順 15 へ進みます。
■ テスト発信設定の確認は手順 16 へ進みます。
■ リモコンＩＤ設定の確認は手順 17 へ進みます。
■ バージョンの確認は手順 18 へ進みます。

5

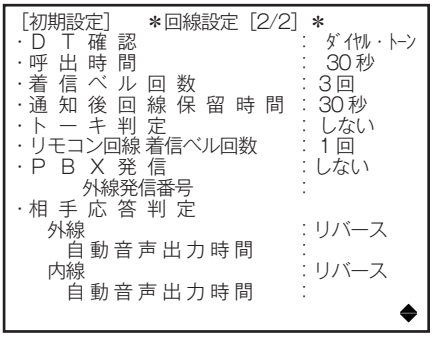
回線設定

［**矢印▼**］ボタンで次の画面に移ります。



6

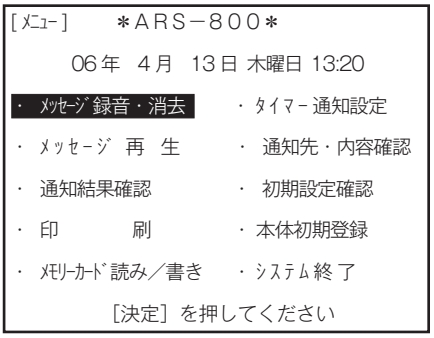
［**矢印▼**］ボタンを押し、「回線設定 2/2」まで確認します。
・本体を連結している場合は、「回線設定 4/4」まで確認します。
［**矢印▲**］ボタンを押すことにより、前の画面に戻ります。
［**戻る**］ボタンで手順４の画面に戻ります。


［初期設定］　＊回線設定 [2/2] ＊
・Ｄ Ｔ 確 認　：ﾀﾞｲﾔﾙ・ﾄｰﾝ
・呼 出 時 間　：30秒
・着 信 ベ ル 回 数　：3回
・通 知 後 回 線 保 留 時 間　：30秒
・ト ー キ 判 定　：しない
・リモコン回線着信ベル回数　：1回
・Ｐ Ｂ Ｘ 発 信　：しない
外線発信番号　：
・相 手 応 答 判 定
外線　：リバース
自 動 音 声 出 力 時 間　：
内線　：リバース
自 動 音 声 出 力 時 間　：

7

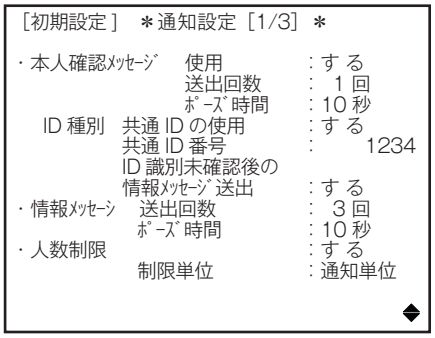
確認を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。



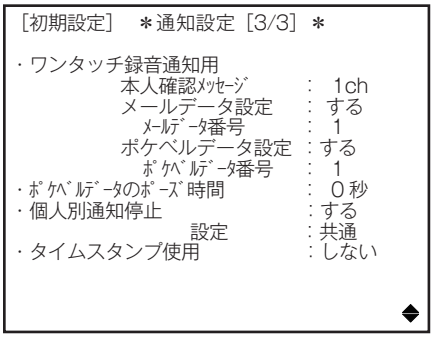
8 通知設定

［**矢印▼**］ボタンで次の画面に移ります。



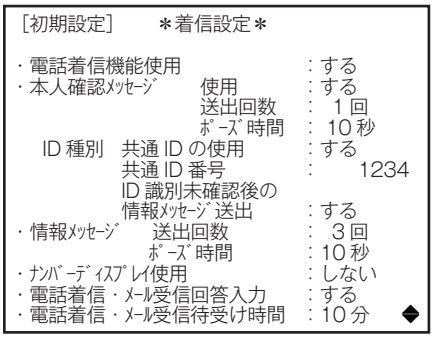
9

［**矢印▼**］ボタンを繰り返し押し、「通知設定 3/3」まで確認します。
［**矢印▲**］ボタンを押すことにより、前の画面に戻ります。
［**戻る**］ボタンで手順 4 の画面に戻ります。
■確認を終了するときは、手順 7 を実施します。



10 着信設定

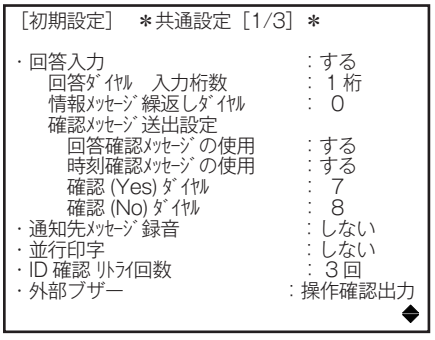
「着信設定」を確認します。
［**戻る**］ボタンで手順 4 の画面に戻ります。
■確認を終了するときは、手順 7 を実施します。



11 共通設定

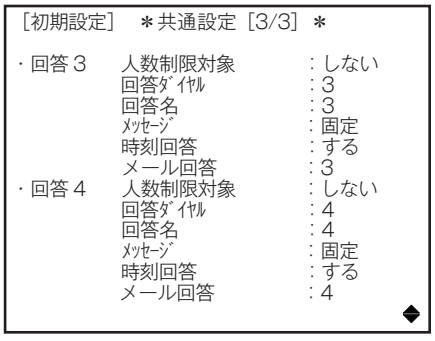
［**矢印▼**］ボタンで次の画面に移ります。

●「回答入力」なしの場合は、この画面のみとなります。



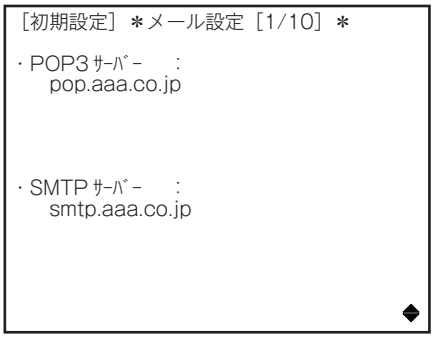
12

［**矢印▼**］ボタンを繰り返し押し、「共通設定 3/3」まで確認します。
［**矢印▲**］ボタンを押すことにより、前の画面に戻ります。
［**戻る**］ボタンで手順 4 の画面に戻ります。
■確認を終了するときは、手順 7 を実施します。



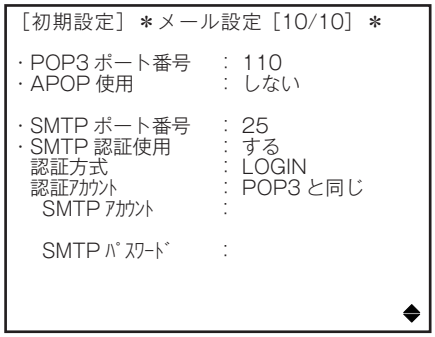
13 メール設定

［**矢印▼**］ボタンで次の画面に移ります。



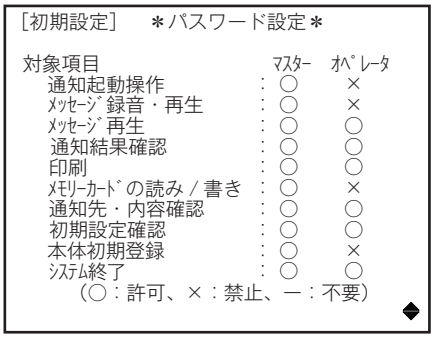
14

［**矢印▼**］ボタンを繰り返し押し、「メール設定 10/10」まで確認します。
［**矢印▲**］ボタンを押すことにより、前の画面に戻ります。
［**戻る**］ボタンで手順 4 の画面に戻ります。
■ 確認を終了するときは、手順 7 を実施します。



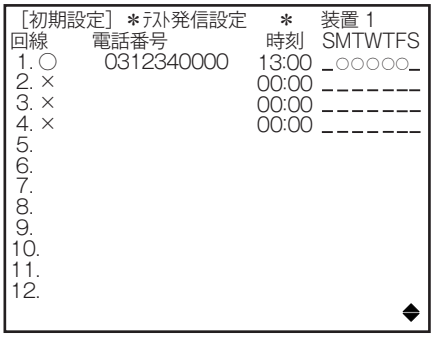
15 パスワード設定

「パスワード設定」を確認します。
［**戻る**］ボタンで手順 4 の画面に戻ります。
■ 確認を終了するときは、手順 7 を実施します。



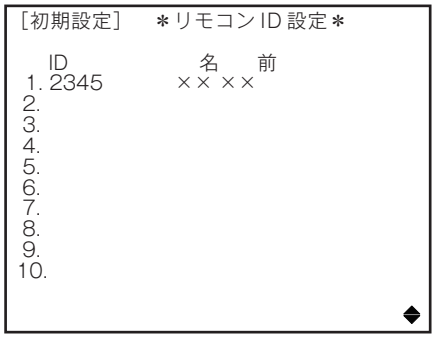
16 テスト発信設定

「テスト発信設定」を確認します。
・本体を連結している場合は、「テスト発信設定 3/3」まで確認します。
［**戻る**］ボタンで手順 4 の画面に戻ります。
■ 確認を終了するときは、手順 7 を実施します。



17 リモコンＩＤ設定

「リモコンＩＤ設定」を確認します。
［**戻る**］ボタンで手順 4 の画面に戻ります。
■ 確認を終了するときは、手順 7 を実施します。



18 バージョン表示

「バージョン表示」を確認します。
［**戻る**］ボタンで手順４の画面に戻ります。
■ 確認を終了するときは、手順７を実施します。

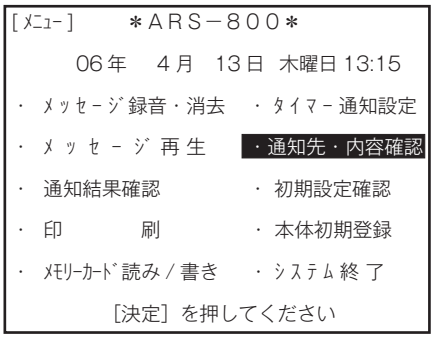
ワンポイント

● 手順４で［**矢印**］ボタンを繰り返し押すことにより、回線設定からバージョン表示まで連続して確認することができます。

■ 通知先・内容の確認

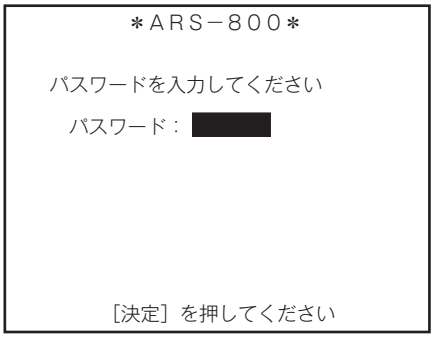
● 制御用パソコンで登録され、本体の内蔵フラッシュメモリーに保存された通知先の登録データを本体で確認することができます。
登録データの内容については、「取扱説明書　制御用パソコン編　概要　登録一覧表 (P.23)」を参照してください。

1 「メニュー」画面。



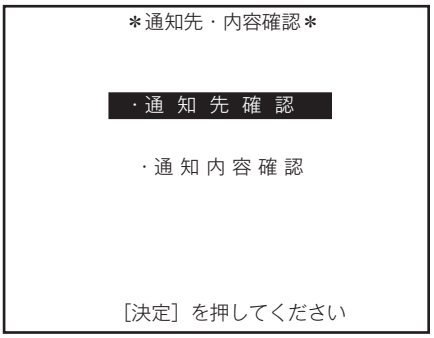
2 ［**矢印**］ボタンで「通知先･内容確認」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります。

● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

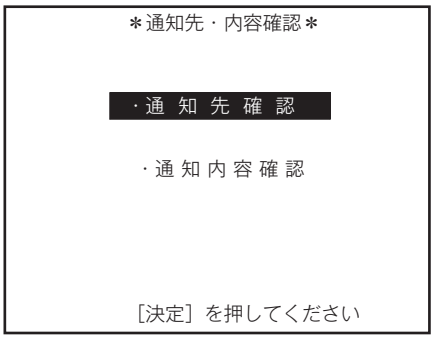


3 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
「通知先・内容確認」画面になります。

● 確認する項目の選択待ちとなります。



4 ［**矢印**］ボタンで
・通知先の確認　‥‥「通知先確認」
・通知内容の確認 ‥‥「通知内容確認」
を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
■ 通知先確認は手順５へ進みます。
■ 通知内容確認は手順 18 へ進みます。



5 通知先確認

［**矢印**］ボタンで
- ・個人情報の確認　　･･･「個人情報」
- ・グループ情報の確認　　･･･「グループ情報」
- ・ワンタッチ情報の確認　　･･･「ワンタッチ情報」
- ・タイマー情報の確認　　･･･「タイマー情報」

を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

■ 個人情報の確認は手順６へ進みます。
■ グループ情報の確認は手順９へ進みます。
■ ワンタッチ情報の確認は手順 12 へ進みます。
■ タイマー情報の確認は手順 15 へ進みます。

```
[ 通知先 ]     ＊通知先確認＊

 ・個　人　情　報
 ・グ ル ー プ 情 報
 ・ワンタッチ 情 報
 ・タ イ マ ー 情 報

［決定］を押してください
```

6 個人情報

［**数字**］ボタンで管理番号(最大9桁)を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

```
［通知先］     ＊個人情報確認＊
                          登録数：  100
        管理番号を入力してください
        管理番号：  00001

［決定］を押してください
```

7

入力した管理番号に該当する「個人情報確認」画面になります。

```
［通知先］    ＊個人情報確認＊
管理番号 ：00001      個人別停止：しない
名前                      呼出ﾗﾝｸ：  1
 ：ｶﾙｺﾑ一郎
所属名 ：総務課
ID 番号  ：  00001              優先 内／外
電話 1   ：        0312345678◎ 1  外線
電話 2   ：        0312345679◎ 2  外線
電話 3   ：                       外線
ﾒｰﾙ 1    ：aikawa@aaa.or.jp   ◎
ﾒｰﾙ 2    ：
ﾎﾟｹﾍﾞﾙ   ：        0202590001◎     外線
  最大送信ﾊﾞｲﾄ数：  50  (送信文字数：24)
                              1/    100 件目
    終了は［戻る］を押してください
```

8

続いて他の個人情報を確認するときは、［**戻る**］ボタンを押し、手順 6, 7 を繰り返します。
個人情報の確認を終了するときは、［**戻る**］ボタンを２回押すと手順５の画面に戻ります。
通知先登録の確認を終了するときは［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。

```
[ ﾒﾆｭｰ ]      ＊ＡＲＳ－８００＊

      06 年   4 月  13 日 木曜日 13:20

 ・ ﾒｯｾｰｼﾞ 録音・消去      ・ ﾀｲﾏｰ 通知設定
 ・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再　生          ・ 通知先・内容確認
 ・ 通知結果確認            ・ 初期設定確認
 ・ 印　　刷                ・ 本体初期登録
 ・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ 読み／書き     ・ ｼｽﾃﾑ 終 了

［決定］を押してください
```

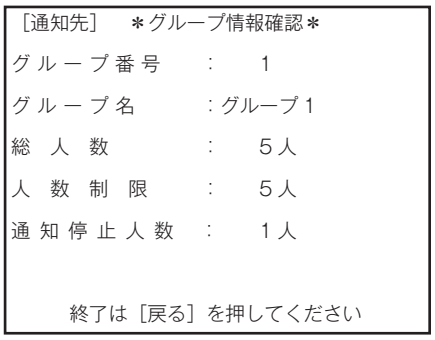
9 グループ情報

［**数字**］ボタンでグループ番号 (最大 1000) を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

```
［通知先］    ＊グループ情報確認＊
                          登録数：    2
      グループ番号を入力してください
      グループ番号：    1

［決定］を押してください
```

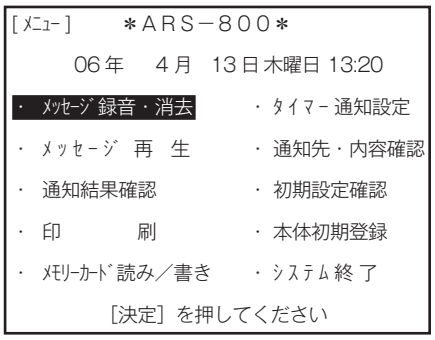
10 入力したグループ番号に該当するグループ情報の画面になります。

- 「通知設定　人数制限」の制限単位が「通知単位」に設定してあるときや人数制限しない場合は、「人数制限」の項目は表示されません。
- 「通知設定　個人別通知停止」が「共通」に設定してあるときや個人別通知停止しない場合は、「通知停止人数」は表示されません。



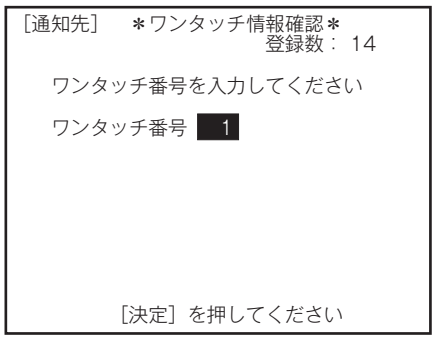
11 続いて他のグループ情報を確認するときは、［**戻る**］ボタンを押し、手順9, 10 を繰り返します。
［**戻る**］ボタンを２回押すと手順５の画面に戻ります。
通知先登録の確認を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

- 「メニュー」画面になります。



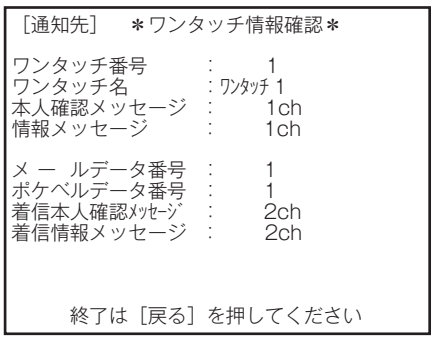
12 ワンタッチ情報

［**数字**］ボタンでワンタッチ番号 (最大 60) を入力し、［**決定**］ボタンを押します。



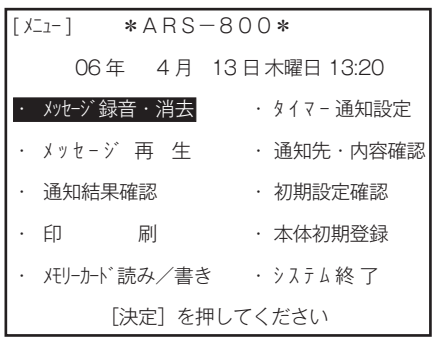
13 入力したワンタッチ番号に該当するワンタッチ通知の画面になります。

- 着信機能を使用しない場合は、「着信本人確認メッセージ」「着信情報メッセージ」の項目は表示されません。
- 本人確認メッセージは、通知および着信でそれぞれ使用しない場合は、「本人確認メッセージ」「着信本人確認メッセージ」の項目は表示されません。



14 続いて他のワンタッチ情報を確認するときは、［**戻る**］ボタンを押し、手順 12, 13 を繰り返します。
［**戻る**］ボタンを２回押すと手順５の画面に戻ります。
通知先登録の確認を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

- 「メニュー」画面になります。



15 タイマー情報

［**数字**］ボタンでタイマー番号 (最大 10) を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

［通知先］　＊タイマー情報確認＊
登録数：　4

タイマー番号を入力してください

タイマー番号：　1

［決定］を押してください

16

入力したタイマー番号に該当する「タイマー情報確認」画面になります。

● 人数制限しない場合およびグループ単位での人数制限の場合は、「人数制限」の項目は表示されません。

［通知先］　＊タイマー情報確認＊

タイマー番号　　：　1
タイマー名　　：ﾀｲﾏｰ1
人数制限　　：5人
開始時刻　　：11:45
終了時刻　　：11:50
曜日指定　　：日月火水木金土
　　○
ワンタッチ番号　：1234

終了は［戻る］を押してください

17

続いて他の タイマー情報を確認するときは、［**戻る**］ボタンを押し、手順 15,16 を繰り返します。
［**戻る**］ボタンを 2 回押すと手順 5 の画面に戻ります。
通知先登録の確認を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。

［ﾒﾆｭｰ］　＊ＡＲＳ－８００＊

06年　4月　13日木曜日 13:20

・ ﾒｯｾｰｼﾞ録音・消去　　・ ﾀｲﾏｰ通知設定
・ ﾒｯｾｰｼﾞ 再　生　　・ 通知先・内容確認
・ 通知結果確認　　・ 初期設定確認
・ 印　　刷　　・ 本体初期登録
・ ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ読み／書き　　・ ｼｽﾃﾑ終了

［決定］を押してください

18 通知内容確認

［**矢印**］ボタンで
・ ポケベルデータ内容の確認 ･･･「ポケベルデータ内容」
・ メールデータ内容の確認　･･･「メールデータ内容」
を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
■ ポケベルデータ内容の確認は手順 19 へ進みます。
■ メールデータ内容の確認は手順 22 へ進みます。

［通知先］　＊通知内容確認＊

・ポケベルデータ内容
・メ ー ルデータ内容

［決定］を押してください

19 ポケベルデータ内容

［**数字**］ボタンでポケベルデータ番号 (最大 100) を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

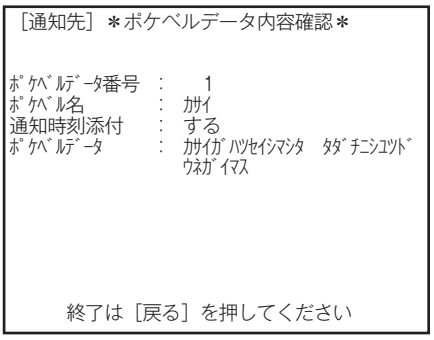
［通知先］＊ポケベルデータ内容確認＊
登録数：　2

ポケベルデータ番号を入力してください

ポケベルデータ番号：　1

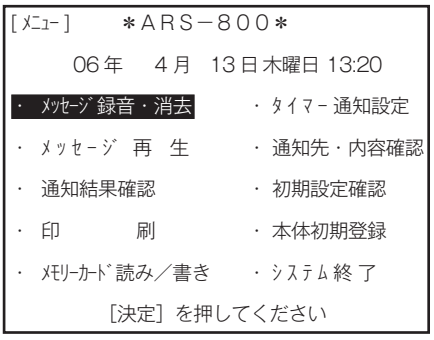
［決定］を押してください

20 入力したポケベルデータ番号に該当するポケベルデータ内容の画面になります。



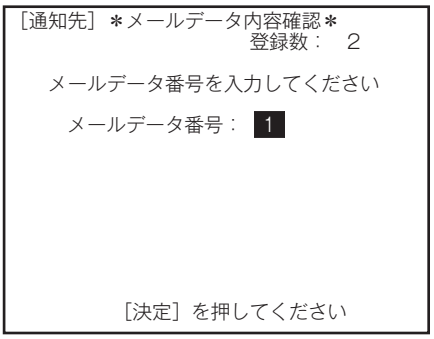
21 続いて他のポケベルデータ内容を確認するときは、［**戻る**］ボタンを押し、手順 19,20 を繰り返します。
［**戻る**］ボタンを 2 回押すと手順 18 に戻ります。
通知内容確認を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。

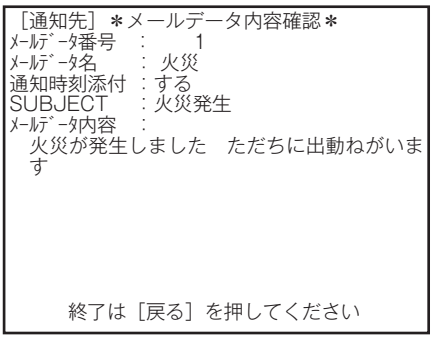


22 メールデータ内容

［**数字**］ボタンでメールデータ番号 (最大 100) を入力し、［**決定**］ボタンを押します。

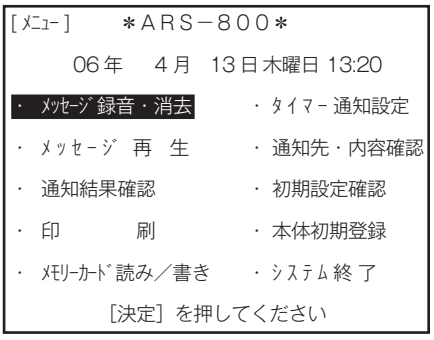


23 入力したメールデータ番号に該当する「メールデータ内容確認」画面になります。



24 続いて他のメールデータ内容を確認するときは、［**戻る**］ボタンを押し、手順 22,23 を繰り返します。
［**戻る**］ボタンを 2 回押すと手順 18 の画面に戻ります。
通知内容確認を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。



第5章

通　知

通　知

・通知は、本体、制御用パソコン、外部ワンタッチスイッチボックス (別売品)、外部ワンタッチ端子板 (別売品)、電話回線リモコンにより行うことができます。
・通知は、音声、ポケットベル、メールの３つの方法で伝達することができます。
・出動の可否などの回答を任意に４種類作成することができ、通知先の回答を収集することができます。
・出社時刻等の時刻情報を収集することができます。
・音声で通知した後に、通知先からのメッセージを録音することができます。
・発信中に別の通知先を追加することができます。

ご注意

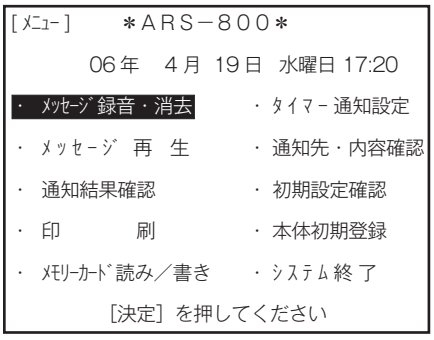
● ARS-800/ARS-800F に収容されている回線がナンバーディスプレイの通常非通知契約の回線になっている場合、通知先が非通知着信拒否の時は、通知先を呼出さないことがあります。
● メール通知の場合、プロバイダによっては、一度に大量のメールを送信するとき、迷惑メール対策のため宛先数に制限があることがあります。
事前にプロバイダにご確認いただき、制限がある場合は、送信する宛先数を考慮して運用してください。
● ARS-800/ARS-800F に収容されている回線が外れていたり異常がある場合、正常に通知動作しない場合があります。
通知中に本体画面および、ＬＡＮ接続された制御用パソコンの回線モニタで回線異常かどうかが確認できます。
● 一度に通知する通知先の人数やグループ数が多い場合、その数によって通知開始までの時間が異なります。
（数が多いと、通知開始までに時間がかかる場合があります。）
● 一度に通知できる通知先の合計人数は 10000 人です。また同一の通知先を各グループで重複して登録している場合も合計人数にカウントします。
複数の通知先に通知する場合は、通知先の合計人数を考慮して運用してください。
（例）ワンタッチ通知の場合
【ワンタッチ１】：4000 人登録
【ワンタッチ２】：4000 人登録
【ワンタッチ３】：4000 人登録
⟩ ワンタッチ１、ワンタッチ２、ワンタッチ３ともに同じ 4000 人を登録
⇒　上記のワンタッチ１～３を指定して通知しても、通知対象が 12000 人とカウントされて通知されません。

■ ワンタッチ通知

● ワンタッチ発信ボタンを使用し、あらかじめ登録してあるグループに通知する方法です。
● 通知を開始するまでの操作が簡単で、短時間に通知の開始ができます。
● あらかじめ、次の準備操作が必要です。
１．メッセージの録音
２．通知データの登録
３．ワンタッチ発信グループの登録
● ワンタッチ録音したあとに、続いて、ワンタッチ通知をしたときは、本人確認メッセージは初期設定の「通知設定 ワンタッチ録音通知用」で登録したチャンネル番号のメッセージを送出します。
● ワンタッチ通知は、本体のほか、制御用パソコンからも実施できます。
制御用パソコンからの操作については、取扱説明書「制御用パソコン編」をご覧ください。

1

「メニュー」画面。



● 待機中以外のときは、ワンタッチ発信ボタンを押しても、通知の開始はできません。

2

通知先の指定

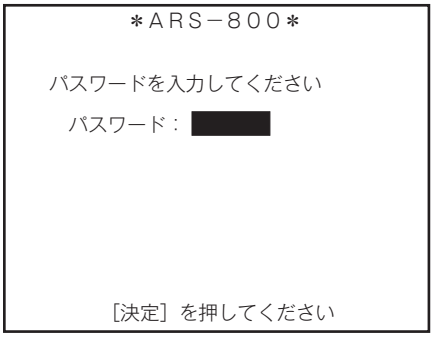
■ 最初に、本体の［**ワンタッチ発信**］ボタン [1 ～ 10] を押して、通知先を指定したときは、手順３へ進みます。

■ 最初に、外部ワンタッチスイッチボックス (別売品) の外部ワンタッチ発信ボタン [1 ～ 60] を押して、通知先を指定したときは、手順５へ進みます。
外部ワンタッチ発信ボタンで通知したときは、［**数字**］ボタンから人数制限の指定はできません。

3

本体の［**ワンタッチ発信**］ボタン［1 ～ 10］を押すとパスワードの画面になります。

■ 通知先は、本体の［ワンタッチ発信］の「1 ～ 10」まで指定できます。



● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

4

パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。

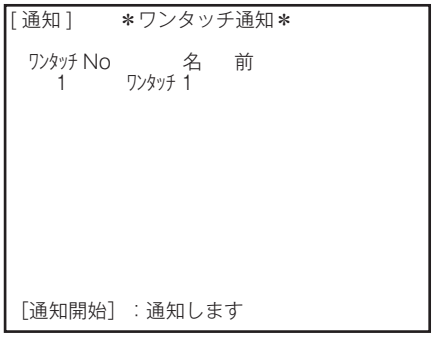
■ ワンタッチ発信ボタンと、そのボタンに登録されている名前を表示します。
　● 「名前」は、登録されているときのみ表示します。

■ 表示されているワンタッチ発信ボタンを再度押すと、そのワンタッチは削除されます。
ただし、ワンタッチ通知方式が追加式の場合は、一番初めのワンタッチ発信ボタンを再度押すと、全てのワンタッチが削除されます。(ワンタッチ録音は除きます)

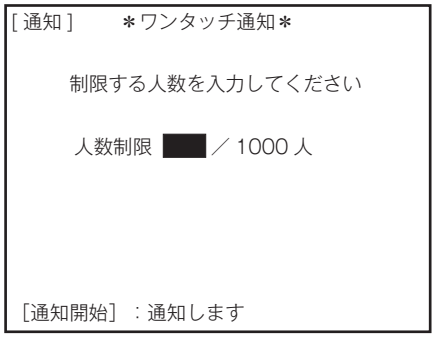
■ 初期設定の「通知設定　人数制限」を通知単位に登録しているときは、画面下段に【[通知開始] : 次項目】と表示します。
［**通知開始**］ボタンのカバーを開けて押し、手順５へ進みます。

■ 初期設定の「通知設定 人数制限」をグループ単位または人数制限は「しない」に登録しているときは、画面下段に【[通知開始] : 通知します】と表示します。
［**通知開始**］ボタンのカバーを開けて押し、手順６へ進みます。

■ ［**通知開始**］ボタンを押さないで約２分経過すると「メニュー」画面に戻ります。

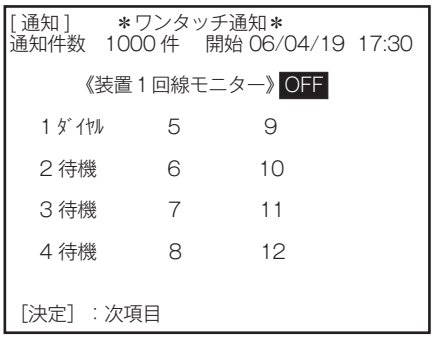


5 人数制限の指定



■［**数字**］ボタンで、制限したい人数を入力します。
● 人数制限の表示は、
左側　：今回制限する人数を表示します。
最初は、右側の人数と同じ人数を表示します。
右側　：今回通知指定した全グループの登録総数から通知停止している通知先数を差し引いた通知総件数を表示します。
■［**通知開始**］ボタンのカバーを開けて押します。
■制限人数を入力しないで、約 10 秒経過すると、通知を開始します。
(この場合は、右側の人数で制限がかかります)

6 通知の開始



■画面下段に【しばらくお待ちください】と反転表示します。
この反転表示が消え、通知開始ランプが点灯すると通知を開始します。
回線モニターの画面になります。
■通知が開始してから、新たにワンタッチ発信ボタンを押すと、現在通知中の発信ボタンに、通知先が追加できます。
・「通知設定　通知方式　ワンタッチ通知方式」で追加式が選択されているときは、通知先のみが追加され、通知中の情報内容を通知します。ただし、複数のワンタッチを指定して通知する場合、最初に押されたワンタッチの通知内容（メッセージ・メール・ポケベル）以外の通知内容は通知しません。
・「通知設定　通知方式　ワンタッチ通知方式」でボタン別が選択されているときは、そのボタンに割り付けられた通知先情報内容が通知されます。

7 通知中の画面

■通知中の画面は、［**決定**］ボタンを押すごとに、次の表示をします。
A．回線の使用状態表示
B．集計表示
C．ワンタッチ番号表示
■通知結果の集計内容は、次のとおりです。
TEL 呼 / 件数　：電話通知件数中、電話へ通知した件数。
話中　：通知先が、話中の件数。
留守　：「回線設定 呼出時間」で登録した時間内に応答しなかった件数。
ﾄｰｷ　：誤ダイヤルなどで、使われていない電話番号や電源が入ってない携帯電話へ通知した件数。
不明 (情報未)：本人確認メッセージで本人の確認ができず、情報メッセージを送出しなかった件数。
ﾒｰﾙ送 / 件数　：メール通知件数中、メールへ通知した件数。
ﾒｰﾙ受　：メール受信をした件数。
Pﾍﾞﾙ送 / 件数：ポケットベルの通知件数中、ポケットベルへ通知した件数。
着信　：着信回線で応答した件数。
応答　：回答入力しないときで、通知後情報メッセージが流れた件数、電話着信の件数およびメール受信をした件数。

回答１　　：「共通設定 回答入力　回答 1」の回答ダイヤルに登録したダイヤル番号やメール回答に登録した文字で回答した件数およびメール回答方式の回答別アドレスにおいて回答１のアドレスに受信のあった件数。
回答２　　：「共通設定 回答入力　回答 2」の回答ダイヤルに登録したダイヤル番号やメール回答に登録した文字で回答した件数およびメール回答方式の回答別アドレスにおいて回答２のアドレスに受信のあった件数。
回答３　　：「共通設定 回答入力　回答 3」の回答ダイヤルに登録したダイヤル番号やメール回答に登録した文字で回答した件数およびメール回答方式の回答別アドレスにおいて回答３のアドレスに受信のあった件数。
回答４　　：「共通設定 回答入力　回答 4」の回答ダイヤルに登録したダイヤル番号やメール回答に登録した文字で回答した件数およびメール回答方式の回答別アドレスにおいて回答４のアドレスに受信のあった件数。
回答不明　　：上記回答１～４のいずれにも該当しなかった場合の件数。

ワンポイント

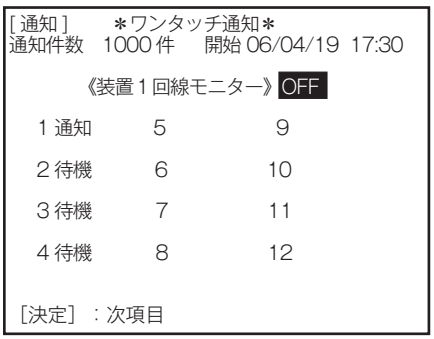
● 回答１～４の表示は、実際は、「共通設定 回答入力　回答１～４」の「回答名」に登録した名前を表示します。名前の登録がないときは、回答１～４を表示します。
「共通設定　回答入力」で回答ダイヤルおよびメール回答の登録がない回答は表示しません。

7A

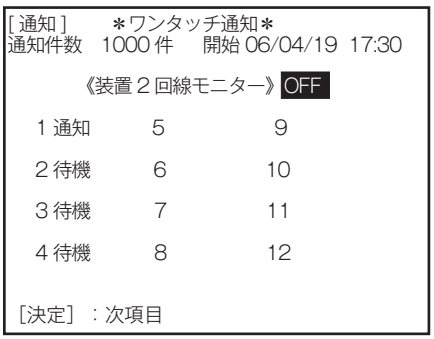
A．回線の使用状態表示

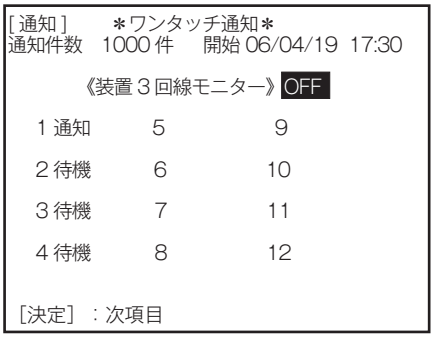
■ 回線が現在どの動作をしているか表示します。

待機　　：ダイヤル発信前の状態、または「着信」のときは、着信前の状態です。
ﾀﾞｲﾔﾙ　：回線を閉塞してからダイヤル終了までの状態です。
呼出　　：通知先を呼び出してる状態です。
通知　　：通知先へメッセージを送出中など、通知中の状態です。
着信　　：本装置が着信応答中の状態です。
回線異常：回線が接続されていない状態です。
（リモコン着信専用回線は除く）
ﾘﾓｺﾝ　　：リモコン着信専用回線であることを示しています。



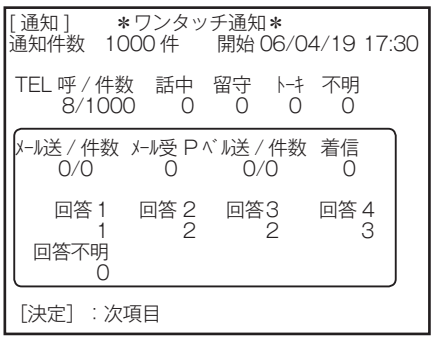
■ 連結接続でご使用の場合は、［**決定**］ボタンを押すごとに装置２および装置３の回線状態を表示し、その後に集計表示となります。



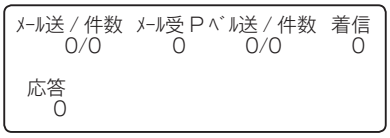


7B　B．集計表示

■ 現在の通知結果の集計を表示します。

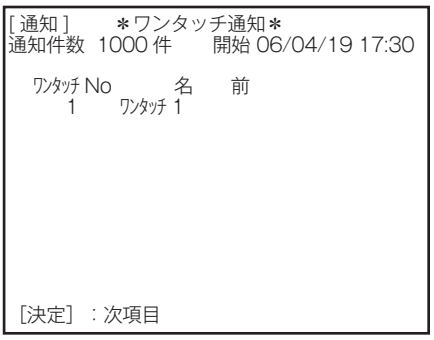


● 回答入力しないとき「回答 1 ～ 4」「回答不明」は下記の表示のように「応答」になります。



7C　C．ワンタッチ番号表示

■ 選択されているワンタッチ番号を表示します。

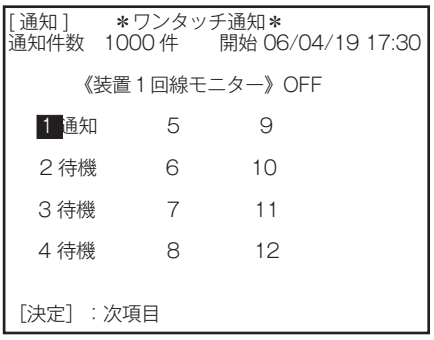


8　通話中の回線モニター

［**矢印**］ボタンでモニターする回線番号を選択します。

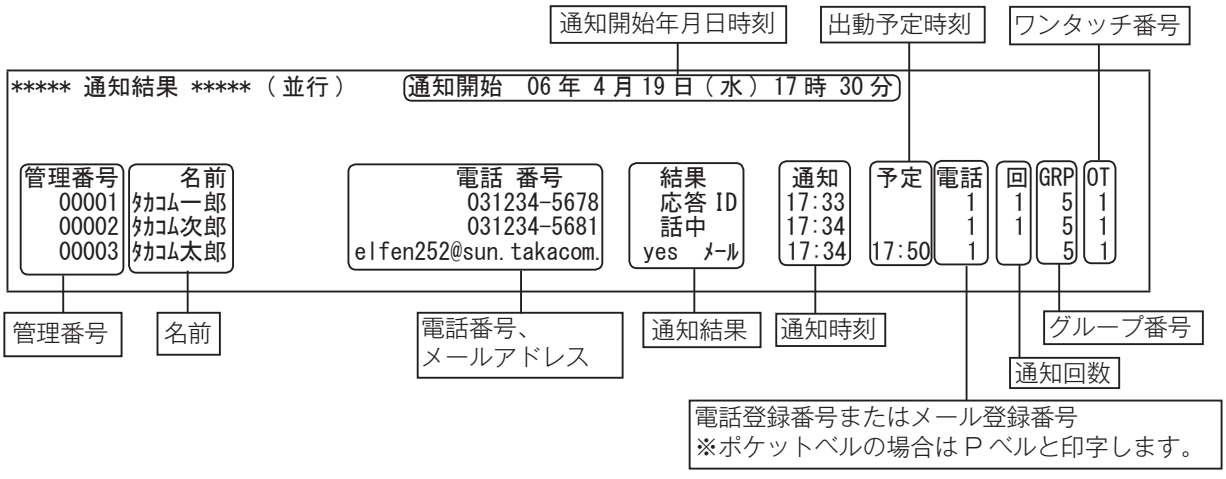
■ 連結接続でご使用の場合は、［**決定**］ボタンを押し装置 2 または装置 3 の回線表示をした後、［**矢印**］ボタンでモニターする回線番号を選択します。

● スピーカから回線状態がモニターできます。
連結接続でご使用の場合、テープジャックに音源入力があると回線モニターの音と一緒に聞こえます。テープ入力を外してください。



9　並行印字

「共通設定　並行印字　する」に登録してあると、1 件ごとの通知が終了するたびに通知内容をプリンタにより印字します。(本体にプリンタを接続した場合)


通知開始年月日時刻
出動予定時刻
ワンタッチ番号
***** 通知結果 ***** (並行)
通知開始　06 年 4 月 19 日 (水) 17 時 30 分
管理番号　名前　電話 番号　結果　通知　予定　電話　回　GRP　OT
00001　ﾀｶｺﾑ一郎　031234-5678　応答 ID　17:33　1　1　5　1
00002　ﾀｶｺﾑ次郎　031234-5681　話中　17:34　1　1　5　1
00003　ﾀｶｺﾑ太郎　elfen252@sun.takacom.　yes　ﾒｰﾙ　17:34　17:50　1　1　5　1
管理番号
名前
電話番号、
メールアドレス
通知結果
通知時刻
グループ番号
通知回数
電話登録番号またはメール登録番号
※ポケットベルの場合は P ベルと印字します。

ご注意

- 並行印字を行う場合は、ドットインパクトプリンタ（連続用紙）をご利用ください。また、プリンタの機能設定変更が必要な場合があります。詳しくは「プリンタの接続のしかた」（P.138）を参照してください。
- ページプリンタをご利用の場合は、1 件ごとの通知が終了するたびに通知内容を印字（並行印字）しない場合があります。（1 ページ分のデータがまとめて印字出力されます。）

ワンポイント

● 追っかけ通知

・「初期設定　通知設定　通知方式で追っかけ通知する」に登録してあると、個人情報に複数 (最大 3) の電話番号を登録した場合、電話番号の優先１をまず通知し、話中、留守などで再通知対象となった場合、次の優先順位へ通知します。

優先１　０５７２－××－１２３４→通知→話中

↓

優先２　０５７２－××－１２３５→通知

・ランク順の場合の通知順序 (回線が１回線の場合)

下記の登録の場合、空き回線が発生した時の追っかけ通知の通知タイミングは、(1)、(2) の様になります。(但し、複数回線や回線の状況等により、実際の通知順序は下記の順序から前後することがあります。)

管理番号	氏名	ランク	優先
1	山田	1	1/2
2	桑原	1	1/2
3	中田	2	1
4	内場	3	1

(1) 山田さんが追っかけ通知の対象の場合

山田＜優先 1>(話中、追っかけ通知対象) →桑原＜優先 1> →
山田＜優先 2> →中田 ･･･

(2) 桑原さんが追っかけ通知の対象の場合

山田＜優先 1> →桑原＜優先 1>(話中、追っかけ通知対象) →
桑原＜優先 2> →中田 ･･･

● 通知の発信順序

グループ単位 (登録順)、グループ単位 (ランク順)、グループ均等 (登録順)、グループ均等 (ランク順) があり、それぞれの呼び出し順は、例に示したグループの場合、下記の様になります。

グループ１の登録内容

管理番号	氏名	ランク
1	山田	1
2	桑原	1
3	内場	3
4	中田	2

グループ２の登録内容

管理番号	氏名	ランク
5	相田	2
6	井上	1
7	内田	3
8	江藤	4

グループ３の登録内容

管理番号	氏名	ランク
9	加藤	1
10	木村	3
11	工藤	4
12	小嶋	2

◇グループ単位 (登録順) の呼び出し順

管理番号	氏名	ランク
1	山田	1
2	桑原	1
3	内場	3
4	中田	2
5	相田	2
6	井上	1
7	内田	3
8	江藤	4
9	加藤	1
10	木村	3
11	工藤	4
12	小嶋	2

◇グループ単位 (ランク順) の呼び出し順

管理番号	氏名	ランク
1	山田	1
2	桑原	1
6	井上	1
9	加藤	1
4	中田	2
5	相田	2
12	小嶋	2
3	内場	3
7	内田	3
10	木村	3
8	江藤	4
11	工藤	4

◇グループ均等 (登録順) の呼び出し順

管理番号	氏名	ランク
1	山田	1
5	相田	2
9	加藤	1
2	桑原	1
6	井上	1
10	木村	3
3	内場	3
7	内田	3
11	工藤	4
4	中田	2
8	江藤	4
12	小嶋	2

◇グループ均等 (ランク順) の呼び出し順

管理番号	氏名	ランク
1	山田	1
6	井上	1
9	加藤	1
2	桑原	1
5	相田	2
12	小嶋	2
4	中田	2
7	内田	3
10	木村	3
3	内場	3
8	江藤	4
11	工藤	4

※ 回線の状況等により、実際の通知順序が上記の順序から前後することもあります。

ワンポイント

● 複数のグループに同じ人が登録されている場合の通知方法
例

A さん：個人情報登録内容	A さん：グループ 1 の登録	A さん：グループ 2 の登録
■電話 1	■電話 1	■電話 1
■電話 2	■電話 2	■電話 2
□電話 3	□電話 3	□電話 3
■メール 1	□メール 1	■メール 1
□メール 2	□メール 2	□メール 2
■ポケベル	■ポケベル	□ポケベル

■は登録されていることを表します。

設定：ワンタッチ 1：グループ 1、2　　ワンタッチ 2：グループ 2
通知：ワンタッチ 1 ＋ワンタッチ 2

複数のワンタッチ番号を同時に通知する場合、次の 2 つの方法により異なります。
［追加式］
複数のワンタッチ番号に同じ人の同じ通知先が登録されている時は、重複する通知先 (2 件目以降) には通知しません。
上記例の場合は、次の様になります。
［グループ 1 の電話 1、電話 2、ポケベル］、［グループ 2 のメール 1］を呼出します。
［ボタン別］
複数のワンタッチ番号に同じ人の同じ通知先が登録されていても通知する情報内容が異なるため登録されているすべてに通知します。
ただし、ひとつのワンタッチ番号に複数のグループがあり、その複数グループに同じ人の同じ通知先が登録されている時は、重複する通知先 (2 件目以降) には通知しません。
上記例の場合は、次の様になります。
［グループ 1 の電話 1、電話 2、ポケベル］、［グループ 2 のメール 1］、［グループ 2 の電話 1、電話 2、メール 1］を呼出します。

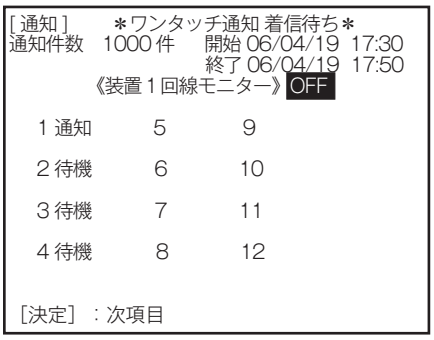
10 再通知

「通知設定　再通知」を「する」に登録してあると、通知が終了した後、「ピー」と音がして再通知間隔の時間となります。再通知間隔の時間が経過し、再通知開始になると、応答しなかった通知先、通知結果が不明およびトーキのうち、再通知対象となっている通知先に通知します。
再通知は、「通知設定　間隔」で登録された間隔で「通知設定　回数」で登録された回数分行います。

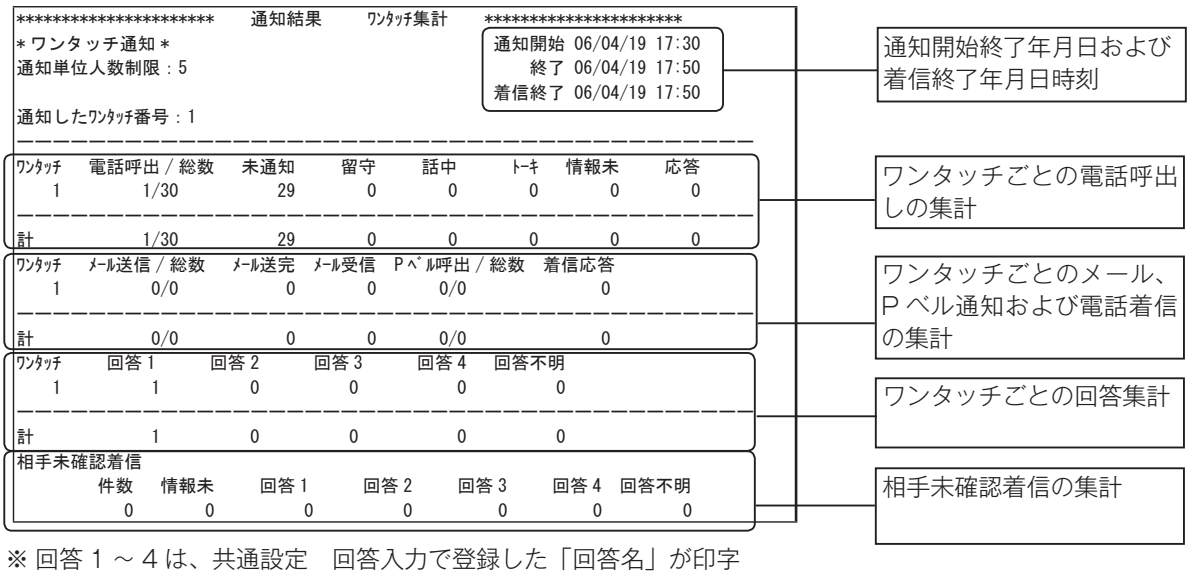
11 通知の終了

■ 人数制限に達するか、または、再通知も含めすべての通知が終わると、「ピー」と音がして、通知を終ります。
※ 人数制限で人数に達しても回線数等の条件によりしばらく通知が継続することがあります。
通知が終わると画面は、
● 着信を使用するときで着信待ち時間がなし以外のときは「ピー」と音がして、着信待ちの画面になります。

着信待ち画面



● 着信を使用しないときや着信待ち時間がなしのとき「メニュー」画面になります。
● 「共通設定　並行印字　する」に登録してある場合、通知が終了すると、通知結果をプリンタにより印字します。

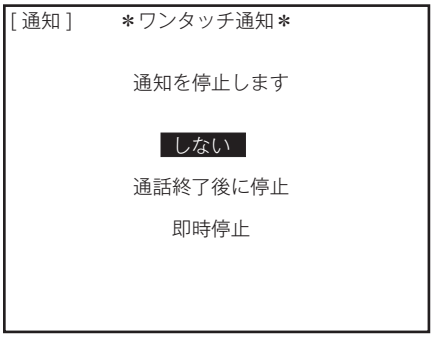

********** 通知結果 ﾜﾝﾀｯﾁ集計 **********
＊ワンタッチ通知＊
通知単位人数制限：5
通知したﾜﾝﾀｯﾁ番号：1
通知開始 06/04/19 17:30
終了 06/04/19 17:50
着信終了 06/04/19 17:50
ﾜﾝﾀｯﾁ 電話呼出 / 総数 未通知 留守 話中 ﾄｰｷ 情報未 応答
1 1/30 29 0 0 0 0 0
計 1/30 29 0 0 0 0 0
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾒｰﾙ送信 / 総数 ﾒｰﾙ送完 ﾒｰﾙ受信 Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 着信応答
1 0/0 0 0 0/0 0
計 0/0 0 0 0/0 0
ﾜﾝﾀｯﾁ 回答 1 回答 2 回答 3 回答 4 回答不明
1 1 0 0 0 0
計 1 0 0 0 0
相手未確認着信
件数 情報未 回答 1 回答 2 回答 3 回答 4 回答不明
0 0 0 0 0 0 0
通知開始終了年月日および着信終了年月日時刻
ワンタッチごとの電話呼出しの集計
ワンタッチごとのメール、Pベル通知および電話着信の集計
ワンタッチごとの回答集計
相手未確認着信の集計

※ 回答 1 ～ 4 は、共通設定　回答入力で登録した「回答名」が印字されます。

11A

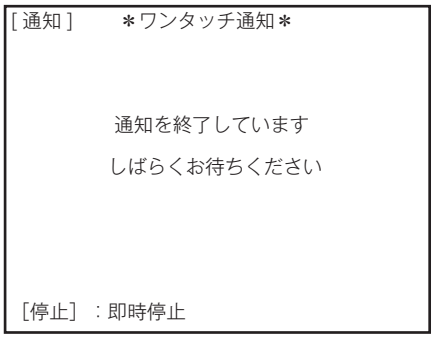
■ 通知途中で、通知を中止するときは、［**停止**］ボタンを押します。
● ［**矢印**］ボタンで「しない」を選択し、［**決定**］ボタンを押すと、手順 6 の通知中の画面に戻り通知を継続します。
● ［**矢印**］ボタンで
・ 通話終了後に停止する場合 ･･･「通話終了後に停止」
・ 即時停止する場合 ･･･「即時停止」
を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

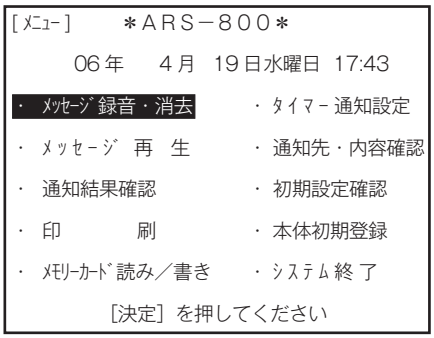
■ 通話終了後に停止する場合は、手順 11B へ進みます。
■ 即時停止する場合は、手順 11C へ進みます。



11B 通話終了後に停止

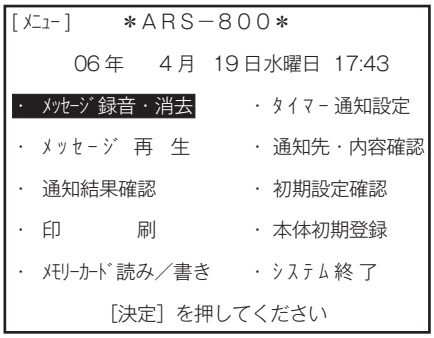
- 次の通知を停止して、現在通知中の通知が終ると「ピー」と音がして通知が終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。
- ［**停止**］ボタンを押すと、「ピー」と音がして強制的に通知を終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。





11C 即時停止

- 「ピー」と音がして強制的に通知を終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。

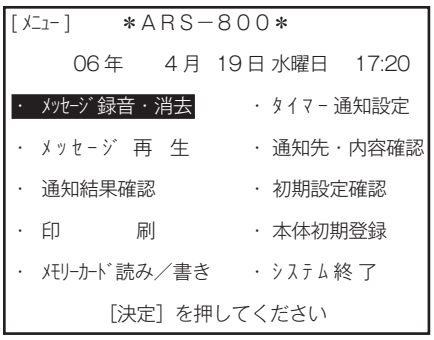


■ マニュアル通知

- 通知のたびに、通知の状況に合わせて、本人確認メッセージ・情報メッセージ・通知先のグループ番号を指定して通知する方法です。
- あらかじめ、次の準備操作が必要です。
  1．メッセージの録音
  2．通知データの登録
  3．通知先グループの登録
- ワンタッチ録音したあとに、続いて、マニュアル通知をしたときは、本人確認メッセージは初期設定の「通知設定 ワンタッチ録音通知用」で登録したチャンネル番号のメッセージを送出します。この場合は、下記手順２で [**マニュアル通知**] ボタンを押すと、手順５の「本人確認メッセージ ch の指定」および手順６の「情報メッセージ ch の指定」の表示はありません。手順７の「グループ番号の指定」に進みます。
- マニュアル通知は、本体のほか、制御用パソコンからも実施できます。
  制御用パソコンからの操作については、取扱説明書「制御用パソコン編」をご覧ください。

---

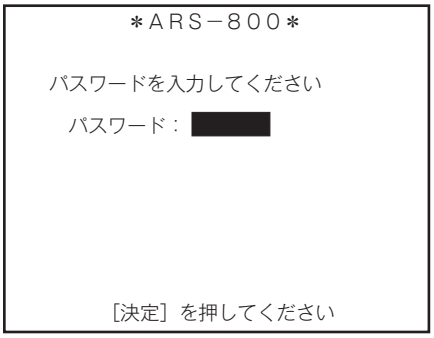
1 「メニュー」画面。



● 待機中以外のときは、マニュアル通知ボタンを押しても、通知の開始はできません。

---

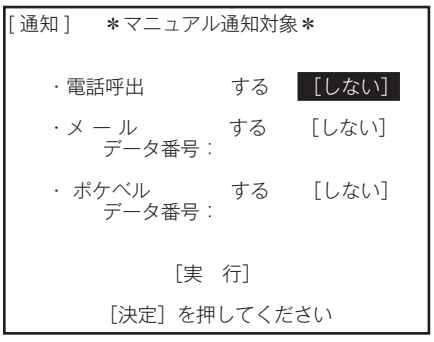
2 ［**マニュアル通知**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります。



● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

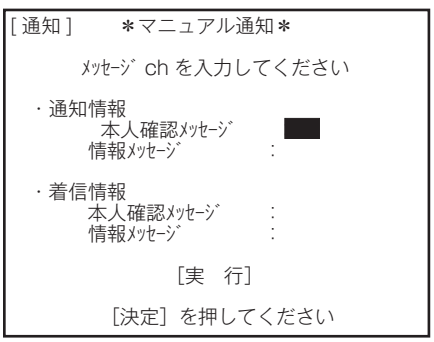
---

3 パスワードを入力し、[**決定**] ボタンを押します。
「マニュアル通知対象」画面になります。
■ [**矢印**] ボタンでマニュアル通知対象を選択し、「する / しない」を選択します。
メール、ポケベルを「する」にした場合は、メール、ポケベルのデータ番号を入力します。
■ [**決定**] ボタンを押します。



---

4 [**矢印**] ボタンで「実行」を選択し、[**決定**] ボタンを押します。
■ 初期設定の「通知設定 本人確認メッセージ使用」、「着信設定 本人確認メッセージ使用」を「しない」に登録しているときは、「本人確認メッセージ」の表示はありません。手順６へ進みます。
■ 着信情報は、初期設定の「着信設定　電話着信機能使用する」の場合のみ表示します。



● 本人確認メッセージまたは情報メッセージの ch 番号の入力待ちになります。

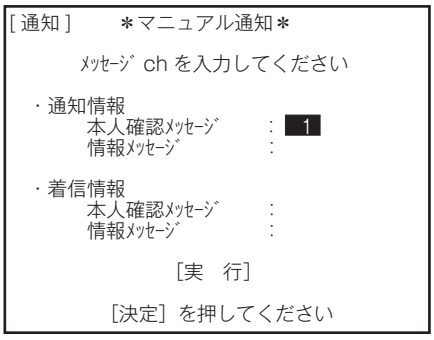
■ 手順３で、電話呼出「しない」としたとき、初期設定の着信設定電話着信機能使用「しない」の場合は手順７に進みます。

5 本人確認メッセージ ch の指定

[**数字**] ボタンで、本人確認メッセージのチャンネル番号を入力し、[**決定**] ボタンを押します。

・ 録音されていないチャンネル番号は入力できません。

● 情報メッセージの ch 番号の入力待ちになります。



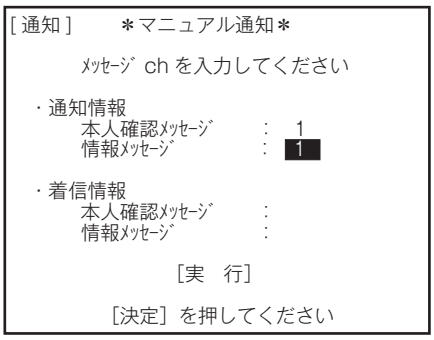
6 情報メッセージ ch の指定

■ [**数字**] ボタンで、情報メッセージのチャンネル番号を入力し、[**決定**] ボタンを押します。

■ 着信情報も同様に入力します。

・ 録音されていないチャンネル番号は入力できません。

・ 69ch（共通メッセージ）70ch（テレガイド用メッセージ）は入力できません。



7

[**矢印**] ボタンで「実行」を選択し、[**決定**] ボタンを押します。

グループ番号の指定

[**数字**] ボタンで、通知したいグループ番号を入力し、[**決定**] ボタンを押します。

・ 最大 1000 グループまで指定できます。

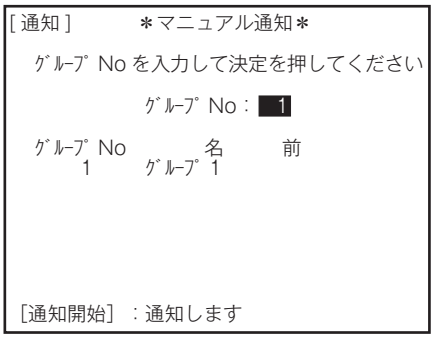
・ グループ番号と名前を表示します。

同じグループ番号を再度入力すると、そのグループ番号は削除されます。

■ 初期設定の「通知設定　人数制限」を通知単位に登録しているときは、画面下段に「[通知開始] ：次項目]」と表示します。
[**通知開始**] ボタンのカバーを開けて押し、手順８へ進みます。

■ 初期設定の「通知設定 人数制限」をグループ単位または、人数制限は「しない」、に登録しているときは、画面下段に「[通知開始] :通知します」と表示します。[**通知開始**] ボタンを押して手順９へ進みます。

● 人数制限の入力待ちになります。



8 人数制限の指定

■ [**数字**] ボタンで、制限したい人数を入力します。

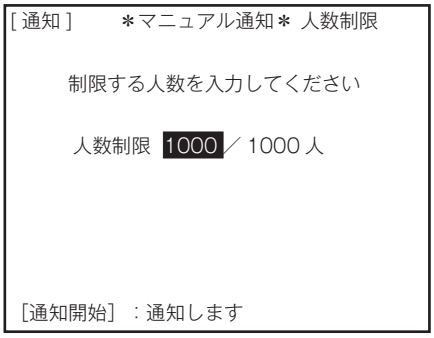
・ 人数制限の表示は、

左側：今回制限する人数を表示します。
最初は、右側の人数と同じ人数を表示します。

右側：今回通知指定した全グループの登録総数から通知停止している通知先数を差し引いた通知総件数を表示します。

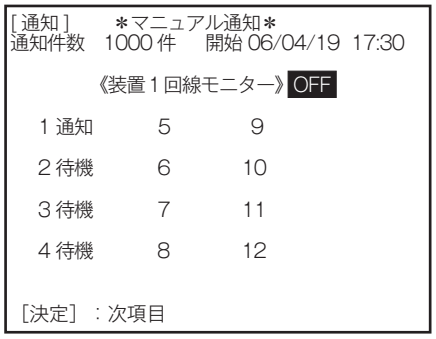
■ [**通知開始**] ボタンのカバーを開けて押します。

■ 人数制限を入力しないで、約 10 秒経過すると、通知を開始します。(この場合は、右側の人数で制限がかかります)



9 通知の開始

画面下段に、【しばらく お待ちください】と反転表示します。
この反転表示が消え、通知開始ランプが点灯し、「マニュアル通知」の通知中の画面になると、通知を開始します。



10 通知中の画面

■ 通知中の画面は、［**決定**］ボタンを押すごとに、次の表示をします。
　A．回線の使用状態表示
　B．集計表示
■ 通知結果の集計内容は、「ワンタッチ通知」と同じです。
　「ワンタッチ通知」の手順７を参照してください。

10A A．回線の使用状態表示

■ 回線が現在どの動作をしているか表示します。

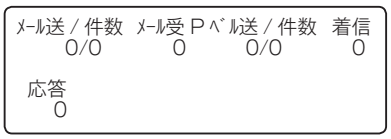
待機	：ダイヤル発信前の状態、または「着信」のときは、着信前の状態です。
ﾀﾞｲﾔﾙ	：回線を閉塞してからダイヤル終了までの状態です。
呼出	：通知先を呼び出してる状態です。
通知	：通知先へメッセージを送出中など、通知中の状態です。
着信	：本装置が着信応答中の状態です。
回線異常	：回線が接続されていない状態です。(リモコン着信専用回線は除く)
ﾘﾓｺﾝ	：リモコン着信専用回線であることを示します。

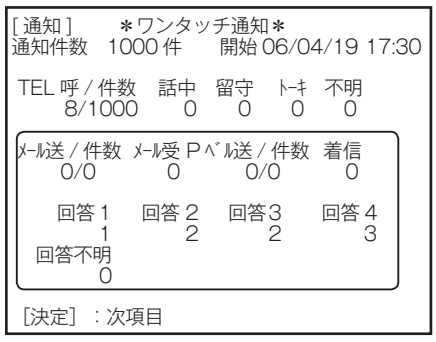
■ 連結接続でご使用の場合は、［**決定**］ボタンを押すごとに装置２および装置３の回線状態を表示し、その後に集計表示となります。

10B B．集計表示

■ 現在の通知結果の集計を表示します。

● 回答入力しないとき「回答１～４」「回答不明」は「応答」になります。





11 再通知

「通知設定　再通知」を「する」に登録してあると、通知が終了した後、「ピー」と音がして再通知間隔の時間となります。再通知間隔の時間が経過し、再通知開始になると、応答しなかった通知先、通知結果が不明およびトーキのうち、再通知対象となっている通知先に通知します。
再通知は、「通知設定　間隔」で登録された間隔で「通知設定　回数」で登録された回数分行います。

ワンポイント

● 複数のグループに同じ人が登録されている場合の通知方法

例

A さん：個人情報登録内容	A さん：グループ 1 の登録	A さん：グループ 2 の登録
■電話 1	■電話 1	■電話 1
■電話 2	■電話 2	■電話 2
□電話 3	□電話 3	□電話 3
■メール 1	□メール 1	■メール 1
□メール 2	□メール 2	□メール 2
■ポケベル	■ポケベル	□ポケベル

■は登録されていることを表します。

通知：グループ 1 ＋グループ 2

複数のグループを同時に通知する場合、同じ人の同じ通知先が複数のグループに登録されている時は、重複する通知先 (2 件目以降) には通知しません。

上記例の場合は、次の様になります。

［グループ 1 の電話 1、電話 2、ポケベル］、［グループ 2 のメール 1］を呼出します。

12 通知の終了

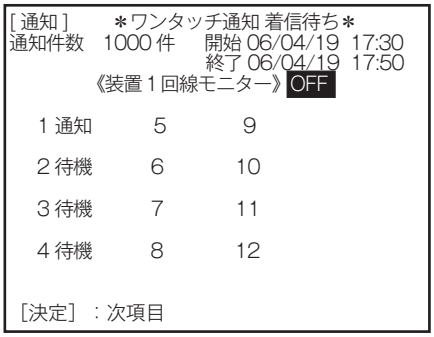
■ 人数制限に達するか、または、再通知も含めすべての通知が終わると、「ピー」と音がして、通知開始ランプが消灯し、通知を終わります。

※ 人数制限で人数に達しても回線数等の条件によりしばらく通知が継続することがあります。

通知が終わると画面は、

● 着信を使用するときで着信待ち時間がなし以外のときは、「ピー」と音がして、着信待ちの画面になります。

着信待ち画面



● 着信を使用しないときや着信待ち時間がなしのとき「メニュー」画面になります。

12A

■ 通知途中で、通知を中止するときは、［**停止**］ボタンを押します。

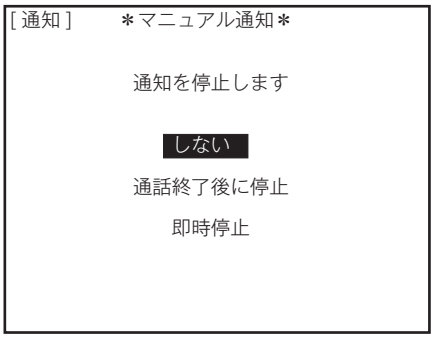
● ［**矢印**］ボタンで「しない」を選択し、［**決定**］ボタンを押すと、手順 9 の通知中の画面に戻り通知を継続します。

● ［**矢印**］ボタンで

・ 通話終了後に停止する場合 ･･･「通話終了後に停止」

・ 即時停止する場合 ･･･「即時停止」

を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

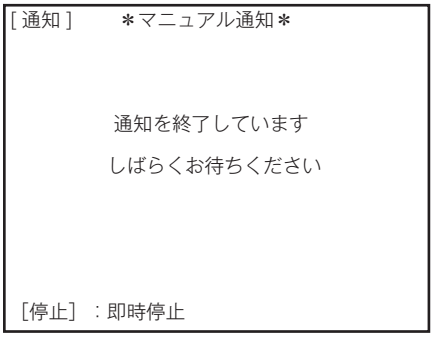


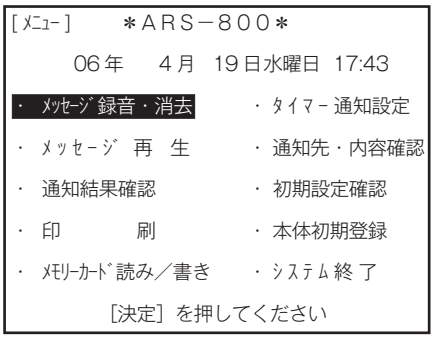
■ 通話終了後に停止する場合は、手順 12B へ進みます。

■ 即時停止する場合は、手順 12C へ進みます。

12B 通話終了後に停止

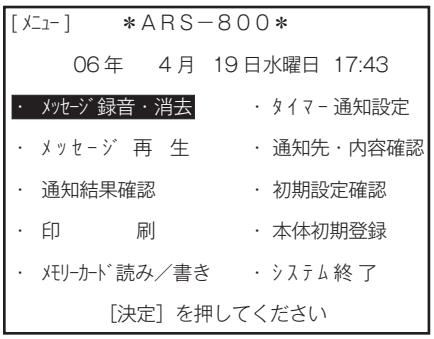
- 次の通知を停止して、現在通知中の通知が終ると「ピー」と音がして通知が終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。
- ［**停止**］ボタンを押すと、「ピー」と音がして強制的に通知を終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。





12C 即時停止

- 「ピー」と音がして強制的に通知を終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。



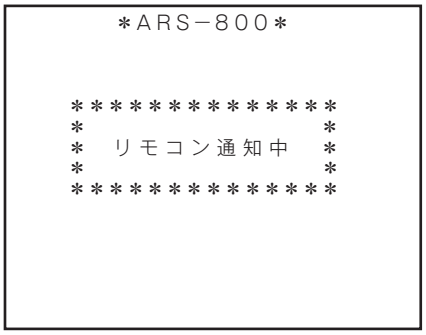
■ リモコン通知

- 外から本装置へ電話して、リモコンで、ワンタッチ通知の起動ができます。
- リモコン操作で、次のことができます。
  - ＊ ワンタッチ録音通知
  - ＊ ワンタッチ通知
  - ＊ 人数制限時の人数変更
  - ＊ ワンタッチ番号の追加
  - ＊ 通知の停止
- リモコン操作をする前に、「回線種別　リモコン」の登録、「リモコンＩＤ番号」の登録および「ワンタッチ発信番号」の登録をしてください。
- リモコン操作は、プッシュホンまたはプッシュ信号が出せる電話機から、操作をしてください。
- リモコン操作中は、操作に対応した音声ガイドが聞こえてきます。音声ガイドを聞き終えたら、6 秒以内に操作に対応したプッシュ信号をダイヤルしてください。
  操作に対応したプッシュ信号をダイヤルしなかったときは約 30 秒で、『タイムオーバーです』『回線を切ります』と聞こえ、電話が切れます。
- リモコン用の回線は、ナンバーディスプレイサービスの契約をしないでください。リモコン操作ができない場合があります。

1 電話をかける

プッシュホンまたはプッシュ信号が出せる電話機から、リモコン操作用の回線へ電話をかけます。

◆ 本装置は、「回線設定　リモコン回線着信ベル回数」で登録されたベルの回数で自動応答し、『リモコン ID 番号を入力してください』の案内メッセージを回線へ送出します。
画面は待機画面からリモコン画面となり、「リモコン通知中」を表示します。



◆ リモコン ID 番号が 3 回不一致になると『回線を切ります』の案内メッセージを回線に送出して電話を切ります。

■ 待機中、または、すでに通知中のとき以外 (タイマー通知待機中やワンタッチ録音中および通知以外のメニュー選択時) はリモコン操作できません。自動応答しないかまたは、自動応答後、『現在リモコンでの操作はできません』『回線を切ります』の案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。

2 リモコンＩＤ番号の入力

■ ワンタッチ録音通知するときは、[リモコン ID 番号→#] の順にダイヤルします。
『情報メッセージを録音します』の案内メッセージが聞こえます。
手順 3 へ進みます。

■ 情報メッセージを録音し直さずに通知するときは、[リモコン ID 番号] のみダイヤルします。
『リモコンでワンタッチ通知を行います』の案内メッセージが聞こえ、自動的に、手順 4 へ進みます。

ワンポイント

- 通知中にワンタッチ録音通知 [リモコン ID 番号→#] をダイヤルしたときは『現在通知中のためメッセージの録音はできません』に続いて『回線を切ります』の案内メッセージが聞こえ、回線が切断されます。

3 メッセージの録音

A．録音の開始

『録音を開始します。録音の終了はシャープを押してください』の案内メッセージが聞こえます。
案内メッセージが終わってピー音が鳴り終わったら受話器よりメッセージを録音します。

B．録音の終了

■ 録音を終わるときは、[＃] をダイヤルします。

C．再生

今録音した内容が再生されて聞こえます。

D．録音の確認

再生が終了すると、『録音内容がよろしければ「0」を変更する場合はスターを押してください』の確認メッセージが聞こえます。

■ 録音をやり直さないときは、［0］をダイヤルします。『リモコンでワンタッチ通知を行います』の案内メッセージが聞こえます。手順４へ進みます。

■ 録音をやり直すときは、［✳］をダイヤルします。
「A．録音の開始」に戻ります。
最初から録音をやり直します。

4 ワンタッチ発信番号の指定

A．ワンタッチ番号の入力

『シャープの次にワンタッチ番号を入力し、最後に、スターを押してください』の案内メッセージが聞こえます。

■ シャープの次に通知したいワンタッチ番号をダイヤルします。

B．複数のボタン番号を入力するとき

■ 「［#］→［ワンタッチ番号の入力］」を繰り返しダイヤルします。
例えば、［#→1→#→2→#→5］のようにダイヤルします。

C．ワンタッチ番号の指定終了

■ 指定を終わるときは、［✳］をダイヤルします。

D．指定番号の確認

『○○番、××番、△△番ですね』と今入力したワンタッチ番号が聞こえます。
『よろしければ「0」を、変更する場合はスターを、押してください』の案内メッセージが聞こえます。

■ 正しいときは、［0］をダイヤルします。手順５へ進みます。

■ 訂正するときは、［✳］をダイヤルします。
「A．ワンタッチ番号の入力」に戻ります。
最初からやり直します。

ワンポイント

● 未登録の番号を指定したとき
グループ番号が登録されていないワンタッチ番号を入力したときは、『通知できないワンタッチ番号が入力されました。』の案内メッセージが聞こえます。

● 同じワンタッチ番号を２回入力したとき
『選択済みの番号が入力されました。』の案内メッセージが聞こえます。

● 「通知設定　通知方式　ワンタッチ通知方式」が追加式に登録されているときは、最初に押されたワンタッチの通知内容が含まれないワンタッチは追加できません。この場合、通知内容によって下記の案内メッセージが聞こえます。
・ メール内容が含まれない場合 ‥‥‥『メールの内容が一致しないワンタッチ番号が入力されました。』
・ ポケベル内容が含まれない場合 ‥‥‥『ポケベルの内容が一致しないワンタッチ番号が入力されました。』
・ メッセージ内容が含まれない場合 ‥‥『メッセージの内容が一致しないワンタッチ番号が入力されました。』
入力済みのワンタッチ番号は、全て無効となり、「A．ワンタッチ番号の入力」に戻ります。
最初からやり直します。
制限時間が経過すると、『タイムオーバーです』『回線を切ります』の案内メッセージが聞こえ回線が切断されます。

5

A．初期設定の「通知設定 人数制限」を「通知単位」で「する」に登録しているときは、手順６へ進みます。
B．初期設定の「通知設定 人数制限」を「しない」、または、「グループ単位」で「する」に登録しているときは、手順７へ進みます。

6

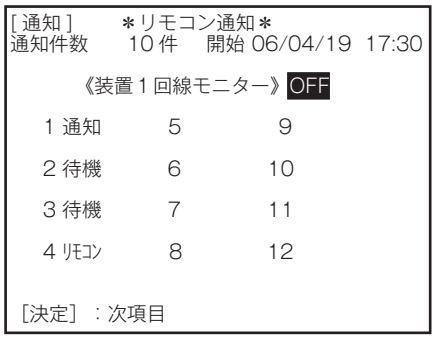
人数制限の指定

『人数を制限しますか、人数制限をする場合は、「0」をしない場合は、スターを押してください』の案内メッセージが聞こえます。
案内メッセージが終わってから、
A．人数制限するときは、
　a．［0］をダイヤルします。
　b．『人数を入力し最後にスターを押してください』の案内メッセージが聞こえます。
　　案内メッセージが終わってから、
　　［制限する人数→米］の順にダイヤルします。
　c．『○○人ですね』と今入力した制限人数が聞こえます。
　　『よろしければ「0」を変更する場合は、スターを押してください』の案内メッセージが聞こえます。
　d．正しいときは、［0］をダイヤルします。
　　手順７へ進みます。
　e．訂正するときは、［米］をダイヤルします。「b」に戻ります。
　　最初からやり直します。
B．人数制限をしないときは、
　［米］をダイヤルします。
　手順７へ進みます。

7

通知開始

『通知します。回線を切ります』の案内メッセージが聞こえます。
受話器を下ろします。
通知が開始されると通知開始ランプが点灯し、リモコン通知中の画面になります。



ワンポイント

- 必要な入力 (ダイヤル) を受信しなかったときは、約 30 秒で『タイムオーバーです』『回線を切ります』の案内メッセージを回線へ送出して、電話を切ります。
- ガイダンスメッセージの直後などダイヤル入力のタイミングによっては、入力を受け付けない場合があります。この場合は、もう一度入力し直してください。

8 通知中の画面

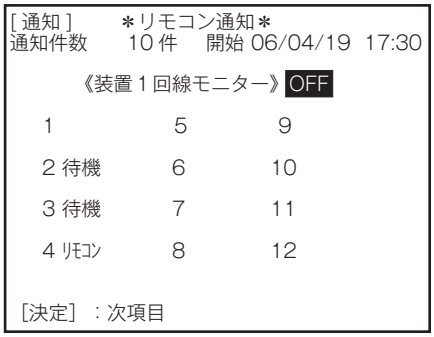
■ 通知中の画面は、［**決定**］ボタンを押すごとに、次の表示をします。
　A．回線の使用状態表示
　B．集計表示
　C．ワンタッチ番号表示
■ 通知結果の集計内容は、「ワンタッチ通知」と同じです。
　「ワンタッチ通知」の手順 7 を参照してください。

8A A．回線の使用状態表示

■ 回線が現在どの動作をしているか表示します。

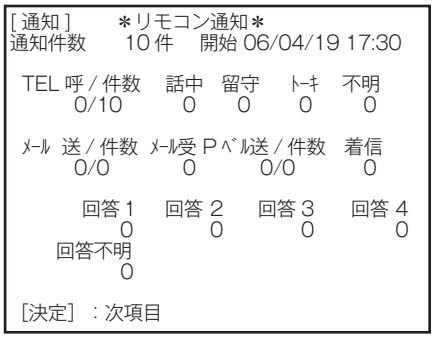
待機	：ダイヤル発信前の状態、または「着信」のときは、着信前の状態です。
ﾀﾞｲﾔﾙ	：回線を閉塞してからダイヤル終了までの状態です。
呼出	：通知先を呼び出してる状態です。
通知	：通知先へメッセージを送出中など、通知中の状態です。
着信	：本装置が着信応答中の状態です。
回線異常	：回線が接続されていない状態です。(リモコン着信専用回線は除く)
ﾘﾓｺﾝ	：リモコン着信専用回線であることを示します。

■ 連結接続でご使用の場合は、［**決定**］ボタンを押すごとに装置 2 および装置 3 の回線状態を表示し、その後に集計表示となります。



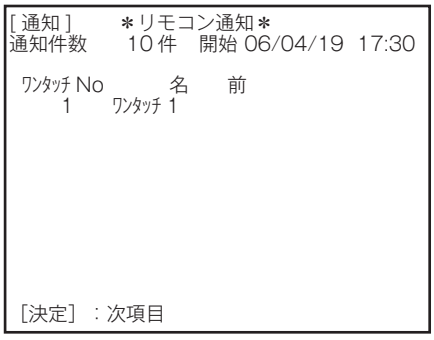
8B B．集計表示

■ 現在の通知結果の集計を表示します。


[通知]　＊リモコン通知＊
通知件数　10 件　開始 06/04/19 17:30
TEL 呼 / 件数　話中　留守　ﾄｰｷ　不明
0/10　0　0　0　0
ﾒｰﾙ 送 / 件数　ﾒｰﾙ受 Pﾍﾞﾙ送 / 件数　着信
0/0　0　0/0　0
回答 1　回答 2　回答 3　回答 4
0　0　0　0
回答不明
0
［決定］：次項目

8C C．ワンタッチ番号表示

■ 選択されているワンタッチ番号を表示します。



9 再通知

「通知設定　再通知」を「する」に登録してあると、通知が終了した後、「ピー」と音がして再通知間隔の時間となります。再通知間隔の時間が経過し、再通知開始になると、応答しなかった通知先、通知結果が不明およびトーキのうち、再通知対象となっている通知先に通知します。
再通知は、「通知設定　間隔」で登録された間隔で「通知設定　回数」で登録された回数分行います。

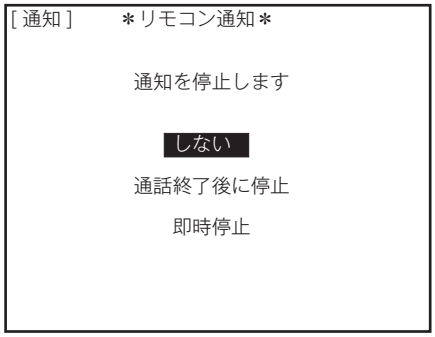
10 通知の終了

■人数制限に達するか、または、再通知も含めすべての通知が終わると、「ピー」と音がして、通知を終わります。
※ 人数制限で人数に達しても回線数等の条件により通知することがあります。
通知が終わると画面は、
●着信を使用するときで着信待ち時間がなし以外のときは、「ピー」と音がして、着信待ちの画面になります。
●着信を使用しないときや着信待ち時間がなしのとき「メニュー」画面になります。

10A

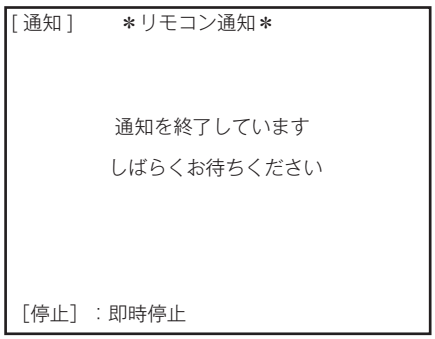
■通知途中で、通知を中止するときは、［**停止**］ボタンを押します。
●［**矢印**］ボタンで「しない」を選択し、［**決定**］ボタンを押すと、手順 7 の通知中の画面に戻り通知を継続します。
●［**矢印**］ボタンで
・通話終了後に停止する場合 ･･･「通話終了後に停止」
・即時停止する場合 ･･･「即時停止」
を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

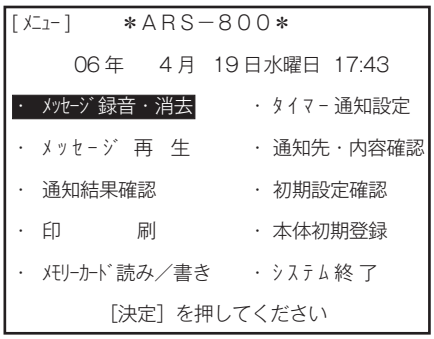
■通話終了後に停止する場合は、手順 10B へ進みます。
■即時停止する場合は、手順 10C へ進みます。



10B 通話終了後に停止

●次の通知を停止して、現在通知中の通知が終ると「ピー」と音がして通知が終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。
●［**停止**］ボタンを押すと、「ピー」と音がして強制的に通知を終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。

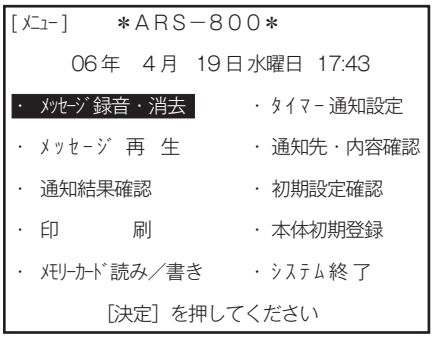




10C

即時停止

●「ピー」と音がして強制的に通知を終わり、通知開始ランプが消灯し、「メニュー」画面に戻ります。



● リモコンによるワンタッチ番号の追加、通知の停止

1 電話をかける

プッシュホンまたはプッシュ信号が出せる電話機から、リモコン操作用の回線へ電話をかけます。

◆本装置は、「回線設定　リモコン回線着信ベル回数」で登録された呼出音の回数で自動応答し、『リモコンＩＤ番号を入力してください』の案内メッセージを回線へ送出します。
◆リモコン ID 番号が３回不一致になると『回線を切ります』の案内メッセージを回線に送出して電話を切ります。

2 リモコンＩＤ番号の入力

［リモコン ID 番号］のみをダイヤルします。
（ワンタッチ通知の場合）
『現在通知中です』『通知を停止するときは、スターを、ワンタッチ番号の追加は「１」を押してください』の案内メッセージが聞こえます。
（ワンタッチ通知以外の場合）
『現在通知中です』『通知を停止するときは、スターを押してください』の案内メッセージが聞こえます。

■「ワンタッチの追加」のときは、手順３へ進みます。
■「通知の停止」のときは、手順４へ進みます。

3 リモコンによるワンタッチの追加

「１」をダイヤルします。
A．ワンタッチ番号の入力
『シャープの次にワンタッチ番号を入力し、最後に、スターを押してください』の案内メッセージが聞こえます。
■シャープの次に追加したいワンタッチ番号をダイヤルします。
B．複数のボタン番号を入力するとき
■「［#］→［ワンタッチ番号の入力］」を繰り返しダイヤルします。
例えば、［#→１→#→２→#→５］のようにダイヤルします。
C．ワンタッチ番号の指定終了
■指定を終わるときは、［✳］をダイヤルします。
D．指定番号の確認
『○○番、××番、△△番ですね』と今入力したワンタッチ番号が聞こえます。
『よろしければ「０」を変更する場合は、スターを押してください』の案内メッセージが聞こえます。
■正しいときは、［０］をダイヤルします。Eへ進みます。
■訂正するときは、［✳］をダイヤルします。
「A．ワンタッチ番号の入力」に戻ります。
最初からやり直します。
E．『通知します』『回線を切ります』の案内メッセージが聞こえます。
受話器を下ろします。
追加されたワンタッチが続いて通知されます。

4 リモコンによる 通知の停止

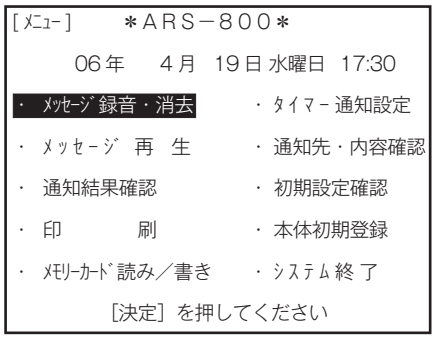
［✳］をダイヤルします。
『通知を停止します』『回線を切ります』の案内メッセージが聞こえ現在通知中の通知が終了するとリモコン通知が終了します。

■ ワンタッチ録音して通知するには

- 通知の前に、情報メッセージを録音して、録音後ワンタッチ通知、外部ワンタッチ通知またはマニュアル通知が簡単にできます。
  通知するごとに情報メッセージを変えて通知するとき便利な機能です。
- 通知停止又は、通知中にワンタッチ番号の追加ができます。
- ワンタッチ録音して通知するには、あらかじめ、次の準備が必要です。
  - ・ 外部マイクなどを接続します。(メッセージの録音 / 消去　P.56 参照)
  - ・ 初期設定の「通知設定 ワンタッチ録音通知用」の本人確認メッセージのチャンネル番号を登録します。
  - ・ 本人確認メッセージは、あらかじめ登録したチャンネルへ録音しておきます。
  - ・ 「通知設定 本人確認メッセージ使用」を「しない」に登録しているときは、本人確認メッセージの表示はありません。
- マニュアル通知、外部ワンタッチ通知およびワンタッチ通知とも、この初期登録で登録したチャンネル番号の本人確認メッセージを送出します。

---

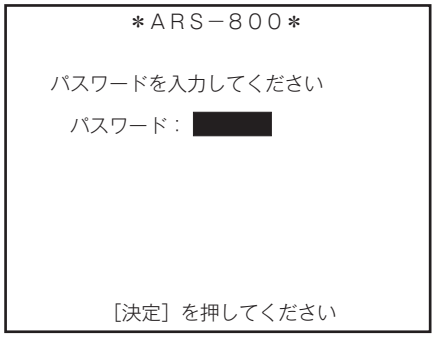
1 「メニュー」画面。



● 待機中以外のときは、ワンタッチ録音ボタンを押しても、録音を開始しません。

---

2 ［**ワンタッチ録音**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります。



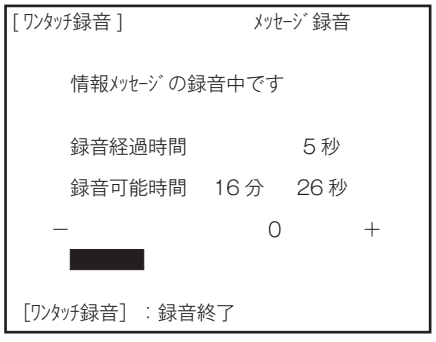
● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

---

3 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。

録音の開始

ワンタッチ録音画面になります。
外部マイクなどから録音します。

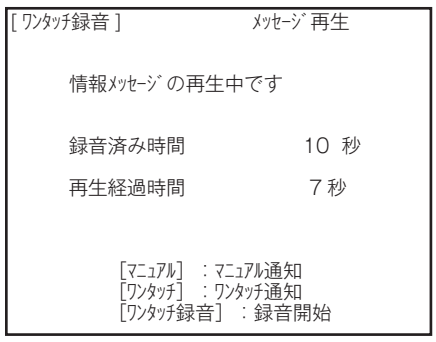


● 録音経過時間および録音可能時間が、１秒単位で経過を表示します。
● 録音レベルがレベルメータにより表示されます。

---

4 録音の終了・再生

［**ワンタッチ録音**］ボタンを押します。
今録音したメッセージを自動再生します。

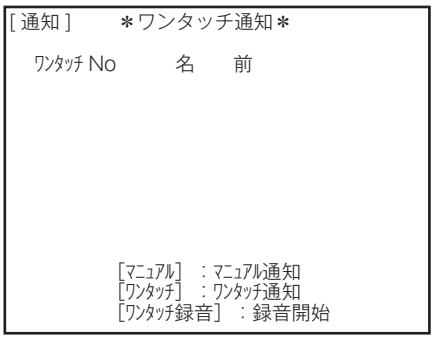


● 再生画面になります。
● 再生音量は、［**音量つまみ**］で調整してください。
● 再生の経過時間が、１秒単位で経過を表示します。

5 再生終了

録音したメッセージが全て再生されるか、または、再生途中に［**ワンタッチ録音**］ボタン、［**ワンタッチ発信**］ボタン、又は［**マニュアル通知**］ボタンを押すと、再生が終了します。

■ 録音をやり直すときは、手順 6 へ進みます。
■ 通知を開始するときは、手順 7 へ進みます。



6 再録音

再生終了後、または、再生途中に［**ワンタッチ録音**］ボタンを押します。
手順 3 へ戻ります。
最初から録音をやり直します。

7 通知

再生終了後、または、再生途中に、
■ ワンタッチ通知をするときは、［**ワンタッチ発信**］ボタンを押します。
以下、「ワンタッチ通知」(P.80) の手順でワンタッチ通知ができます。
■ マニュアル通知をするときは、［**マニュアル通知**］ボタンを押します。
以下、「マニュアル通知」(P.89) の手順でマニュアル通知ができます。

■ 外部ワンタッチ通知

- 外部ワンタッチスイッチボックス ARS-800 OSB(別売品) を接続して、［**ワンタッチ発信**］ボタンを使用し、あらかじめ登録してあるグループに通知する方法です。
- 通知を開始するまでの操作が簡単で、短時間に通知の開始ができます。
- あらかじめ、次の準備操作が必要です。
  1．メッセージの録音
  2．通知データの登録
  3．ワンタッチ発信グループの登録
- ワンタッチ録音した後に、続いて、外部ワンタッチ通知したときは、本人確認メッセージは、初期設定の「通知設定ワンタッチ録音通知用」で登録したチャンネル番号のメッセージを送出します。
- 操作方法については、外部ワンタッチスイッチボックス ARS-800 OSB の取扱説明書に従ってください。

■ 外部ワンタッチ端子板通知

- 外部ワンタッチ端子板 ARS-800 GOT(別売品) を接続して、センサーなどからの起動信号が有ったときにあらかじめ登録してあるグループに通知する方法です。
- あらかじめ、次の準備操作が必要です。
  1．メッセージの録音
  2．通知データの登録
  3．ワンタッチ発信グループの登録
- 接続等については、外部ワンタッチ端子板 ARS-800 GOT の取扱説明書に従ってください。

■ タイマー通知

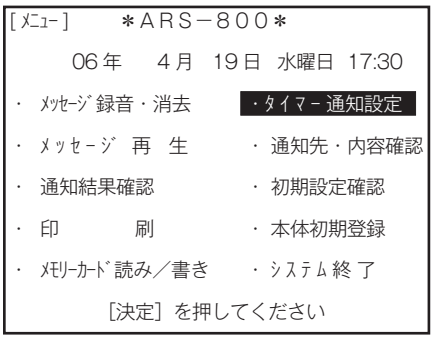
- 制御用パソコンのタイマー登録で設定された曜日、時刻に指定されたワンタッチ番号に通知する方法です。
- 通知が自動的に行えるので夜間などの通知に便利です。
- あらかじめ、次の準備操作が必要です。
  1．メッセージの録音
  2．通知データの登録
  3．ワンタッチ発信グループの登録
  4．タイマーの登録
  5．タイマー通知を「する」「しない」の登録
- タイマーの登録、通知先の登録方法については、取扱説明書「制御用パソコン編」をご覧ください。

ご注意

- タイマー通知設定中にタイマー開始時刻になった場合は、このタイマー通知は、実施せず、次に設定されたタイマー通知から有効になります。
- タイマー通知待機中および通知動作中は、リモコン指定回線への電話着信を受付けずリモコン通知はできません。
- タイマー通知待機中および通知動作中は、ワンタッチ通知、ワンタッチ録音通知、マニュアル通知はできません。タイマー通知設定を解除してから行ってください。
- タイマー通知で通知動作中（着信動作も含む）および通知終了処理中に、次のタイマー通知の開始時刻になった場合、その通知は行いません。タイマー通知の登録で複数の通知時刻を登録する場合は、時刻設定が重ならないことおよび終了処理の時間も考慮して登録してください。

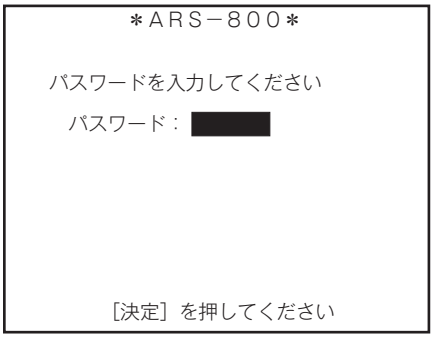
1 タイマー通知を「する」「しない」の登録

「メニュー」画面。



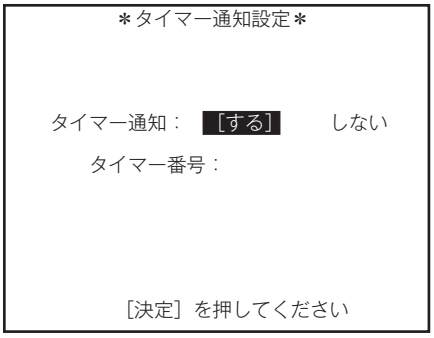
2 ［**矢印**］ボタンで「タイマー通知設定」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります

● パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

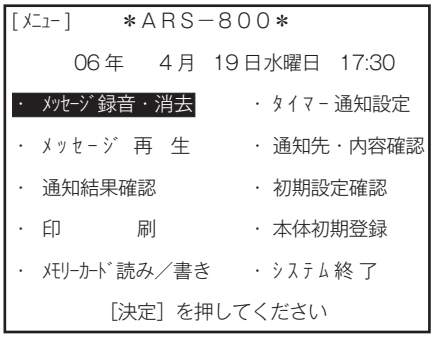


3 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
「タイマー通知設定」画面になります。
［**矢印**］ボタンで
・ タイマー通知する・・・・・「する」
・ タイマー通知しない・・・・「しない」
を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

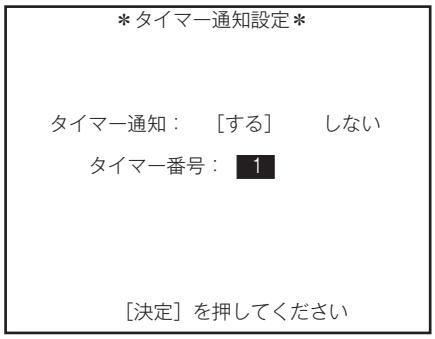
■「タイマー通知しない」は、手順４へ進みます。
■「タイマー通知する」は、手順５へ進みます。



4 「メニュー」画面に戻ります。



5 タイマー番号 (個別の場合は「1 ～ 10」、全対象の場合は「0」) を入力し、[**決定**] ボタンを押します。



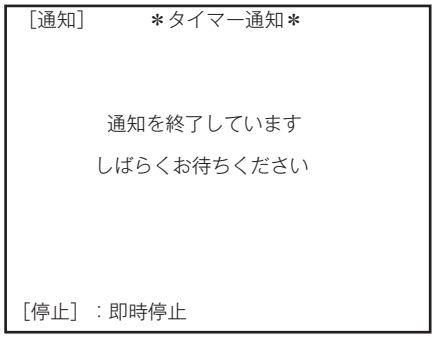
6 「タイマー通知待機中」画面になります。

7 タイマー通知の開始

登録された時刻になると、「ピー」と音がして、タイマー通知の開始の画面になり、しばらくすると通知開始ランプが点灯し、通知を開始します。
通知中の画面は、ワンタッチ通知の手順 7 と同じです。
ただし、表題は、「タイマー通知」となります。

8 タイマー通知の終了

制限人数に達するか再通知を含めて、すべての通知が終了するか、または、終了時刻になると、通知の終了画面を表示し、しばらくすると「ピー」と音がして、通知が終了します。
※ 人数制限で人数に達しても回線数等の条件により、通知することがあります。

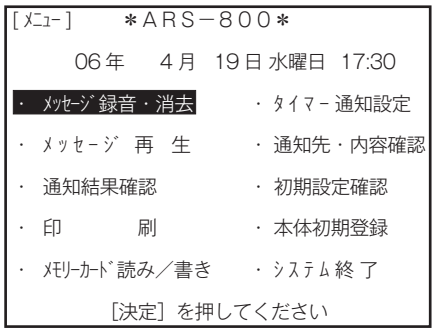


9 通知が終了すると、「タイマー通知待機中」の画面になります。
次のタイマー通知時刻が表示されます。
［**停止**］ボタンを押すと手順３の画面になります。
その後の操作は、手順３により実施します。

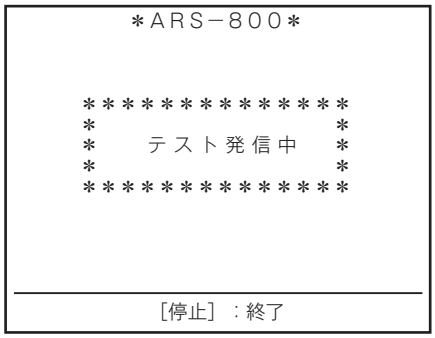
■ テスト発信

● 収容された回線ごとに登録した曜日、時刻に指定した電話番号へ発信し、テスト発信用メッセージを送出します。

1 「メニュー」画面。

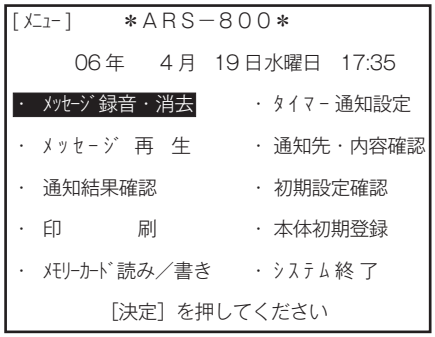


2 登録した曜日、時刻になると「テスト発信中」の画面になり、登録した電話番号にテスト発信します。



3 電話応答すると、テスト発信用メッセージが受話器から聞こえます。

4 テスト発信用メッセージが終了すると、回線が開放され、「メニュー」画面に戻ります。



ワンポイント

- テスト発信用メッセージは必ず録音してください。録音がないとテスト発信ができません。
- 手順 3 で応答しなかった場合は、1 分間隔で 3 回まで繰り返しテスト発信を行います。
- テスト発信中にリモコン通知が発生した場合は、テスト発信は中止され、通知が開始されます。
- テスト発信中にワンタッチ通知やマニュアル通知を行う場合は、［**停止**］ボタンを押してテスト発信を終了してから行ってください。
- 初期設定　回線設定で、着信、着信 ND、リモコンに登録した回線は、テスト発信できません。

■ 情報別通知

- 制御用パソコン上に設置した情報別ボタンを使用し、あらかじめ登録してあるグループに通知する方法です。
- 情報別ボタンを最大 6 個設置できます。
- 各々の情報ボタンに通知先を最大 10 個設置できます。
- 通知グループは、各々の通知先ごとに最大 50 グループまで登録できます。
- 通知先には、本人確認メッセージ（通知･着信ごと）、情報メッセージ（通知･着信ごと）、メール、ポケベル、人数制限、通知先グループを各々登録できます。
- 操作方法については、取扱説明書「制御用パソコン編」をご覧ください。
- 通知中の画面は、マニュアル通知の手順 10 と同じです。ただし、表題は「情報別通知」となります。

■ 通知先での操作 (電話での回答入力のしかた)

● 「共通設定 回答入力」を「する」に登録して、お使いの場合の操作です。
この場合、本体から通知があったとき (発信通知) または本体へ電話して通知メッセージを聞くとき（着信応答）は、以下の手順で操作してください。
＊ 発信通知のときは、初期設定の「共通設定　回答入力」を「する」に登録します。
＊ 着信応答のときは、初期設定の「共通設定　回答入力」を「する」に登録、「着信設定　電話着信機能使用」「着信設定　電話着信・メール受信回答入力」を「する」に登録および、回線種別で着信応答させる回線を「着信」に登録してください。

● 回答結果は、初期設定で設定された「回答 1 ～ 4 の名称」ごとに件数が集計されます。

● 本人確認や回答入力などの通知先の操作は、プッシュホン、または、プッシュ信号が出せる電話機から行ってください。回転ダイヤル式の電話機は使用できません。

1 本人確認メッセージの送出

■ 本体からの電話へ出たとき、または、本体へ電話して本体が応答すると、本人確認メッセージ (ID 番号の入力依頼用メッセージ）が聞こえます。

■ 初期設定で、
・発信通知のとき、「通知設定 本人確認メッセージ使用」を「しない」
・着信応答のとき、「着信設定 本人確認メッセージ使用」を「しない」
に登録しているときは、本人確認メッセージはありません。
手順 3 へ進みます。情報メッセージが聞こえます。

2 本人の確認

■ 本人確認メッセージ中、または、本人確認メッセージのあとに、
・「ＩＤ番号」をダイヤルします。
手順 3 へ進みます。

■ 本人確認メッセージの送出回数が「通知設定　本人確認メッセージ送出回数」「着信設定　本人確認メッセージ送出回数」で登録されている回数の間に、ＩＤ番号をダイヤルしなかったとき、または、間違ったＩＤ番号を「共通設定　ID 確認リトライ回数」で登録した回数以上ダイヤルしたときなど、本体が正しく認識できなかった場合は、
・初期設定の「通知設定 ＩＤ識別未確認後の情報メッセージ送出」、「着信設定 ＩＤ識別未確認後の情報メッセージ送出」を「する」に登録しているときは、情報メッセージが聞こえます。
手順 3 へ進みます。
・初期設定の「通知設定 ＩＤ識別未確認後の情報メッセージ送出」、「着信設定 ＩＤ識別未確認後の情報メッセージ送出」を「しない」に登録しているときは、『タイムオーバーです』『回線を切ります』の案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。
・ＩＤ番号を本体が正しく読み込めなかったときは、通知結果に「ＩＤ」の記号は付きません。
手順 3 へ進みます。

3 情報メッセージの送出

■ 通知開始日時につづいて情報メッセージ（召集依頼など）が聞こえます。
・共通メッセージ（情報メッセージ 69ch）が録音されている場合は、情報メッセージに続いて共通メッセージが聞こえます。

■ 初期設定で、「通知設定　タイムスタンプ」を「しない」に登録しているときは、通知開始日時は聞こえません。

4 回答入力

■ 情報メッセージ（共通メッセージ）中、または、情報メッセージ（共通メッセージ）のあとに、

A．初期設定の「共通設定 回答入力」で登録した回答ダイヤルをダイヤルします。

B．初期設定の「共通設定 回答入力」で登録した情報メッセージ繰返しダイヤルをダイヤルしたときは、『メッセージを繰り返します』の案内メッセージが聞こえ、続いて、情報メッセージが聞こえます。
「A」からやり直します。

C．回答 1 で登録した番号をダイヤルしたときは、回答 1 で登録した回答メッセージチャンネルのメッセージが聞こえます。
初期設定の「共通設定 確認メッセージ送出設定 回答確認メッセージ」で「する」を登録してあると、
『回答がよろしければ△△を、変更する場合は○○を押してください』の案内メッセージが聞こえます。

・ 変更しないときは、初期設定の「共通設定　確認メッセージ送出設定　確認 (Yes) ダイヤル」で登録した番号 (△△) をダイヤルします。
『了解しました』『回線を切ります』と案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。
通知結果は、回答 1 で登録した回答名として集計します。

・変更するときは、初期設定の「共通設定　確認メッセージ送出設定　確認 (No) ダイヤル」で登録した番号 (○○) をダイヤルします。
『もう一度回答をダイヤルしてください』の案内メッセージが聞こえます。
「A」からやり直します。

D．初期設定の「共通設定　確認メッセージ送出設定　回答確認メッセージ」で「しない」を登録してあると、
『回答○○を受付けました』『回線を切ります』と案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。

E．回答 2 ～ 4 で登録した番号をダイヤルしたときも「C」「D」と同じです。

■ 初期設定の「共通設定 回答 1 ～ 4 時刻回答」で「する」が登録してあると、時刻回答が入力できます。

A．予定時刻を 4 桁で入力してください』の案内メッセージが聞こえます。
１１時３０分の場合は１１３０をダイヤルします。『１１時３０分ですね』の案内メッセージが聞こえます。

B．初期設定の「共通設定 確認メッセージ送出設定 時刻確認メッセージ」で「する」が登録してあると、
『時刻がよろしければ△△を変更する場合は○○を押してください』の案内メッセージが聞こえます。

・変更しないときは、初期設定の「共通設定 確認メッセージ送出設定 確認 (Yes) ダイヤル」で登録した番号 (△△) をダイヤルします。
『了解しました』『回線を切ります』と案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。

・ 変更するときは、初期設定の「共通設定 確認メッセージ送出設定 確認 (No) ダイヤル」で登録した番号 (○○) をダイヤルします。
『もう一度時刻を 4 桁で入力してください』の案内メッセージが聞こえます。
「A」からやり直します。(但し『予定時刻を 4 桁で入力してください』の案内メッセージは送出されません)

C．初期設定の「共通設定 確認メッセージ送出設定 時刻確認メッセージ」で「しない」が登録してあると、
『了解しました』『回線を切ります』と案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。

■ 初期設定の「共通設定 回答 1 ～ 4 時刻回答」で「しない」が登録してあると、
『回答○○を受付けました』『回線を切ります』と案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。

■ 初期設定で登録した送出回数だけ、情報メッセージが聞こえた後に、初期設定の「回線設定 通知後回線保留時間」で登録した時間内に、回答ダイヤルをダイヤルしなかったときは、
『タイムオーバーです』『回線を切ります』の案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。通知結果は、「回答不明」として集計します。

ワンポイント

● ガイダンスメッセージの直後などダイヤル入力のタイミングによっては、入力を受け付けない場合があります。この場合は、もう一度入力し直してください。
● 着信で個人と特定できない場合 (例：本人確認 なし、本人確認あり 共通 ID 等) は、時刻回答入力はできません。

■ 通知先での操作 (メールでの回答入力のしかた)

● あらかじめ、制御用パソコンより、次の準備操作が必要です。
　・「共通設定　回答入力」のチェックボックスにチェックを付けます。
　・「共通設定　回答１～４」に該当する「メール回答」を登録します。また回答方式が「回答別アドレス方式」の場合は、「回答１～４」に該当する「アカウントとパスワード」を登録します。
● 本システムからメール通知があったとき、次の２通り（制御用パソコンの「初期設定　メール設定」であらかじめ選択しておきます。）の方法でメール回答ができます。

１．「メール設定　受信方式」で「返信本文入力」を選択した場合

1　メール受信

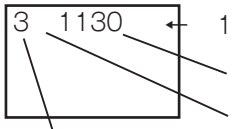
本システムからメールを受信します。

2　返信メールによる回答入力

■ 本体通知中または着信待ち受け中に、
　A．受信したメールに表示されている４種類の「回答名」に対応する「メール回答」の中から該当する「メール回答」を選択し、返信メール (本文の１行目) に入力します。
　B．メールを返信します。(メール作成、返信等については、携帯電話やパソコンの取扱説明書をご覧ください。)

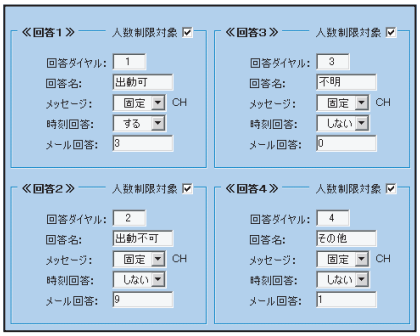
（例）
【受信メール本文】
火災が発生しました。至急出動してください。
返信メールの１行目に、
出動できる場合は " ３"" スペース "" 予定時刻４桁 " を、
出動できない場合は、" ９" を、
不明の場合は、" ０" を、
その他の場合は、" １" を入力して返信してください。

（例）
返信メール
（「メール回答」出動可「３」、予定時刻「11 時 30 分」の場合）



■ 回答結果は共通設定で登録された「回答１～４の名称」ごとに件数が集計されます。
■ 返信メールの本文に入力した「コメント内容」は、個人別に管理・保存され、表示およびプリントアウトができます。

上記の（例）の場合の回答登録内容



制御用パソコンの初期設定 (ARS 用)　共通設定の画面

ワンポイント

● 返信メールの「メール回答」は、１行目の１文字目から入力してください。
　続けて時刻回答を入力する場合は、区切り文字としてスペースを１文字入力してください。
● コメントを入力する場合は、上記文字列の後ろにスペースを１文字入力してください。
● 入力文字数は、回答・時刻・コメント・区切り文字を含め全角 31 文字（半角 62 文字）までパソコン画面で確認できます。

2．「メール設定　受信方式」で「回答別アドレス」を選択した場合

1 メール受信

本システムからメールを受信します。

2 送信メールによる回答入力

■ 本体通知中または着信待ち受け中に、

A．受信したメールに表示されている４種類の「回答名」に対応する「メールアドレス」の中から該当する「メールアドレス」を選択します。

B．空メールを送信します。(メール作成、送信等については、携帯電話やパソコンの取扱説明書をご覧ください。)

（例）
【受信メール本文】
火災が発生しました。至急出動してください。
出動の可否を次のアドレスに空メールで送信してください。
「出動可」　yes@takacom.co.jp
「出動不可」　no@takacom.co.jp
「不明」　fumei@takacom.co.jp
「その他」　sonota@takacom.co.jp

（例）
送信メール
（「メール回答」出動可の場合）

火災が発生しました。
至急出動してください。
出動の可否を次のアドレスに
空メールで返信してください。
「出動可」　yes@takacom.co.jp
「出動不可」　no@takacom.co.jp
「不明」　fumei@takacom.co.jp
「その他」　sonota@takacom.co.jp

■ 時刻回答する場合は、空メールでなくメール本文の 1 行目の 1 文字目に時刻を入力して送信します。

（例）
返信メール
（時刻 11 時 30 分の場合）

1130 ← 1行目

■ 回答結果は共通設定で登録された「回答１～４の名称」ごとに件数が集計されます。
■ 送信メールの本文に入力した「コメント内容」は、個人別に管理･保存され、表示およびプリントアウトができます。

ワンポイント

● コメントを入力する場合は、上記文字列の後ろにスペースを 1 文字入力してください。
● 入力文字数は、時刻・コメント・区切り文字を含め全角 31 文字（半角 62 文字）まで本体側で確認できます。

ワンポイント

● メール送信されたアドレス以外からのメール回答は、相手未確認着信として集計されます。

ご注意

● メール回答において、入力される文字の大文字・小文字は区別されます。
● 入力文字において、回答およびコメントに“　”（スペース）や携帯電話の絵文字は使用できません。

■ 電話着信・メール受信のみで使用する場合

安否確認などで、電話通知、メール送信を行わずに、任意に電話の着信およびメールの受信のみで使用する場合は、以下の設定として、ダミーの通知を行ってください。

● 電話回線設定：
「初期設定　回線設定」の「回線種別選択」をすべて「着信」に設定してください。
（取扱説明書「制御用パソコン編」（P.44））

● 人数制限：
「初期設定　通知設定」の「人数制限」を「しない」に設定してください。
（取扱説明書「制御用パソコン編」（P.47））

● 電話着信・メール受信待受け時間：
「初期設定　着信設定」の「電話着信・メール受信待受け時間」を「なし」以外に設定してください。
（取扱説明書「制御用パソコン編」（P.50））

● メール設定：
「初期設定　メール設定」の「メール送信」を「使用しない」に設定してください。
（取扱説明書「制御用パソコン編」（P.53））
「初期設定　メール設定　受信設定」を設定してください。
（取扱説明書「制御用パソコン編」（P.54））

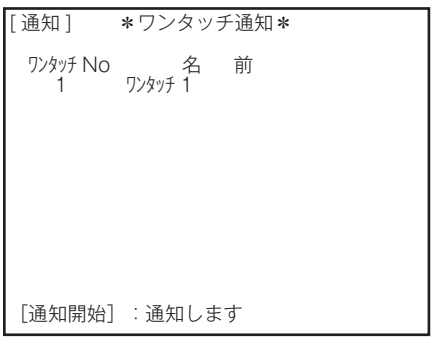
● 対象者個人データの登録、グループ・ワンタッチの登録：
安否確認などの対象者を「通知先登録（個人情報の登録）（グループの登録）（ワンタッチの登録）」で設定してください。
（取扱説明書「制御用パソコン編」（P.67）（P.73）（P.79））

● 電話着信・本人確認 ID 種別：
「初期設定　着信設定」の「本人確認メッセージ・ID 種別」をチェックをはずして「個別 ID」に設定してください。
・ 電話着信およびメール受信した相手を、本人確認 ID 番号、メールアドレスなどにより対象者を特定します。
・ 個人情報の登録がない電話着信・メール受信は、相手未確認として集計されます。
・ 相手が特定できない電話着信・メール受信は、制御用パソコンの着信中個人結果画面に表示しません。

● 電話情報メッセージの録音：
着信時に応答する「本人確認メッセージ」「情報メッセージ」を録音し、ワンタッチに設定します。

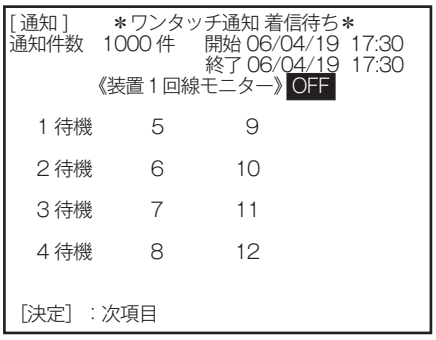
---

1 ワンタッチ通知、マニュアル通知などにより通知を開始します。
「通知」（P.80）を参照してください。



---

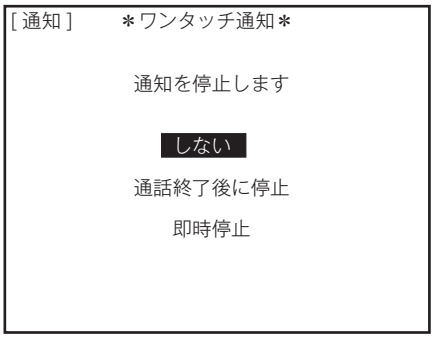
2 本システムは通知開始後すぐに通知終了し、着信待ちの画面になります。
■ 回線の使用状態表示、集計表示、回線モニター、平行印字などの操作は通知中の操作と同様です。「通知」（P.80）を参照してください。



---

3 着信動作は、着信待受け時間が終了するかまたは［**停止**］ボタンを押すと終了します。

■ 終了の操作はワンタッチ通知などの操作と同様です。「通知の終了」（P.87）を参照してください。



■ 着信応答 (本体へ電話してメッセージを聞くには)

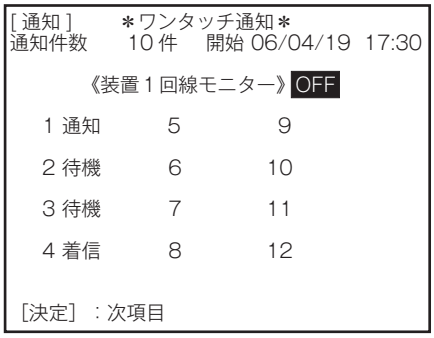
- 自宅あるいは出先などから、本体へ電話して、情報メッセージを聞くことができます。通知先が、ポケットベルなどで、直接通知メッセージを伝えることができない通知先への通知方法として便利な機能です。
- 着信応答をさせるときは、初期設定の回線種別で着信動作させる回線を「着信」または「着信 ND」に登録してください。
- 初期設定の「着信設定　電話着信機能使用」を「する」に設定し、「着信待受け時間」を登録してください。
- 初期設定の「本人確認メッセージ使用」を「する」および「着信設定 回答入力」を「する」に登録しているときは、プッシュホンまたはプッシュ信号が出せる電話機から操作してください。

1 着信動作の開始

ワンタッチ通知、マニュアル通知、リモコン通知など、通知が開始すると同時に、着信動作も開始します。

2 着信動作

■ 初期設定の「回線種別」で「着信」または、「着信 ND」に設定している回線へ、ダイヤルします。
■ 本装置が応答すると、初期設定の「着信設定」で設定している内容で、情報メッセージなどが聞こえます。
■ 本装置が応答後の操作手順は、ワンタッチ通知などと同じ手順です。
■ 通知中の画面は、ワンタッチ通知など、その通知に対応した画面が表示され、通知動作が終わると、着信待ち受け中の画面になります。



ワンポイント

- 本人確認メッセージまたは情報メッセージのチャンネル番号を「通知 ch」で登録しているときは、通知のときの本人確認メッセージまたは情報メッセージを送出します。
- ワンタッチ発信ボタン (1 ～ 10) または外部ワンタッチ発信ボタン (1 ～ 60) から複数のボタンを指定して通知したときに、指定した発信ボタンで異なるチャンネル番号の本人確認メッセージまたは情報メッセージが登録されているときは、最初に押した発信ボタンに登録されているチャンネル番号の本人確認メッセージまたは情報メッセージを送出します。
- ワンタッチ録音したあとに、続いて、ワンタッチ通知またはマニュアル通知をしたときは、本人確認メッセージは、初期設定の「通知設定 ワンタッチ録音通知用」で登録したチャンネル番号のメッセージを送出します。
- 着信設定において、「本人確認メッセージ使用」を「する」に登録してある時でも回線種別が「着信ND」、着信設定で「ナンバーディスプレイ使用」を「する」に登録してあるときは、ナンバーディスプレイ回線に着信した電話番号が本人と確認出来た場合、「本人確認メッセージ」を送出しません。

3 着信動作の終了

■ [停止] ボタンを押すと通知の終了メニューになり「通話終了後に停止」を選択すると着信動作が終わって、メニュー画面になります。
・ 着信応答中のときは、新たな着信応答を停止して、現在、着信応答中の動作が終わると、「メニュー」画面になります。

なお、「通話終了後に停止」を選択後 [停止] ボタンを押すと、着信応答中でも、強制的に着信動作を終わります。
また、「即時停止」を選択すると、着信応答中でも、強制的に着信動作を終わります。

ワンポイント

● ワンタッチ通知のときの、着信待ち受け中に追加の通知入力があった場合は
■ 本体ワンタッチボタンおよび ARS-800 OSB で追加した場合
現在の通知に、登録されている通知方式 (追加式、ボタン別) にもとづいて追加され、通知動作を再開します。新たな通知としたいときは、［**停止**］ボタンで通知を終了したあとにおこないます。
■ 外部ワンタッチ端子板で追加した場合
現在の通知に、登録されている通知方式 (追加式、ボタン別) にもとづいて追加され、通知動作を再開します。新たな通知としたい場合でも、状態判定ができないため、追加のタイミングにより、新たな通知とならない場合があります。
■ ホストパソコンからのコマンドにより追加した場合 (ARS-800F)
現在の通知がマニュアル通知の場合はグループの追加ができ、ワンタッチ通知の場合はワンタッチグループの追加が、通知方式 (追加式、ボタン別) に基づいて追加され、通知を継続します。
新たな通知としたいときは、停止コマンドで通知を終了したあとに行います。

■ 通知先のメッセージを録音するには

● 「通話録音装置 VR シリーズ」(別売品) を接続すると、情報メッセージが終わってから、通知先のメッセージを録音することができます。
● 通知先のメッセージを録音するには、次の準備をしてください。
なお、「通話録音装置 VR シリーズ」の操作は、「通話録音装置 VR シリーズ」の取扱説明書をご覧ください。
A．「通話録音装置 VR シリーズ」の接続
＊ 回線ごとに対応して接続でき、標準 4 台で最大 12 台です。（連結接続した場合は、最大 36 台となります。）
B．「通話録音装置 VR シリーズ」を外部起動録音モードにします。
C．初期設定の「共通設定 通知先メッセージ録音」を「する」に登録します。

1 録音の開始

A．本体から電話（通知）があり、受話器をあげると、本人確認メッセージに続いて情報メッセージが聞こえます。
B．情報メッセージが終わって『ピー』と聞こえたら (情報メッセージの送出回数を複数回に登録しているときは、最後の情報メッセージが終わって『ピー』と聞こえたら)、録音を開始します。
受話器からメッセージを録音します。
C．初期設定の「共通設定　回答入力」を「する」に登録してある場合に回答入力したときは、回答用メッセージのあとに『ピー』と聞こえたら、録音を開始します。
受話器からメッセージを録音します。

2 録音の終了

A．受話器を下ろすか、または、録音を開始してから、初期設定の「回線設定 通知後回線保留時間」で登録した時間が経過すると、録音終了となり、『タイムオーバーです』『回線を切ります』の案内メッセージが聞こえ、電話が切れます。

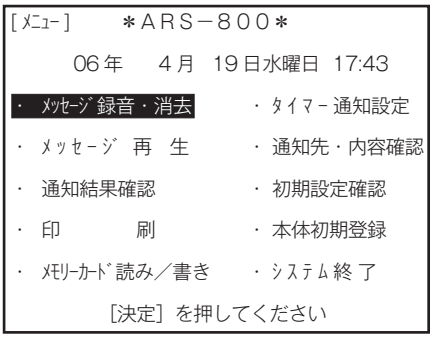
第 6 章

通知結果の確認

通知結果の確認

通知結果およびテスト発信結果をディスプレイ画面で確認することができます。

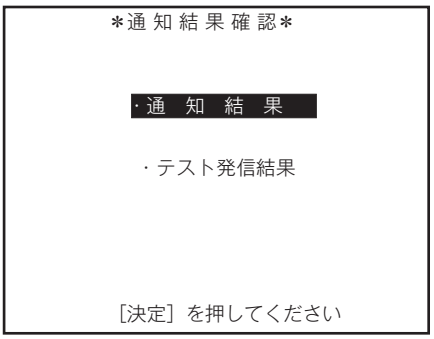
1 「メニュー」画面。



2 [**矢印**]ボタンで「通知結果確認」を選択し、[**決定**]ボタンを押します。「通知結果確認」画面になります。

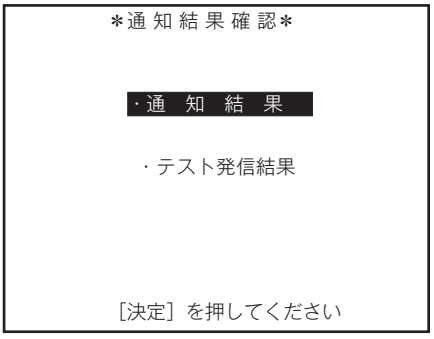
※ パスワードを登録しているときは、「パスワード画面」を表示します。パスワードを入力し、[**決定**]ボタンを押すと「通知結果確認」画面になります。

● 確認する項目の選択待ちとなります。



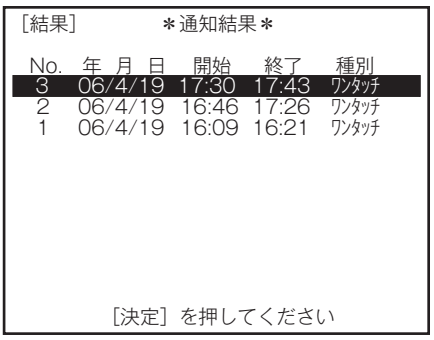
3 [**矢印**]ボタンで
・通知結果の確認 ･･･「通知結果」
・テスト発信結果 ･･･「テスト発信結果」
を選択し、[**決定**]ボタンを押します。

■ 通知結果の確認は、手順４へ進みます。
■ テスト発信結果の確認は、手順７へ進みます。



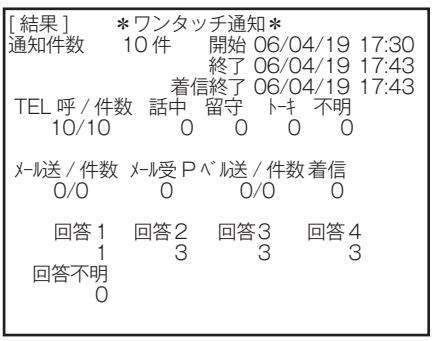
4 通知結果の一覧が表示されます。
[**矢印**]ボタンを押して確認したい結果を選択し、[**決定**]ボタンを押します。

● 通知結果が11以上の場合は、画面右下に「▼」を表示し[**矢印**]ボタンで画面をスクロールします。
● 制御用パソコンからの通知は、種別の後に〈LAN〉と表示します。



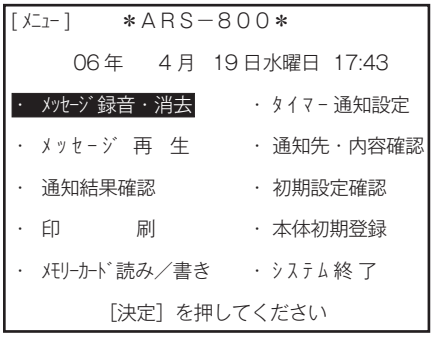
5 選択した通知結果の詳細を表示します。
[**戻る**]ボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。
[**矢印▼**]ボタンを押すことにより通知したワンタッチ番号 (マニュアル通知の場合は、通知したグループ番号) を確認することができます。
続いて確認する場合は、手順４から繰り返します。

● 制御用パソコンからの通知は、通知種別タイトルの後に〈LAN〉と表示します。


[結果] ＊ワンタッチ通知＊
通知件数 10件 開始 06/04/19 17:30
終了 06/04/19 17:43
着信終了 06/04/19 17:43
TEL 呼 / 件数 話中 留守 ﾄｰｷ 不明
10/10 0 0 0 0
ﾒｰﾙ送 / 件数 ﾒｰﾙ受 Pﾍﾞﾙ送 / 件数 着信
0/0 0 0/0 0
回答1 回答2 回答3 回答4
1 3 3 3
回答不明
0

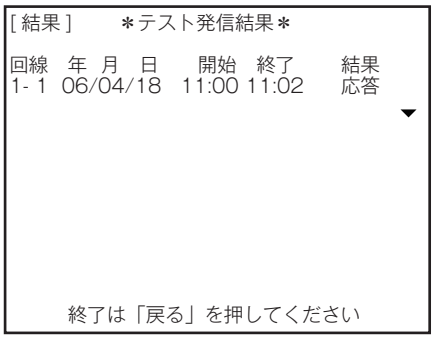
6 通知結果の確認を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。



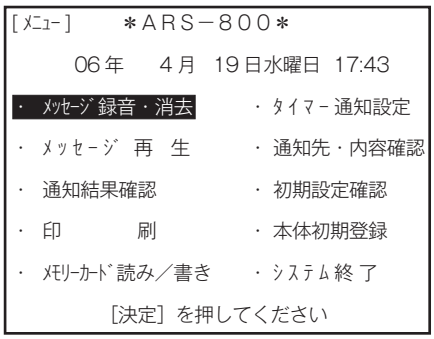
7 テスト発信結果一覧を表示します。
［**戻る**］ボタンを押すと「通知結果確認」画面になります。

● 最終結果のみを表示します。



8 テスト発信結果の確認を終了するときは、［**停止**］ボタンを押します。

● 「メニュー」画面になります。



■ 通知結果の集計内容は、次のとおりです。

TEL 呼 / 件数 ：電話通知件数中、電話へ通知した件数。
話中 ：通知先が、話中の件数。
留守 ：「回線設定 呼出時間」で登録した時間内に応答しなかった件数。
ﾄｰｷ ：誤ダイヤルなどで、使われていない電話番号や電源が入ってない携帯電話へ通知した件数。
不明 (情報未) ：本人確認メッセージで本人の確認ができず、情報メッセージを送出しなかった件数。
ﾒｰﾙ送 / 件数 ：メール通知件数中、メールへ通知した件数。
ﾒｰﾙ受 ：メール受信をした件数
Pﾍﾞﾙ送 / 件数 ：ポケットベルの通知件数中、ポケットベルへ通知した件数。
着信 ：着信回線で応答した件数。
応答 ：回答入力しないときで、通知後情報メッセージが流れた件数、電話着信の件数およびメール受信をした件数。
回答 1 ～ 4 ：「共通設定 回答入力」の「回答 1」～「回答 4」の各回答ダイヤルに登録したダイヤル番号やメール回答に登録した文字で回答した件数、および、メール回答方式の回答別アドレスにおいて「回答 1」～「回答 4」の各アドレスに受信のあった件数。
回答不明 ：上記回答 1 ～ 4 のいずれにも該当しなかった場合の件数。

ワンポイント

● 回答 1 ～ 4 の表示は、実際は、「共通設定 回答入力　回答 1 ～ 4」の「回答名」に登録した名前を表示します。
名前の登録がないときは、回答 1 ～ 4 を表示します。
「共通設定　回答入力」で回答ダイヤルおよびメール回答の登録がない回答は表示しません。

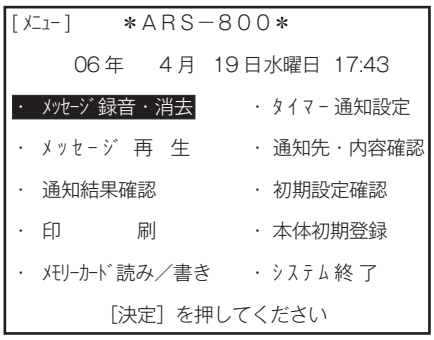
印 刷

通知履歴、通知結果、本体初期登録のデータをプリンタ (市販品) で印刷することができます。
制御用パソコンでの印刷については、取扱説明書「制御用パソコン編」をご覧ください。

■ プリンタをご利用の場合

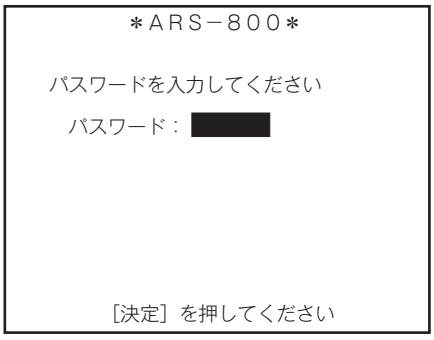
- 使用できるプリンタ　：ＥＳＣ／Ｐをサポートしたプリンタです。
- インターフェース　　：セントロニクス社仕様準拠で、ＩＥＥＥ１２８４準拠双方向パラレル
- 接続は、後面のプリンタコネクタ (Ｄ－ＳＵＢ　２５ピン) で行います。
- 通知結果の並行印字を行う場合には、ドットインパクトプリンタ (連続用紙) をご利用ください。

1 「メニュー」画面。

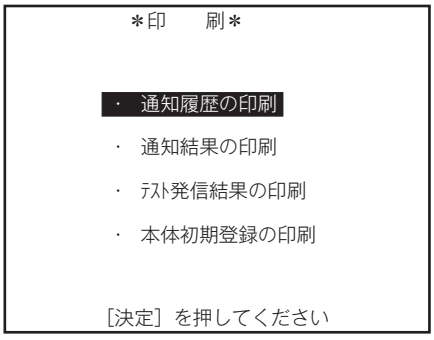


2 ［**矢印**］ボタンで「印刷」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
パスワードの画面になります。

●パスワードを登録していないときは、この画面は表示しません。

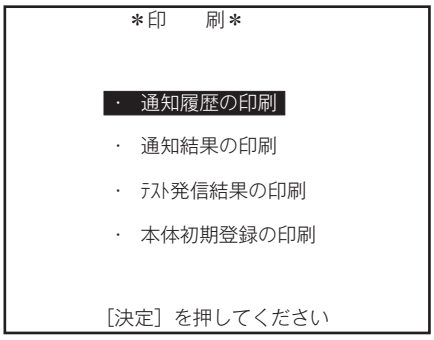


3 パスワードを入力し、［**決定**］ボタンを押します。
「印刷」画面になります。



4 ［**矢印**］ボタンで
・通知履歴の印刷 ･･･「通知履歴の印刷」
・通知結果の印刷 ･･･「通知結果の印刷」
・テスト発信結果の印刷 ･･･「テスト発信結果の印刷」
・本体初期登録の印刷 ･･･「本体初期登録の印刷」
を選択し、［**決定**］ボタンを押します。

■ 通知履歴の印刷の場合は、手順５へ進みます。
■ 通知結果の印刷の場合は、手順６へ進みます。
■ テスト発信結果の印刷の場合は、手順９へ進みます。
■ 本体初期登録の印刷の場合は、手順 10 へ進みます。

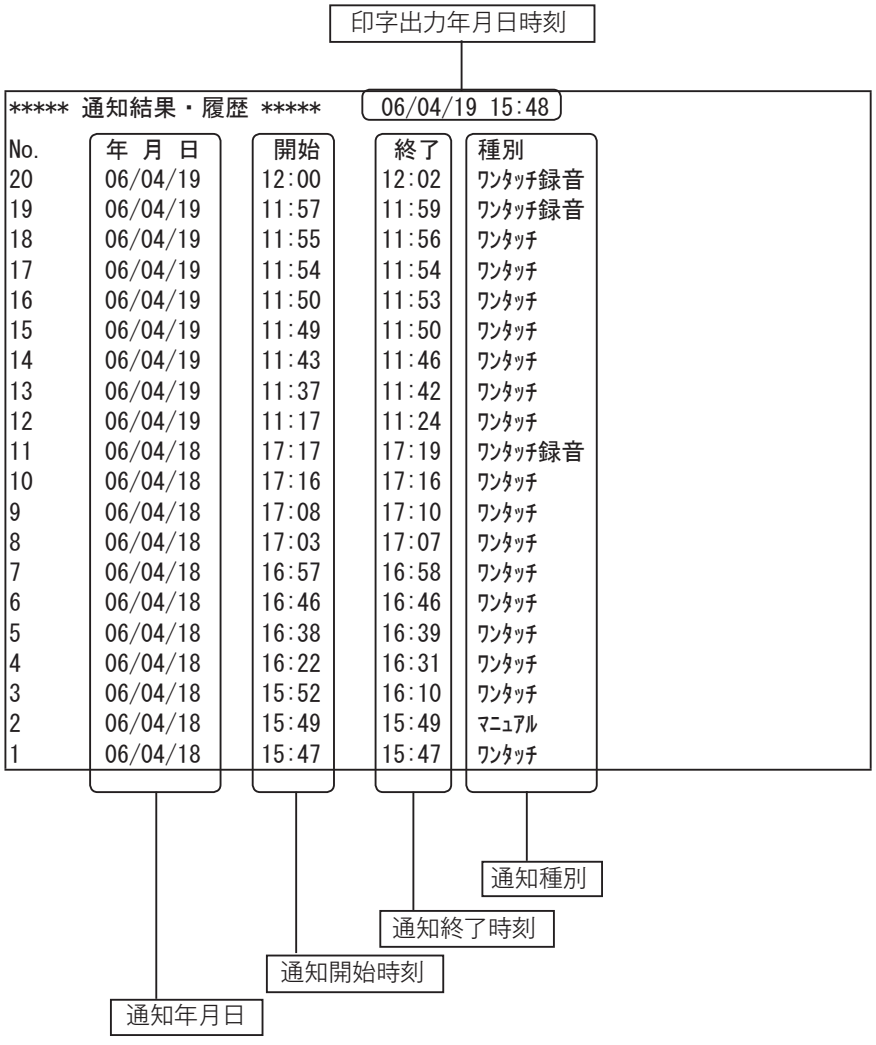


5

「通知履歴」の印刷が実行されます。

```
＊印　　刷＊

＊＊＊＊＊＊＊＊

通知履歴の印刷中

＊＊＊＊＊＊＊＊＊

［停止］印刷中止
```

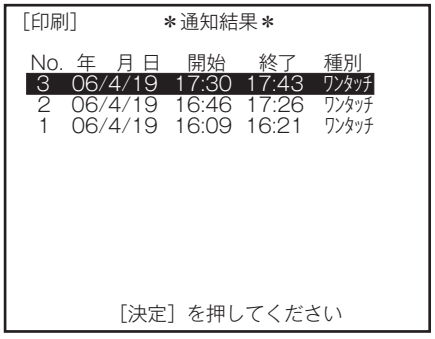
5A 通知履歴の印字



※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

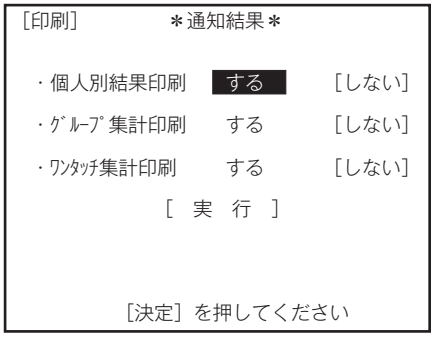
6 「通知結果」画面になります。
［**矢印**］ボタンを押して、印刷する通知結果を選択します。

● 通知結果が 11 以上の場合は、画面右下に「▼」を表示し［**矢印**］ボタンで画面をスクロールします。

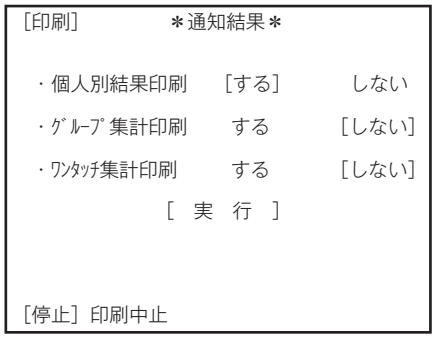


7 ［**決定**］ボタンを押します。
［**矢印**］ボタンで印刷する項目を選択し、印刷「する / しない」を選択し、
［**決定**］ボタンを押します。

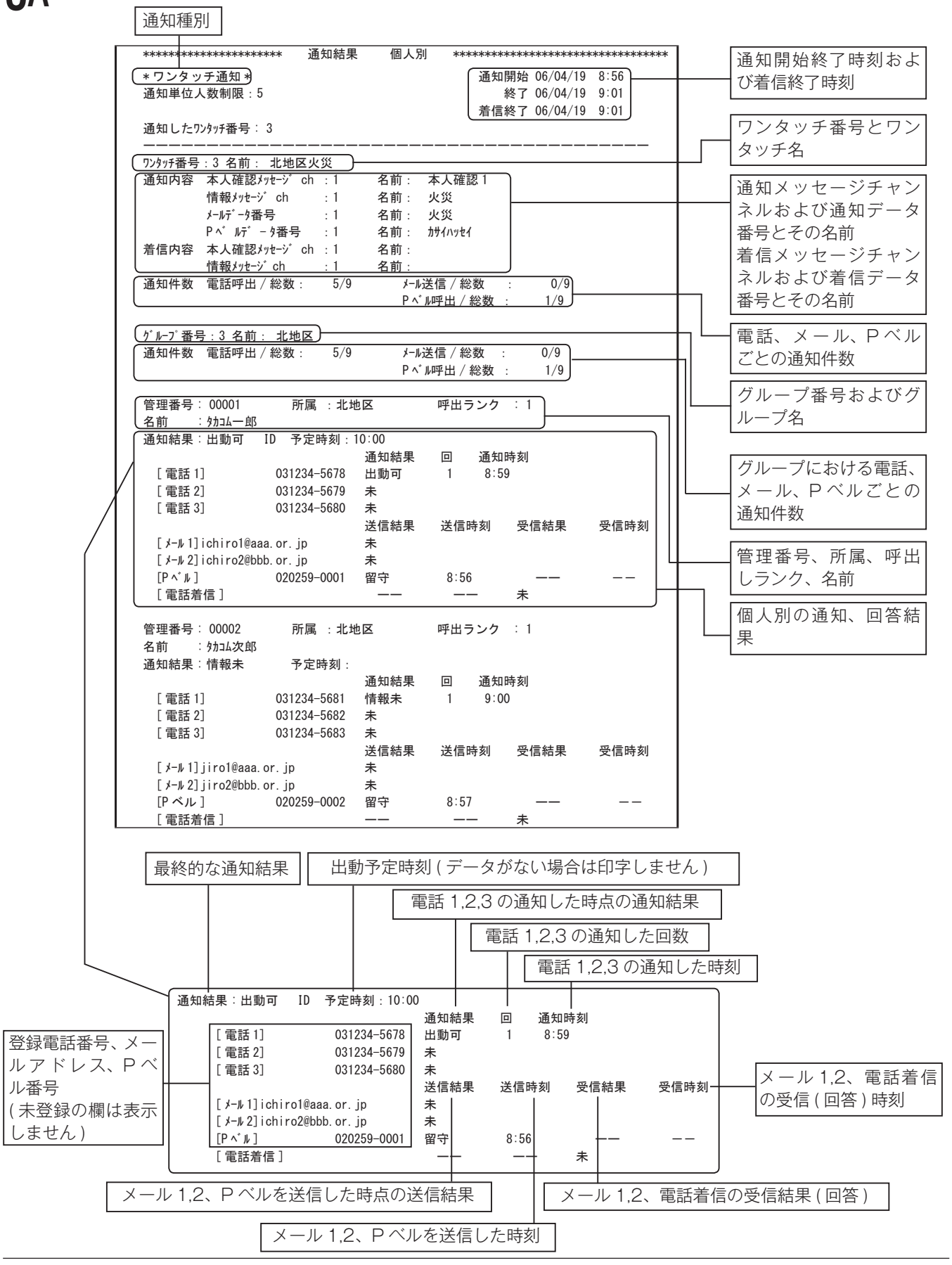
● マニュアル通知の場合は、「ワンタッチ集計印刷」の項目は表示しません。



8 ［**矢印**］ボタンで「実行」を選択し、［**決定**］ボタンを押します。
■ 印刷が実行されます。



8A 個人別結果の印字 (ワンタッチ通知)



※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

8B 個人別結果の印字 (マニュアル通知)

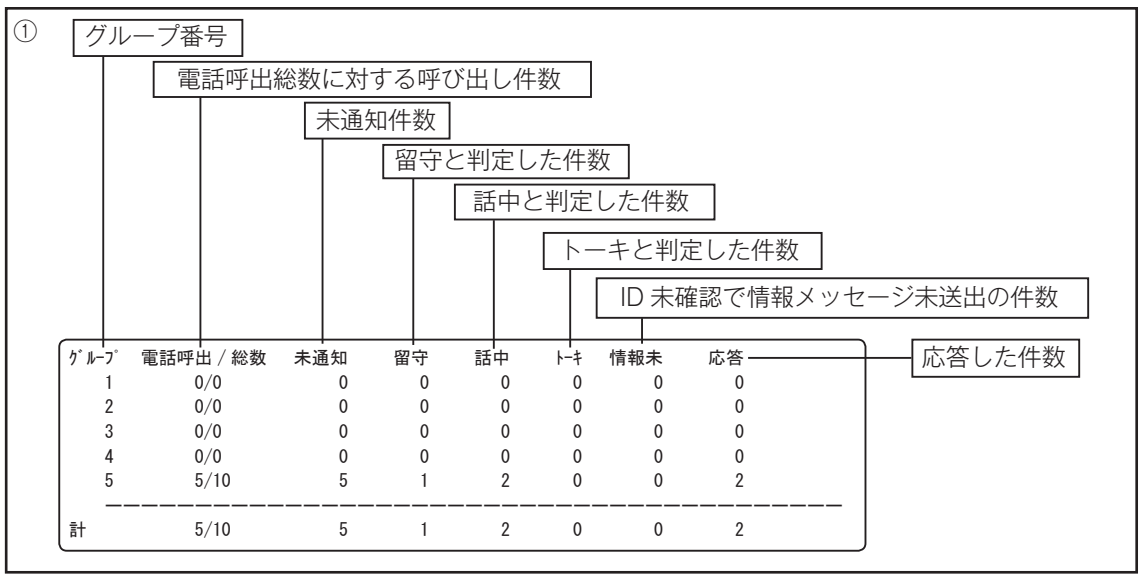
通知種別

```
**********          通知結果      個人別      **********
＊マニュアル通知＊                          通知開始 06/04/19  8:56
通知単位人数制限：5                              終了 06/04/19  9:01
                                            着信終了 04/04/19  9:01
通知したｸﾞﾙｰﾌﾟ番号： 3
－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
通知内容  本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1      名前：  本人確認 1
          情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch      ：1      名前：  火災
          ﾒｰﾙﾃﾞｰﾀ番号        ：1      名前：  火災
          Pﾍﾞﾙﾃﾞｰﾀ番号       ：1      名前：  ｶｻｲﾊｯｾｲ
着信内容  本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1      名前：
          情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch      ：1      名前：
通知件数  電話呼出／総数：    5/9        ﾒｰﾙ送信／総数   ：     0/9
                                         Pﾍﾞﾙ呼出／総数 ：     1/9

ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号：3 名前： 北地区
通知件数  電話呼出／総数：    5/9        ﾒｰﾙ送信／総数   ：     0/9
                                         Pﾍﾞﾙ呼出／総数 ：     1/9

管理番号： 00001        所属 ：北地区          呼出ランク  ： 1
名前      ：ﾀｶｺﾑ一郎
通知結果：出動可   ID  予定時刻：10:00
                                 通知結果    回    通知時刻
  [電話 1]          031234-5678  出動可      1     8:59
  [電話 2]          031234-5679  未
  [電話 3]          031234-5680  未
                                 送信結果    送信時刻    受信結果    受信時刻
  [ﾒｰﾙ 1]ichiro1@aaa.or.jp       未
  [ﾒｰﾙ 2]ichiro2@bbb.or.jp       未
  [Pﾍﾞﾙ]            020259-0001  留守        8:56        ーー        ーー
  [電話着信]                     ーー        ーー        未

管理番号： 00002        所属 ：北地区          呼出ランク  ： 1
名前      ：ﾀｶｺﾑ次郎
通知結果：情報未        予定時刻：
                                 通知結果    回    通知時刻
  [電話 1]          031234-5681  情報未      1     9:00
  [電話 2]          031234-5682  未
  [電話 3]          031234-5683  未
                                 送信結果    送信時刻    受信結果    受信時刻
  [ﾒｰﾙ 1]jiro1@aaa.or.jp         未
  [ﾒｰﾙ 2]jiro2@bbb.or.jp         未
  [P ベル]          020259-0002  留守        8:57        ーー        ーー
  [電話着信]                     ーー        ーー        未
```

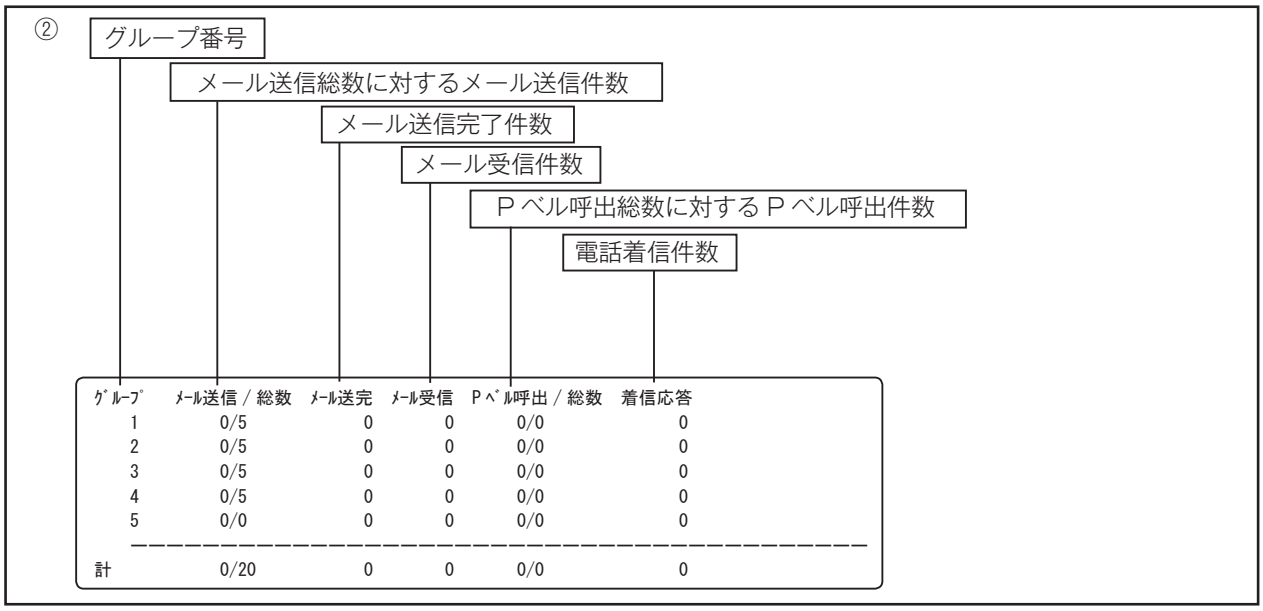
※ 個人別結果の印字で、タイマー通知・リモコン通知の場合は、通知種別のタイトルが異なるだけで内容は、ワンタッチ通知と同じです。

※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

8C グループ集計の印字 (ワンタッチ通知)

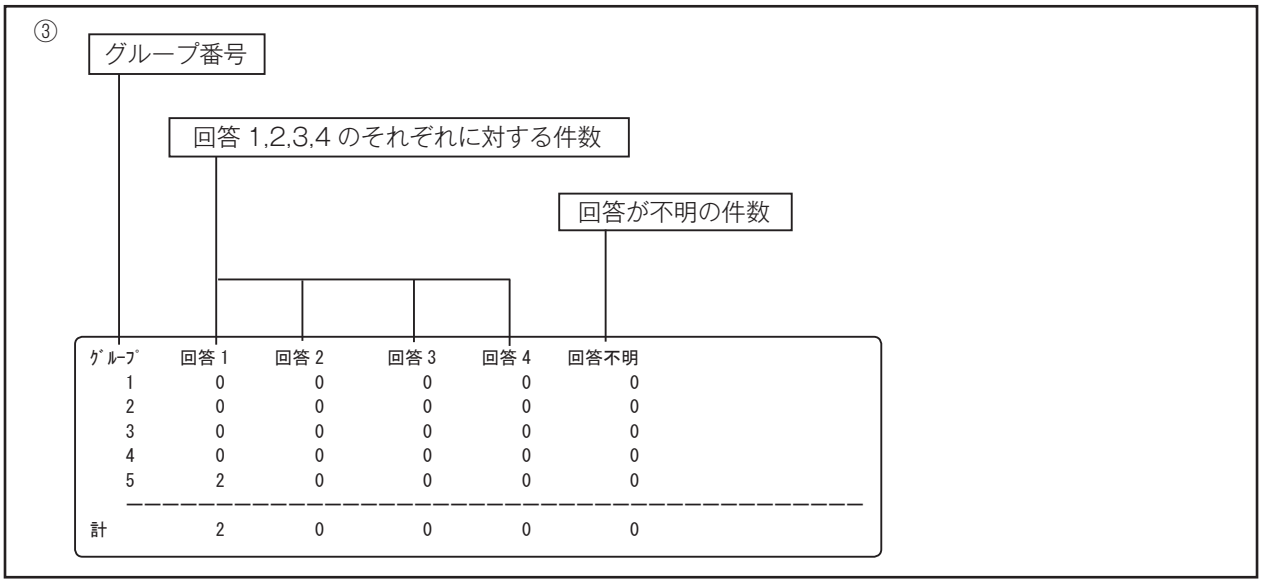


②



ｸﾞﾙｰﾌﾟ	ﾒｰﾙ送信 / 総数	ﾒｰﾙ送完	ﾒｰﾙ受信	Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数	着信応答
1	0/5	0	0	0/0	0
2	0/5	0	0	0/0	0
3	0/5	0	0	0/0	0
4	0/5	0	0	0/0	0
5	0/0	0	0	0/0	0
計	0/20	0	0	0/0	0

③



ｸﾞﾙｰﾌﾟ	回答 1	回答 2	回答 3	回答 4	回答不明
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0
5	2	0	0	0	0
計	2	0	0	0	0

※ 回答 1 ～ 4 は、共通設定　回答入力で登録した「回答名」が印字されます。

※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

8D　グループ集計の印字 (マニュアル通知)

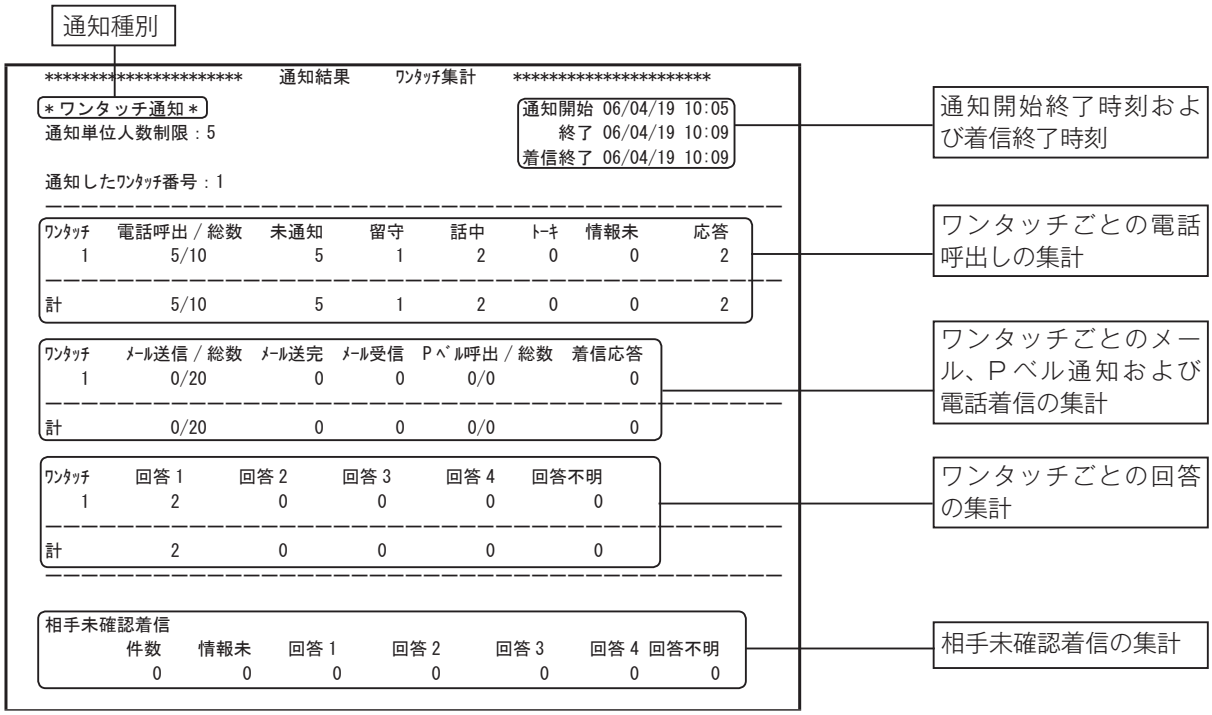
通知種別

```
**********          通知結果      ｸﾞﾙｰﾌﾟ集計      **********
＊マニュアル通知＊                                  通知開始 06/04/19 10:05
通知単位人数制限：5                                     終了 06/04/19 10:09
                                                  着信終了 06/04/19 10:09
通知したｸﾞﾙｰﾌﾟ番号：1
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

ﾜﾝﾀｯﾁ番号：1（名）北地区火災
通知内容  本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1      名前：  本人確認 1
          情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch      ：1      名前：  火災
          ﾒｰﾙﾃﾞｰﾀ番号        ：1      名前：  火災
          Pﾍﾞﾙﾃﾞｰﾀ番号       ：1      名前：  ｶｻｲﾊｯｾｲ
着信内容  本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1      名前：
          情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch      ：1      名前：
通知件数  電話呼出 / 総数：    5/10          ﾒｰﾙ送信 / 総数  ：     0/10
                                          Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数  ：     0/0

ｸﾞﾙｰﾌﾟ  電話呼出 / 総数  未通知    留守    話中    ﾄｰｷ  情報未    応答
   1        5/10          5       1       2       0       0       2
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――
計          5/10          5       1       2       0       0       2

ｸﾞﾙｰﾌﾟ  ﾒｰﾙ送信 / 総数  ﾒｰﾙ送完  ﾒｰﾙ受信  Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数  着信応答
   1        0/10          0       0       0/0             0
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――
計          0/10          0       0       0/0             0

ｸﾞﾙｰﾌﾟ  回答 1   回答 2   回答 3   回答 4   回答不明
   1        2       0       0       0       0
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――
計          2       0       0       0       0

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――
相手未確認着信
        件数    情報未    回答 1    回答 2    回答 3    回答 4   回答不明
          0         0         0         0         0         0         0
```

※ グループ集計の印字で、タイマー通知・リモコン通知の場合は、通知種別のタイトルが異なるだけで内容は、ワンタッチ通知と同じです。

※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

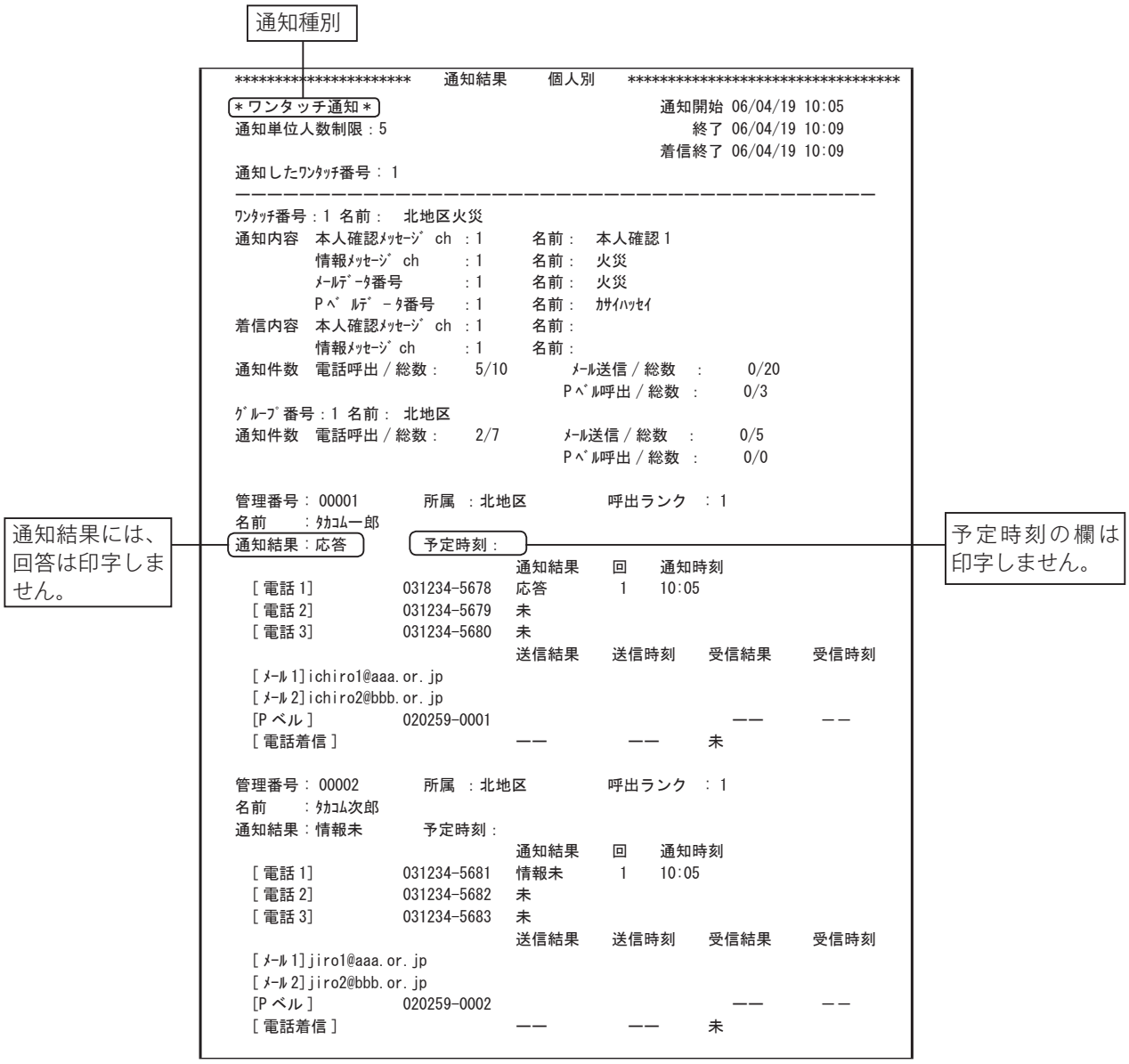
8E　ワンタッチ集計の印字 (ワンタッチ通知)


通知種別
********** 通知結果 ﾜﾝﾀｯﾁ集計 **********
＊ワンタッチ通知＊
通知単位人数制限：5
通知開始 06/04/19 10:05
終了 06/04/19 10:09
着信終了 06/04/19 10:09
通知したﾜﾝﾀｯﾁ番号：1
ﾜﾝﾀｯﾁ 電話呼出 / 総数 未通知 留守 話中 ﾄｰｷ 情報未 応答
1 5/10 5 1 2 0 0 2
計 5/10 5 1 2 0 0 2
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾒｰﾙ送信 / 総数 ﾒｰﾙ送完 ﾒｰﾙ受信 Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 着信応答
1 0/20 0 0 0/0 0
計 0/20 0 0 0/0 0
ﾜﾝﾀｯﾁ 回答 1 回答 2 回答 3 回答 4 回答不明
1 2 0 0 0 0
計 2 0 0 0 0
相手未確認着信
件数 情報未 回答 1 回答 2 回答 3 回答 4 回答不明
0 0 0 0 0 0 0
通知開始終了時刻および着信終了時刻
ワンタッチごとの電話呼出しの集計
ワンタッチごとのメール、Pベル通知および電話着信の集計
ワンタッチごとの回答の集計
相手未確認着信の集計

※ ワンタッチ集計の印字で、タイマー通知・リモコン通知の場合は、通知種別のタイトルが異なるだけで内容は、ワンタッチ通知と同じです。

※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

8F　個人別結果の印字 (ワンタッチ通知 回答入力なしの場合)


通知種別
通知結果には、回答は印字しません。
予定時刻の欄は印字しません。
********** 通知結果 個人別 **********
＊ワンタッチ通知＊
通知開始 06/04/19 10:05
通知単位人数制限：5
終了 06/04/19 10:09
着信終了 06/04/19 10:09
通知したﾜﾝﾀｯﾁ番号： 1
ﾜﾝﾀｯﾁ番号：1 名前： 北地区火災
通知内容 本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前： 本人確認 1
情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前： 火災
ﾒｰﾙﾃﾞｰﾀ番号 ：1 名前： 火災
Pﾍﾞﾙﾃﾞｰﾀ番号 ：1 名前： ｶｻｲﾊｯｾｲ
着信内容 本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前：
情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前：
通知件数 電話呼出 / 総数： 5/10 ﾒｰﾙ送信 / 総数 ： 0/20
Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 ： 0/3
ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号：1 名前： 北地区
通知件数 電話呼出 / 総数： 2/7 ﾒｰﾙ送信 / 総数 ： 0/5
Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 ： 0/0
管理番号： 00001 所属 ：北地区 呼出ランク ： 1
名前 ：ﾀｶｺﾑｰ郎
通知結果：応答
予定時刻：
通知結果 回 通知時刻
[電話 1] 031234-5678 応答 1 10:05
[電話 2] 031234-5679 未
[電話 3] 031234-5680 未
送信結果 送信時刻 受信結果 受信時刻
[ﾒｰﾙ 1]ichiro1@aaa.or.jp
[ﾒｰﾙ 2]ichiro2@bbb.or.jp
[P ベル] 020259-0001 －－ －－
[電話着信] －－ －－ 未
管理番号： 00002 所属 ：北地区 呼出ランク ： 1
名前 ：ﾀｶｺﾑ次郎
通知結果：情報未 予定時刻：
通知結果 回 通知時刻
[電話 1] 031234-5681 情報未 1 10:05
[電話 2] 031234-5682 未
[電話 3] 031234-5683 未
送信結果 送信時刻 受信結果 受信時刻
[ﾒｰﾙ 1]jiro1@aaa.or.jp
[ﾒｰﾙ 2]jiro2@bbb.or.jp
[P ベル] 020259-0002 －－ －－
[電話着信] －－ －－ 未

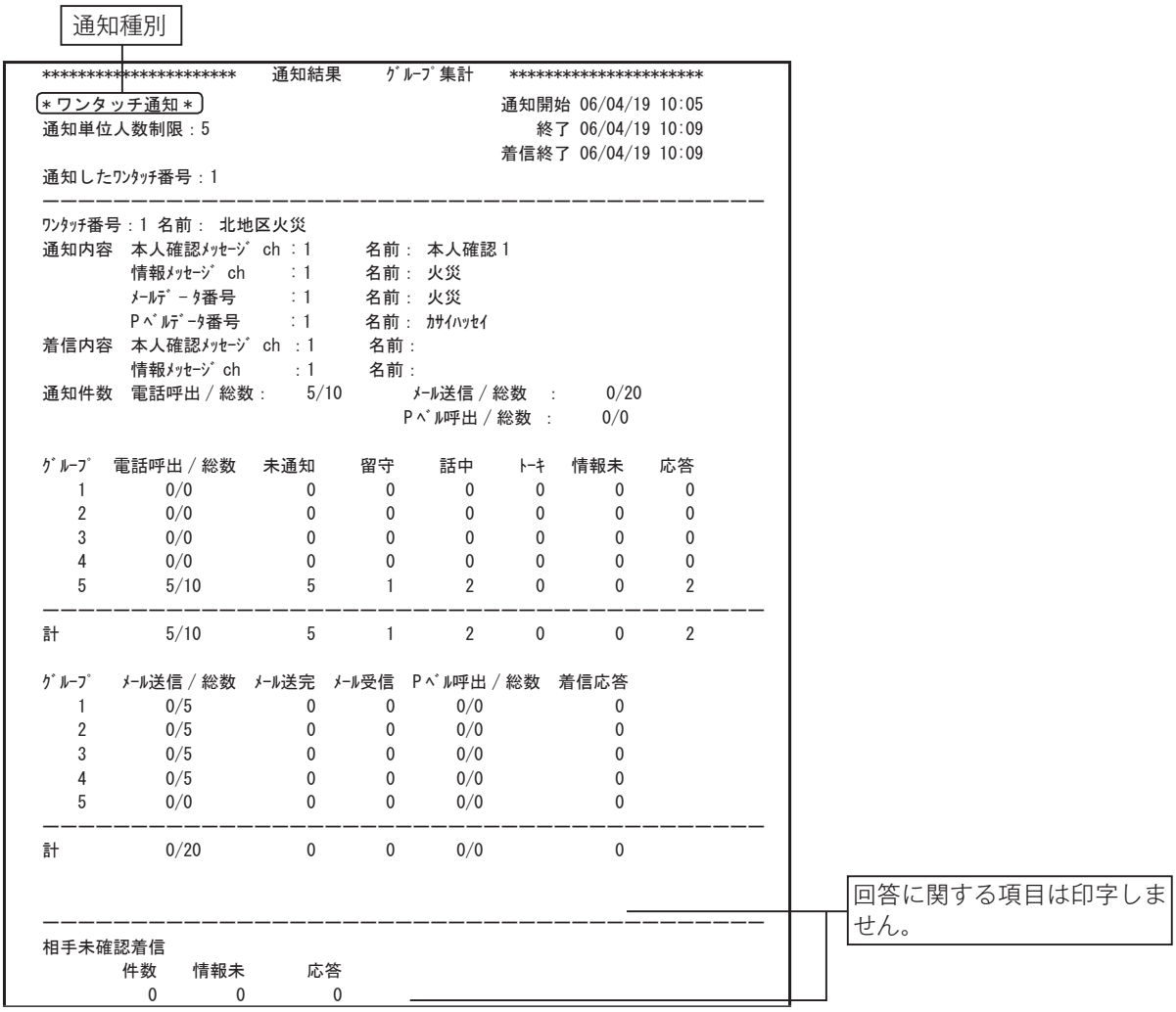
※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

8G 個人別結果の印字 (マニュアル通知 回答入力なしの場合)

※ 回答入力なしの個人別結果の印字で、タイマー通知・リモコン通知の場合は、通知種別のタイトルが異なるだけで内容は、ワンタッチ通知と同じです。

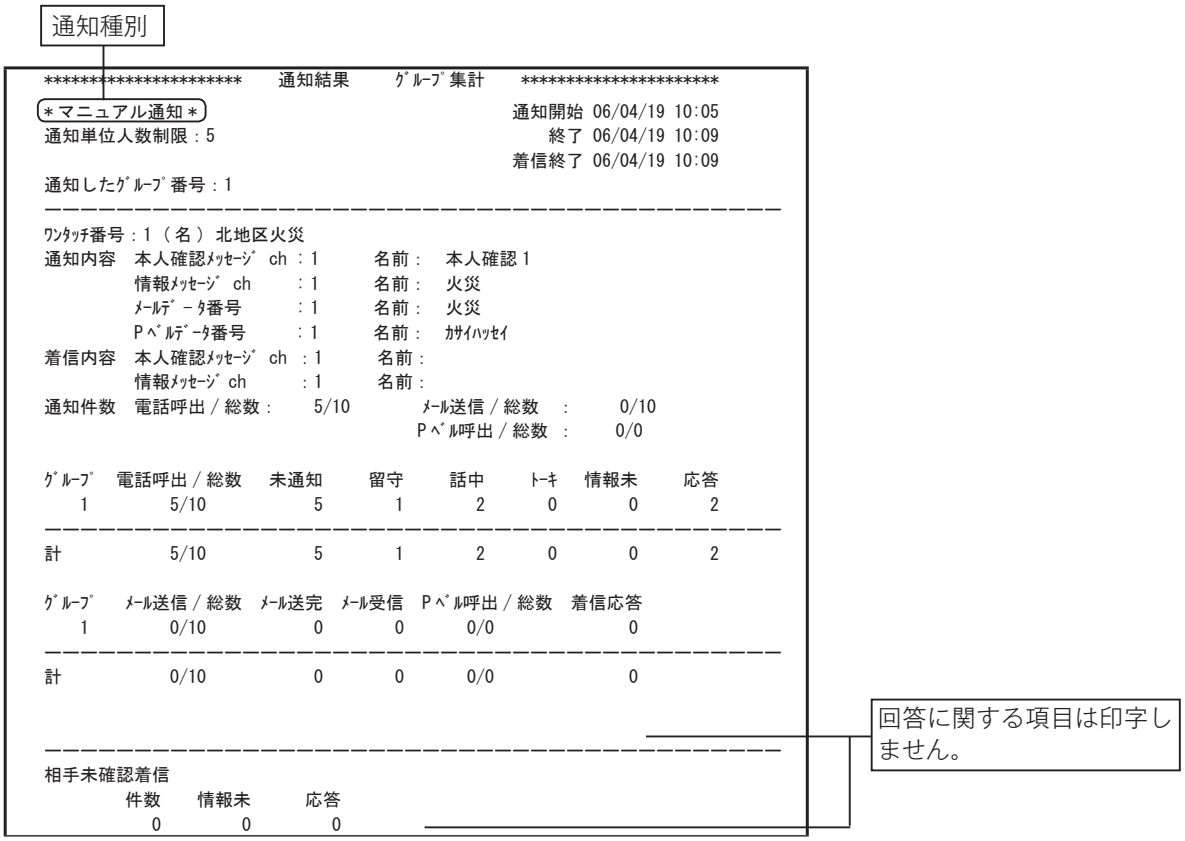
※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

8H　グループ集計の印字 (ワンタッチ通知 回答入力なしの場合)


通知種別
********** 通知結果 ｸﾞﾙｰﾌﾟ集計 **********
＊ワンタッチ通知＊
通知開始 06/04/19 10:05
通知単位人数制限：5
終了 06/04/19 10:09
着信終了 06/04/19 10:09
通知したﾜﾝﾀｯﾁ番号：1
ﾜﾝﾀｯﾁ番号：1 名前： 北地区火災
通知内容 本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前： 本人確認 1
情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前： 火災
ﾒｰﾙﾃﾞｰﾀ番号 ：1 名前： 火災
Pﾍﾞﾙﾃﾞｰﾀ番号 ：1 名前： ｶｻｲﾊｯｾｲ
着信内容 本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前：
情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前：
通知件数 電話呼出 / 総数： 5/10 ﾒｰﾙ送信 / 総数 ： 0/20
Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 ： 0/0
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 電話呼出 / 総数 未通知 留守 話中 ﾄｰｷ 情報未 応答
1 0/0 0 0 0 0 0 0
2 0/0 0 0 0 0 0 0
3 0/0 0 0 0 0 0 0
4 0/0 0 0 0 0 0 0
5 5/10 5 1 2 0 0 2
計 5/10 5 1 2 0 0 2
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾒｰﾙ送信 / 総数 ﾒｰﾙ送完 ﾒｰﾙ受信 Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 着信応答
1 0/5 0 0 0/0 0
2 0/5 0 0 0/0 0
3 0/5 0 0 0/0 0
4 0/5 0 0 0/0 0
5 0/0 0 0 0/0 0
計 0/20 0 0 0/0 0
相手未確認着信
件数 情報未 応答
0 0 0
回答に関する項目は印字しません。

※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

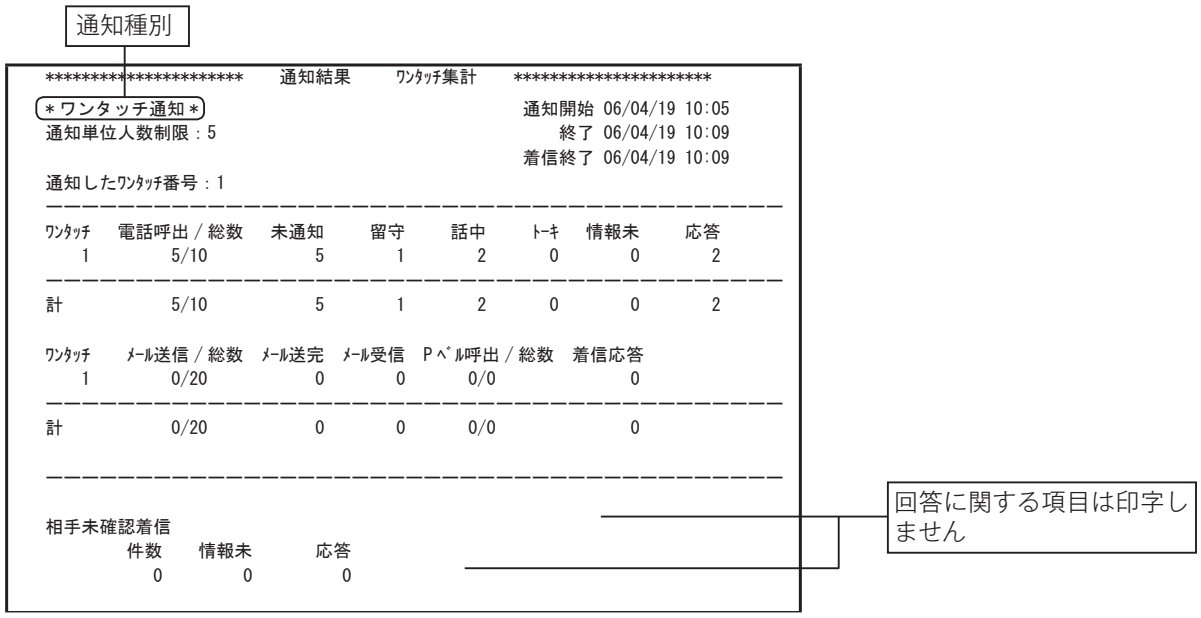
8l グループ集計の印字 (マニュアル通知 回答入力なしの場合)


通知種別
********** 通知結果 ｸﾞﾙｰﾌﾟ集計 **********
＊マニュアル通知＊
通知開始 06/04/19 10:05
通知単位人数制限：5
終了 06/04/19 10:09
着信終了 06/04/19 10:09
通知したｸﾞﾙｰﾌﾟ番号：1
ﾜﾝﾀｯﾁ番号：1（名）北地区火災
通知内容 本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前： 本人確認 1
情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前： 火災
ﾒｰﾙﾃﾞｰﾀ番号 ：1 名前： 火災
Pﾍﾞﾙﾃﾞｰﾀ番号 ：1 名前： ｶｻｲﾊｯｾｲ
着信内容 本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前：
情報ﾒｯｾｰｼﾞ ch ：1 名前：
通知件数 電話呼出 / 総数： 5/10 ﾒｰﾙ送信 / 総数 ： 0/10
Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 ： 0/0
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 電話呼出 / 総数 未通知 留守 話中 ﾄｰｷ 情報未 応答
1 5/10 5 1 2 0 0 2
計 5/10 5 1 2 0 0 2
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾒｰﾙ送信 / 総数 ﾒｰﾙ送完 ﾒｰﾙ受信 Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 着信応答
1 0/10 0 0 0/0 0
計 0/10 0 0 0/0 0
相手未確認着信
件数 情報未 応答
0 0 0
回答に関する項目は印字しません。

※ 回答入力なしのグループ集計の印字で、タイマー通知・リモコン通知の場合は、通知種別のタイトルが異なるだけで内容は、ワンタッチ通知と同じです。

※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

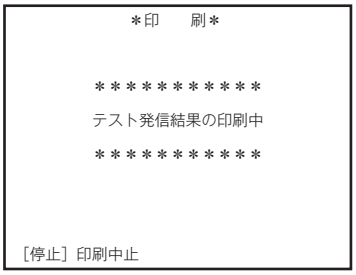
8J　ワンタッチ集計の印字 (ワンタッチ通知 回答入力なしの場合)


通知種別
********** 通知結果 ﾜﾝﾀｯﾁ集計 **********
＊ワンタッチ通知＊
通知単位人数制限：5
通知開始 06/04/19 10:05
終了 06/04/19 10:09
着信終了 06/04/19 10:09
通知したﾜﾝﾀｯﾁ番号：1
ﾜﾝﾀｯﾁ 電話呼出 / 総数 未通知 留守 話中 ﾄｰｷ 情報未 応答
1 5/10 5 1 2 0 0 2
計 5/10 5 1 2 0 0 2
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾒｰﾙ送信 / 総数 ﾒｰﾙ送完 ﾒｰﾙ受信 Pﾍﾞﾙ呼出 / 総数 着信応答
1 0/20 0 0 0/0 0
計 0/20 0 0 0/0 0
相手未確認着信
件数 情報未 応答
0 0 0
回答に関する項目は印字しません

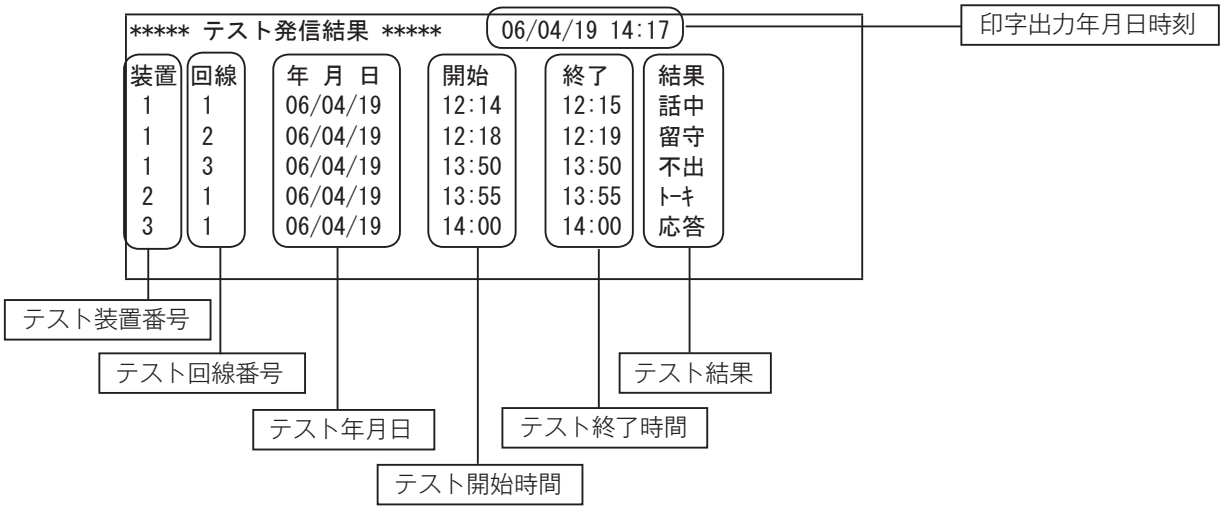
※ 回答入力なしのワンタッチ集計の印字で、タイマー通知・リモコン通知の場合は、通知種別のタイトルが異なるだけで内容は、ワンタッチ通知と同じです。

※ 制御用パソコンから通知した場合は、「通知種別」の後に「(LAN)」と印字します。

9　「テスト発信結果」の印刷が実行されます。



9A　テスト発信結果の印字



10

「本体初期登録」の印刷が実行されます。

```
＊印　　刷＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
本体初期登録の印刷中
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

［停止］印刷中止
```

10A 本体初期登録の印字

印字出力年月日時刻

```
***** 本体初期登録 *****　06/04/19 15:57
時刻修正登録
外部校正　　：する
修正範囲　　：+-10秒
NTP時刻校正　　：する
IPｱﾄﾞﾚｽ　　：133.40.40.133
校正時刻　　：00:00

ネットワーク登録
IPｱﾄﾞﾚｽ　　：192.168.10.235
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ　　：255.255.255.0
ｹﾞｰﾄｳｪｲ　　：192.168.10.10
DNSｻｰﾊﾞｰ　　：192.168.10.11

ＬＡＮポート登録
ＰＣポート　　：55000
ＡＲＳポート　　：55001
音声ポート　　：55002
監視ポート　　：55003

シリアル通信登録
通信速度　　：使用しない
```

ARS-800F 以外は印字しません

連結登録設定時

```
***** 本体初期登録 *****　06/04/19 15:57
時刻修正登録
外部校正　　：する
修正範囲　　：+-10秒
NTP時刻校正　　：する
IPｱﾄﾞﾚｽ　　：133.40.40.133
校正時刻　　：00:00

ネットワーク登録
IPｱﾄﾞﾚｽ　　：192.168.10.235
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ　　：255.255.255.0
ｹﾞｰﾄｳｪｲ　　：192.168.10.10
DNSｻｰﾊﾞｰ　　：192.168.10.11

ＬＡＮポート登録
ＰＣポート　　：55000
ＡＲＳポート　　：55001
音声ポート　　：55002
監視ポート　　：55003

連結登録
連結装置2使用　　：する
連結装置3使用　　：しない

シリアル通信登録
通信速度　　：使用しない
```

第7章

設置工事

設置工事

■ 設置の前に

● 準備していただくもの

設置の前に次のものをそろえてください。

・ ARS-800 または ARS-800F 本体
・ 制御用パソコン (市販品) 使用できるパソコンについては、取扱説明書「制御用パソコン編」の「はじめに」をご覧ください。
・ 回線接続コード（4 本）(添付品)
・ フェライトコア（2 個）(添付品)
・ バインダ（1 本）(添付品)
・ ARS-800/ARS-800F 本体と制御用パソコンを接続する接続コード（※）
※ LAN 環境で接続する場合は、LAN ケーブル（ストレート）をご準備ください。
ARS-800/ARS-800F 本体と制御用パソコンを直接接続する場合は、LAN ケーブル（クロス接続）をご準備ください。

用途に応じて、下記の別売品をご準備ください。

・ 『4 回線ラインボード』について
◎ 収容回線が、4 回線を越える場合 (最初の 4 回線分は初期実装済みです。) に、『4 回線ラインボード』が必要です。
◎ 本体に『4 回線ラインボード』が初期実装分を含め 3 枚装着でき、合計 12 回線を収容できます。

・ 『無停電電源装置』について
◎ 停電時に通知動作を行う場合、『無停電電源装置』(別売品) が必要です。
◎ 停電を伴った緊急時にもバックアップ時間内で通知作業が行えます。
◎ 無停電電源装置には、バックアップ時間により次の種類があります。

品　名		バックアップ時間 ※2		
		装置単体	装置連結 2 台	装置連結 3 台
無停電電源装置		約 1 時間		
無停電電源装置長時間タイプ		約 3 時間	約 1.5 時間	約 1 時間
無停電電源装置長時間増設装置（長時間タイプに接続して使用）※ 1	1 台接続時	約 7 時間	約 4 時間	約 3 時間
	2 台接続時	約 11 時間	約 6.5 時間	約 5 時間

※ 1：無停電電源装置長時間増設装置は、無停電電源装置長時間タイプにのみ接続できます。
※ 2：バックアップ時間は、周囲温度 25℃、バッテリー新品でフル充電（3 日以上の充電）の場合
（使用環境、使用年数、充電状態により異なる場合があります。）

・本体に接続するプリンタについて
◎ 通知データ・通知結果等を印字するとき、『プリンタ』が必要です。
◎ 使用できるプリンタは、下記のものです。
ＥＳＣ／Ｐをサポートしたプリンタです。
インターフェースは、セントロニクス社仕様準拠　ＩＥＥＥ１２８４準拠パラレル
通知結果の並行印字を行う場合には、ドットインパクトプリンタ (連続用紙) をご利用ください。

・ 『外部ワンタッチスイッチボックス ARS-800 OSB』について
◎ 本装置において、11 以上のワンタッチ通知を行うときに、『外部ワンタッチスイッチボックス ARS-800 OSB』(60 ボタン) が必要です。

・ 『外部ワンタッチ端子板 ARS-800 GOT』について
◎ センサーなどからの起動信号により通知を行うには、『外部ワンタッチ端子板 ARS-800 GOT』が必要です。

ワンポイント

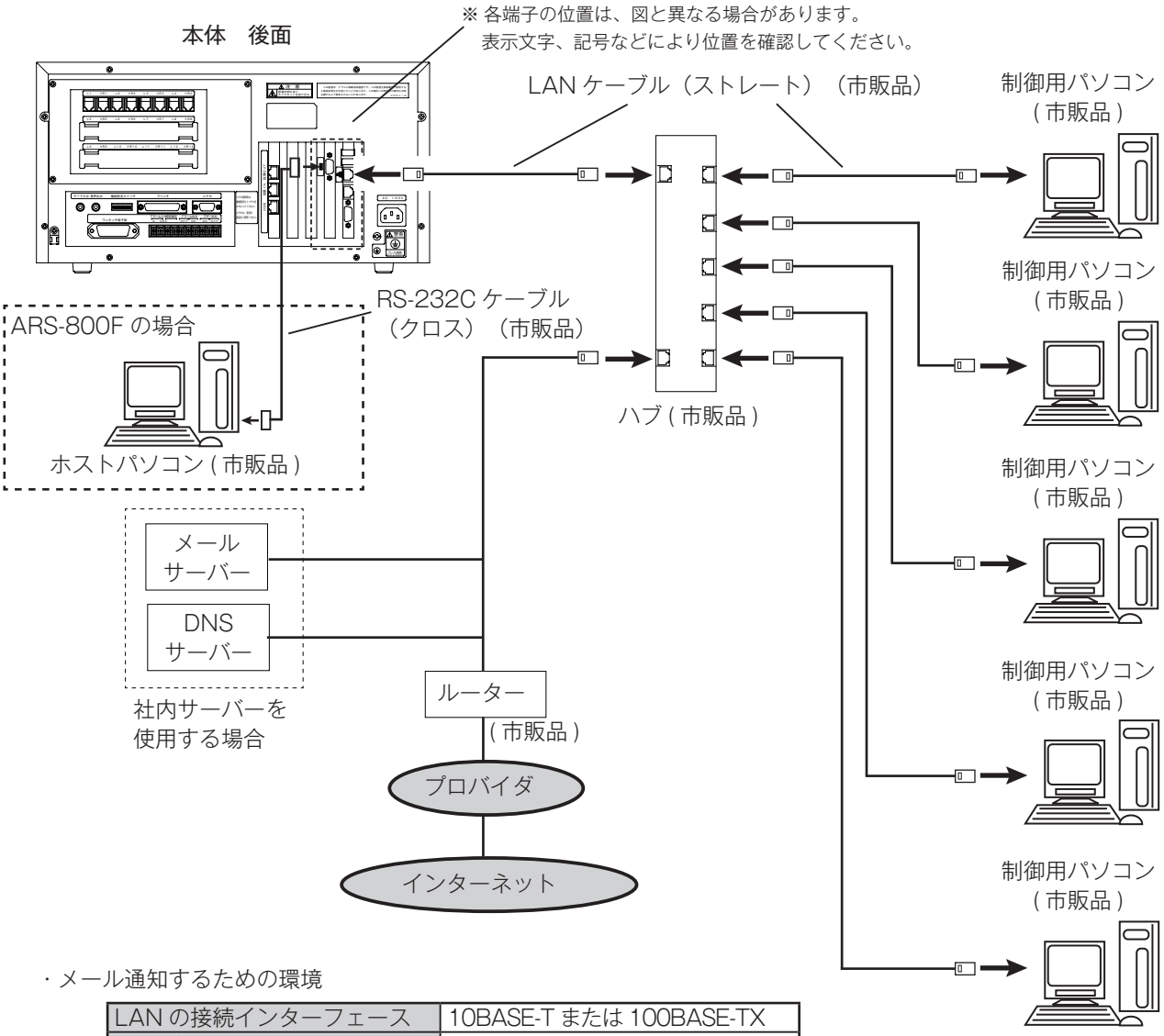
● 本装置をラック（市販品）に取り付ける場合は、本装置のメンテナンス作業時間短縮などのため、ご利用になるラックに対応した棚板（市販品）と併用することを推奨します。

■ 制御用パソコンとの接続のしかた

ネットワーク登録、LAN ポート登録については、取扱説明書「本体編」を、LAN 接続設定、メール設定については、取扱説明書「制御用パソコン編」をご覧ください。
接続のしかたは次の 2 種類があります。

◆ LAN 環境の中で接続する場合の例

・ 制御用パソコンは、最大５台接続できます。

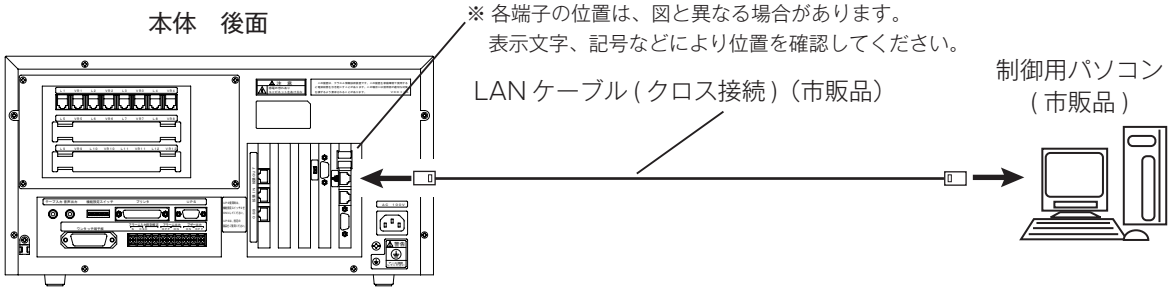


・メール通知するための環境

LAN の接続インターフェース	10BASE-T または 100BASE-TX
通信プロトコル	TCP/IP
電子メールプロトコル	POP3、SMTP

・ハブおよび制御用パソコンへの接続については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

◆ 直接接続する場合

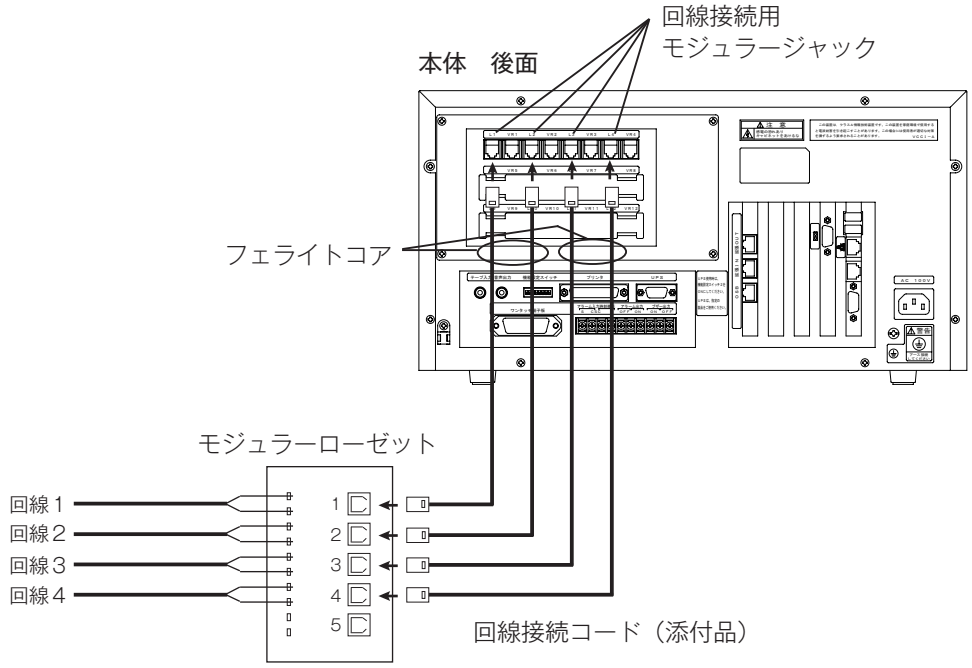


・制御用パソコンへの接続については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ 回線の接続のしかた

● 添付の回線接続コード (モジュラーコード) を利用して回線を接続してください。
● 本装置は、各回線に、並列 (パラレル) に接続します。

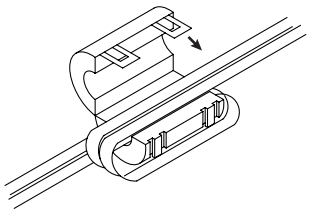
（接続例）4 回線を収容する場合



フェライトコアの取り付けについて

すべての回線接続コードに、添付のフェライトコアを取り付けてください。

① 2 回線分ずつ回線接続コード (※) を束ねて、フェライトコアに通します。
※ 通話録音装置 VR シリーズを接続した場合は、VR シリーズの 2 回線分をプラスして 4 本を 1 つのコアに通します。



② 矢印のほうに閉じます。

③ フェライトコアは、できる限りモジュラージャック近傍に取り付けてください。

ワンポイント

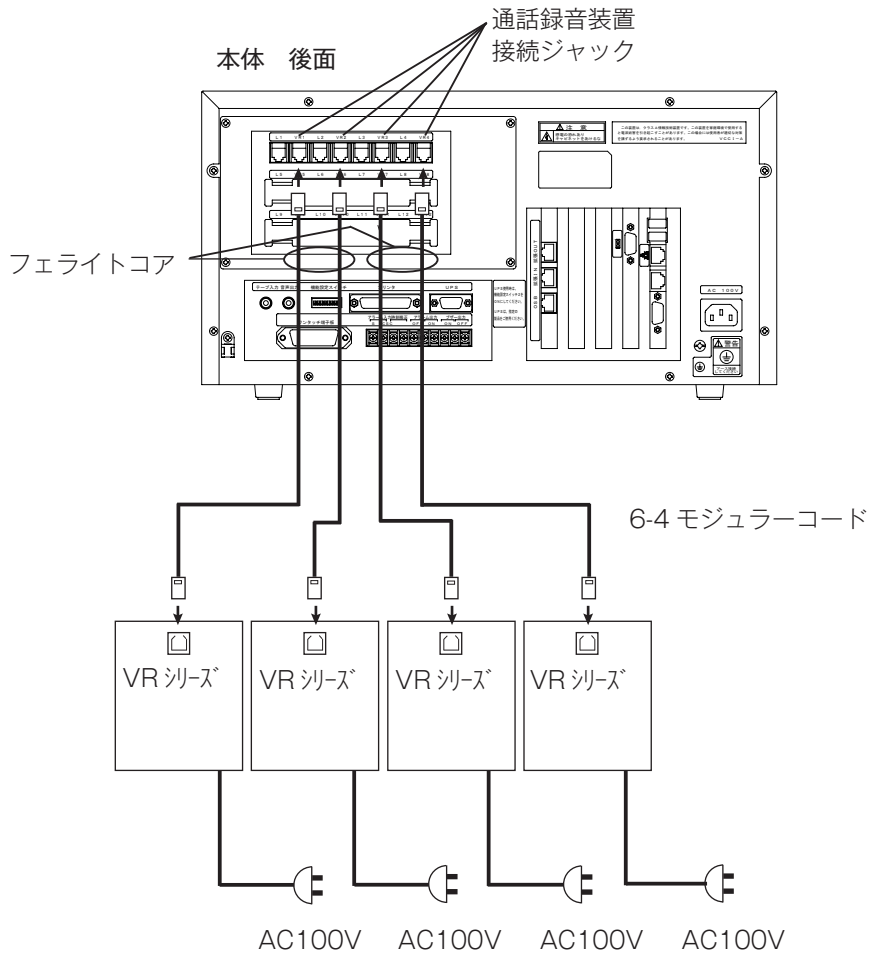
● 接続する回線は、本システム専用としてください。
ほかの業務用の回線を兼用することは、避けてください。兼用した場合、通知作業中に業務用の電話で通話を始めると、その回線の通知動作が停止や誤動作します。
● 回線接続コードと回線との接続部にはモジュラーローゼットが必要です。
電話工事用の５連モジュラーローゼット〔例：2CM-105T(三和電気工業)、CTB-20TB-M5(ヒロセ電機）など〕をご使用ください。

■ 「通話録音装置 VR シリーズ」の接続のしかた

- 自動通知のあと、通知先のメッセージを録音したいときは、「通話録音装置 VR シリーズ」（別売品）（以下、VR シリーズと言います。）を接続してください。
- 「VR シリーズ」は、収容回線ごとに (1 対 1 に) 接続します。
- 「VR シリーズ」を外部起動録音モードにします。
- 本体から「VR シリーズ」へ外部制御信号（メーク信号）が到来したとき、「VR シリーズ」が起動します。

（接続例）

- 4 回線収容している場合に「通話録音装置 VR シリーズ」を回線ごとに 1 台ずつ接続した場合



ワンポイント

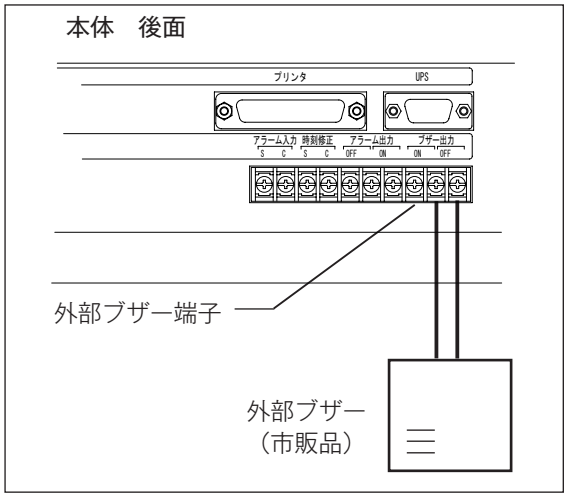
- 「通話録音装置 VR シリーズ」の設定方法等は、「通話録音装置 VR シリーズ 取扱説明書」をご覧ください。

■ 外部ブザーの接続のしかた

● 通知時の確認音を出すための外部ブザーを外部ブザー端子に接続してください。
● 外部ブザーは、次の規格のものをお使いください。

鳴動方式	スイッチ（接点）の「入」「切」により鳴動
	DC1.5V ～ 12V、1A 以下で鳴動
使用電源	電池内蔵式

● ブザー出力端子の［ON］に接続すると、ブザー出力状態になると無電圧の「ON」信号が出力されます。
また、ブザー出力端子の［OFF］に接続すると、ブザー出力状態になると無電圧の「OFF」信号が出力されます。



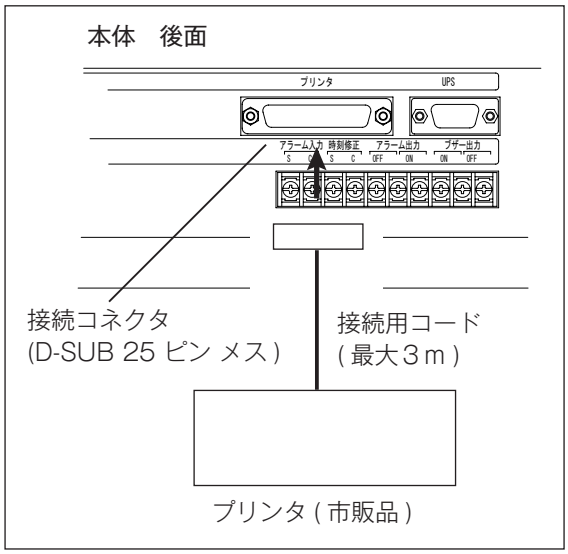
STOP お願い

● 外部ブザー端子には、１２Ｖおよび１Ａ以上の電気信号を加えないでください。

■ プリンタの接続のしかた

● プリンタは、市販のセントロニクス社仕様準拠のものが接続できます。
● 本装置には、Ｄ－ＳＵＢ　２５ピンコネクタ (オス) で接続します。

※ 接続用のコード (最大３ｍ) は、本装置には添付されていません。
プリンタと一緒にお買い求めください。



● 通知結果の並行印字を行う場合の注意事項

通知中に、本体装置に接続したプリンタで通知結果の並行印字（1 件ごとの通知が終了するたびに通知結果を印字する）を行うには、プリンタの機能設定が必要となる場合があります。
EPSON 製プリンタ「VP-700 ／ VP-700U ／ VP-D500（連続紙用）／ VP-880（単票紙用）」をご使用の場合、操作パネルから以下の手順でプリンタ機能の変更を行ってください。

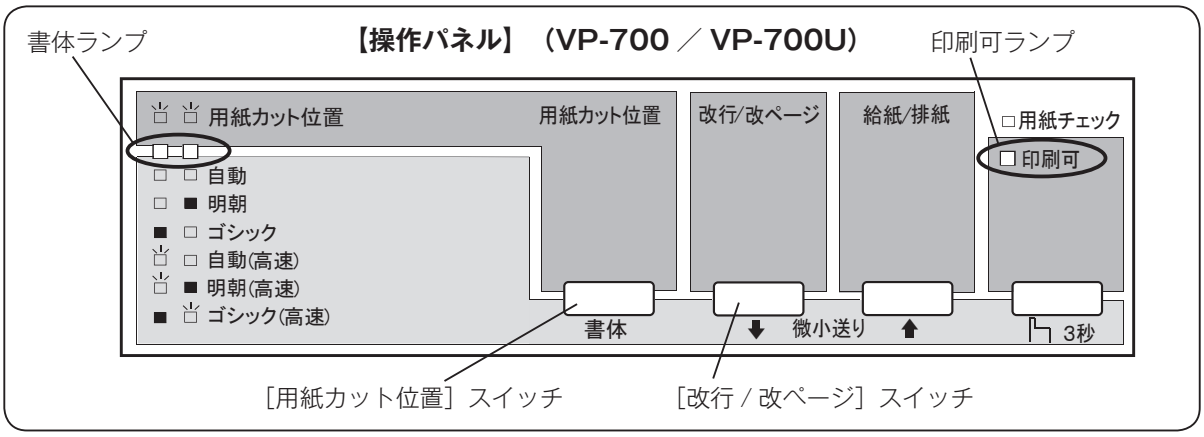
※ VP-880 をご使用の場合は、カットシートフィーダー（市販品）も合わせてご使用ください。

◆ 機能変更を行う設定項目：パケット通信

◆ パケット通信の設定内容：オフ

※ 設定内容には“自動”と“オフ”があり、初期値は“自動”になっています。以下の手順で“オフ”に変更してください。

《VP-700 ／ VP-700U の操作例》



1 連続用紙をプリンタにセットします。

※ 単票紙（A4 縦以上）に印刷する場合は、手順 2 の操作のあとで用紙をセットしてください。（A4 縦用紙は 4 枚以上セットしてください。

2 ［用紙カット位置］スイッチを押したまま、プリンタの電源を入れます。

・ 連続紙が給紙され、「設定メニュー」一覧表が印刷されます。

※ 単票紙の場合は、［用紙チェック］ランプが点灯してから用紙をセットすると、印刷を開始します。

【設定メニュー】一覧表印刷例

この項目を“オフ”に変更します。

```
J0108225  1ADAH

** 設定メニュー **
    文字コード表                    : カタカナ
    文字品位                        : 高品位
    ページ長（連続紙）              : １１インチ
    ミシン目スキップ                : オフ
    自動ティアオフ                  : オフ
    自動改行                        : オフ
    印字方向                        : 双方向
    ＥＳＣ／Ｐスーパー              : オフ
    ゼロスラッシュ                  : ０
    Ｉ／Ｆ選択                      : 自動
    Ｉ／Ｆ固定解除時間              : １０秒
    ボーレート                      : １９２００ＢＰＳ
    パリティ                        : なし
    データ長                        : ８ビット
    双方向通信                      : オン
    パケット通信                    : 自動
    手差し待ち時間                  : １．５秒
    ブザー鳴動                      : オン

いずれかの設定を変更したい場合は、「用紙カット位置」スイッチを押すことで設定状態の変更を実行できます。
変更の必要が無い場合は電源を切ってください。
```

◆ 設定変更する項目の内容

設定項目	設定値	説明
パケット通信	自動（初期値）	双方向通信が設定されている場合、パケット通信を行います。
	OFF	MS-DOS 環境下や、Windows プリンタドライバを経由せず直接出力するアプリケーションソフトなどでパケット通信を行うと、ホストとの接続性や印字結果に支障がある（不具合が発生する）場合に「OFF」に設定します。パケット通信を停止します。

3

［用紙カット位置］スイッチを押します。
・「設定項目一覧」とそれぞれの「設定内容一覧」が印刷されます。
・各設定項目は、書体ランプ（2 個）と印刷可ランプ（1 個）の［点灯／点滅／消灯の組み合わせ］で区別されます。

【設定項目ごとのランプ表示組み合わせ】

ランプ表示			設定メニュー項目
書体ランプ		印刷可ランプ	
■	■	□	文字コード表
■	□	■	文字品位
■	□	□	ページ長（連続紙）
□	■	■	ミシン目スキップ
□	■	□	自動ティアオフ
□	□	■	自動改行
■	■	凵	印字方向
■	凵	■	ＥＳＣ／Ｐスーパー
■	凵	凵	ゼロスラッシュ
凵	■	■	Ｉ／Ｆ選択
凵	■	凵	Ｉ／Ｆ固定解除時間
凵	凵	■	ボーレート
□	■	凵	パリティ
□	凵	■	データ長
□	凵	凵	双方向通信
□	□	凵	パケット通信
□	凵	□	手差し待ち時間
凵	■	□	ブザー鳴動

□：点灯
凵：点滅
■：消灯

［用紙カット位置］スイッチで、このランプ表示状態にします。

4

［用紙カット位置］スイッチを繰り返し押して、設定項目を選択します。
・押すたびに各ランプの表示が変わっていきます。
・パケット通信【□ □ 凵 の表示】にします。
※ 押しすぎた場合は続けて押すと最初に戻って繰り返します。

5

［改行 / 改ページ］スイッチを押します。
・押すたびに各ランプの表示が次のように変わり、“自動”と“オフ”を繰り返します。

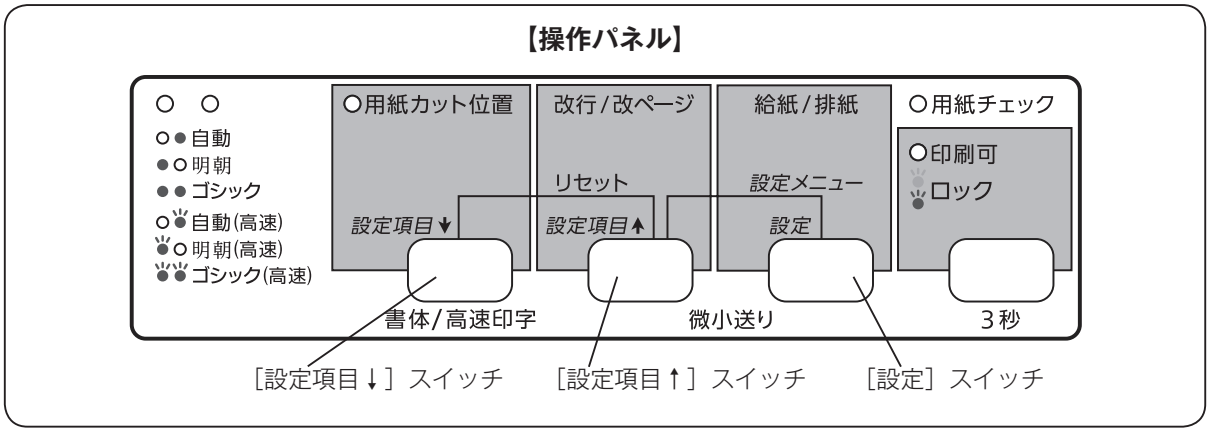
ランプ表示			設定内容
書体ランプ		印刷可ランプ	
■	■	□	自動
■	□	■	オフ

［改行 / 改ページ］スイッチで、このランプ表示状態にします。

6

【■ □ ■】（消灯 - 点灯 - 消灯）にして、プリンタの電源を切ります。
・パケット通信の設定内容が“オフ”になりプリンタに記憶されます。

《VP-D500 の操作例》



1 プリンタの電源を入れます。

2 ［設定項目↑］スイッチと［設定］スイッチを同時に押し、ブザーが鳴ったらスイッチを離します。
・ ブザーが鳴るまで押し続けてください。

3 連続用紙をプリンタにセットします。
・ 用紙先頭部分に「現在設定値一覧を印刷しますか？」と印字されていることを確認します。

4 ［設定］スイッチを押します。
・ 給紙され、「設定メニュー」一覧表が印刷されます。

【設定メニュー】一覧表印刷例

```
J0017131 73A8H  55EAH .....
現在設定一覧を印刷しますか？                    はい：設定 / いいえ：設定項目↓，設定項目↑
ピンテスト：
                          1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2     2 2 2 2
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0           1 2 3 4
トラクターの給紙位置                              8.5 ミリ
手差しの給紙位置                                  8.5 ミリ

** 設定メニュー **                              ** 設定値 **
文字コード表                                      カタカナ　拡張グラフィックス　マルチリンガル
                                                  マルチリンガル ユーロ
文字品位                                          高品位　ドラフト
トラクターのページ長                              3 インチ　3.5 インチ　4 インチ　5.5 インチ
                                                  6 インチ　7 インチ　8 インチ　8.5 インチ
                                                  11 インチ　70/6 インチ　12 インチ　14 インチ
                                                  17 インチ
ミシン目スキップ                                  オフ　オン
自動ティアオフ                                    オフ　オン
自動改行                                          オフ　オン
    :                                                 :
データ長                                          8 ビット　7 ビット
双方向通信                                        オフ　オン
パケット通信                                      自動　オフ
手差し待ち時間                                    0.5 秒　1 秒　1.5 秒　2 秒
ブザー鳴動                                        オフ　オン
低騒音モード                                      オフ　オン
自動電源オフ                                      オフ　1 時間　2 時間　4 時間　8 時間　12 時間

- 「設定項目↓」／「設定項目↑」スイッチを押して設定項目を選びます。
- 「設定」スイッチを押して設定値を変更します。
- 電源を切ると設定をキャンセルします。
- 設定が終了しましたら「設定メニュー」スイッチを押してください。設定が記憶されます。
```

この項目を“オフ”に変更します。

◆ 設定変更する項目の内容

設定項目	設定値	説明
パケット通信	自動（初期値）	双方向通信が設定されている場合、パケット通信を行います。
	OFF	MS-DOS 環境下や、Windows プリンタドライバを経由せず直接出力するアプリケーションソフトなどでパケット通信を行うと、ホストとの接続性や印字結果に支障がある（不具合が発生する）場合に「OFF」に設定します。パケット通信を停止します。

5 ［設定項目↑］スイッチを押します。
・「設定メニュー項目」とそれぞれの「設定値」が印刷されます。

6 ［設定項目↑］スイッチを繰り返し押して、設定項目を選択します。
・押すたびに「設定メニュー項目」とそれぞれの「設定値」が印刷されます。
※ 押しすぎた場合は、［設定項目↓］スイッチ押すと前に選択した項目に戻ります。

【設定項目】印刷例

```
      :                    :
低騒音モード               オフ
ブザー鳴動                 オン
手差し待ち時間             1.5 秒
パケット通信               自動
```

7 ［設定］スイッチを押します。
・押すたびに設定値が変わって印刷されます。（“自動”と“オフ”を繰り返し印刷します。）

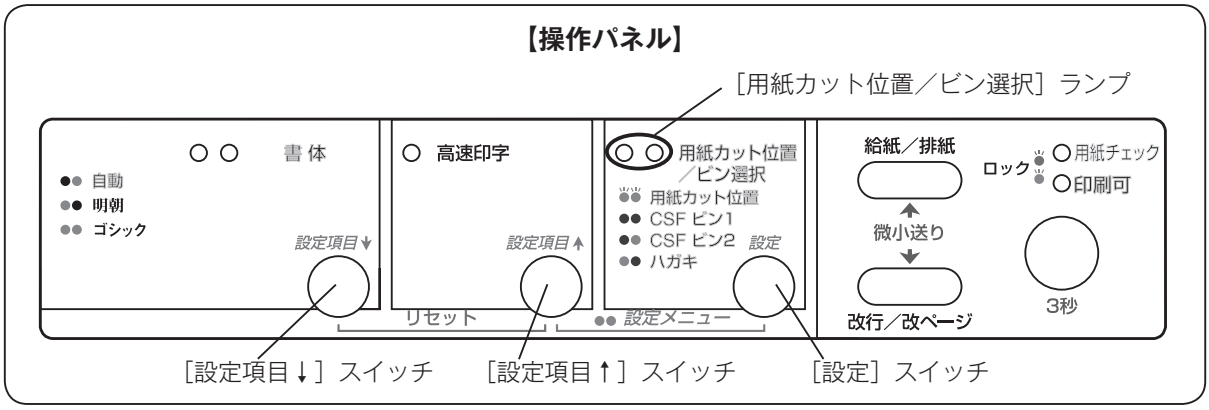
【設定項目】印刷例

```
      :                    :
低騒音モード               オフ
ブザー鳴動                 オン
手差し待ち時間             1.5 秒
パケット通信               自動
パケット通信               オフ
```

“オフ”に変更されていることを確認します。

8 ［設定項目↑］スイッチと［設定］スイッチを同時に押し、すべてのランプが点灯したらスイッチを離します。
・パケット通信の設定内容が“オフ”になりプリンタに記憶されます。

《VP-880 の操作例》



1 プリンタの電源を入れます。

2 ［設定項目↑］スイッチと［設定］スイッチを同時に押し、ブザーが鳴ったらスイッチを離します。
・ブザーが鳴り、［用紙カット位置／ビン選択］ランプが２つとも点灯するまで押し続けてください。

3 単票紙（A4 縦以上）をプリンタにセットします。
・用紙先頭部分に「現在設定値一覧を印刷しますか？」と印字されていることを確認します。

4 ［設定］スイッチを押します。
・給紙され、「設定メニュー」一覧表が印刷されます。
・「設定メニュー」一覧表が印刷された後で、再度単票紙（A4 縦以上）をプリンタにセットしてください。

この項目を“オフ”に変更します。

【設定メニュー】一覧表印刷例

J02897 D716H
現在設定一覧を印刷しますか？　　はい：設定 / いいえ：設定項目↓，設定項目↑

** 設定メニュー **	** 設定値 **
文字コード表	カタカナ　拡張グラフィックス　マルチリンガル マルチリンガル ユーロ
文字品位	高品位　ドラフト
フロントトラクタのページ長（連続紙）	4 インチ　5.5 インチ　6 インチ　7 インチ 8 インチ　8.5 インチ　11 インチ　70/6 インチ 12 インチ　14 インチ　17 インチ
リアトラクタのページ長（連続紙）	4 インチ　5.5 インチ　6 インチ　7 インチ 8 インチ　8.5 インチ　11 インチ　70/6 インチ 12 インチ　14 インチ　17 インチ
ミシン目スキップ	オフ　オン
自動ティアオフ	オフ　オン
自動改行	オフ　オン
：	：
Ｉ／Ｆ選択	自動　パラレル　ＵＳＢ　オプション
Ｉ／Ｆ固定解除時間	10 秒　30 秒
双方向通信	オフ　オン
パケット通信	自動　オフ
手差し待ち時間	1 秒　1.5 秒　2 秒　3 秒
ブザー鳴動	オフ　オン
低騒音モード	オフ　オン

- 「設定項目↓」／「設定項目↑」スイッチを押して設定項目を選びます。
- 「設定」スイッチを押して設定値を変更します。
- 電源を切ると設定をキャンセルします。
- 設定が終了しましたら「設定メニュー」スイッチを押してください。設定が記憶されます。

◆ 設定変更する項目の内容

設定項目	設定値	説明
パケット通信	自動（初期値）	双方向通信が設定されている場合、パケット通信を行います。
	OFF	MS-DOS 環境下や、Windows プリンタドライバを経由せず直接出力するアプリケーションソフトなどでパケット通信を行うと、ホストとの接続性や印字結果に支障がある（不具合が発生する）場合に「OFF」に設定します。パケット通信を停止します。

5 ［設定項目↑］スイッチを押します。
・「設定メニュー項目」とそれぞれの「設定値」が印刷されます。

6 ［設定項目↑］スイッチを繰り返し押して、設定項目を選択します。
・押すたびに「設定メニュー項目」とそれぞれの「設定値」が印刷されます。
※ 押しすぎた場合は、［設定項目↓］スイッチ押すと前に選択した項目に戻ります。

【設定項目】印刷例

低騒音モード	オフ
ブザー鳴動	オン
手差し待ち時間	1.5 秒
パケット通信	自動

7 ［設定］スイッチを押します。
・押すたびに設定値が変わって印刷されます。（“自動”と“オフ”を繰り返し印刷します。）

【設定項目】印刷例

低騒音モード	オフ
ブザー鳴動	オン
手差し待ち時間	1.5 秒
パケット通信	自動
パケット通信	オフ

“オフ”に変更されていることを確認します。

8 ［設定項目↑］スイッチと［設定］スイッチを同時に押し、ブザーが鳴ったらスイッチを離します。
・［用紙カット位置／ビン選択］ランプが２つとも消灯します。
・パケット通信の設定内容が“オフ”になりプリンタに記憶されます。

■ 修正用時計の接続のしかた

● 本装置の内蔵時計を 0 秒修正するために、修正用時計を時刻修正端子に接続してください。

● 時刻修正時計は、次の規格のものをお使いください。

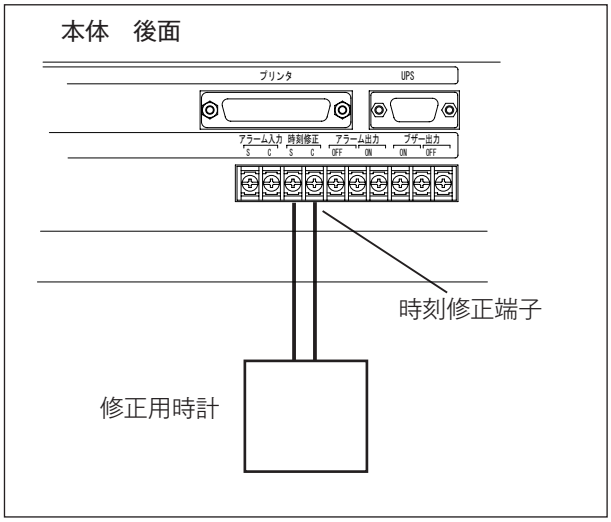
出力	無電圧メーク接点
接点抵抗	1k Ω以下
メーク時間	0.2 秒以上

● 修正動作

修正用時計から 0.2 秒以上の「ON」信号を受けとると、本装置の内蔵時計を 0 秒修正します。

・ 1 日 1 回程度修正信号がくる修正時計を接続する場合は、本体初期登録の時刻修正登録の修正範囲を［±30 秒］に登録してください。

・ 30 秒ごとに修正信号がくる修正用時計を接続する場合は、本体初期登録の時刻修正登録の修正範囲を［±10 秒］に登録してください。



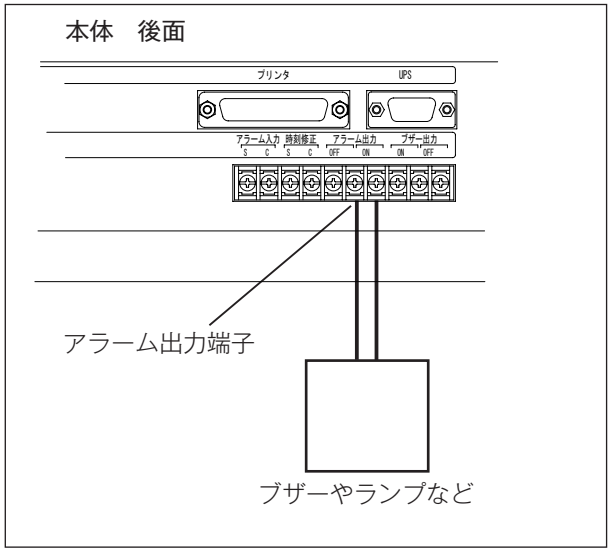
■ アラーム出力端子への接続のしかた

● アラーム状態を表示するためのランプやブザーをアラーム出力端子に接続してください。

● アラーム出力端子の［ON］に接続すると、アラーム状態になると、無電圧の「ON」信号が出力されます。また、アラーム出力端子の［OFF］に接続すると、アラーム状態になると、無電圧の「OFF」信号が出力されます。

● アラーム状態とは以下の状態をいいます。

・ 無停電電源装置からの電源停止
・ 通知および着信時の回線異常
・ CPU の動作異常
・ 本体の電源コードが抜けるなど電源が供給されないとき
・ アラーム入力端子への外部アラーム信号入力



ワンポイント

● 本体を連結接続してご利用の場合、以下のアラーム状態で装置 2 および装置 3 のアラーム出力端子に信号出力します。

・ 該当の装置の電源立ち上がり中
・ 該当の装置の音源不一致
・ 該当の装置の通信障害
・ 該当の装置のアラーム入力端子への外部アラーム信号入力

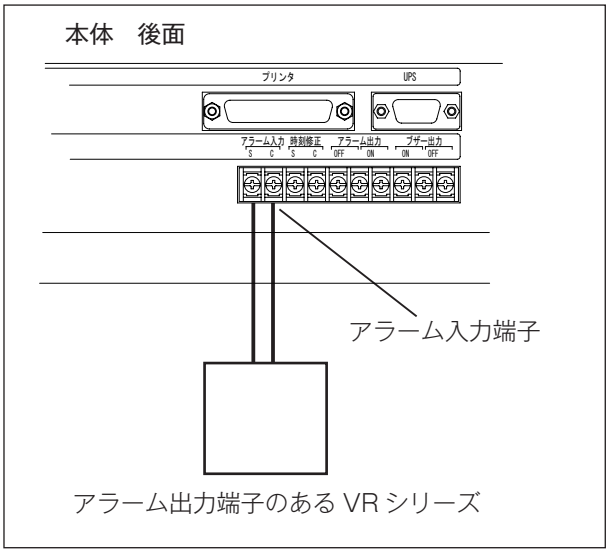
● 各装置のアラーム出力を共通でひとつにする場合は、各装置のアラーム出力を接続してください。
（メーク出力のときは並列接続、ブレーク出力のときは直列接続とします。）

■ アラーム入力端子への接続のしかた

● 外部機器 (アラーム出力端子のある通話録音装置 VR シリーズ) のアラーム状態を本装置で認識するときにその外部機器を接続してください。
● アラーム入力信号は、無電圧の「ＯＮ」信号を入力してください。

ワンポイント

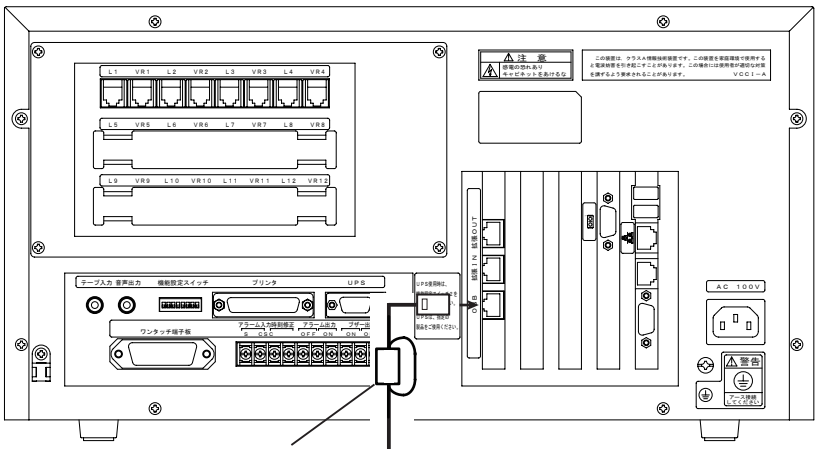
● 通話録音装置 VR シリーズのアラーム出力に関しては、「通話録音装置 VR シリーズ取扱説明書」をご覧ください。
● アラームを認識するとアラーム出力端子に信号が出力されます。また、通知中の場合には通知を停止します。



■ 外部ワンタッチスイッチボックスの接続のしかた

● 外部ワンタッチスイッチボックス ARS-800 OSB(別売品) を使って、ワンタッチ通知を行うときは、市販の LAN ケーブルを利用して ARS-800 の OSB コネクタと ARS-800 OSB の ARS-800 コネクタを接続してください。

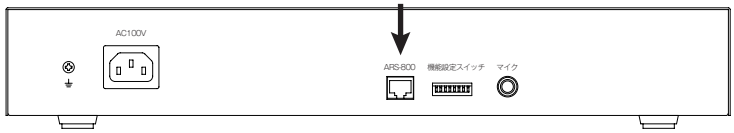
本体　後面



本体側で、フェライトコアに LAN ケーブルを 1 ターンして取り付けます。

LAN ケーブル (市販品)
ストレート
最大１００m

ARS-800 OSB　後面

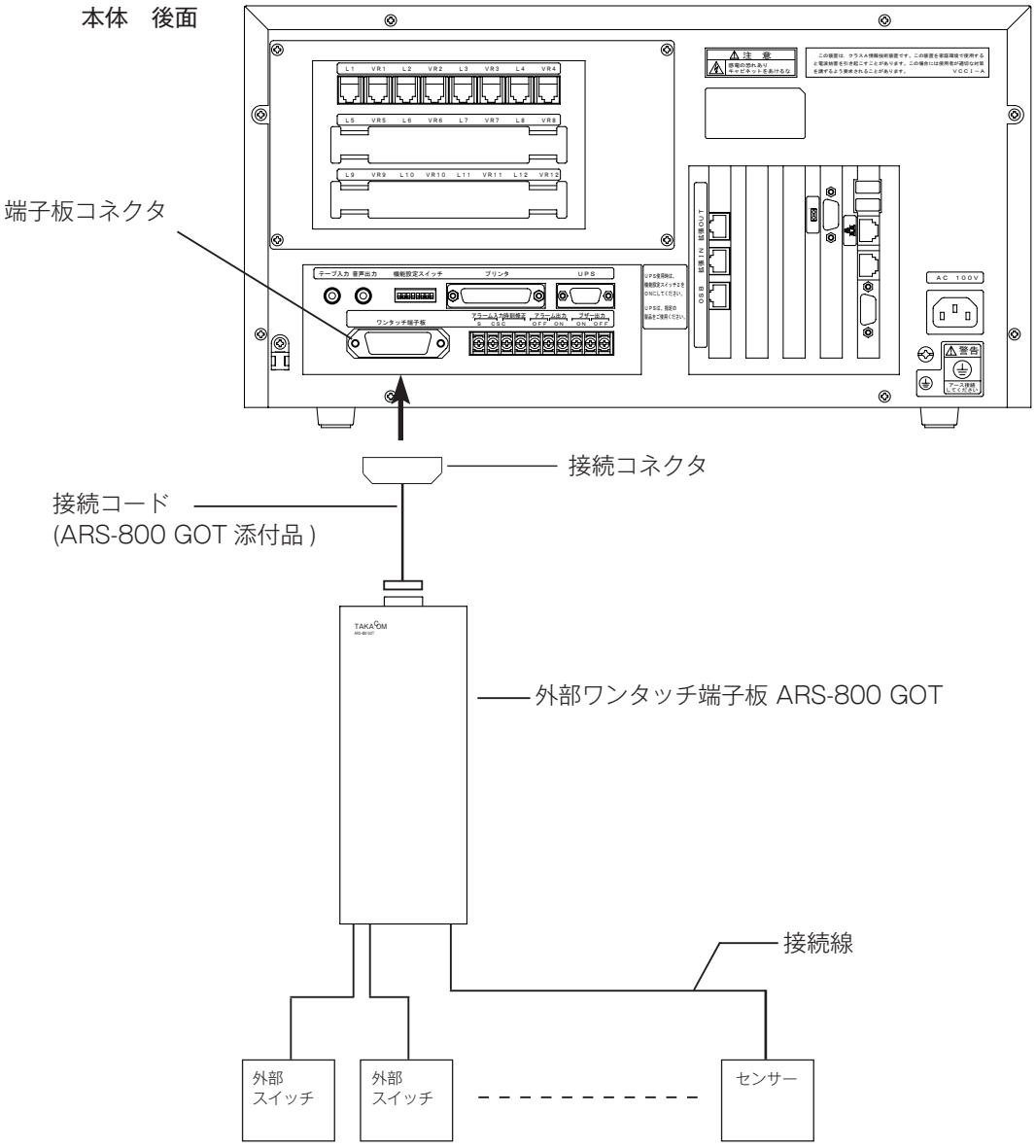


■ 外部ワンタッチ端子板の接続のしかた

● 外部ワンタッチ端子板 ARS-800 GOT(別売品) を使って、外部スイッチやセンサーなどからの起動信号により通知を行うときは、外部ワンタッチ端子板の接続コネクタを端子板コネクタへ接続してください。

● 外部スイッチは、次のものをお使いください。

接点方式	起動するとき、メークするもの。(500ms 以上)
線路抵抗（ループ抵抗）	1K Ω以下（ループ抵抗）
線路長	200 m 以下



STOP お願い

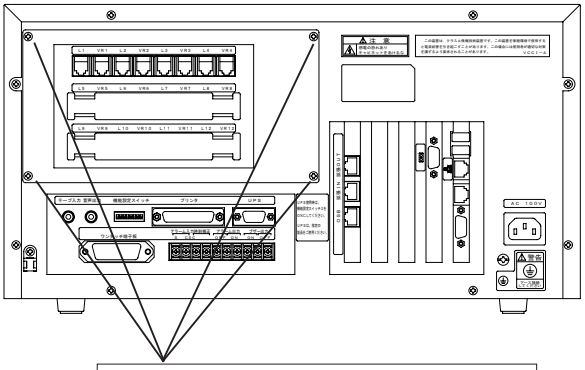
● 端子板コネクタ端子には、電気信号 (ＡＣ／ＤＣ) を加えないでください。

■ 4回線ラインボードの増設のしかた

- 収容回線数が、5 ～ 12 回線のときは、4 回線ラインボード (別売品) を 1 ないし 2 枚増設してください。
- 4 回線ラインボードを 2 枚増設することにより、最大 12 回線まで接続できるようになります。
- 回線増設した場合は、初期設定　回線設定で回線ごとの条件を登録してください。
- 12 回線以上を増設する場合は、「本体の連結接続のしかた」（P.151）にしたがって本体を接続し、4 回線ラインボードを増設してください。

1 裏ブタを取り外します。

本体　後面

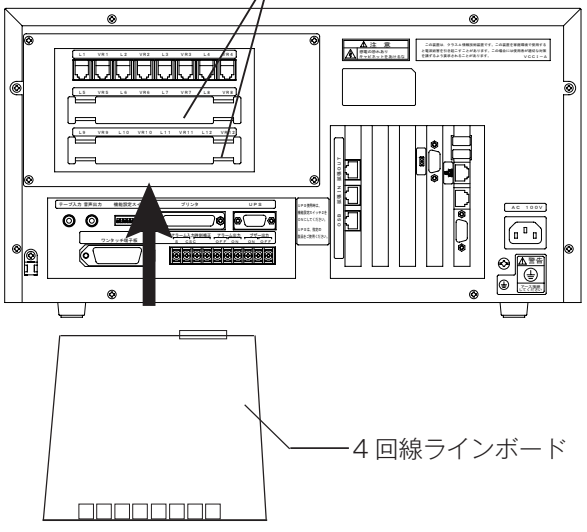


この箇所のネジ (4 本) を取り外すと、
裏ブタが外せます。

2 4 回線ラインボードを差し込みます。
・ 裏ブタを取り付けます。

この部分のプラスチック板をはずします。

本体　後面



4 回線ラインボード

3 ■ 回線 1 ～ 4 と同様に、増設した「4 回線ラインボード」の回線用ジャックへ回線を接続します。
■ 回線接続コードに、フェライトコアを取り付けます。

STOP お願い

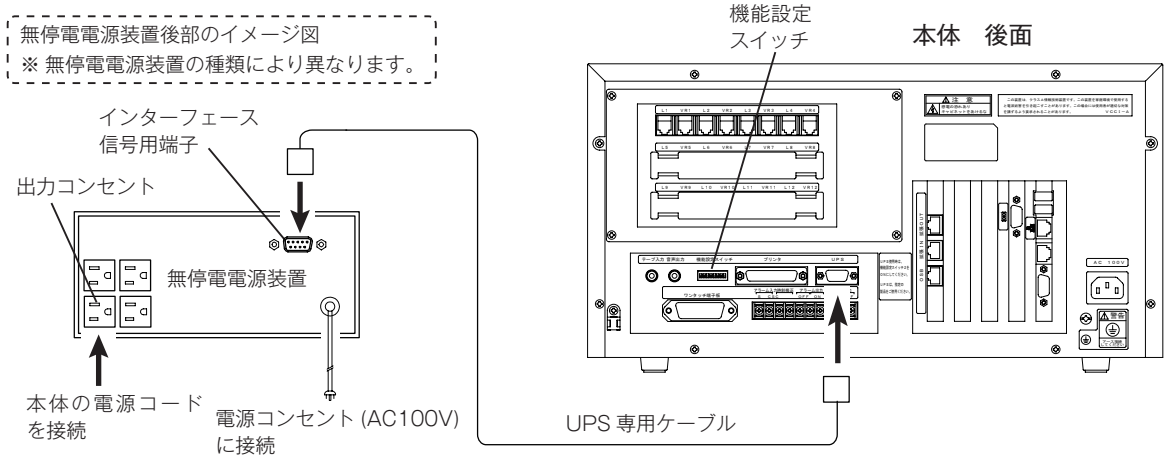
- 「4 回線ラインボード」の増設をするときは、必ず、システムを終了し、電源プラグをコンセントから外した状態で行ってください。

■ 無停電電源装置の接続のしかた（装置 1 台のとき）

● 停電中にも通知作業を行いたいときは、無停電電源装置 (別売品) を接続してください。
● 無停電電源装置をお使いになると、停電になっても、バックアップ時間の間はそのままご使用になれます。

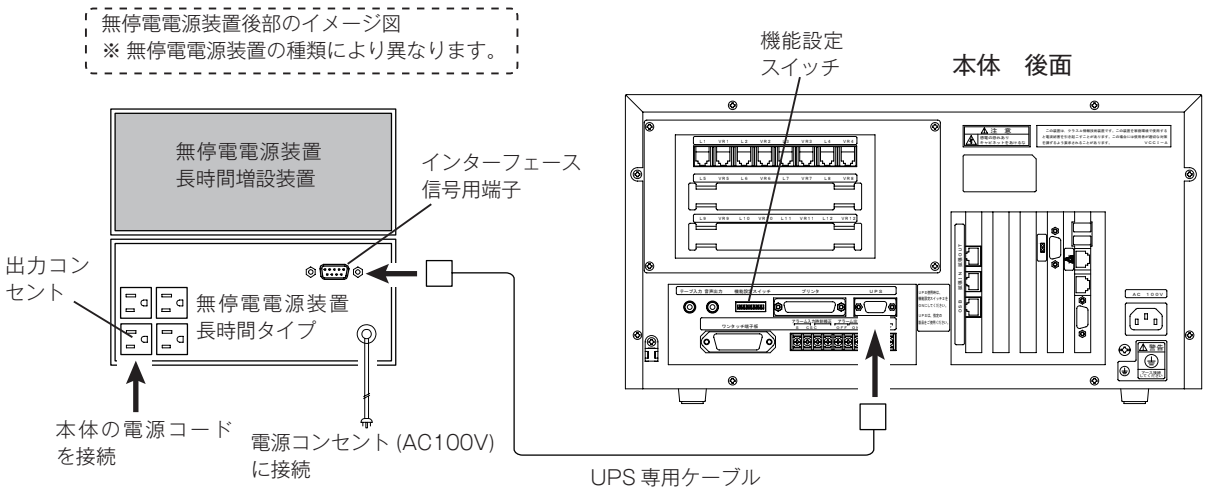
1．無停電電源装置（バックアップ時間約 1 時間）および、無停電電源装置長時間タイプ（バックアップ時間約 3 時間）の場合

① UPS 専用ケーブルを接続します。
② 本体後面の機能設定スイッチ「2」を ON にします。
③ 無停電電源装置への接続・設定等については、無停電電源装置の取扱説明書をお読みください。



2．無停電電源装置長時間タイプに無停電電源装置長時間増設装置を 1 台接続した場合
［バックアップ時間約 7 時間］

① 無停電電源装置長時間タイプと無停電電源装置長時間増設装置を接続します。
（接続方法については、無停電電源装置の取扱説明書をお読みください。）
② UPS 専用ケーブルを接続します。
③ 機能設定スイッチ「2」を ON にします。
④ 無停電電源装置への接続・設定等については、無停電電源装置の取扱説明書をお読みください。



停電が発生すると

次のように動作します。操作する必要はありません。

- 無停電電源装置から「ピッ・ピッ・・・」と警告音が鳴ります。(無停電電源装置は操作しないでください)
- 停電がバックアップ時間以上継続すると、自動的に停電処理を行い、本装置を終了させます。
- 停電が復旧し、しばらくすると、本装置は、待機状態となります。
- 停電が復旧した後、自動的に待機状態にならない場合は、一度、本装置の電源プラグを AC コンセントから抜いて「電源通電から「メニュー」画面まで（P.24）」の手順で立ち上げてください。
- 停電がバックアップ時間以内のときは、そのまま動作をつづけます。
- 無停電電源装置で動作中は、本装置の画面右上に［UPS］を点滅表示します。

ワンポイント

- 無停電電源装置の設置、取り扱いは、無停電電源装置の取扱説明書をご覧ください。取扱説明書と保証書は、大切に保管してください。

STOP お願い

- 接続工事中は、無停電電源装置の電源プラグを電源コンセントに差込まないでください。
- 電源を切る順序は、「システムの終了のしかた (P.25) 」の手順に従ってください。
  この手順を守らないと、機器が破損したり、故障の原因になります。
- 無停電電源装置は、当社指定品をご使用ください。指定品以外の無停電電源装置をお使いになると、正常に動作しない場合があります。
- ARS-800/ARS-800F に接続する機器（プリンタ、ARS-800 OSB）は、当社指定品をご使用ください。指定品以外をお使いになると、正常に動作しない場合があります。
- 無停電電源装置には、ARS-800/ARS-800F 本体の電源コードおよび ARS-800 OSB 以外は接続しないでください。
  バックアップ時間が保証できない場合があります。
- バックアップ時間は、ARS-800/ARS-800F 本体および ARS-800 OSB を接続した状態の目安です。
  周囲温度 25℃、バッテリー初期 (新品) にてフル充電の場合の値です。
  実用時には、周囲温度・使用年数・充電状態などにより異なる場合があります。

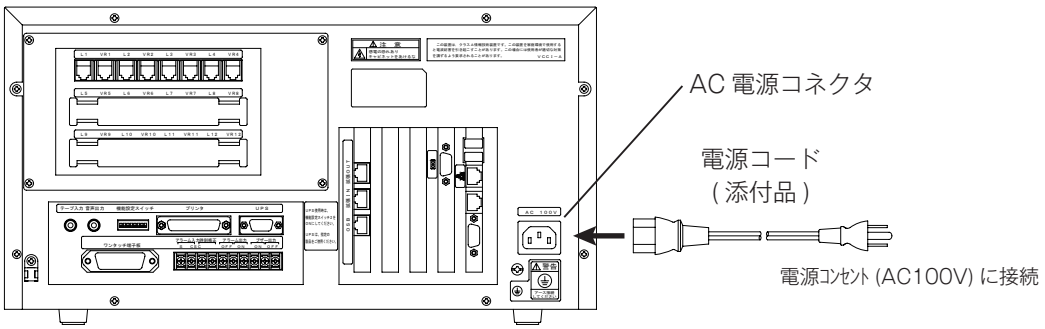
■ 電源コードの接続のしかた

本装置を電源コンセントに接続します。

・付属の電源コードを本体の AC 電源コネクタに差込みます。

・電源プラグを壁の電源コンセントに差込みます。
(接地は必ず行ってください。)

本体　後面



■ 本体の連結接続のしかた

- 電話回線を 13 回線以上使用して通知を行う場合は、本体を 2 台まで連結して、最大 36 回線にすることができます。
- 機能設定スイッチで、装置 1（親機）、装置 2（連結 1 台目）、装置 3（連結 2 台目）を設定します。
- 連結接続して使用する場合は、装置 1（親機）ですべての操作を行います。装置 2，3 は電話回線の増設ユニットとして動作します。
- 接続用のケーブルは、連結用ケーブルセット ARS-800 CBS（別売品）をご使用ください。

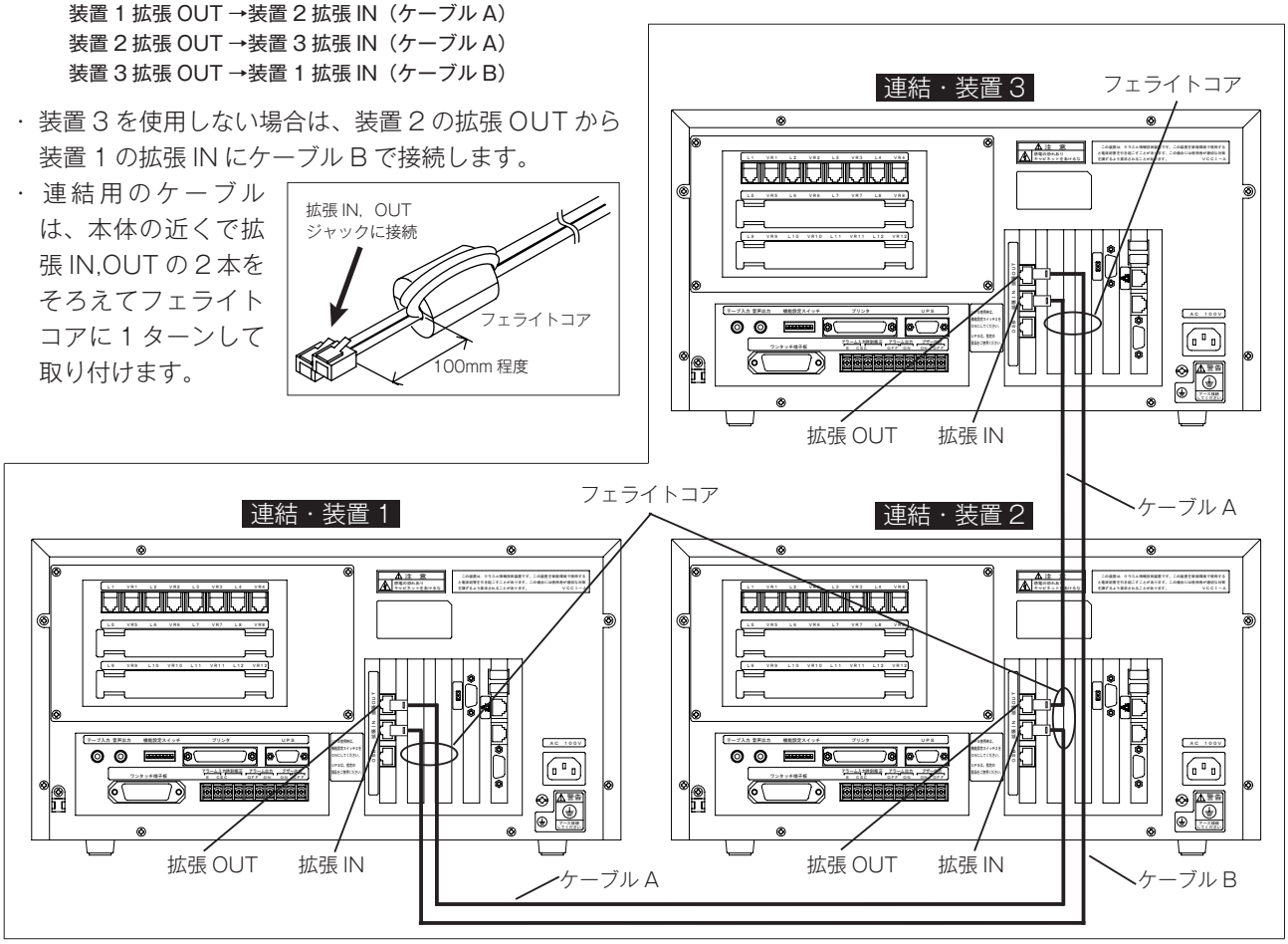
1．接続方法

・連結用のケーブルA（1.5m 2 本）とケーブル B（3m 1 本）を使用して図のように接続します。

装置 1 拡張 OUT →装置 2 拡張 IN（ケーブル A）
装置 2 拡張 OUT →装置 3 拡張 IN（ケーブル A）
装置 3 拡張 OUT →装置 1 拡張 IN（ケーブル B）

・装置 3 を使用しない場合は、装置 2 の拡張 OUT から装置 1 の拡張 IN にケーブル B で接続します。

・連結用のケーブルは、本体の近くで拡張 IN,OUT の 2 本をそろえてフェライトコアに 1 ターンして取り付けます。



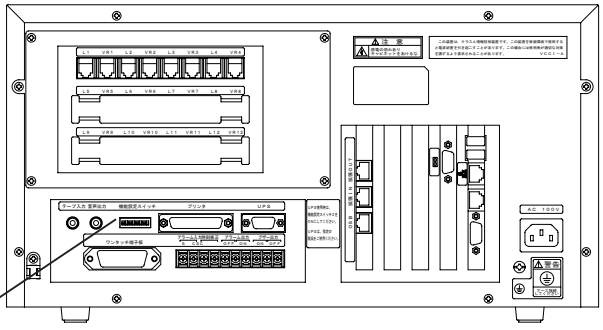
ワンポイント

- 連結接続の工事は、各装置の電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。

2．装置番号の設定

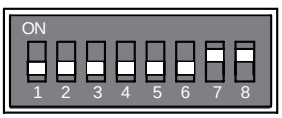
・各装置後面の機能設定スイッチ 7，8 を下表に従って切り替え、装置番号を設定します。

	機能設定スイッチ設定	
	7	8
装置 1	ON	ON
装置 2	ON	OFF
装置 3	OFF	ON



・装置 1 の場合

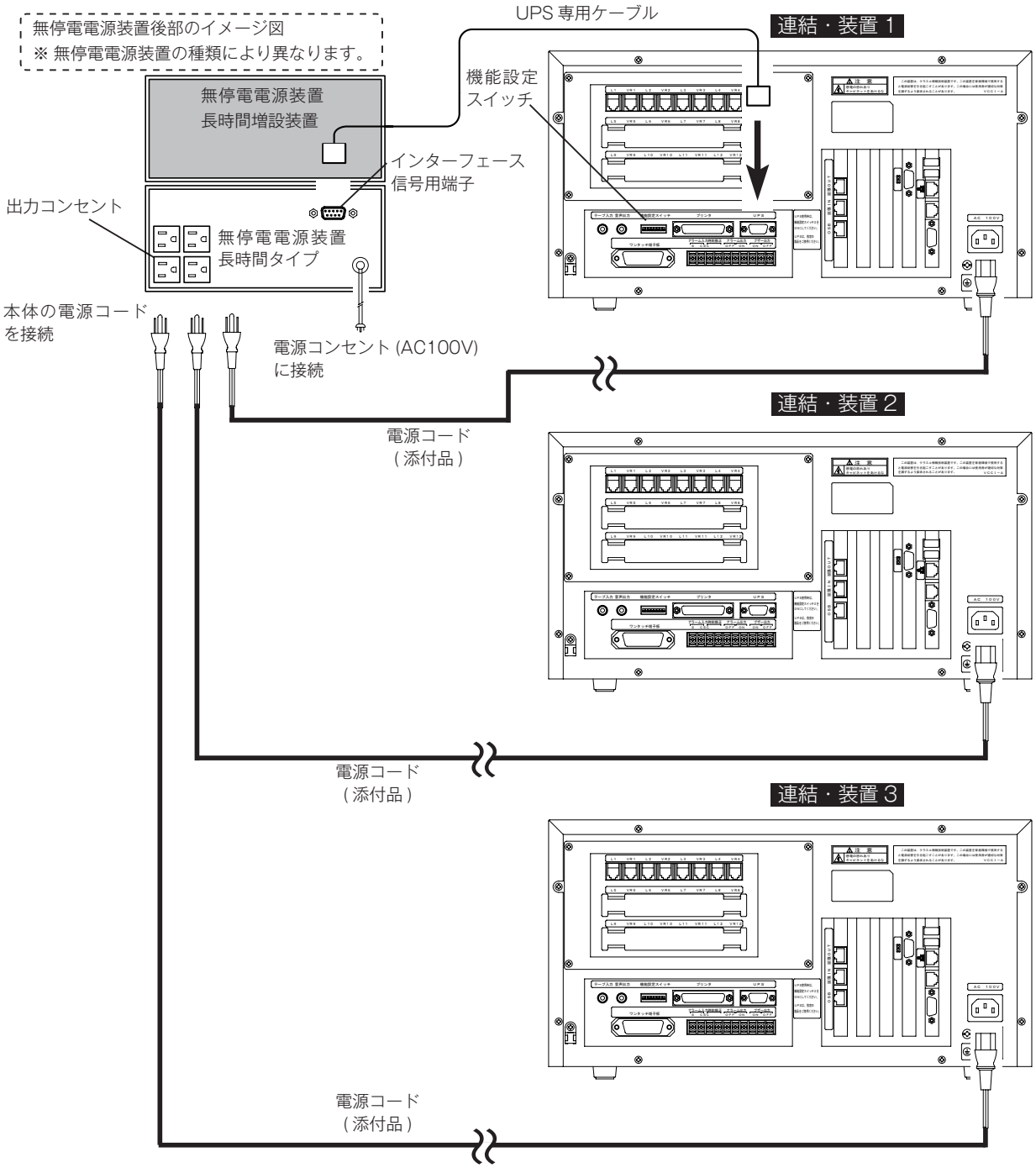
機能設定スイッチ



3．無停電電源装置の接続

・無停電電源装置をお使いになるときは、下図の様に各装置の電源を同じ無停電電源装置に接続します。
無停電電源装置は長時間タイプ以上のものを使用してください。
・UPS 専用ケーブルは装置 1 に接続します。「無停電電源装置の接続のしかた（装置 1 台のとき）」（P.149）を参照してください。
・停電時の動作などは、バックアップ時間をのぞいて装置 1 台のときと同じです。
バックアップ時間については「設置の前に」（P.134）を参照してください。

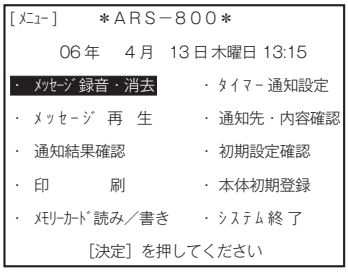
① 必要に応じて、無停電電源装置長時間タイプと無停電電源装置長時間増設装置を接続します。
（接続方法については、無停電電源装置の取扱説明書をお読みください。）
② 装置 1 に UPS 専用ケーブルを接続します。
③ 装置 1 の機能設定スイッチ「2」を ON にします。
④ 装置 1、装置 2、装置 3 の電源コードを無停電電源装置に接続します。
⑤ 無停電電源装置への接続・設定等については、無停電電源装置の取扱説明書をお読みください。



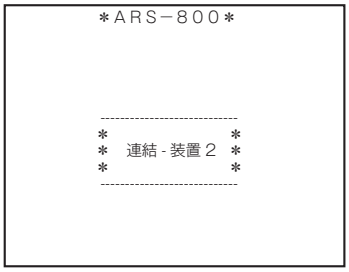
4．電源の接続

・各装置を電源コンセントに接続します。接続の順序はありません。
付属の電源コードを本体の AC 電源コネクタに差込みます。
電源プラグを壁の電源コンセントに差込みます。(接地は必ず行ってください。)
・電源ランプが点灯し、システムが起動します。しばらくすると（電源を入れてから約１分）以下の待機画面になります。

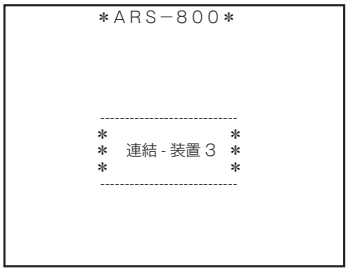
連結・装置１



連結・装置２



連結・装置３



※ 待機画面が表示されてから 10 秒以内はシステム終了の操作をしないでください。装置 2、装置３ともに自動的に電源断となりません。

5．連結登録と連結初期化

・装置 1 で「本体初期登録」の「連結登録」を設定します。（P.41）を参照してください。
・装置 1 で「本体初期登録」の「連結初期化」を行います。（P.43）を参照してください。

6．連結接続の確認

・連結接続が間違いなく行われているかを、以下の方法で確認してください。
1. 装置 1 でマイクロホンからメッセージの録音を行います。（任意のメッセージ）
2. 装置 1 で録音したメッセージの再生を行います。
・接続が正しい場合は、メッセージは装置 1、装置 2、装置 3 で同時に再生されます。それぞれボリュームを調整して確認します。

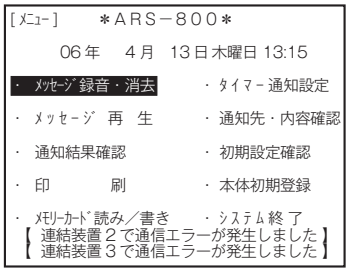
7．システム終了と再通電

・装置 1 でシステム終了を行います。装置 2、装置 3 ともに自動的に電源断となります。
「システムの終了のしかた」（P.25）を参照してください。
・再度、通電する場合は、装置 1、装置 2、装置 3 の各装置の電源を入れなおします。

ワンポイント

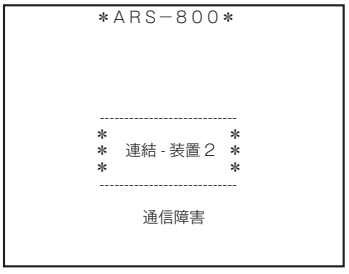
●各装置の電源を入れたときに、システムの起動タイミングにより以下の様な警告画面を表示する場合がありますが、すべての装置が起動完了すると自動的に待機画面に戻ります。

連結・装置１



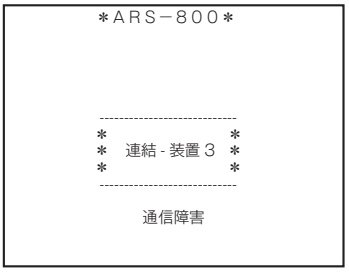
・装置 2、装置 3 の起動が完了していない場合。
・起動完了していない装置のみ表示されます。

連結・装置２



・装置 1 の起動が完了していない場合。

連結・装置３

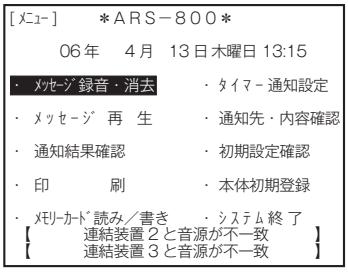


・装置 1 の起動が完了していない場合。

ワンポイント

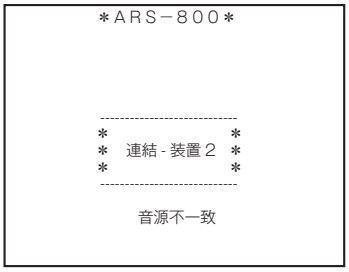
● システム運用中に、連結した装置間でメッセージの不一致が発生した場合、以下の警告表示となります。
装置 1 で「連結初期化」を行ってください。「本体初期登録」の「連結初期化」（P.43）を参照してください。

連結・装置 1



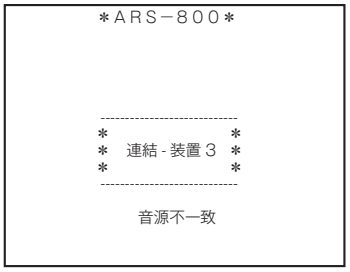
・ 装置 2、装置 3 とメッセージが異なる場合。
・ メッセージの異なる装置のみ表示します。

連結・装置 2



・ 装置 1 とメッセージが異なる場合。

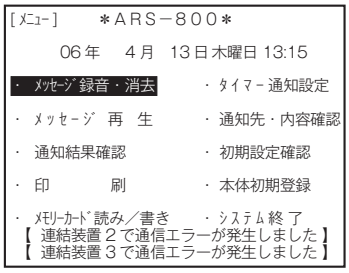
連結・装置 3



・ 装置 1 とメッセージが異なる場合。

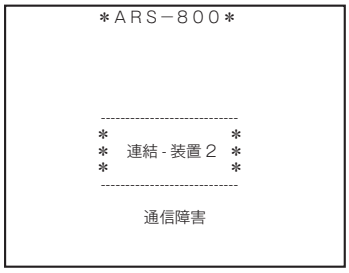
● システム運用中に、拡張用接続ケーブルの断線などが発生した場合、以下の警告表示となります。
拡張用ケーブルの状態および連結登録の内容を確認してください。「本体初期登録」の「連結登録」（P.41）を参照してください。

連結・装置 1



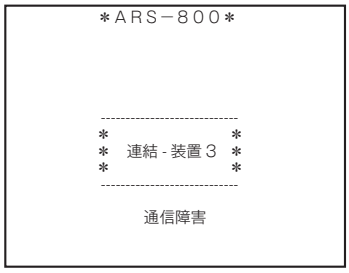
・ 装置 2、装置 3 との通信ができない場合。
・ 通信ができない装置のみ表示します。

連結・装置 2



・ 装置 1 と通信ができない場合。

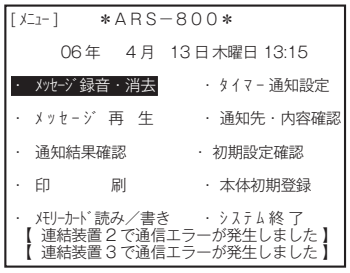
連結・装置 3



・ 装置 1 と通信ができない場合。

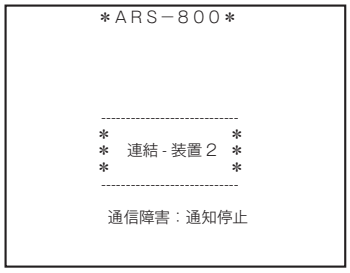
● 通知中に通信障害などが発生した場合、以下の警告表示となります。装置 1 が正常であれば正常な装置のみで通知を継続します。通知終了後システム終了を行い、拡張用ケーブルの状態などを確認し異常のあった装置の電源を入れなおします。その後、システムの再通電を行ってください。
・ 上記の操作でシステム復旧しない場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。

連結・装置 1



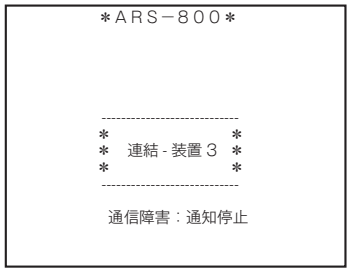
・ 通知終了後の画面
・ 異常のあった装置のみ表示します。

連結・装置 2



・ 通知中に装置 1 と通信ができなかった場合。

連結・装置 3

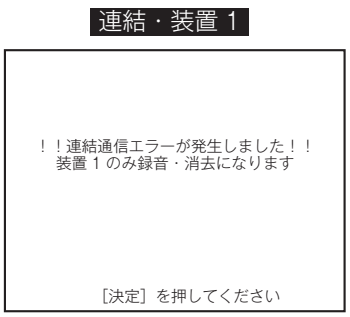


・ 通知中に装置 1 と通信ができなかった場合。

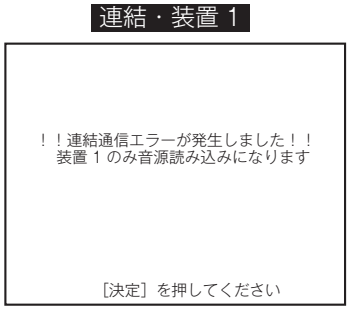
ワンポイント

● 連結接続で運用中に、拡張用接続ケーブルの断線などにより、装置２・装置３のいずれか、または両方との通信エラーが発生した場合、システムは装置１および通信が正常な装置により動作継続することができます。この場合、操作する内容により以下の警告表示となります。

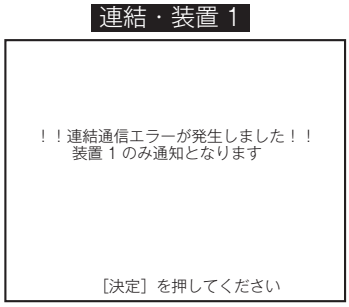
◆ メッセージの録音・消去を行ったとき



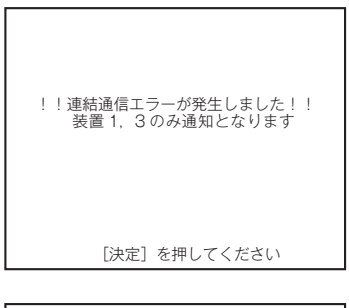
◆ メモリーカードからの読み込みを行ったとき



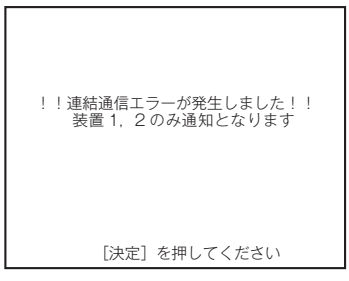
◆ ワンタッチ通知、マニュアル通知を行ったとき



装置 2,3
通信エラー

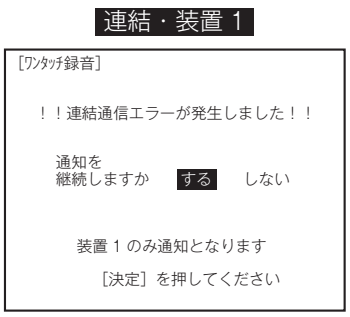


装置２
通信エラー



装置３
通信エラー

◆ ワンタッチ録音通知を行ったとき



ご注意

● ワンタッチ録音通知の場合は、装置２または装置３のいずれかの通信エラーの場合も、装置１のみでの通知となります。

故障とお考えになる前に

■ 次のようなときは、故障でないときがあります。修理を依頼される前にもう一度お確かめください。
■ それでも具合の悪いときは、「アフターサービスについて」をご覧のうえ、修理をご依頼ください。

機能	こんなとき	お確かめください	参照ページ
録音再生	録音の音が小さい	外部マイクのプラグを確実にマイクジャックに差し込んでください。	P.56
	再生ができない	［**音量調節つまみ**］が左にいっぱい回してありませんか？ **すこし右に回してみてください**	P.61
通知	通知ができない	「!! メッセージ録音がありません !!」と表示が出ていませんか？ **未録音メッセージを録音してください。**	P.56
	通知ができない	「!! ポケベルデータがありません !!」と表示が出ていませんか？ **ポケベルデータを登録してください。**	制御用パソコン編 P.97
	通知ができない	「!! メールデータがありません !!」と表示が出ていませんか？ **メールデータを登録してください。**	制御用パソコン編 P.100
	タイマー通知の設定ができない	「!! タイマーのワンタッチ設定が無効です !!」と表示が出ていませんか？ **タイマーのワンタッチ設定を正しく行ってください。**	制御用パソコン編 P.83
	相手が出てもメッセージを送出しない	相手応答条件が正しく登録してありますか？ **回線設定　相手応答判定を確認してください。**	P.70
	メールの送受信ができない	メール設定（メールアドレス、POP3・SMTP、POP before SMTP 認証など）の設定は正しくされていますか？ **各設定を確認してください。**	制御用パソコン編 P.53

エラーメッセージについて

■ 操作中に異常があると、画面にエラー表示します。この場合、以下の処置を行ってください。
■ ［**決定**］ボタンを押すと、エラー表示が消えます。正しい処置をしてください。

	エラーメッセージ	エラー内容と処置
録音	音源を接続してください	音源（マイク・テープ等）が接続されていません。 **マイク・テープ等の音源を接続してください。**
通知内容	メッセージ録音がありません ・未録音チャンネル 本人確認メッセージ 情報メッセージ テスト発信メッセージ	ワンタッチ・ワンタッチ録音（本人確認メッセージ、情報メッセージ）・テスト発信に選択されているメッセージチャンネルに録音がないときにワンタッチ･ワンタッチ録音（本人確認メッセージ、情報メッセージ）・テスト発信メッセージの未録音チャンネルを表示します。 **選択されているメッセージチャンネルに録音してください。**
	メールデータがありません ・未登録メールデータ番号	ワンタッチ・ワンタッチ録音に選択されているメールデータがないときに未登録メールデータ番号を表示します。 **選択されているメールデータ番号を登録してください。**
	ポケベルデータがありません ・未登録ポケベルデータ番号	ワンタッチ・ワンタッチ録音に選択されているポケベルデータがないときに未登録ポケベルデータ番号を表示します。 **選択されているポケベルデータ番号を登録してください。**
タイマー通知	タイマーのワンタッチ設定が無効です ・無効なタイマー番号	設定されたタイマーが有効でないときに無効タイマー番号を表示します。 **有効なタイマー設定を行ってください。**
メモリーカードの読み込み	読み込みに失敗しました ・カードがありません	メモリーカードを正しくセットしていない。または、装着状態が間違っています。 **メモリーカードを正しく装着してください。**
	読み込みに失敗しました ・ディレクトリーがありません	メモリーカードにデータがありません。 **データを作成してください。**
	読み込みに失敗しました ・ファイルがありません	メモリーカードに読み込むファイルがありません。 **読み込むファイルを作成してください。**
	読み込みに失敗しました ・メモリーがいっぱいです	音声メモリーがいっぱいで読み込みができません。 **データを作り直してください。**
	読み込みに失敗しました ・データエラー	読み込みデータが異常です。 **データを作り直してください。**
	読み込みに失敗しました ・その他のエラー	上記以外のエラーが発生しました。 **データを作り直してください。**
メモリーカードの書き込み	書き込みに失敗しました ・カードがありません	メモリーカードを正しくセットしていない。または、装着状態が間違っています。 **メモリーカードを正しく装着してください。**
	書き込みに失敗しました ・メモリーがいっぱいです	メモリーカードに登録できる容量が一杯になりました。 **これ以上データの登録はできません。**
	書き込みに失敗しました ・その他のエラー	上記以外のエラーが発生しました。 **書き込みをやり直してください。**
初期設定	初期設定データがありません メモリーカードからデータを読み込んで下さい	初期設定データがありません。 **メモリーカードからデータを読み込んでください。** **制御用パソコンから初期設定データを読み込んでください。**
電源	警告 ｼｽﾃﾑが正常に起動しませんでした。 ｼｽﾃﾑ終了せずに電源を切断した可能性があります。 電源を入れ直して下さい。	電源が正常に切断されなかった可能性があります。 **システム終了して電源を入れ直してください。**
	停電がありました	停電が発生して電源が切断されました。 **［決定］ボタンを押してください。**
	通知中に停電がありました 通知は完了していません 確認してください	通知中に停電が発生しました。 **［決定］ボタンを押してください。**

主な仕様

項目		仕様
回線	収容回線	アナログ一般公衆回線および PBX 内線 (混在収容可)
	収容回線数	初期 4　最大 36(回線ボード追加 / 装置 3 台連結時)
	接続方式	6 極 2 芯モジュラージャック
	回線種別	DP 回線、PB 回線 (混在収容可)
LAN	接続インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
	制御用パソコン接続数	最大 5 台
データ入力方法	登録	外部パソコン (ARS-800 制御ソフト添付)
	データ転送	コンパクトフラッシュでの読み / 書き、または LAN 経由による転送
	記憶媒体	コンパクトフラッシュ (添付品 :128MB、使用可能容量 :32 ～ 512MB)、またはパソコンのハードディスク
通知先登録内容	通知先登録数	最大 10000 件
	電話番号登録数 / 桁数	最大 30000 件 (1 通知先あたり 3 件：追っかけ番号、優先順位設定可) 最大 20 桁
	メールアドレス登録数 / 桁数	最大 20000 件 (1 通知先あたり 2 件) 半角最大 128 桁
	ポケベル番号登録数 / 桁数	最大 10000 件最大 20 桁
	グループ登録数	最大 1000 グループ
	ワンタッチ登録数	最大 60 種類
音声メッセージ	録音方式	μ law PCM 方式 (8kHz × 8bit)
	録音時間	約 25 分 (内蔵フラッシュメモリ)
	メッセージ種類	本人確認ﾒｯｾｰｼﾞ：5ch、情報ﾒｯｾｰｼﾞ：68ch、ﾃｽﾄ発信用ﾒｯｾｰｼﾞ：1ch、 ﾜﾝﾀｯﾁ録音用ﾒｯｾｰｼﾞ：1ch、回答用ﾒｯｾｰｼﾞ：6ch、 ｶﾞｲﾀﾞﾝｽﾒｯｾｰｼﾞ：10ch、共通ﾒｯｾｰｼﾞ：1ch、ﾃﾚｶﾞｲﾄﾞ用ﾒｯｾｰｼﾞ：1ch
	録音方法	外部マイクロホン、外部テープレコーダ 外部マイク・テープのミキシング、制御用パソコン (LAN 接続時)
	再生方法	内蔵スピーカ：80mW 以下 イヤホン端子：ミニジャック (3.5 Φプラグ用)、インピーダンス：20Ω
電子メール	メールデータ登録数	最大 100 種類 (半角最大 510 桁、全角最大 255 桁 /1 ﾃﾞｰﾀ) 定型文 1 種類（半角最大 255 桁、全角最大 127 桁)
	メール送受信プロトコル	送信：SMTP、受信：POP3
ポケットベル	ポケベルデータ登録数	最大 100 種類 (最大 63 文字 /1 ﾃﾞｰﾀ)
通知方法	ワンタッチ通知 (本体、制御 PC)	ワンタッチボタン：本体 10 個、制御用パソコン 60 個 ワンタッチ設定項目：メッセージ ch(本人確認 / 情報)、 データ (メール / ポケベル) グループ番号
	マニュアル通知 (本体、制御 PC)	マニュアル設定項目：メッセージ ch(本人確認 / 情報)、 データ (メール / ポケベル) グループ番号、人数制限
	ワンタッチ録音通知 (本体、制御 PC)	ワンタッチ録音用チャンネル：1 通知種類：ワンタッチ通知、マニュアル通知、情報別通知
	ワンタッチメール通知 (制御 PC)	ワンタッチメール用データ：1 通知種類：ワンタッチ通知、マニュアル通知、情報別通知
	情報別通知 (制御 PC)	情報別ボタン：6 個 通知先ボタン：60 個 (1 情報別ボタン当り 10 個) (通知先ボタンごとにグループ番号 1 ～ 50 を設定) 通知時は 1 通知先を指定
	タイマー通知 (本体、制御 PC)	タイマー設定数：10 設定内容：曜日、開始時刻、終了時刻、ワンタッチ番号
	回線リモコン通知	リモコン暗証番号：10 種類 操作機能：ワンタッチ通知、ワンタッチ録音通知、人数制限
	外部ワンタッチスイッチボックス ARS-800 OSB	ワンタッチボタン：60 個、ワンタッチ録音開始 / 停止ボタン、通知停止ボタン、最大延長：100m
	外部ワンタッチ端子板 ARS-800 GOT	外部入力端子：60 個、無電圧メーク入力：500ms 以上 線路抵抗：1k Ω以下、外部接点最大延長：200m
通知順序	通知グループ順序	グループ単位 / グループ均等
	通知優先順序	登録順 / ランク順

項目		仕様
通知動作	追っかけ通知	電話 1 ～ 3(優先順)
	外線 / 内線混在通知	電話 1 ～ 3、ポケベル番号に設定可
	再通知項目指定	留守、話中、不明、トーキ
	人数制限指定	通知単位 / グループ単位
	特定番号の通知停止・解除	グループ単位 / 共通
	相手応答検出方法	回線の極性反転 (ﾘﾊﾞｰｽ)/ 音声検出 / 自動音声出力 (0 ～ 99 秒)
	回線モニター	1 回線を任意に選択
	通知先用件録音	録音時間：最大 99 秒、回線ごとに録音機接続 (対応録音装置：VR-D175A、VR-504A、VR-710)
回答入力	入力信号	電話回答：PB 信号、メール回答：回答の返信
	電話回答種類 (発着信とも)	4 種類 (回答 1 ～ 4、回答数字：2 桁以内、回答名：半角最大 8 桁)
	メール回答種類	4 種類 (回答 1 ～ 4、半角最大 8 桁)
着信応答	応答メッセージ	着信用本人確認メッセージ、情報メッセージ
	ナンバーディスプレイ対応	相手番号情報で本人確認
LAN 制御	制御機能	初期設定データ登録・修正、通知先データ登録・修正 通知内容登録・修正、ワンタッチ通知、マニュアル通知 ワンタッチ録音通知、ワンタッチメール通知、情報別通知、 タイマー通知、通知結果集計・ファイル管理、NTP 時刻校正
プリンタ	本体出力項目	本体初期登録、通知結果並行印字、通知履歴、通知結果集計
	制御 PC 出力項目	初期設定内容、通知履歴、通知結果集計、通知先登録情報、通知内容
	インターフェース	本体：IEEE1284 準拠パラレルポート、制御 PC：PC 仕様に準ずる
	制御コード	本体：ESC/P、制御 PC：PC 仕様に準ずる
	コネクタ	本体：D-SUB 25 ピン (メス)、制御 PC：PC 仕様に準ずる
後面端子	アラーム入力端子	ネジ端子、無電圧メーク入力：200ms 以上 線路抵抗：1k Ω以下
	アラーム出力端子	ネジ端子、無電圧メーク / ブレーク出力：連続 接点容量：DC30V、500mA
	ブザー出力端子	ネジ端子、無電圧メーク / ブレーク出力：操作確認 / 通知中 接点容量：DC30V、500mA
	時刻修正端子	ネジ端子、無電圧メーク入力：200ms 以上 線路抵抗：1k Ω以下、修正方法：± 10 秒 / ± 30 秒
	UPS コネクタ	D-SUB 9 ピン (オス)
	テープ入力ジャック	モノラルミニジャック (10k Ω不平衡、0dBm)
	音声出力ジャック	モノラルミニジャック (0dBm、10k Ω終端)
	LAN 接続ジャック	8 極モジュラージャック
	OSB 接続ジャック	8 極モジュラージャック
	VR 接続ジャック	6 極 4 芯モジュラージャック
	ワンタッチ端子板接続コネクタ	アンフェノール 24 ピン (メス)
	拡張 IN ジャック	8 極モジュラージャック
	拡張 OUT ジャック	8 極モジュラージャック
	シリアルポート	RS-232C インターフェース
本体時計	精度	月差± 60 秒以内（通電時、25℃）
表示	本体画面表示	フルドット LCD(320 × 240 ドット)
環境条件	動作時	温度条件：5 ～ 40℃　湿度条件：20 ～ 85%（結露のないこと）
	保管時	温度条件：－10℃ ～ 50℃　湿度条件：20 ～ 85%（結露のないこと）
VCCI		クラス A
RoHS 指令		対応
電源	電圧	AC100V ± 10V、50/60Hz
	消費電力	最大 35W(12 回線実装時)
	停電保証	データ・メッセージは不揮発 時計は内蔵リチウム電池でバックアップ
本体寸法	幅×奥行×高さ (mm)	430 × 358 × 230
本体質量	(kg)	約 12.6（回線ボード 3 枚実装時）

■ 添付品

品　名	個数	単位	備　考
電源コード	1	本	
マイク	1	個	スタンド付き
テープレコーダ接続コード	1	本	
回線接続コード	4	本	モジュラーコード
メモリーカード	1	個	コンパクトフラッシュ 128 M
フェライトコア	2	個	
バインダ	1	本	線処理用
ワンタッチラベル	1	枚	
制御用ソフト	1	個	ＣＤ
取扱説明書	2	冊	本書 (本体編 1 冊、 制御用パソコン編 1 冊)

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発信・通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書

型名 / 保証期間		緊急情報伝達ｼｽﾃﾑ ARS-800/ARS-800F / お買い上げから 1 年間
お買い上げ日		年　月　日
お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	名前	
	住所	〒
	電話番号	

保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。

2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。

3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。

① 保証書の提示がない場合
② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
⑨ 消耗品を交換した場合

4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター 0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00 ～ 17：30 <土・日曜日、祝日、当社指定休日除く>

修理に関するご相談

●**製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。**

当社ホームページ http://www.takacom.co.jp
「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社タカコム　検索

株式会社 タカコム

本社・工場／〒 509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709

P1GG03002229R　Mar.2015